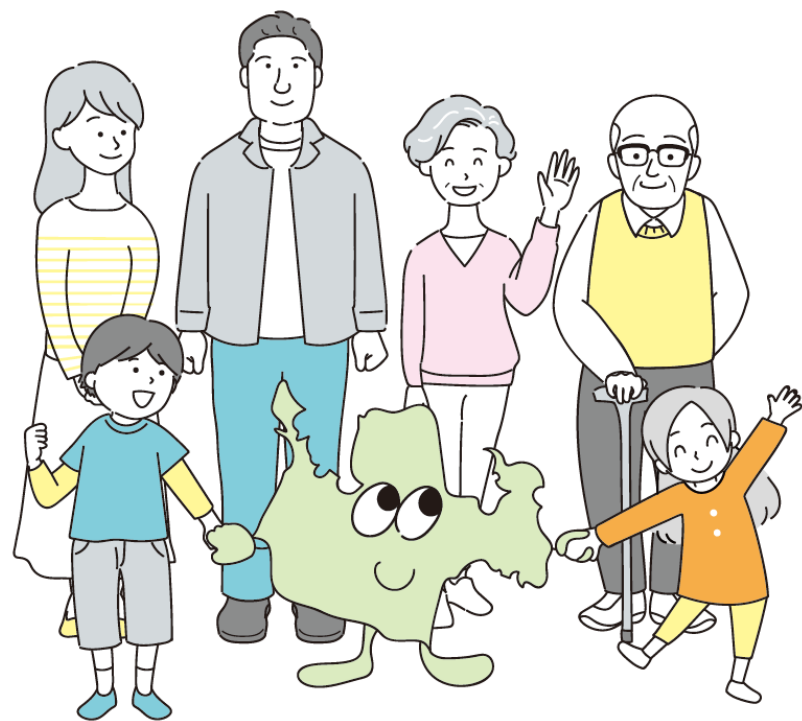


調布市民意識調査報告書

令和6年度版



令和7年3月

調 布 市

目 次

第1章 調査の目的と概要	1
1 調査の目的	3
2 本報告書の特徴	3
3 調査の内容（設問の構成）	3
4 調査方法及び調査期間	5
5 回収の結果	5
6 地域区分	6
7 報告書を見る際の注意事項	6
第2章 回答者の属性	7
第3章 調査結果	15
1 調査結果の概要	17
(1) 回答者の属性	17
(2) 今後の定住意向	17
(3) 市政全般に対する満足度・優先度	17
(4) まちづくり指標	19
2 集計結果	26
(1) まちの魅力と今後の定住意向	26
(2) 市政全般（くらし）	31
(3) 日ごろの意識や行動	53
防災について	53
防犯対策について	58
各種相談について	61
地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉について	62
生活支援について	68
健康づくりについて	69
生涯学習について	73

スポーツ振興について	76
地域コミュニティについて	78
産業・農業・観光について	84
芸術・歴史文化について	97
良好な市街地について	99
道路・交通について	106
住環境づくり・地球温暖化対策について	115
平和について	120
児童虐待・人権・男女共同参画について	122
市民参加について	129
市政等の情報について	132
行政のデジタル化・スマートシティについて	136
(4) 公共施設	139
【参考】 調査票	141

第 1 章 調査の目的と概要

1 調査の目的

調布市は、調布市基本構想（令和5年度～令和12年度）（以下「基本構想」という。）及び調布市基本計画（令和5年度～令和8年度）（以下「基本計画」という。）に基づき、総合的かつ計画的なまちづくりを進めています。

調布市基本計画では、計画期間中の各施策の成果を図る目安として「まちづくり指標」を設定しています。

調布市民意識調査は、「まちづくり指標」の現状値や、市民が日常感じているくらしの満足度、市の施策に関する市民ニーズ等を把握し、今後の市政・まちづくりに活用することを目的としています。

また、調布市は基本計画と連動させ、「調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を整理しており、国のまち・ひと・しごと創生基本方針を踏まえ、調布市における地方創生の取組を示しています。

総合戦略においても、施策の効果を検証するため、成果指標を設けており、本調査により数値を把握することとしています。

2 本報告書の特徴

「まちづくり指標」の現状値を把握

基本計画の分野別計画では、全30施策、98項目のまちづくり指標を設定しています。そのうち、本調査により把握するものは19施策32指標となっています。

また、5つの重点プロジェクトの到達点として、15指標を設定しており、うち12指標を本調査により把握しています。

これらの指標について令和6年度における現状値を把握するとともに、経年変化の比較を、表やグラフを用いて、分かりやすく記載しています。

満足度と優先度の画面から分析

効率的・効率的に行財政運営を進めるため、市民が普段のくらしの中で感じている、市政全般に対する満足度と合わせて、今後において解決、改善、向上に向け取り組むべきと思う施策の優先度を把握することにより、今後、重点的に力を入れて改善すべき分野を分析しています。

総合戦略に位置付けた「基本目標における数値目標」及び「重要業績評価指標(KPI※)」の現状値を把握

総合戦略では、施策の効果を客観的に検証するため、基本目標ごとに数値目標を、また、施策ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定しています。

総合戦略におけるKPIは、基本計画で設定しているまちづくり指標と連動しているため、本調査では、KPI全98指標のうち、32指標の現状値を把握します。

※重要業績評価指標(KPI)…Key Performance Indicatorの略。各施策の効果を客観的に検証するため、施策ごとに設定する成果指標をいう。

【図表 基本構想・基本計画・総合戦略の計画期間】

年度 (西暦)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
基本構想	基本構想							
基本計画	前期基本計画				後期基本計画			
総合戦略	総合戦略							
市長任期								

3 調査の内容（設問の構成）

調査の設問は、「あなたご自身のこと」、「まちの魅力と今後の定住意向」、「市政全般（くらし）」、「日ごろの意識や行動」、「公共施設」の5区分で構成されており、具体的な設問内容は以下のとおりです。

【図表 設問の構成】

設 問		基本計画 まちづくり 指標 (R5～R8)	報告書 掲載頁	
問	内 容			
回答者の属性等				
1	性別		9	
2	年齢（令和 6 年 10 月 1 日現在）		9	
3	家族構成		9	
4	同居する家族		9	
5	職業		10	
5-1	通勤（就業）・通学先		10	
6	普段閲覧・活用しているSNS		10	
7	居住する住居形態		10	
8	現在の居住地域		11	
9	居住年数		11	
10	以前の居住地域		11	
10-1	調布市に住んだきっかけ		12	
10-2	家族構成や家族の状況が変わった理由		12	
まちの魅力と今後の定住意向				
11	あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。		26	
12	あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。		27	
12-1	あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思えますか。		28	
12-2	「事情が許せば転出したい」「転出するつもりでいる」と思う理由		30	
市政全般（くらし）				
13	次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。		31	
	基本目標1	地震への災害対策	○	36
		風水害などへの災害対策	○	
		火災などへの消防対策		
		防犯対策		
	基本目標2	子育て支援サービス	○	37
		ひとり親家庭への生活・経済面の支援		
		小・中学校の教育	○	
		青少年の非行防止や健全育成対策		
	基本目標3	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	○	39
		高齢者の福祉	○	
		障害者の福祉	○	
		労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組		
		健康診断などの保健サービス		
		医療体制の充実		
		共生社会の充実・パラハートちょうふの取組		

第1章 調査の目的と概要

設 問			基本計画 まちづくり 指標 (R5～R8)	報告書 掲載頁
問	内 容			
基本目標4	図書館		○	40
	たづくりを中心とした生涯学習			
	スポーツ振興			
	公民館		○	
基本目標5	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援			41
	人権に関する啓発・相談			
	女性の社会参加・参画			
	多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組			
	平和・国際交流の取組			
基本目標6	日常の買い物の便利さ		○	43
	市内工業・商業などの活力			
	市内中小企業に対する支援			
	深大寺などの地域資源を生かした観光振興			
	調布花火			
	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組		○	
	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動			
	歴史・文化財の保存や継承			
基本目標7	街並み・景観			45
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい			
	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）			
	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）			
	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）			
基本目標8	緑の保全・創出や自然環境の保護		○	47
	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組			
	公園や遊び場			
	ごみ処理やリサイクル			
	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）		○	
行革プラン2023	市民参加と協働の取組			48
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信			
	ホームページの見やすさ			
	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組			
	窓口・電話における職員の対応			
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組			
	行政サービスのデジタル化の取組			
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組			
	行政評価の取組			
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など			
13-1	あなたは、問13の取組項目の中で、今後、市がもっと力を入れるべきだと思う取組はどれですか。			51
日ごろの意識や行動				
14	あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。		○	53
14-1	「まだ取り組んでいないし、取り組む予定もない」の主な理由をお聞かせください。			57

第1章 調査の目的と概要

設 問			基本計画 まちづくり 指標 (R5～R8)	報告書 掲載頁
問	内 容			
15	あなたは台風や地震等の災害時にどのように情報を得ていますか。		○	58
16	あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせる場所だと感じていますか。			58
17	あなたは（ご家族を含む）、特殊詐欺被害等防止のためにどのような対策をしていますか。		○	60
18	あなたは、消費者トラブルに関する相談を、市役所3階の消費生活センターで受け付けていることを知っていますか。			61
18-1	消費者トラブルにあった場合にはどこに相談していますか。			61
19	あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。			62
20	あなたは、地域における交流の場（「ひだまりサロン」など）についてどのように感じますか。			67
21	あなたは、「パラハート月間」を知っていますか。			67
22	あなたは、近年の物価高騰により、経済的に困った経験がありますか。			68
23	あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。		○	69
24	あなたは、定期的に歯科検診・がん検診を受けていますか。		○	70
25	あなたは普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ、葉巻）を吸いますか。			72
26	あなたは、調布市受動喫煙防止条例（平成31年3月公布、令和元年7月施行）を知っていますか。			72
27	あなたは、この1年間に、生涯学習に取り組みましたか。		○	73
28	あなたは、生涯学習に関する情報を何から入手していますか。			74
29	あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくり、地域活動など自分以外のために生かしていますか。		○	75
30	あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。		○	76
31	あなたは、地域のコミュニティ活動が行われていると実感する機会がありますか。		○	78
32	あなたは、「地区協議会」を知っていますか。			79
33	あなたは、この1年間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。		○	80
33-1	参加した団体、活動、場所。			81
34	あなたは、この1年間に次のイベントや施設、場所に行ったことがありますか。			84
35	あなたは、調布市が、名誉市民・水木しげる氏が50年以上暮らし、「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」など、数々の作品を生み出した「水木マンガの生まれた街」であることを知っていますか。		○	91
36	買い物や食事など、お店選びで重視していることは何ですか。			92
37	あなたは、普段の買い物で商店街を利用していますか。			94
38	あなたは、友人や知人に対して買い物・遊び、または観光を目的に訪れるまちとして、調布市をお薦めしたいと思いますか。			94
39	あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。			95
40	あなたは、市内に農地が必要だと思いますか。			96
41	あなたは、この1年間に、市内・市外を問わず、文化芸術（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら文化芸術活動を行いましたか。			97
41-1	文化芸術を鑑賞した、または文化芸術活動を行った場所。		○	98
42	あなたは、調布市を住みよいまちだと思いますか。		○	99
43	あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いますか。		○	100
43-1	優れた景観だと思う場所。			101
44	あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。		○	102
45	あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的なまちであると思いますか。		○	103

設 問		基本計画 まちづくり 指標 (R5～R8)	報告書 掲載頁
問	内 容		
46	あなたは、普段どの駅を最も利用しますか。		104
46-1	あなたはその駅（普段最も利用する駅）の周辺は利便性が高いと思いますか。	○	104
47	あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。	○	106
48	あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。	○	107
49	あなたは、市内でシェアサイクルを利用したことはありますか。		112
50	あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いますか。	○	113
51	あなたは、自転車使用時にヘルメットを着用していますか。		114
52	あなたの住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。	○	115
53	あなたの住居は、再生可能エネルギーを利用していますか。また、創エネルギー設備を設置していますか。		116
54	あなたは、たとえば、あなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家とならないための対策が必要だと思いますか。	○	117
54-1	あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思いますか。		118
55	あなたは、地球温暖化などの環境問題に対し、環境を守るためにどのような取組を行っていますか。	○	119
56	あなたは、この1年間に、身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがありますか。	○	120
56-1	それはどんな時ですか。		121
56-2	それは誰と話し合ったり、誰から聞いたりしましたか。		121
57	あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する次の相談窓口を知っていますか。	○	122
58	あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。		124
59	次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。		125
60	あなたは、多様な性に関する市の取組について知っていますか。		127
61	あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いますか。		128
62	あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いますか。		129
63	あなたは、市民参加の取組を行うとしたら、どのような手法なら参加できますか。また、より多くの市民の意見が行政に届くには、どのような参加手法をとればよいと思いますか。		130
64	あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法は何ですか。		132
65	市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。		136
66	あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。		136
67	調布市がスマートシティを目指すに当たって、ICT（情報通信技術）を活用してほしい分野や、日々の生活で不便さを感じている分野を教えてください。		137
公共施設			
68	あなたは、この1年間に、どのような目的でグリーンホールを利用しましたか。		139
69	現在のグリーンホールの「“質の高い文化芸術の鑑賞の場”であり、“市民の文化芸術の発表の場”である」というコンセプトについて、どう思いますか。		140
70	グリーンホールの整備に当たり、特に重要だと思う項目は何ですか。		140

4 調査方法及び調査期間

調査対象者

市内在住の満16歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から、性別・年齢・地域別の人口構成に合わせて、3,000人を無作為に抽出しました。

配布と回収

郵送により調査票の配布及び回答された調査票の回収を行いました。

あわせて、インターネットを活用した回答の回収も行いました。

調査期間

令和6年11月8日（金）～令和6年12月5日（木）

5 回収の結果

調査票の配布数は3,000件、回収数は1,210件（うち、インターネット回答217件）、回収率は40.3%であり、各属性の回収結果は以下のとおりです。

【図表 属性ごとの回収結果】

属性		対象者数※1		配布数※2		回収数		回収率
		実数	構成比	実数(票)	構成比	実数(票)	構成比	(%)
		(人)	(%)	(a)	(%)	(b)	(%)	(b/a)
総数（16歳以上）		203,959	100.0	3,000	100.0	1,210	100.0	40.3
性別	男性	98,328	48.2	1,460	48.7	521	43.1	35.7
	女性	105,631	51.8	1,540	51.3	658	54.4	42.7
	回答しない	—	—	—	—	12	1.0	—
	（無効回答）	—	—	—	—	19	1.6	—
年齢	16～19歳	8,153	4.0	120	4.0	19	1.6	15.8
	20～29歳	27,395	13.4	401	13.4	61	5.0	15.2
	30～39歳	28,539	14.0	419	14.0	114	9.4	27.2
	40～49歳	35,480	17.4	528	17.6	197	16.3	37.3
	50～59歳	38,364	18.8	566	18.9	242	20.0	42.8
	60～69歳	24,866	12.2	368	12.3	207	17.1	56.3
	70歳以上	41,162	20.2	598	19.9	353	29.2	59.0
	（無効回答）	—	—	—	—	17	1.4	—
年齢 内訳	60～64歳	14,131	6.9	—	—	112	9.3	—
	65～69歳	10,735	5.3	—	—	95	7.9	—
	70～74歳	10,885	5.3	—	—	184	15.2	—
	75歳以上	30,277	14.8	—	—	169	14.0	—
地域	西部地域	36,369	17.8	530	17.7	223	18.4	42.1
	北部地域	43,303	21.2	637	21.2	237	19.6	37.2
	南部地域	73,097	35.8	1,084	36.1	432	35.7	39.9
	東部地域	51,190	25.1	749	25.0	285	23.6	38.1
	（無効回答）	—	—	—	—	33	2.7	—
地域 内訳	南部地域 （中心市街地）	32,940	16.2	—	—	187	15.5	—
	南部地域 （中心市街地以外）	40,157	19.7	—	—	245	20.2	—

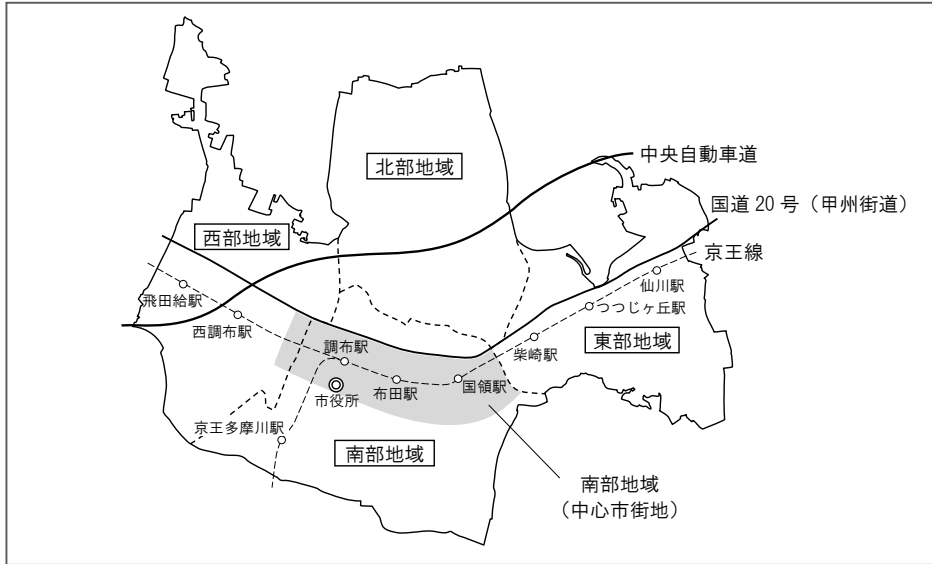
※1 令和6年10月1日現在の16歳以上の住民基本台帳登録者数（日本人のみ）

※2 宛名不明等の理由により返送された分を含む

6 地域区分

本調査における地域区分は、以下のとおりです。

【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】



1 西部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 東部地域
飛田給 1～3 丁目 上石原 1～3 丁目 富士見町 1～4 丁目 下石原 1～3 丁目 多摩川 1～2 丁目 野水 1～2 丁目 西町	佐須町 1～5 丁目 柴崎 1～2 丁目 調布ヶ丘 3～4 丁目 深大寺元町 1～5 丁目 深大寺北町 1～7 丁目 深大寺東町 1～8 丁目 深大寺南町 1～5 丁目	小島町 1～2 丁目 布田 1～4 丁目 国領町 1～5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5～6 丁目 国領町 6～7 丁目 染地 1～3 丁目 多摩川 3～7 丁目 調布ヶ丘 1～2 丁目 八雲台 1～2 丁目	菊野台 1～3 丁目 東つつじヶ丘 1～3 丁目 西つつじヶ丘 1～4 丁目 入間町 1～3 丁目 仙川町 1～3 丁目 緑ヶ丘 1～2 丁目 若葉町 1～3 丁目

<参考> 回答率の推移

調査年度	回答率	調査対象者	うち、インターネット回答率
平成 25 年度	50.8%	満 16 歳以上	—
平成 26 年度	49.1%	満 16 歳以上	—
平成 27 年度	48.2%	満 16 歳以上	—
平成 28 年度	48.7%	満 16 歳以上	—
平成 29 年度	45.0%	満 16 歳以上	13.2%
平成 30 年度	45.1%	満 16 歳以上	17.1%
令和元年度	44.7%	満 16 歳以上	—
令和 2 年度	45.0%	満 16 歳以上	—
令和 3 年度	36.1%	満 16 歳以上	7.1%
令和 4 年度	39.8%	満 16 歳以上	11.4%
令和 5 年度	40.4%	満 16 歳以上	15.3%
令和 6 年度	40.3%	満 16 歳以上	17.9%

7 報告書を見る際の注意事項

(1) 集計方法

○本調査では、回答全体 (n=1,210) をまとめて集計した「単純集計」のほか、過去の調査結果との「経年比較」や、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。なお、属性によっては、回答数が少ないため、本調査の結果が調布市における当該属性の傾向と異なる可能性があることをご理解のうえ、調査結果をご覧ください。

(2) 数値の端数処理方法

○回答比率は、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が 100% にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。
○上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

(3) その他

○本文及び図表において、設問選択肢の表記の長いものについては、煩雑さを避けるために、一部で表記を簡略化しています。
○一般的に、意識調査を実施する際に 1,100 件程度を対象とすれば母集団全体（本調査では市の人口に相当）の意見との誤差は±3%以内に収まるとされています。本調査の対象者数約 3,000 人（回収数 1,210 件）は調査結果を見るうえで、統計上有効な数値であると考えられます。

(参考) 意識調査の必要サンプル数の計算方法

一般的な統計理論では、「〇〇について賛成か、反対か」という設問の場合、必要サンプル数は以下の式で求められます。

必要なサンプル数=信頼水準の 2 乗×回答比率×(1-回答比率)÷目標誤差 (%) の 2 乗
(本調査の必要サンプル数: $(1.96)^2 \times 0.5 \times (1-0.5) \div (0.03)^2 \div 1,067$ (票))

信頼水準: 正しく判断できる確率のこと。一般的に国などが行っている標本調査では、95%に対応する「1.96」という値が用いられる。

回答比率: 賛成または反対の回答比率として設定するもの。通常は、調査対象者数が最大となる「0.5」を用いる。

目標誤差: 標本調査（サンプリング調査）と全数調査の結果の間に生じる誤差（標本誤差）の目標値。本調査では±3.0%以内とするので、「0.03」とする。

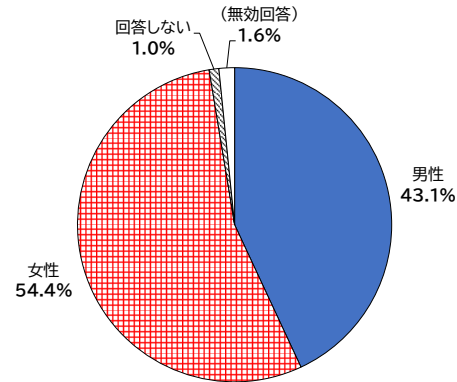
資料: 総務省統計局ホームページ

第 2 章 回答者の属性

(1) 性別

<全体 (n=1,210)>

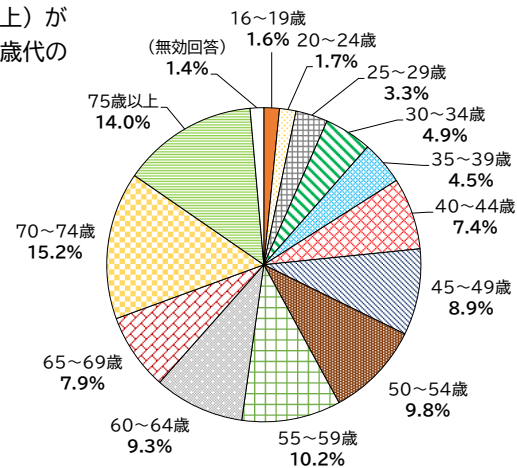
○回答者の性別は、男性が43.1%，女性が54.4%であり，女性が男性を11.3ポイント上回っています。



(2) 年齢

<全体 (n=1,210)>

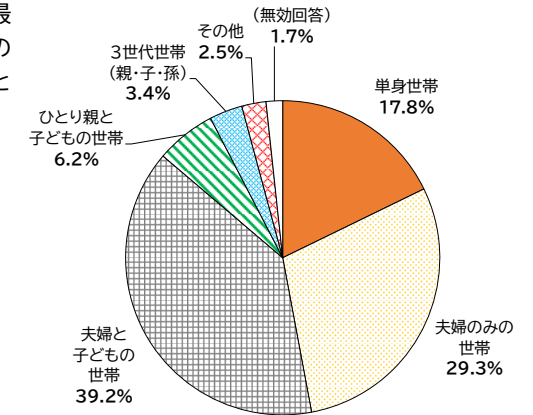
○70歳以上(70～74歳，75歳以上)が最も高く，次いで50歳代，60歳代の順となっています。



(3) 家族構成

<全体 (n=1,210)>

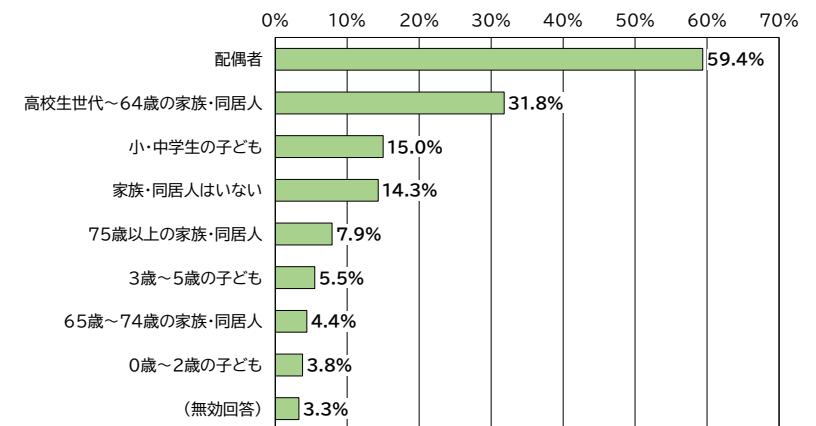
○「夫婦と子どもの世帯」が39.2%と最も高く，次いで「夫婦のみの世帯」の29.3%，「単身世帯」の17.8%の順となっています。



(4) 同居する家族

<全体 (n=1,210)>

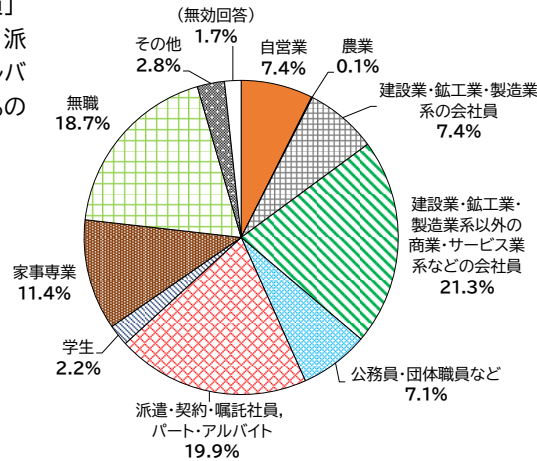
○「配偶者」が59.4%と最も高く，次いで「高校生世代～64歳の家族・同居人」の31.8%，「小・中学生の子ども」の15.0%の順となっています。



(5) 職業

<全体 (n=1,210) >

- 「商業・サービス業系などの会社員」が21.3%と最も高く、次いで「派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト」の19.9%、「無職」の18.7%の順となっています。

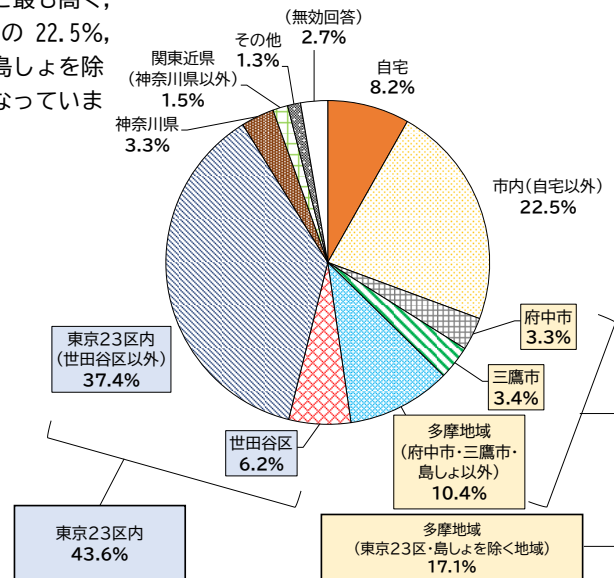


(5-1) 通勤（就業）・通学先

<全体 (n=792) >

(職業が「自営業」「農業」「建設業・鉱工業・製造業系の会社員」「建設業・鉱工業・製造業系以外の商業・サービス業系などの会社員」「公務員・団体職員など」「派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト」「学生」である回答者のみ)

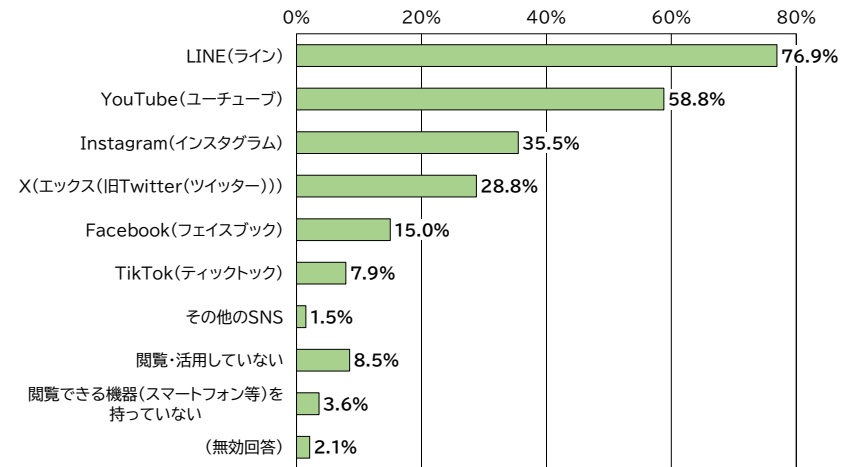
- 「東京23区内」が43.6%と最も高く、次いで「市内（自宅以外）」の22.5%、「多摩地域（東京23区・島しょを除く地域）」の17.1%の順となっています。



(6) 普段閲覧・活用している SNS

<全体 (n=1,210) >

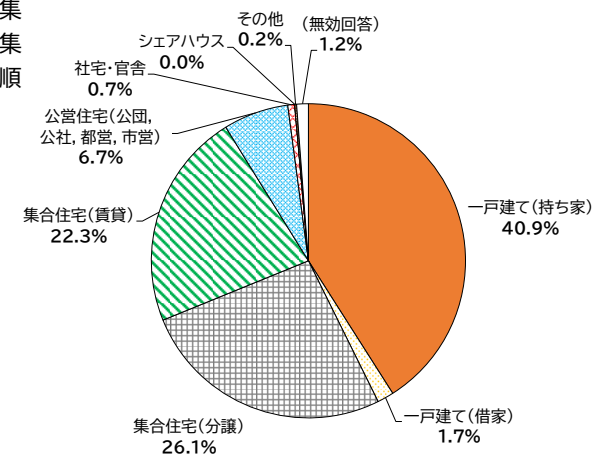
- 「LINE（ライン）」が76.9%と最も高く、次いで「YouTube（ユーチューブ）」の58.8%、「Instagram（インスタグラム）」の35.5%の順となっています。



(7) 居住する住居形態

<全体 (n=1,210) >

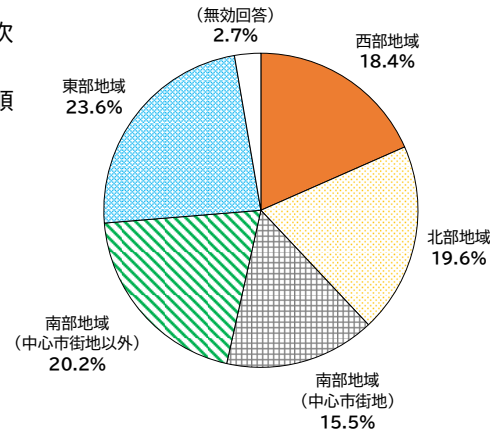
- 「一戸建て（持ち家）」が40.9%と最も高く、次いで「集合住宅（分譲）」の26.1%、「集合住宅（賃貸）」の22.3%の順となっています。



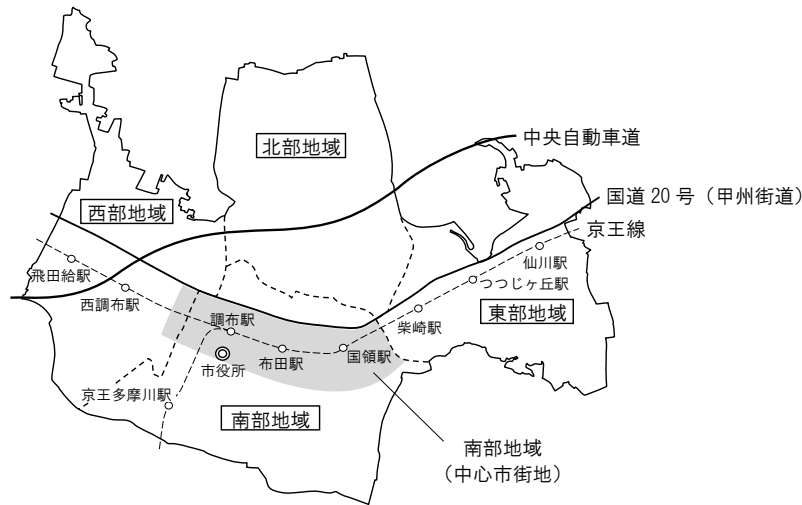
(8) 現在の居住地域

<全体 (n=1,210) >

- 「東部地域」が23.6%と最も高く、次いで「南部地域（中心市街地以外）」の20.2%、「北部地域」の19.6%の順となっています。



【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】

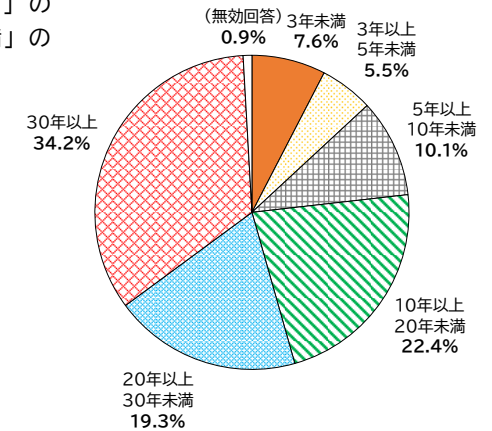


1 西部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 東部地域
飛田給 1～3 丁目 上石原 1～3 丁目 富士見町 1～4 丁目 下石原 1～3 丁目 多摩川 1～2 丁目 野水 1～2 丁目 西町	佐須町 1～5 丁目 柴崎 1～2 丁目 調布ヶ丘 3～4 丁目 深大寺元町 1～5 丁目 深大寺北町 1～7 丁目 深大寺東町 1～8 丁目 深大寺南町 1～5 丁目	小島町 1～2 丁目 布田 1～4 丁目 国領町 1～5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5～6 丁目 国領町 6～7 丁目 染地 1～3 丁目 多摩川 3～7 丁目 調布ヶ丘 1～2 丁目 八雲台 1～2 丁目	菊野台 1～3 丁目 東つつじヶ丘 1～3 丁目 西つつじヶ丘 1～4 丁目 入間町 1～3 丁目 仙川町 1～3 丁目 緑ヶ丘 1～2 丁目 若葉町 1～3 丁目

(9) 居住年数

<全体 (n=1,210) >

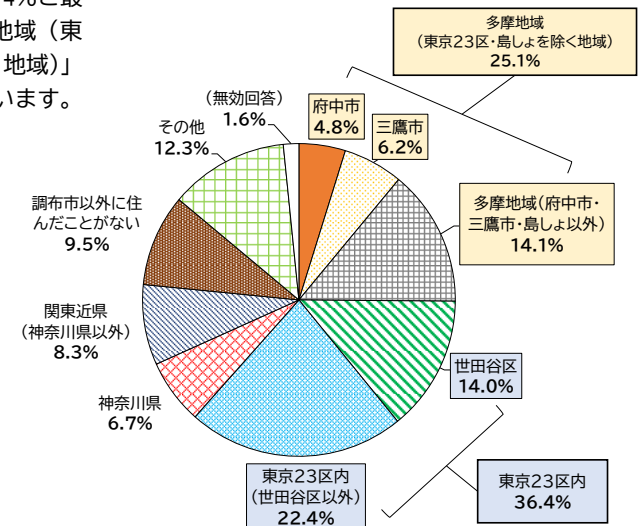
- 「30 年以上」が 34.2%と最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」の 22.4%、「20 年以上 30 年未満」の 19.3%の順となっています。



(10) 以前の居住地域

<全体 (n=1,210) >

- 「東京 23 区内」が 36.4%と最も高く、次いで「多摩地域（東京 23 区・島しょを除く地域）」の 25.1%の順となっています。

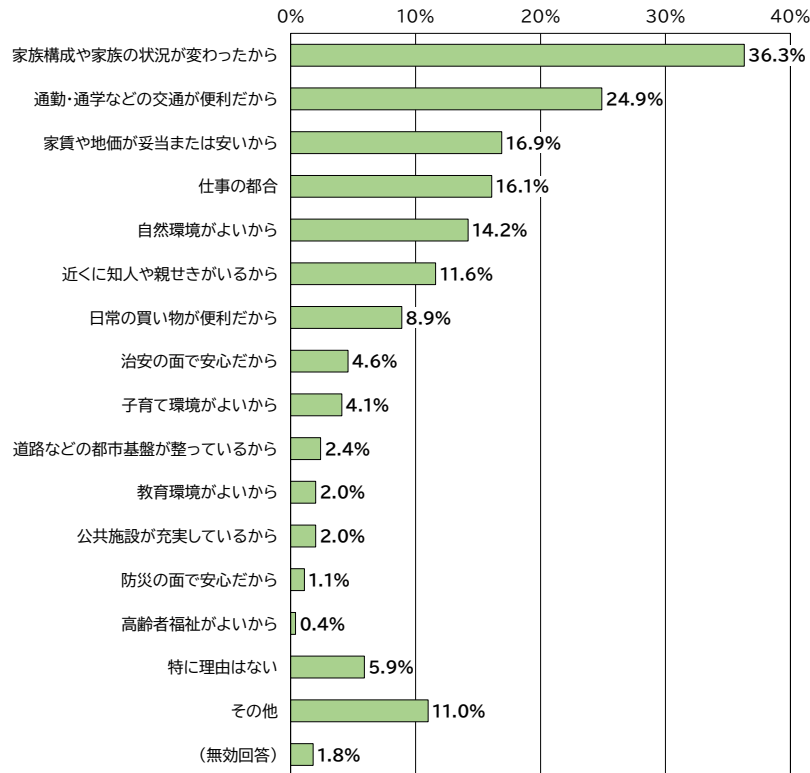


(10-1) 調布市に住んだきっかけ

<全体 (n=1,076)>

(以前の居住地域が「府中市」「三鷹市」「多摩地域(府中市・三鷹市・島しょ以外)」「世田谷区」「東京23区内(世田谷区以外)」「神奈川県」「関東近県(神奈川県以外)」「その他」である回答者のみ)

○「家族構成や家族の状況が変わったから」が36.3%と最も高く、次いで「通勤・通学などの交通が便利だから」の24.9%、「家賃や地価が妥当または安いから」の16.9%の順となっています。



<同居人別>

○「65歳～74歳の家族・同居人」「家族・同居人はいない」を除く全てにおいて、「家族構成や家族の状況が変わったから」が最も高くなっています。

選択肢	合計	配偶者	0歳～2歳の子ども	3歳～5歳の子ども	小・中学生の子ども	高校生世代～64歳の家族・同居人	65歳～74歳の家族・同居人	75歳以上の家族・同居人	家族・同居人はいない
全体	1,076	668	45	64	170	318	38	72	162
家族構成や家族の状況が変わったから	391	274	30	38	86	126	7	19	37
通勤・通学などの交通が便利だから	268	168	9	16	39	81	7	14	52
家賃や地価が妥当または安いから	182	122	8	12	31	58	3	8	32
仕事の都合	173	95	4	8	29	45	8	11	34
自然環境がよいから	153	105	5	8	22	44	5	8	19
近くに知人や親せきがいるから	125	91	7	13	31	31	4	6	13
日常の買い物便利だから	96	61	4	7	12	20	3	2	18
治安の面で安心だから	49	29	2	3	7	13	1	2	9
子育て環境がよいから	44	36	3	5	12	16	0	3	1
道路などの都市基盤が整っているから	26	16	1	2	7	7	0	1	2
教育環境がよいから	22	18	0	2	5	9	0	2	0
公共施設が充実しているから	21	11	0	2	3	6	1	1	3
防災の面で安心だから	12	9	0	1	2	4	1	0	0
高齢者福祉がよいから	4	2	0	0	0	1	0	1	0
特に理由はない	64	31	0	0	4	18	5	9	12
その他	118	64	1	2	12	41	8	11	15
(無効回答)	19	13	1	0	0	4	0	1	4

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

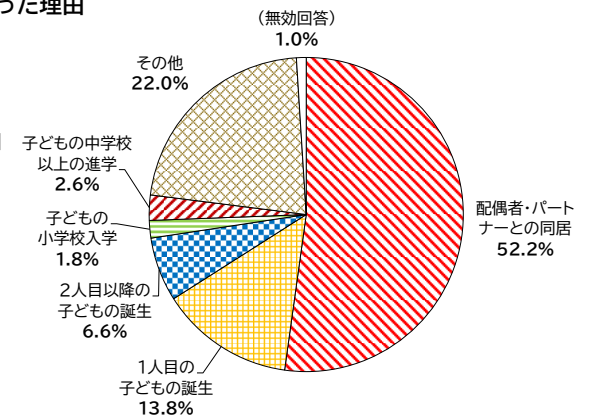
回答割合が2番目に高い:

(10-2) 家族構成や家族の状況が変わった理由

<全体 (n=391)>

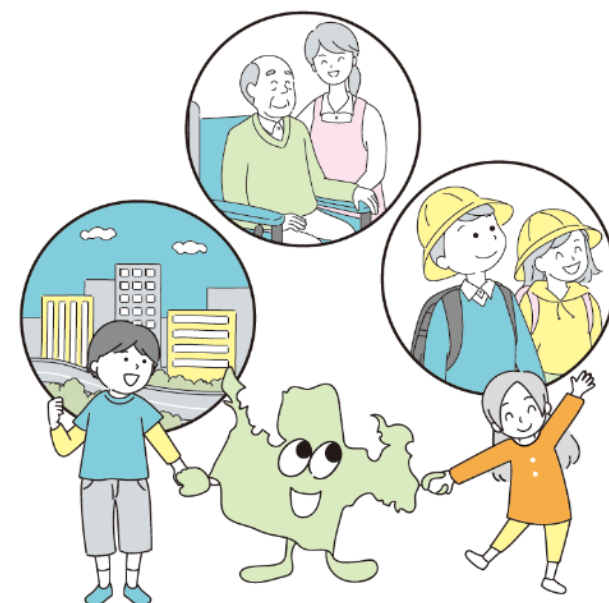
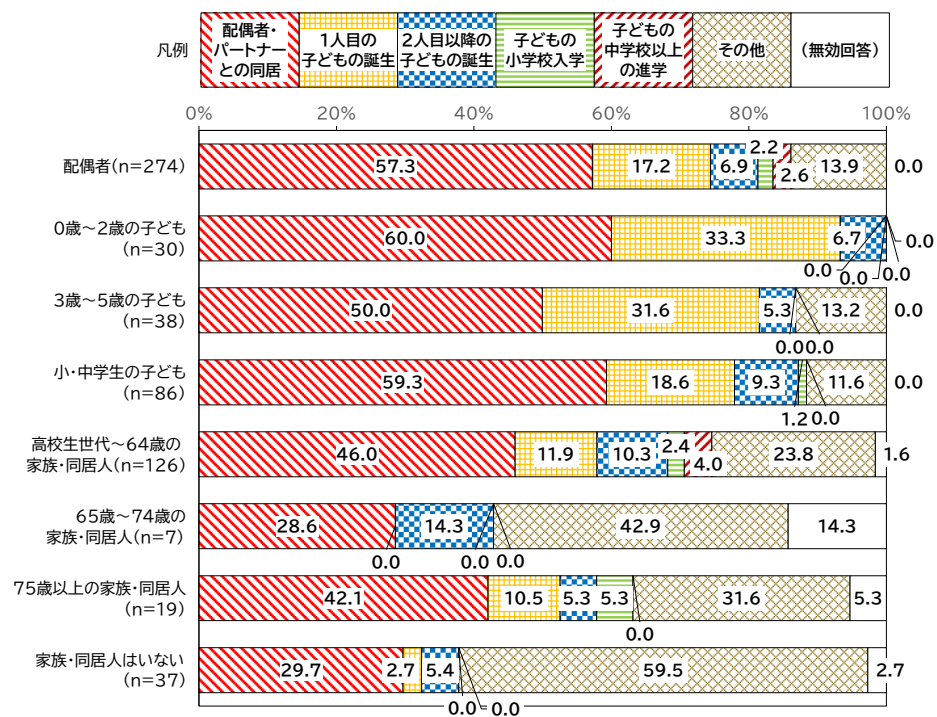
(「家族構成や家族の状況が変わったから」の回答者のみ)

○「配偶者・パートナーとの同居」が52.2%と最も高く、次いで「1人目の子どもの誕生」の13.8%、「2人目以降の子どもの誕生」の6.6%の順となっています。



<同居人別>

○「65歳～74歳の家族・同居人」，「家族・同居人はいない」を除く全てにおいて，「配偶者・パートナーとの同居」が4割を上回っています。



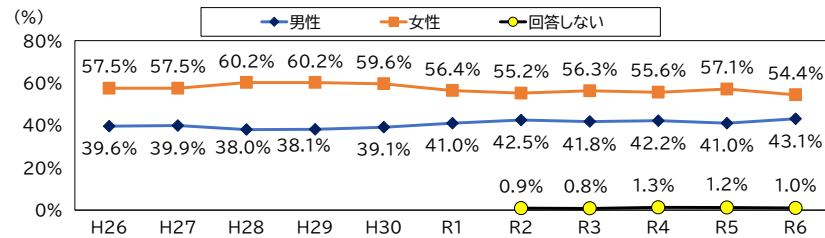
第 3 章 調査結果

1 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

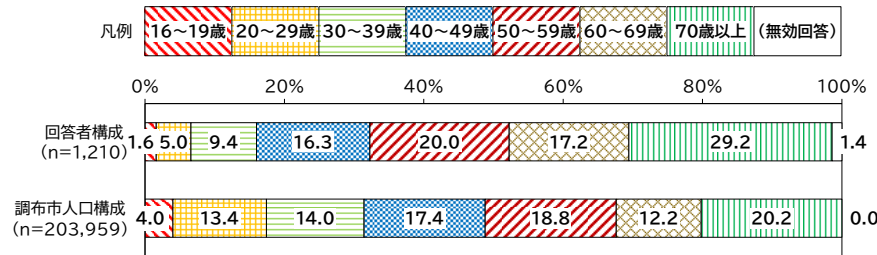
ア 性別

○回答者の性別構成比は、過去の傾向と同様、女性が男性を上回っています。



イ 年齢層別

○回答者の年齢層別構成比は、令和6年10月1日現在の16歳以上の調布市人口（日本人のみ）と比べて、40歳代までは低く、50歳代以上は高くなっています。



ウ その他

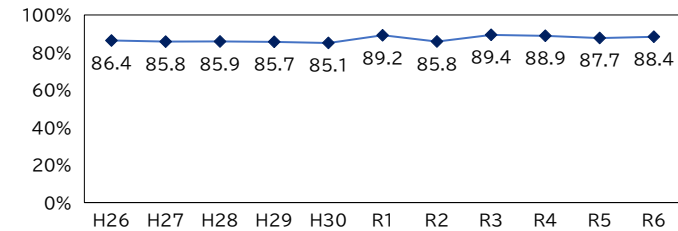
○回答者のその他の属性の特徴は以下のとおりです。

【図表 各属性において割合が高い上位3項目】

属性	割合が高い回答		
	第1位	第2位	第3位
職業	建設業・鉱工業・製造業系以外の商業・サービス業系などの会社員	派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト	無職
	21.3%	19.9%	18.7%
通勤(就業)・通学先	東京23区内	市内(自宅以外)	多摩地域(東京23区・島しょを除く地域)
	43.6%	22.5%	17.1%
住居形態	一戸建て(持ち家)	集合住宅(分譲)	集合住宅(賃貸)
	40.9%	26.1%	22.3%
居住年数	30年以上	10年以上20年未満	20年以上30年未満
	34.2%	22.4%	19.3%
前居住地	東京23区内	多摩地域(東京23区・島しょを除く地域)	その他(東京都島しょ以外の関東を除く)
	36.4%	25.1%	12.3%

(2) 今後の定住意向

○調布市に住み続けたい人（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）は88.4%であり、令和5年度より0.7ポイント増加しています。



(3) 市政全般に対する満足度・優先度

ア 現在の満足度

＜満足度・不満足度が高い項目＞

○市民が普段のくらしの中で感じている市政全般に関する52項目に対する満足度*（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）を見ると、昨年度は第7位であった「映画のまち調布（映画・映像を「つくる・楽しむ・学ぶ」まち）」を進める取組が第3位となっています。

○一方、不満足度（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）において、第1位は昨年度に引き続き「道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）」であり、第3位までは昨年度と同じ項目及び順位となっていますが、昨年度は第15位であった「防犯対策」が第4位となっています。

【図表 満足度及び不満足度が高い上位5項目】

	順位	項目	割合	令和5年度 順位/割合(%)
満足	1	調布花火	83.8%	1位/83.1
	2	日常の買い物の便利さ	82.4%	3位/81.9
	3	「映画のまち調布（映画・映像を「つくる・楽しむ・学ぶ」まち）」を進める取組	80.6%	7位/79.5
	4	図書館	80.4%	2位/82.2
	5	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	79.7%	4位/80.4
不満	1	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	43.8%	1位/42.0
	2	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）	38.7%	2位/38.5
	3	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）	35.1%	3位/31.3
	4	防犯対策	31.5%	15位/21.7
	5	公園や遊び場	29.7%	4位/28.3

※満足度は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の4段階で評価

<満足度の経年比較>

○全項目の満足度の平均値について経年推移を見ると、令和6年度（70.6%）は令和5年度（70.5%）より0.1%増加しています。また、直近5箇年（令和元年度～令和5年度）の平均値を0.3ポイント上回っています。

○満足度が、直近5箇年（令和元年度～令和5年度）の平均値と比較して、増加したのは35項目で、4ポイント以上はありませんでした。また、減少したのは16項目で、「防犯対策」が8.7ポイント減少、それ以外の項目で3ポイント以上はありませんでした。なお、平均値と同じ値が1項目ありました。

【図表 全項目の満足度の平均値】

R1	R2	R3	R4	R5	過去平均値※	R6
69.0%	71.3%	70.0%	70.5%	70.5%	70.3%	70.6%

※一部、令和2年度から調査を開始した項目を含む

【図表 満足度の経年推移】

	項目	R1	R2	R3	R4	R5	過去平均値※1	R6	増減※2 (ポイント)
基本目標1	地震への災害対策	65.3%	69.4%	67.6%	68.3%	72.2%	68.6%	70.2%	1.6
	風水害などへの災害対策	65.3%	67.6%	67.6%	68.9%	70.8%	67.6%	68.8%	1.2
	火災などへの消防対策	79.2%	75.6%	74.7%	75.2%	78.7%	76.7%	76.0%	▲0.7
	防犯対策	70.7%	69.2%	70.2%	70.2%	70.8%	70.2%	61.5%	▲8.7
	子育て支援サービス	61.2%	64.7%	68.3%	69.0%	65.2%	65.7%	66.9%	1.2
基本目標2	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	58.4%	64.6%	64.0%	65.9%	64.7%	63.5%	66.0%	2.5
	小・中学校の教育	62.0%	63.9%	67.7%	68.8%	65.7%	65.6%	66.8%	1.2
	青少年の非行防止や健全育成対策	64.0%	65.4%	67.3%	68.4%	66.9%	66.4%	66.4%	0.0
	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	54.5%	58.0%	60.5%	62.7%	60.7%	59.3%	61.1%	1.8
	高齢者の福祉	64.2%	70.7%	69.5%	70.2%	68.6%	68.6%	69.1%	0.5
基本目標3	障害者の福祉	64.5%	69.5%	68.0%	70.1%	69.6%	68.3%	70.5%	2.2
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	62.3%	66.3%	66.3%	67.1%	66.9%	65.8%	66.7%	0.9
	健康診断などの保健サービス	73.2%	75.3%	74.8%	77.6%	77.4%	75.7%	78.4%	2.7
	医療体制の充実	72.6%	73.0%	70.6%	71.3%	71.5%	71.8%	71.0%	▲0.8
	共生社会の充実・バラハートちようふの取組	—	—	69.4%	71.1%	70.0%	70.2%	69.4%	▲0.8
基本目標4	図書館	77.9%	80.4%	79.6%	80.7%	82.2%	80.2%	80.4%	0.2
	たづくりを中心とした生涯学習	77.3%	77.6%	78.0%	77.4%	79.3%	77.9%	78.9%	1.0
	スポーツ振興	75.9%	77.2%	76.3%	77.8%	78.7%	77.2%	77.7%	0.5
	公民館	74.8%	75.4%	74.3%	74.4%	74.0%	74.6%	74.0%	▲0.6
	地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	67.7%	71.3%	69.5%	68.8%	71.6%	69.8%	72.0%	2.2
基本目標5	人権に関する啓発・相談	71.9%	73.8%	72.5%	73.8%	70.4%	72.5%	72.1%	▲0.4
	女性の社会参加・参画	67.9%	70.3%	68.4%	71.4%	68.3%	69.3%	69.2%	▲0.1
	多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組	—	—	67.4%	68.2%	66.7%	67.4%	67.5%	0.1
	平和・国際交流の取組	72.5%	75.5%	73.5%	76.0%	68.8%	73.3%	71.5%	▲1.8
	日常の買い物の便利さ	82.0%	83.6%	83.3%	82.2%	81.9%	82.6%	82.4%	▲0.2
基本目標6	市内工業・商業などの活力	63.5%	67.6%	66.6%	67.7%	67.8%	66.6%	68.3%	1.7
	市内中小企業に対する支援	61.6%	66.3%	67.8%	66.9%	66.5%	65.8%	67.0%	1.2
	深大寺などの地域資源を生かした観光振興	80.8%	81.4%	80.9%	81.3%	79.1%	80.7%	79.3%	▲1.4
	調布花火	83.0%	81.5%	79.5%	73.7%	83.1%	80.2%	83.8%	3.6
	「映画のまち調布(映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち)」を進める取組	75.6%	78.2%	78.6%	76.6%	79.5%	77.7%	80.6%	2.9
基本目標7	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動	78.3%	79.4%	79.4%	77.9%	80.4%	79.1%	79.7%	0.6
	歴史・文化財の保存や継承	77.9%	80.4%	79.1%	79.5%	79.9%	79.4%	79.6%	0.2
	街並み・景観	67.7%	74.7%	69.2%	69.6%	70.9%	70.4%	72.3%	1.9
	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい	69.1%	75.0%	71.5%	70.3%	70.2%	71.2%	74.3%	3.1
	自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備)	53.8%	62.8%	58.4%	57.9%	61.5%	58.9%	59.2%	0.3
基本目標8	道路の整備(新設、拡幅を伴う改良)	—	53.5%	51.9%	51.0%	52.2%	51.7%	51.2%	▲0.5
	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修、清掃、点検等)	49.7%	58.6%	54.6%	56.3%	54.9%	54.8%	55.8%	1.0
	緑の保全・創出や自然環境の保護	78.1%	81.5%	76.1%	77.7%	75.4%	77.8%	76.4%	▲1.4
	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	—	—	65.0%	63.0%	64.8%	64.3%	64.5%	0.2
	公園や遊び場	65.2%	70.6%	66.8%	68.1%	64.3%	67.0%	64.1%	▲2.9
行革プラン2023	ごみ処理やリサイクル	82.4%	82.8%	81.6%	80.1%	80.4%	81.5%	78.6%	▲2.9
	生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	80.5%	79.5%	78.8%	76.8%	74.7%	78.1%	75.4%	▲2.7
	市民参加と協働の取組	69.6%	72.2%	70.5%	70.8%	72.4%	71.1%	72.7%	1.6
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	70.3%	71.7%	71.6%	72.0%	71.9%	71.5%	73.1%	1.6
	ホームページの見やすさ	62.8%	63.7%	60.8%	61.8%	61.4%	62.1%	65.6%	3.5
	民間活力の活用や推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	64.7%	68.4%	68.8%	68.6%	69.2%	67.9%	70.0%	2.1
	窓口・電話における職員の対応	74.8%	76.5%	77.0%	79.6%	79.5%	77.5%	79.7%	2.2
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	60.9%	64.8%	64.1%	67.2%	69.0%	65.2%	68.6%	3.4
	行政サービスのデジタル化の取組	—	—	60.5%	61.6%	63.1%	61.7%	63.1%	1.4
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	63.1%	67.8%	64.6%	67.1%	65.7%	65.7%	65.5%	▲0.2
	行政評価の取組	61.5%	66.1%	63.4%	65.5%	63.6%	64.0%	64.9%	0.9
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	58.0%	63.1%	61.1%	63.3%	62.4%	61.6%	63.1%	1.5

※1 令和元年度～令和5年度の平均値

※2 令和6年度の実績値から過去5年間の平均値を引いた値

イ 今後の優先度

＜優先度が高い項目＞

○市民が普段のくらしの中で感じている市政全般に関する52項目に対する優先度※1（「最優先かつ重点的に取り組むべきである」＋「優先して取り組むべきである」）を見ると、第1位は昨年度第3位だった「防犯対策」となっています。次いで、第2位は「地震への災害対策」、第3位は「風水害などへの災害対策」となっています。

【図表 優先度が高い上位5項目／他の取組を優先する上位5項目】

	順位	項目	割合	令和5年度 順位/割合(%)
優先※2	1	防犯対策	65.9%	3位/51.4
	2	地震への災害対策	62.5%	1位/54.9
	3	風水害などへの災害対策	59.7%	2位/52.5
	4	道路の整備(新設, 拡幅を伴う改良)	53.7%	5位/51.1
	5	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修, 清掃, 点検等)	53.4%	4位/51.2
他を優先※3	1	公民館	66.7%	2位/66.4
	2	スポーツ振興	66.5%	4位/65.5
	3	調布花火	65.6%	3位/65.9
	4	たづくりを中心とした生涯学習	65.6%	1位/67.0
	5	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動	64.5%	6位/63.9

※1 優先度は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」、「優先して取り組むべきである」、「現状の取組を維持すればよい」、「他の取組を優先すべきである」の4段階で評価

※2 「優先」は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」、「優先して取り組むべきである」で評価

※3 「他を優先」は、「現状の取組を維持すればよい」、「他の取組を優先すべきである」で評価

(4) まちづくり指標

○基本計画の重点プロジェクトにおけるまちづくり指標に該当している12指標13項目のうち、令和6年度時点で目標値を達成している項目は2項目となりました。

○基本計画の施策におけるまちづくり指標に該当している32指標33項目のうち、令和6年度時点で目標値を達成している項目は3項目となりました。

○現状値と目標値の差が10ポイント以上ある指標は、「緑や自然環境の保全に満足している市民の割合」、「ローリングストックの考えによる備蓄食料等を実践している市民の割合」、「1年間に生涯学習をした人の割合」、「市民同士のつながりによる地域活動が行われていると実感している市民の割合」、「地域活動に参加している市民の割合」、「身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがある市民の割合」、「1年間で文化芸術を鑑賞、または自ら文化芸術活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合」、「バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合」の9指標です。

○現状値と目標値の差が5ポイント以内の指標は、「調布市の地震、風水害への災害対策に満足している市民の割合（地震）」、「特殊詐欺被害防止のため何らかの対策をしている市民の割合」、「障害者の福祉に満足している市民の割合」、「定期的にかん検診を受けている人の割合」、「災害時の情報を入手することができる市民の割合」、「社会教育施設の満足度（図書館）」、「運動を週に1回以上行っている市民の割合」、「日常の買い物が便利と感じている市民の割合」、「数々の水木作品が調布市で生み出されたことを認知している市民の割合」、「住みやすいと感じている市民の割合」、「深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合」、「自宅等から目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」、「普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合」、「市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合」、「環境に配慮した取組を行っている市民の割合」の15指標です。

【図表 まちづくり指標の現状値と目標値の差（重点プロジェクト）】

	指標	調査結果		目標値 (R8年度)	現状値と 目標値 の差		
		R4年度 (基準値)	R6年度 (現状値)				
重点 プロジェクト	重点1	調布市の地震、風水害への災害対策に満足している市民の割合	地震	67.6%★	70.2%	75.0%	▲4.8
			風水害	67.6%★	68.8%	75.0%	▲6.2
		特殊詐欺被害防止のため何らかの対策をしている市民の割合		81.9%☆	85.6%	90.0%	▲4.4
	重点2	子育て支援サービスに満足している市民の割合		68.3%★	66.9%	75.0%	▲8.1
		小・中学校の教育に満足している市民の割合		67.7%★	66.8%	75.0%	▲8.2
		社会生活を営むうえで困難を抱える子ども・若者への支援に満足している市民の割合		41.0%☆	61.1%	53.0%	8.1
	重点3	高齢者の福祉に満足している市民の割合		69.5%★	69.1%	75.5%	▲6.4
		障害者の福祉に満足している市民の割合		68.0%★	70.5%	75.5%	▲5.0
		定期的にかん検診を受けている人の割合		47.1%	51.6%	55.0%	▲3.4
	重点4	中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合		68.8%	72.2%	80.0%	▲7.8
		「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合		76.6%	80.6%	80.0%	0.6
	重点5	緑や自然環境の保全に満足している市民の割合		76.1%★	76.4%	90.0%	▲13.6
		市内に優れた景観があると感じている市民の割合		81.9%	83.6%	90.0%	▲6.4

※基準値のうち、★については、令和3年度の実績値

※基準値のうち、☆については「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（調査期間：R4.12.12～R4.12.28）」による把握値

※目標値を達成した項目は、網掛け表示にしています。

【図表 まちづくり指標の現状値と目標値の差（基本目標）】

基本目標		指標	調査結果		目標値 (R8年度)	現状値 と 目標値 の差	
			R4年度 (基準値)	R6年度 (現状値)			
基本目標1	施策01	災害時の情報を入手することができる市民の割合	87.1%	88.8%	92.0%	▲3.2	
		ローリングストックの考えによる備蓄食料等を実践している市民の割合	63.7%	58.1%	70.0%	▲11.9	
	施策02	特殊詐欺被害防止のため何らかの対策をしている市民の割合	81.9% [☆]	85.6%	90.0%	▲4.4	
基本目標2		子育て支援サービスに満足している市民の割合	68.3% [★]	66.9%	75.0%	▲8.1	
	施策03	すこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合	49.8% [★]	42.8%	60.0%	▲17.2	
	施策05	社会生活を営むうえで困難を抱える子ども・若者への支援に満足している市民の割合	41.0% [☆]	61.1%	53.0%	8.1	
基本目標3	施策11	健康だと感じている市民の割合	69.8%	72.4%	80.0%	▲7.6	
基本目標4		定期的にかん検診を受けている人の割合	47.1%	51.6%	55.0%	▲3.4	
	施策12	1年間に生涯学習をした人の割合	37.5%	28.6%	40.0%	▲11.4	
		社会教育施設の満足度	図書館	80.7%	80.4%	85.0%	▲4.6
			公民館	74.4%	74.0%	80.0%	▲6.0
			学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	13.8%	15.5%	25.0%	▲9.5
	施策13	運動を週に1回以上行っている市民の割合	69.0%	71.4%	73.0%	▲1.6	
基本目標5	施策14	市民同士のつながりによる地域活動が行われていると実感している市民の割合	33.0% [☆]	25.2%	50.0%	▲24.8	
		地域活動に参加している市民の割合	15.3%	18.4%	33.0%	▲14.6	
	施策16	身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがある市民の割合	76.5% [☆]	61.4%	90.0%	▲28.6	
基本目標6	施策17	日常の買い物に便利と感じている市民の割合	82.2%	82.4%	85.0%	▲2.6	
	施策19	「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	76.6%	80.6%	80.0%	0.6	
		数々の水木作品が調布市で生み出されたことを認知している市民の割合	96.5% [☆]	96.0%	98.5%	▲2.5	
		施策20	1年間で文化芸術を鑑賞、または自ら文化芸術活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合	42.5%	46.8%	65.0%	▲18.2
基本目標7	施策22	住みやすいと感じている市民の割合	93.8%	94.4%	95.0%	▲0.6	
		市内に優れた景観があると感じている市民の割合	81.9%	83.6%	90.0%	▲6.4	
		中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	68.8%	72.2%	80.0%	▲7.8	
	施策23	駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	70.3%	70.2%	80.0%	▲9.8	
		深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	89.4%	89.4%	90.0%	▲0.6	
	施策24	バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合	52.7%	49.5%	65.0%	▲15.5	
		空き家等とならないために予防策が必要であると感じている市民の割合	72.7%	72.8%	80.0%	▲7.2	
		施策25	自宅等から目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合	60.9%	65.7%	70.0%	▲4.3
	駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合 (つつじヶ丘駅・柴崎駅利用者)		38.1%	41.2%	40.0%	1.2	
	普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合		63.8%(徒歩)	65.1%(徒歩)	70.0%(徒歩)	▲4.9	
施策26	市内の公共交通機関(電車・バス)を利用しやすいと感じている市民の割合		78.5%	79.0%	80.0%	▲1.0	
基本目標8	施策27	環境に配慮した取組を行っている市民の割合	98.3% [☆]	97.3%	99.0%	▲1.7	
	施策30	騒音や悪臭等の公害対策について不満を感じる市民の割合	14.4%	17.7%	12.0%	5.7	

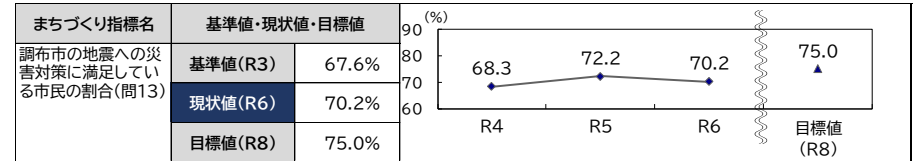
※基準値のうち、★については、令和3年度の実績値

※基準値のうち、☆については「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（調査期間：R4. 12. 12～R4. 12. 28）」による把握値

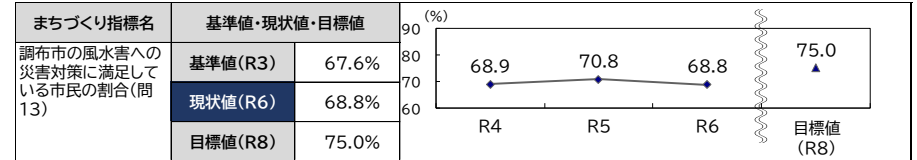
※目標値を達成した項目は、網掛け表示にしています。

○令和4年度（基準値）から令和6年度にかけて5ポイント以上減少した指標は、「ローリングストックの考えによる備蓄食料等を実践している市民の割合」、「すこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合」、「1年間に生涯学習をした人の割合」、「市民同士のつながりによる地域活動が行われていると実感している市民の割合」、「身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたことがある市民の割合」の5指標です。

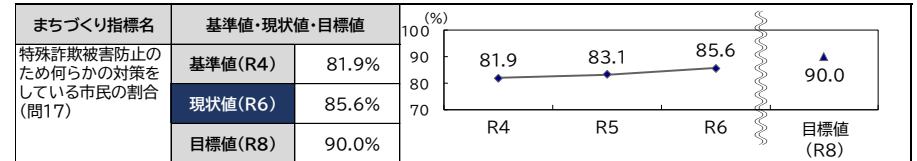
重点プロジェクト1 安全・安心に暮らせるまち



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



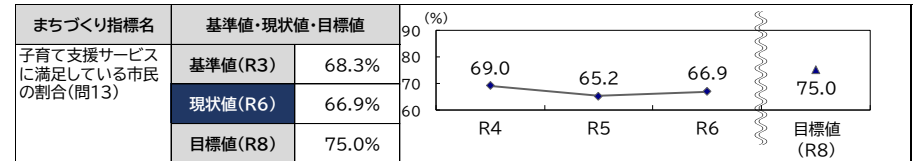
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



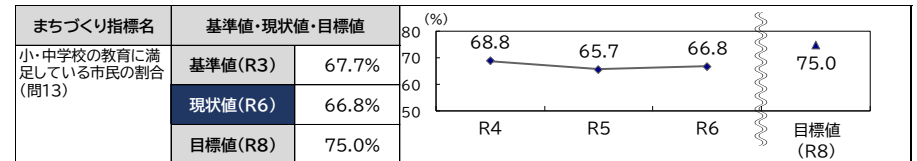
※指標の算出方法：行っている対策を1つ以上選択した人の割合

※基準値（R4）については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（R4. 12. 12～12. 28）」による把握値

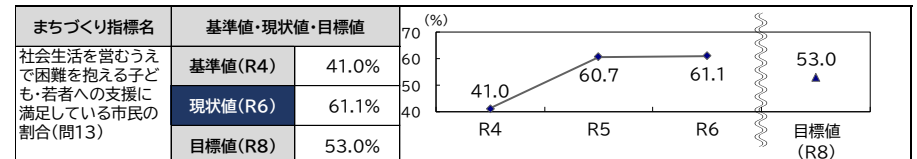
重点プロジェクト2 調布の宝である子どもたちを応援するまち



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



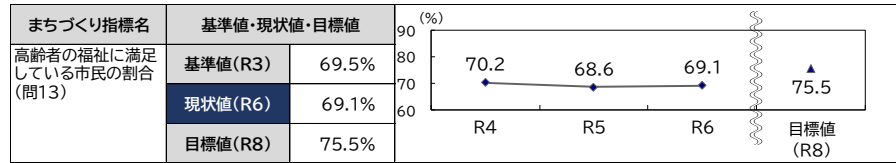
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



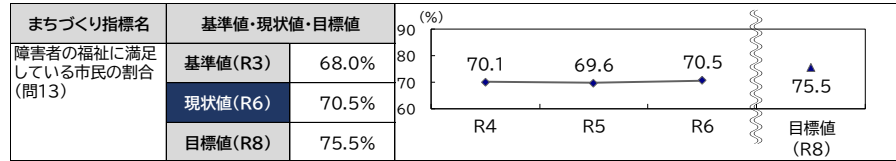
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

※基準値（R4）については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（R4. 12. 12～12. 28）」による把握値

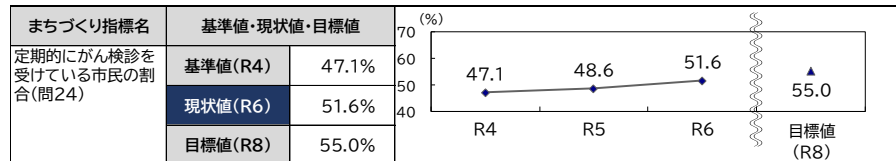
重点プロジェクト3 誰もが自分らしく安心して住み続けられるまち



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

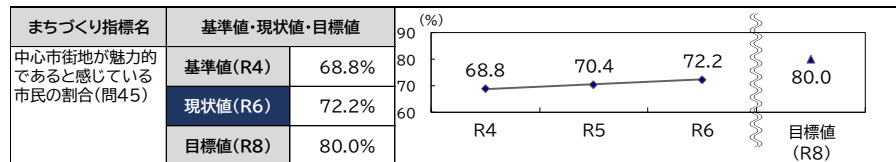


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

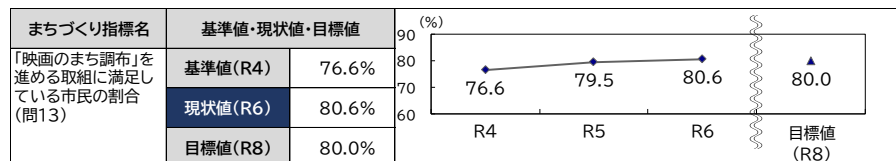


※指標の算出方法：「受けている」と回答した人の割合

重点プロジェクト4 にぎわいと交流のある活気に満ちたまち

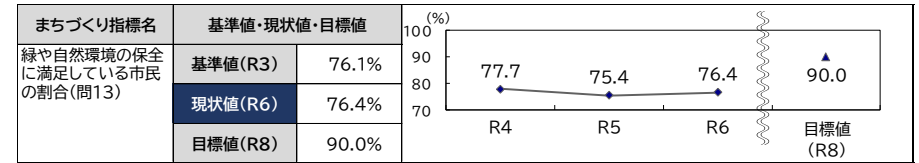


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

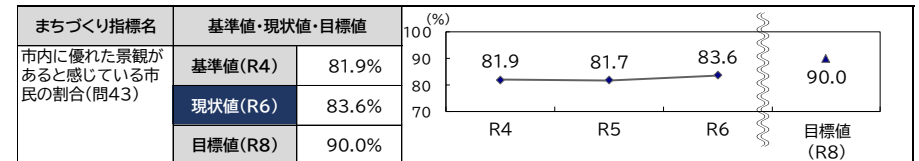


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

重点プロジェクト5 人と自然がおりなすうるおいあるまち

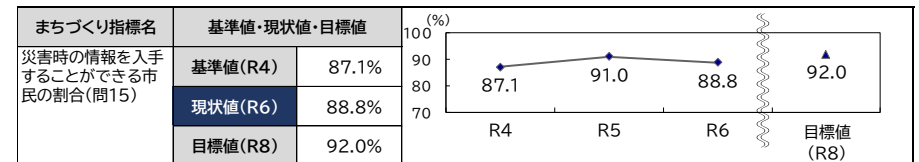


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

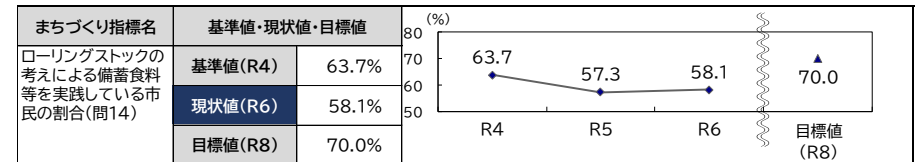


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策01 災害に強いまちづくり

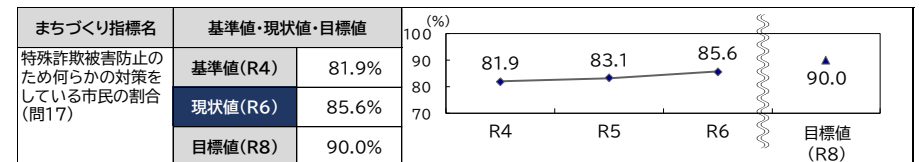


※指標の算出方法：情報を入手する手段を1つ以上選択した人の割合



※指標の算出方法：「十分に取り組んでいる」「少し取り組んでいる」と回答した人の割合

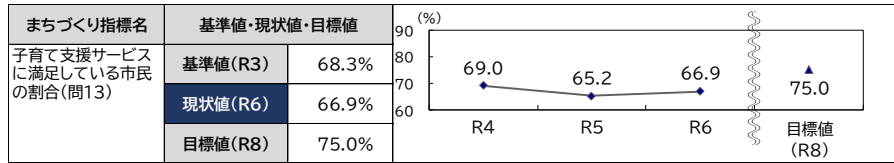
施策02 防犯対策・消費者安全対策の推進



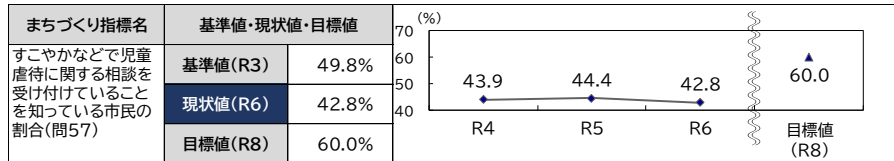
※指標の算出方法：対策している項目を1つ以上選択した人の割合

※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12～12.28)」による把握値

施策03 子ども・子育て家庭の支援

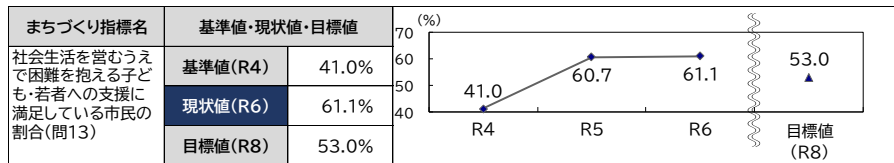


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



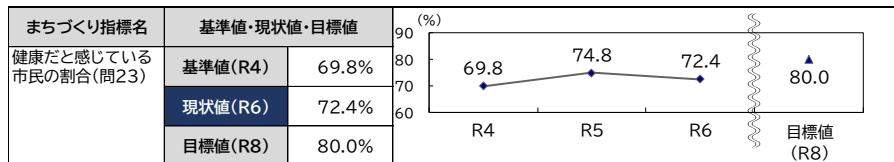
※指標の算出方法：「知っている」と回答した人の割合

施策05 青少年の健全育成

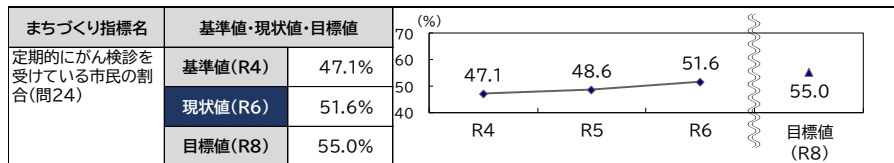


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合
 ※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12～12.28)」による把握値

施策11 生涯を通した健康づくり

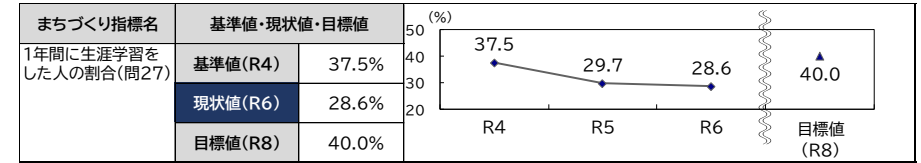


※指標の算出方法：「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合

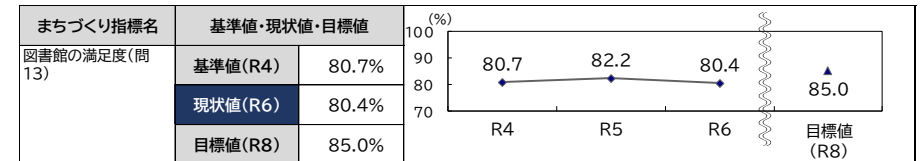


※指標の算出方法：「受けている」と回答した人の割合

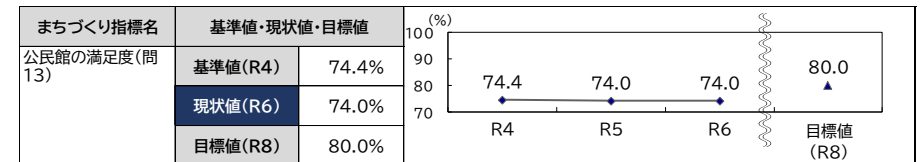
施策12 生涯学習のまちづくり



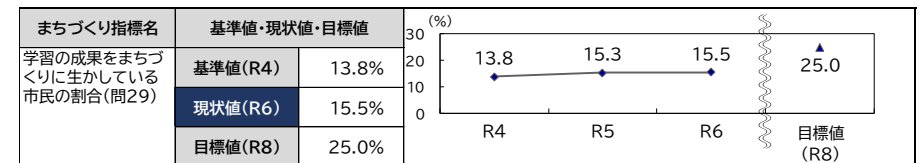
※指標の算出方法：「月1回以上取り組んだ」「年に数回程度取り組んだ」「年1回取り組んだ」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

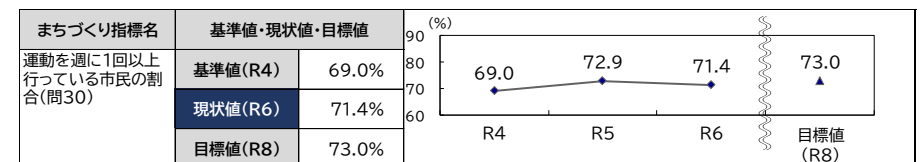


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



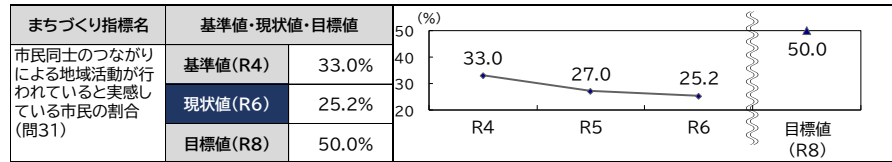
※指標の算出方法：「生かしている」「どちらかといえば生かしている」と回答した人の割合

施策13 市民スポーツの振興



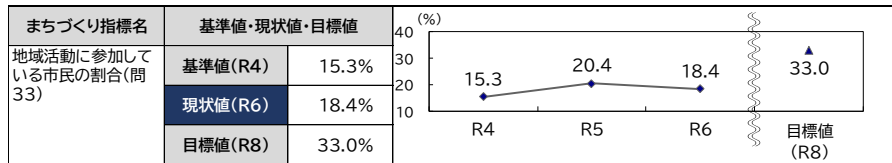
※指標の算出方法：1つ以上の項目について「週2回以上している」「週1回程度している」と回答した人の割合

施策14 地域コミュニティの醸成



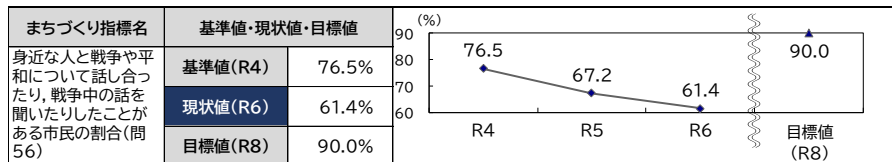
※指標の算出方法:「よくある」「ある」と回答した人の割合

※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12～12.28)」による把握値



※指標の算出方法:「ほぼ毎日参加している」「週1回程度参加している」「月1回程度参加している」「年に数回程度参加している」と回答した人の割合

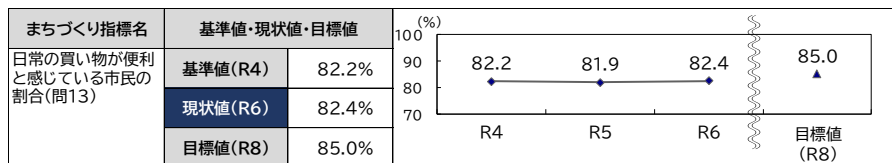
施策16 平和施策・国際交流の推進



※指標の算出方法:「ある」と回答した人の割合

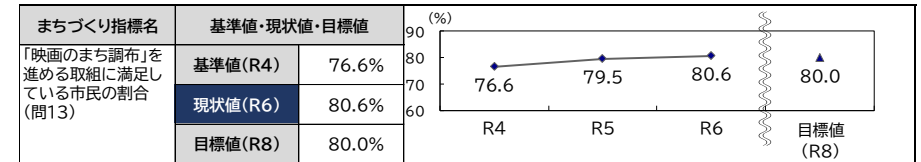
※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12～12.28)」による把握値

施策17 活力ある産業の推進

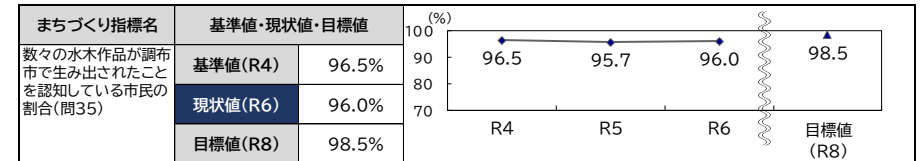


※指標の算出方法:「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

施策19 魅力ある観光の振興



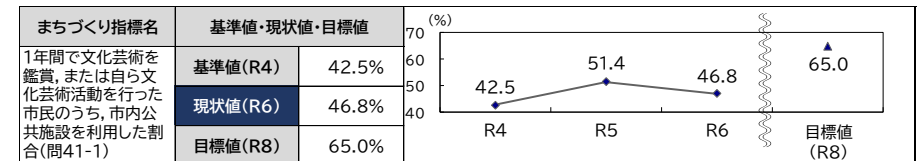
※指標の算出方法:「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



※指標の算出方法:「知っている」と回答した人の割合

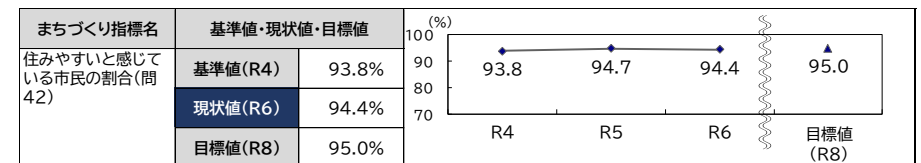
※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12～12.28)」による把握値

施策20 文化芸術の振興

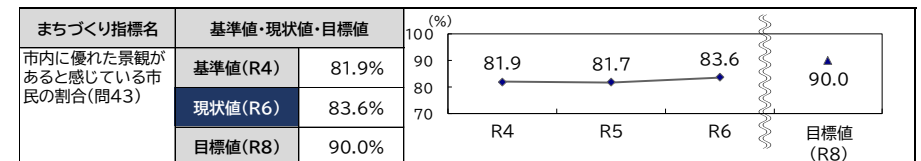


※指標の算出方法:問41で「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」「文化芸術を鑑賞した」「自ら文化芸術活動を行った」と回答した人のうち、「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場以外の市内公共施設」と回答した人の割合

施策22 良好な市街地の形成

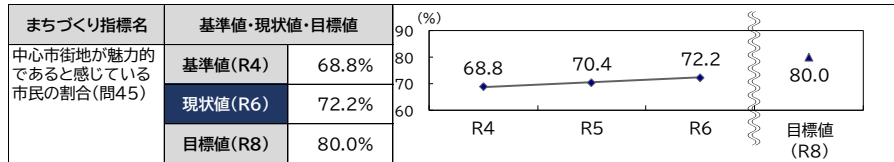


※指標の算出方法:「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合

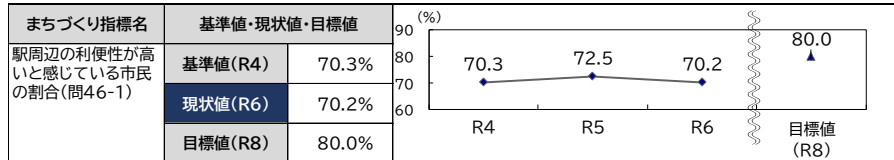


※指標の算出方法:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

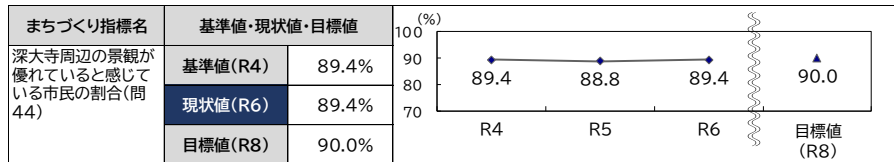
施策 23 地域特性を生かした都市空間の形成



※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

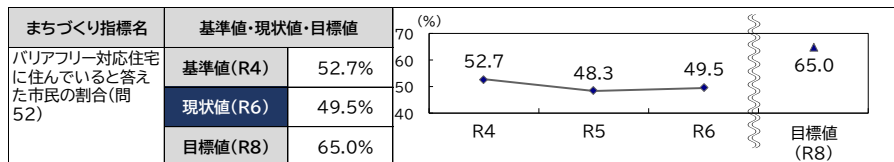


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

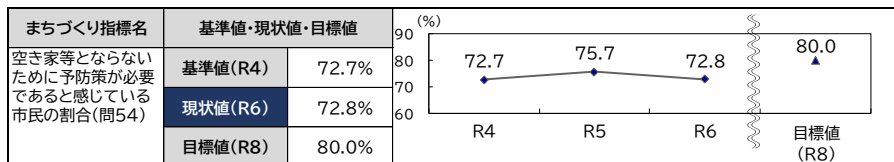


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 24 良好な住環境づくり

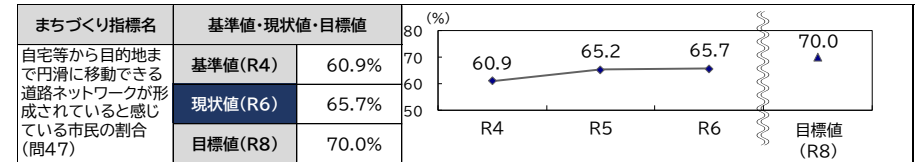


※指標の算出方法：「バリアフリー対応になっている」「一部、バリアフリー対応になっている」と回答した人の割合

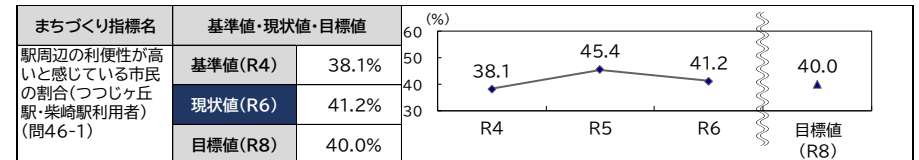


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

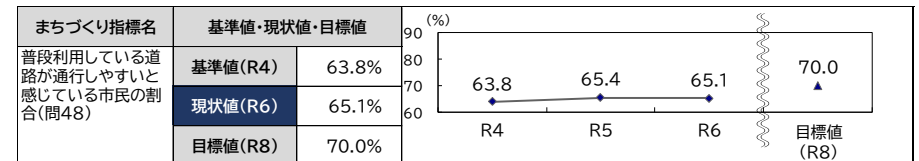
施策 25 利便性の高い交通体系の確立



※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

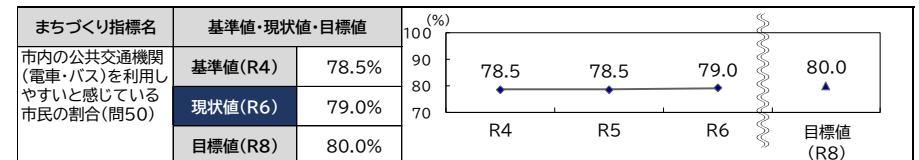


※指標の算出方法：問46で「つつじヶ丘駅」「柴崎駅」と回答した人のうち、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合



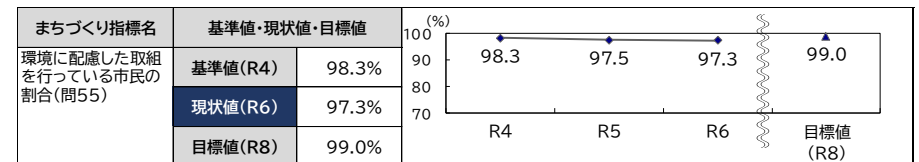
※指標の算出方法：「歩きやすい」「ある程度歩きやすい」と回答した人の割合

施策 26 快適な公共交通環境の整備



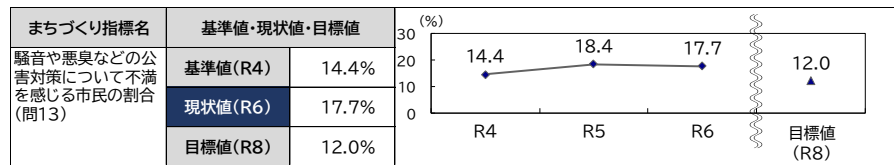
※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 27 脱炭素社会へ向けた地球温暖化対策と環境保全の推進



※指標の算出方法：行っている取組を1つ以上選択した人の割合
 ※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12～12.28)」による把握値

施策 30 快適な生活環境づくり



2 集計結果

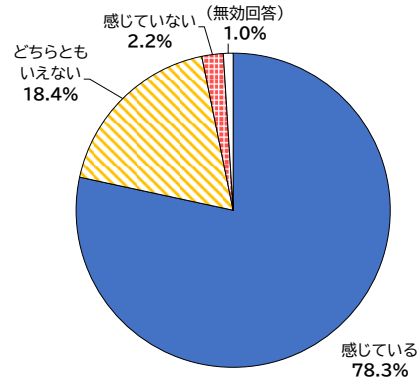
(1) まちの魅力と今後の定住意向

【まちの魅力と今後の定住意向について】

問11) あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか

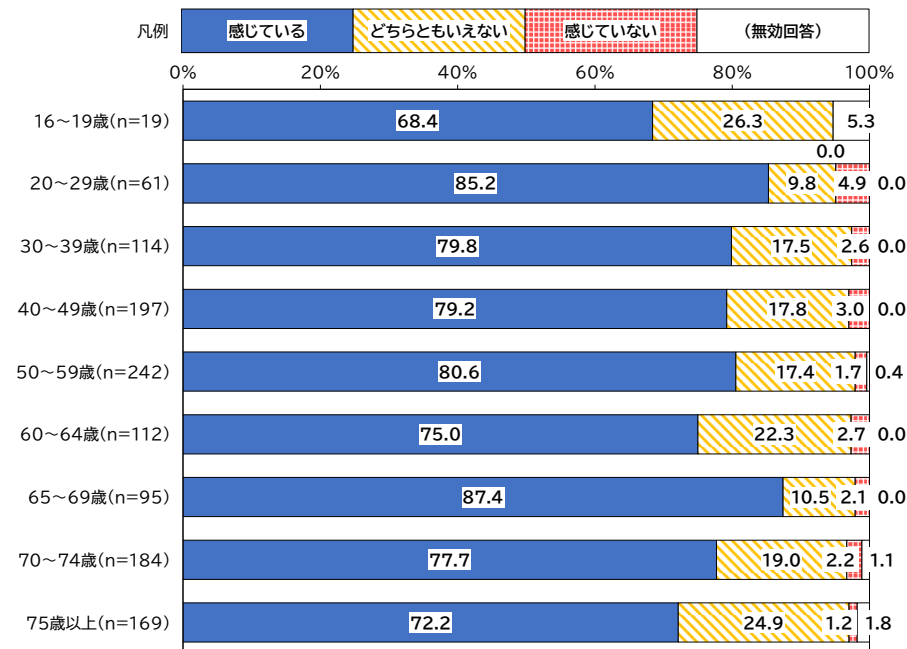
<全体 (n=1,210) >

○「感じている」が78.3%で、令和5年度(77.0%)に比べて1.3ポイント増加しています。



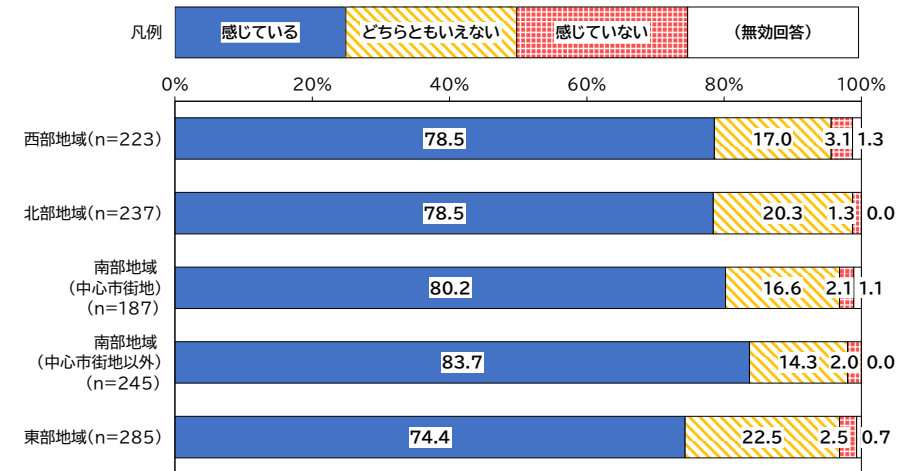
<年齢層別>

○どの年齢層でも「感じている」が6割を上回っており、20歳代と50歳代、65～69歳では、8割を超えています。



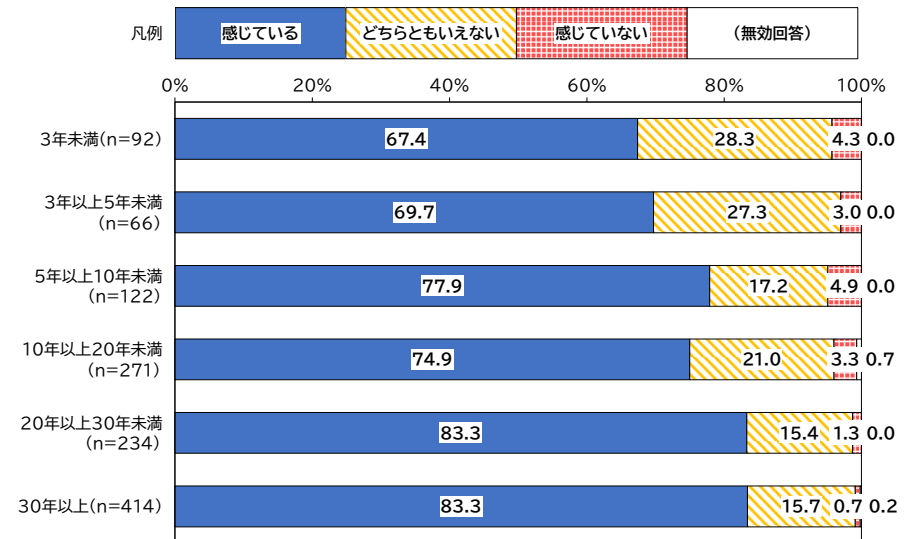
<地域別>

○いずれの地域でも、「感じている」が7割を上回っています。



<居住年数別>

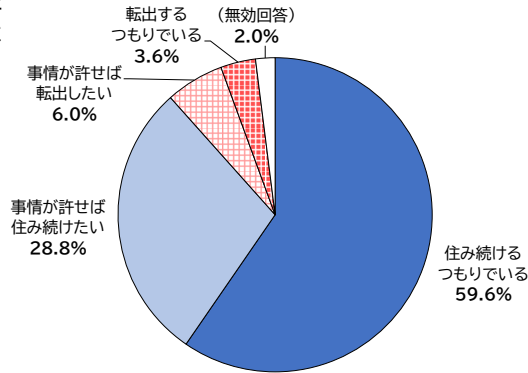
○いずれも「感じている」が6割を上回っており、居住年数が増えるにつれて増加する傾向があります。



問12) あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。

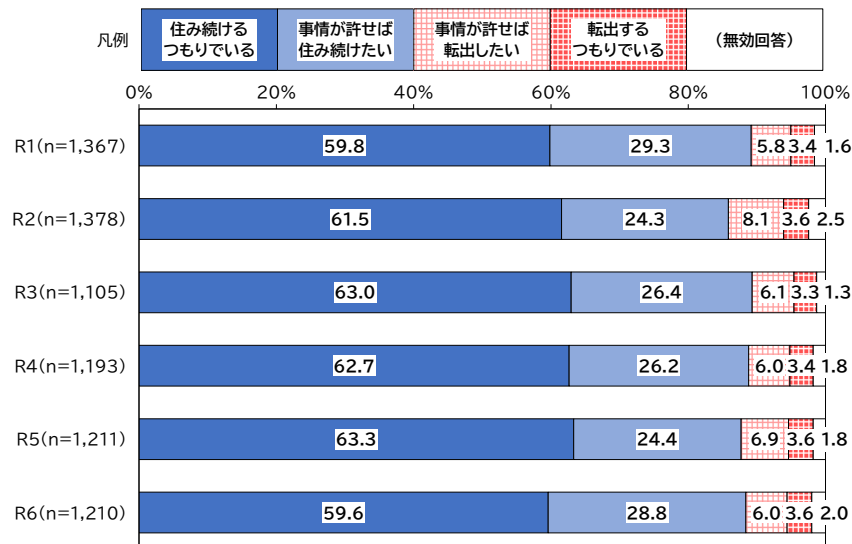
<全体 (n=1,210)>

○「住み続けるつもりでいる」が59.6%、「事情が許せば住み続けたい」が28.8%で、合計すると88.4%を占めています。



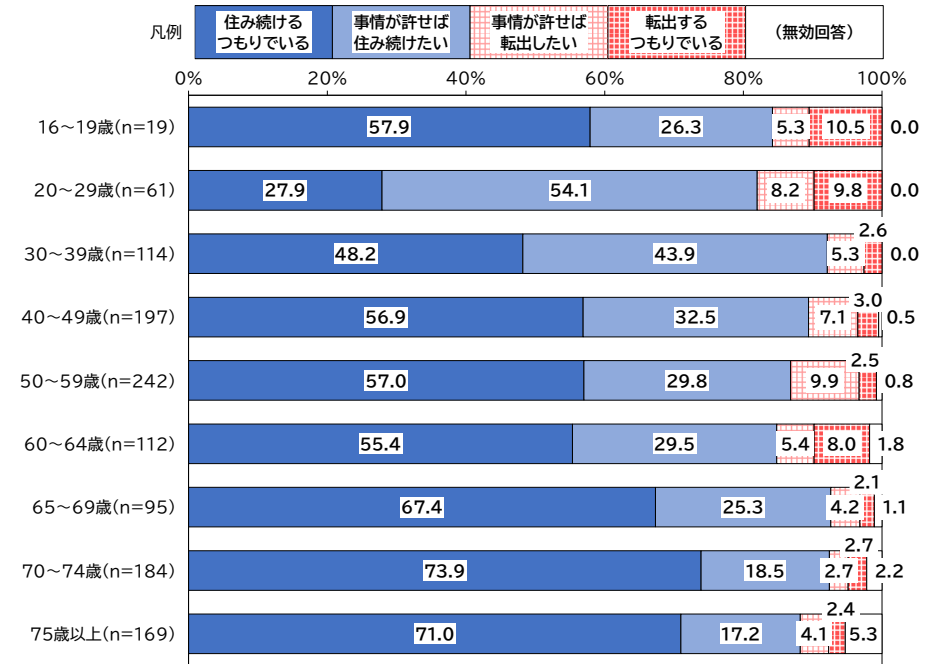
<経年比較>

○「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計（88.4%）は、令和5年度（87.7%）より0.7ポイント増加しています。



<年齢層別>

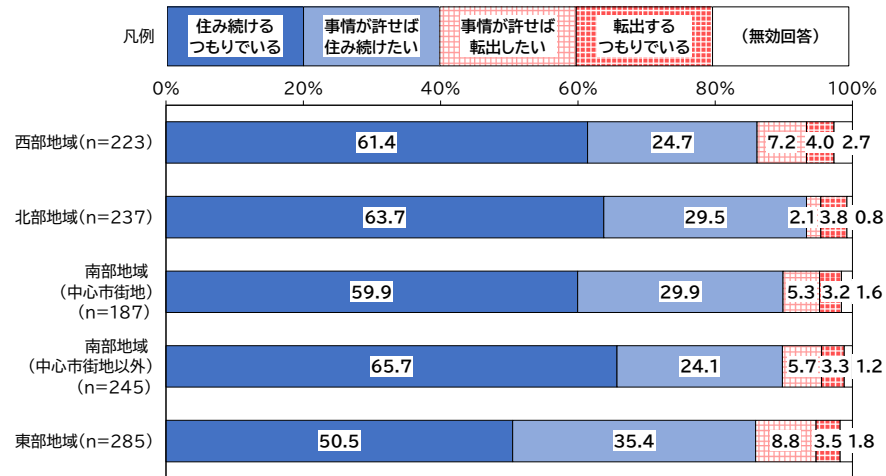
○65～69歳が「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計が92.7%と最も高く、次いで70～74歳の92.4%、30～39歳の92.1%の順となっています。
○一方、「転出するつもりでいる」と「事情が許せば転出したい」の合計は20～29歳が18.0%と最も高くなっています。



※「転出したい理由」の<年齢層別>については、30ページ参照。

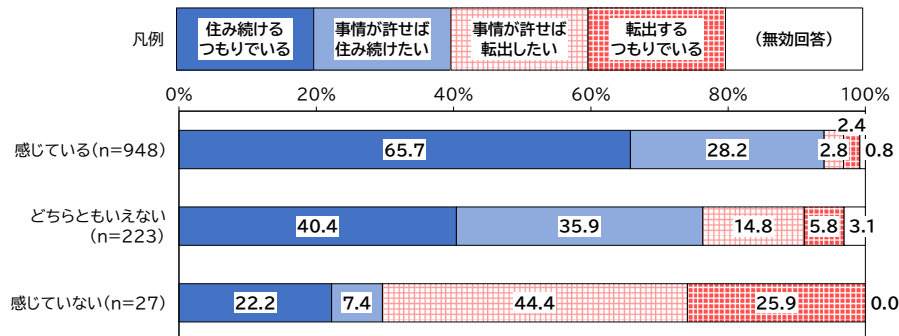
<地域別>

○いずれの地域でも、「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計が80%を超えています。



<まちへの愛着別>

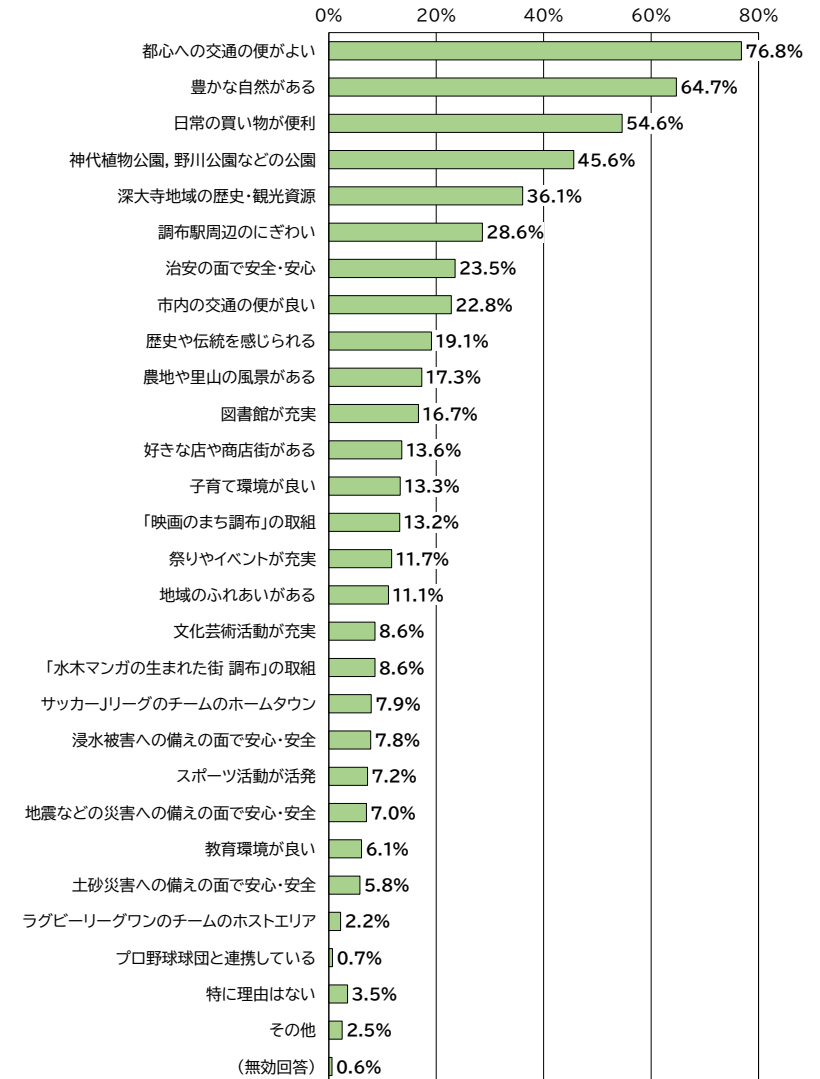
○まちへの愛着を「感じている」人のうち、「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計は93.9%で、「感じていない」人の29.6%に比べ64.3ポイント高くなっています。



問12-1) 問12で「住み続けるつもりでいる」または「事情が許せば住み続けたい」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思いますか。

<全体 (n=1,070)>

○「都心への交通の便がよい」が76.8%で最も高く、次いで「豊かな自然がある」の64.7%、「日常の買い物が便利」の54.6%の順となっています。



※「調布市から転出意向のある方の転出意向理由」については、30ページ参照

<年齢層別>

○全ての年齢層で「都心への交通の便がよい」が最も高く、次いで 29 歳以下は「日常の買い物が便利」、30 歳以上は「豊かな自然がある」となっています。

選択肢	合計	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳 以上
全体	1,070	16	50	105	176	210	95	88	170	149
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
都心への交通の便がよい	822	9	36	81	138	161	69	73	142	106
	76.8%	56.3%	72.0%	77.1%	78.4%	76.7%	72.6%	83.0%	83.5%	71.1%
豊かな自然がある	692	6	24	60	112	146	63	59	116	101
	64.7%	37.5%	48.0%	57.1%	63.6%	69.5%	66.3%	67.0%	68.2%	67.8%
日常の買い物が便利	584	8	28	56	96	104	52	51	106	79
	54.6%	50.0%	56.0%	53.3%	54.5%	49.5%	54.7%	58.0%	62.4%	53.0%
神代植物公園、野川公園などの公園	488	5	17	35	66	94	42	43	97	85
	45.6%	31.3%	34.0%	33.3%	37.5%	44.8%	44.2%	48.9%	57.1%	57.0%
深大寺地域の歴史・観光資源	386	5	17	26	58	72	34	40	70	61
	36.1%	31.3%	34.0%	24.8%	33.0%	34.3%	35.8%	45.5%	41.2%	40.9%
調布駅周辺のにぎわい	306	4	21	50	65	56	24	20	35	28
	28.6%	25.0%	42.0%	47.6%	36.9%	26.7%	25.3%	22.7%	20.6%	18.8%
治安の面で安全・安心	251	3	20	32	51	54	23	13	27	27
	23.5%	18.8%	40.0%	30.5%	29.0%	25.7%	24.2%	14.8%	15.9%	18.1%
市内の交通の便が良い	244	4	14	18	36	30	18	25	53	44
	22.8%	25.0%	28.0%	17.1%	20.5%	14.3%	18.9%	28.4%	31.2%	29.5%
歴史や伝統を感じられる	204	1	8	14	33	50	19	20	28	29
	19.1%	6.3%	16.0%	13.3%	18.8%	23.8%	20.0%	22.7%	16.5%	19.5%
農地や里山の風景がある	185	2	5	10	28	38	11	17	42	31
	17.3%	12.5%	10.0%	9.5%	15.9%	18.1%	11.6%	19.3%	24.7%	20.8%
図書館が充実	179	4	10	12	31	29	15	18	33	27
	16.7%	25.0%	20.0%	11.4%	17.6%	13.8%	15.8%	20.5%	19.4%	18.1%
好きな店や商店街がある	146	2	10	19	32	26	16	8	12	19
	13.6%	12.5%	20.0%	18.1%	18.2%	12.4%	16.8%	9.1%	7.1%	12.8%
子育て環境が良い	142	1	3	28	47	24	8	5	13	12
	13.3%	6.3%	6.0%	26.7%	26.7%	11.4%	8.4%	5.7%	7.6%	8.1%
「映画のまち調布」の取組	141	3	7	8	24	36	11	13	19	17
	13.2%	18.8%	14.0%	7.6%	13.6%	17.1%	11.6%	14.8%	11.2%	11.4%
祭りやイベントが充実	125	3	10	19	30	22	9	4	16	11
	11.7%	18.8%	20.0%	18.1%	17.0%	10.5%	9.5%	4.5%	9.4%	7.4%
地域のふれあいがある	119	1	5	6	23	19	9	12	20	21
	11.1%	6.3%	10.0%	5.7%	13.1%	9.0%	9.5%	13.6%	11.8%	14.1%
文化芸術活動が充実	92	2	4	5	15	21	5	6	16	17
	8.6%	12.5%	8.0%	4.8%	8.5%	10.0%	5.3%	6.8%	9.4%	11.4%
「水木マンガの生まれた街 調布」の取組	92	3	6	7	22	21	6	8	10	8
	8.6%	18.8%	12.0%	6.7%	12.5%	10.0%	6.3%	9.1%	5.9%	5.4%
サッカーJリーグのチームのホームタウン	85	0	6	7	19	20	8	6	12	7
	7.9%	0.0%	12.0%	6.7%	10.8%	9.5%	8.4%	6.8%	7.1%	4.7%
浸水被害への備えの面で安心・安全	83	0	4	8	6	18	7	8	17	12
	7.8%	0.0%	8.0%	7.6%	3.4%	8.6%	7.4%	9.1%	10.0%	8.1%
スポーツ活動が活発	77	0	1	6	22	18	8	5	8	9
	7.2%	0.0%	2.0%	5.7%	12.5%	8.6%	8.4%	5.7%	4.7%	6.0%
地震などの災害への備えの面で安心・安全	75	0	5	5	13	12	7	7	12	11
	7.0%	0.0%	10.0%	4.8%	7.4%	5.7%	7.4%	8.0%	7.1%	7.4%
教育環境が良い	65	2	2	7	20	12	1	4	9	8
	6.1%	12.5%	4.0%	6.7%	11.4%	5.7%	1.1%	4.5%	5.3%	5.4%
土砂災害への備えの面で安心・安全	62	1	0	2	8	14	6	5	13	10
	5.8%	6.3%	0.0%	1.9%	4.5%	6.7%	6.3%	5.7%	7.6%	6.7%
ラグビーリーグワンのチームのホストエリア	24	0	0	1	3	9	4	3	2	2
	2.2%	0.0%	0.0%	1.0%	1.7%	4.3%	4.2%	3.4%	1.2%	1.3%
プロ野球球団と連携している	8	0	1	2	3	1	0	0	0	1
	0.7%	0.0%	2.0%	1.9%	1.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
特に理由はない	37	1	2	3	3	10	3	4	5	5
	3.5%	6.3%	4.0%	2.9%	1.7%	4.8%	3.2%	4.5%	2.9%	3.4%
その他	27	0	3	4	5	7	1	2	2	3
	2.5%	0.0%	6.0%	3.8%	2.8%	3.3%	1.1%	2.3%	1.2%	2.0%
(無効回答)	6	0	0	0	0	1	0	0	0	5
	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

<地域別>

○まちの魅力や個性・特色は地域ごとに傾向が異なっており、北部地域以外の地域では「都心への交通の便がよい」が最も高く、北部地域では「豊かな自然がある」が最も高くなっています。

選択肢	合計	西部地域	北部地域	南部地域 (中心市街地)	南部地域 (中心市街地以外)	東部地域
全体	1,070	192	221	168	220	245
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
都心への交通の便がよい	822	148	148	146	177	188
	76.8%	77.1%	67.0%	86.9%	80.5%	76.7%
豊かな自然がある	692	120	175	97	144	145
	64.7%	62.5%	79.2%	57.7%	65.5%	59.2%
日常の買い物が便利	584	96	99	116	123	139
	54.6%	50.0%	44.8%	69.0%	55.9%	56.7%
神代植物公園、野川公園などの公園	488	77	139	86	82	95
	45.6%	40.1%	62.9%	51.2%	37.3%	38.8%
深大寺地域の歴史・観光資源	386	59	125	58	68	70
	36.1%	30.7%	56.6%	34.5%	30.9%	28.6%
調布駅周辺のにぎわい	306	54	51	64	97	33
	28.6%	28.1%	23.1%	38.1%	44.1%	13.5%
治安の面で安全・安心	251	40	38	45	54	72
	23.5%	20.8%	17.2%	26.8%	24.5%	29.4%
市内の交通の便が良い	244	48	35	47	59	53
	22.8%	25.0%	15.8%	28.0%	26.8%	21.6%
歴史や伝統を感じられる	204	37	61	31	40	32
	19.1%	19.3%	27.6%	18.5%	18.2%	13.1%
農地や里山の風景がある	185	24	63	26	34	35
	17.3%	12.5%	28.5%	15.5%	15.5%	14.3%
図書館が充実	179	29	33	33	48	35
	16.7%	15.1%	14.9%	19.6%	21.8%	14.3%
好きな店や商店街がある	146	23	22	24	28	46
	13.6%	12.0%	10.0%	14.3%	12.7%	18.8%
子育て環境が良い	142	22	29	23	33	33
	13.3%	11.5%	13.1%	13.7%	15.0%	13.5%
「映画のまち調布」の取組	141	23	29	30	31	23
	13.2%	12.0%	13.1%	17.9%	14.1%	9.4%
祭りやイベントが充実	125	24	20	26	33	21
	11.7%	12.5%	9.0%	15.5%	15.0%	8.6%
地域のふれあいがある	119	23	22	20	29	22
	11.1%	12.0%	10.0%	11.9%	13.2%	9.0%
文化芸術活動が充実	92	18	19	14	22	17
	8.6%	9.4%	8.6%	8.3%	10.0%	6.9%
「水木マンガの生まれた街 調布」の取組	92	18	23	16	17	17
	8.6%	9.4%	10.4%	9.5%	7.7%	6.9%
サッカーJリーグのチームのホームタウン	85	20	20	12	18	14
	7.9%	10.4%	9.0%	7.1%	8.2%	5.7%
浸水被害への備えの面で安心・安全	83	20	22	9	12	16
	7.8%	10.4%	10.0%	5.4%	5.5%	6.5%
スポーツ活動が活発	77	21	14	11	20	10
	7.2%	10.9%	6.3%	6.5%	9.1%	4.1%
地震などの災害への備えの面で安心・安全	75	20	21	11	11	8
	7.0%	10.4%	9.5%	6.5%	5.0%	3.3%
教育環境が良い	65	9	18	11	14	13
	6.1%	4.7%	8.1%	6.5%	6.4%	5.3%
土砂災害への備えの面で安心・安全	62	15	15	6	10	12
	5.8%	7.8%	6.8%	3.6%	4.5%	4.9%
ラグビーリーグワンのチームのホストエリア	24	1	5	5	10	2
	2.2%	0.5%	2.3%	3.0%	4.5%	0.8%
プロ野球球団と連携している	8	2	0	2	2	2
	0.7%	1.0%	0.0%	1.2%	0.9%	0.8%
特に理由はない	37	6	6	5	12	6
	3.5%	3.1%	2.7%	3.0%	5.5%	2.4%
その他	27	6	5	2	6	7
	2.5%	3.1%	2.3%	1.2%	2.7%	2.9%
(無効回答)	6	3	0	0	1	1
	0.6%	1.6%	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

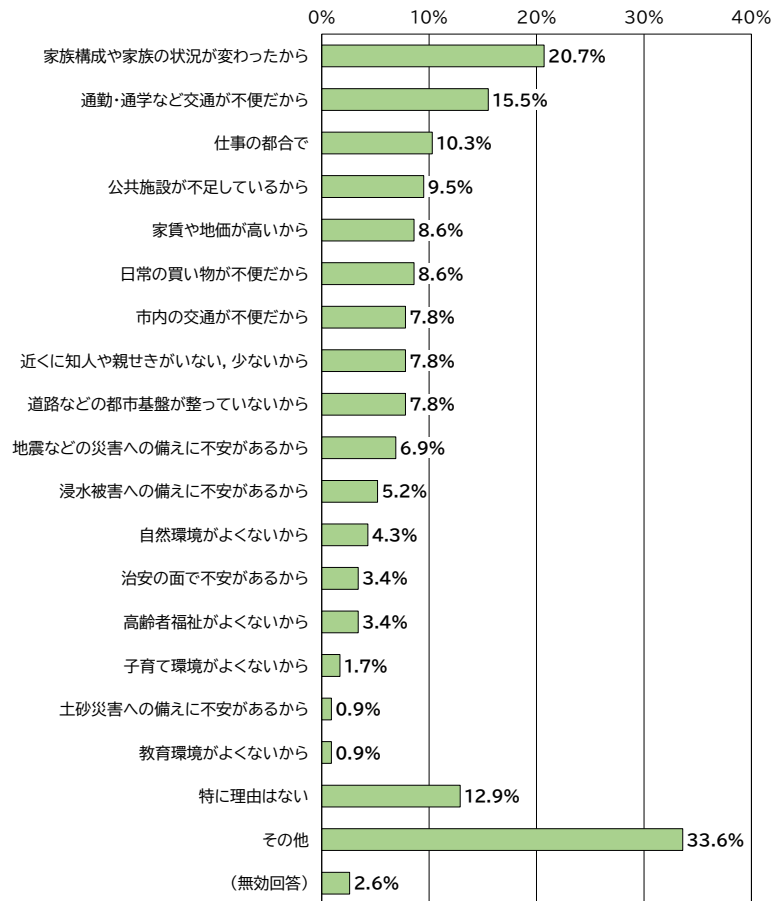
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

問12-2) 問12で「事情が許せば転出したい」または「転出するつもりでいる」のいずれかを選んだ方にうかがいます。そう思う理由について、あてはまるものに○をつけてください。

<全体 (n=116) >

○「その他」以外では、「家族構成や家族の状況が変わったから」が20.7%で最も高く、次いで「通勤・通学など交通が不便だから」の15.5%、「特に理由はない」の12.9%の順となっています。



※「調布市に定住意向のある方が感じている調布のまちの魅力や個性・特色」については、28 ページ参照。

<年齢層別>

○「その他」以外では、転出したい理由は年齢層ごとに傾向が異なっていますが、30～40歳代は「通勤・通学など交通が不便だから」が最も高く、50歳以上は「家族構成や家族の状況が変わったから」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	116	3	11	9	20	30	15	6	10	11
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族構成や家族の状況が変わったから	24	0	3	1	2	7	5	1	2	3
	20.7%	0.0%	27.3%	11.1%	10.0%	23.3%	33.3%	16.7%	20.0%	27.3%
通勤・通学など交通が不便だから	18	1	1	5	6	4	1	0	0	0
	15.5%	33.3%	9.1%	55.6%	30.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
仕事の都合で	12	1	3	2	2	4	0	0	0	0
	10.3%	33.3%	27.3%	22.2%	10.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共施設が不足しているから	11	1	1	1	2	3	2	0	0	1
	9.5%	33.3%	9.1%	11.1%	10.0%	10.0%	13.3%	0.0%	0.0%	9.1%
家賃や地価が高いから	10	1	2	1	0	3	2	0	1	0
	8.6%	33.3%	18.2%	11.1%	0.0%	10.0%	13.3%	0.0%	10.0%	0.0%
日常の買い物が不便だから	10	0	2	2	3	1	1	0	0	1
	8.6%	0.0%	18.2%	22.2%	15.0%	3.3%	6.7%	0.0%	0.0%	9.1%
市内の交通が不便だから	9	1	1	1	1	2	2	1	0	0
	7.8%	33.3%	9.1%	11.1%	5.0%	6.7%	13.3%	16.7%	0.0%	0.0%
近くに知人や親せきがない、少ないから	9	0	1	1	2	2	0	0	1	2
	7.8%	0.0%	9.1%	11.1%	10.0%	6.7%	0.0%	0.0%	10.0%	18.2%
道路などの都市基盤が整っていないから	9	1	2	1	2	1	1	0	1	0
	7.8%	33.3%	18.2%	11.1%	10.0%	3.3%	6.7%	0.0%	10.0%	0.0%
地震などの災害への備えに不安があるから	8	0	1	0	2	2	1	2	0	0
	6.9%	0.0%	9.1%	0.0%	10.0%	6.7%	6.7%	33.3%	0.0%	0.0%
浸水被害への備えに不安があるから	6	0	2	0	2	1	0	1	0	0
	5.2%	0.0%	18.2%	0.0%	10.0%	3.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
自然環境がよくないから	5	0	0	0	1	3	1	0	0	0
	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	10.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
治安の面で不安があるから	4	0	1	0	0	1	1	1	0	0
	3.4%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	3.3%	6.7%	16.7%	0.0%	0.0%
高齢者福祉がよくないから	4	0	0	0	0	2	1	1	0	0
	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	16.7%	0.0%	0.0%
子育て環境がよくないから	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
土砂災害への備えに不安があるから	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	0.9%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育環境がよくないから	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特に理由はない	15	0	0	0	3	3	3	1	1	4
	12.9%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	10.0%	20.0%	16.7%	10.0%	36.4%
その他	39	0	4	5	9	9	2	3	4	2
	33.6%	0.0%	36.4%	55.6%	45.0%	30.0%	13.3%	50.0%	40.0%	18.2%
(無効回答)	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0
	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	10.0%	0.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

<地域別>

○「その他」以外では、「家族構成や家族の状況が変わったから」は全ての地域で最も高くなっています。また、西部地域では「通勤・通学など交通が不便だから」、南部地域（中心市街地）では「仕事の都合で」、南部地域（中心市街地以外）では「地震などの災害への備えに不安があるから」、「浸水被害への備えに不安があるから」がそれぞれ同率で最も高くなっています。

選択肢	合計	西部地域	北部地域	南部地域 (中心市街地)	南部地域 (中心市街地以外)	東部地域
全体	116	25	14	16	22	35
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族構成や家族の状況が変わったから	24	5	4	3	4	8
	20.7%	20.0%	28.6%	18.8%	18.2%	22.9%
通勤・通学など交通が不便だから	18	5	2	2	3	6
	15.5%	20.0%	14.3%	12.5%	13.6%	17.1%
仕事の都合で	12	2	2	3	2	2
	10.3%	8.0%	14.3%	18.8%	9.1%	5.7%
公共施設が不足しているから	11	2	3	1	1	4
	9.5%	8.0%	21.4%	6.3%	4.5%	11.4%
家賃や地価が高いから	10	1	0	2	3	4
	8.6%	4.0%	0.0%	12.5%	13.6%	11.4%
日常の買い物不便だから	10	4	0	0	2	4
	8.6%	16.0%	0.0%	0.0%	9.1%	11.4%
市内の交通が不便だから	9	4	2	1	1	1
	7.8%	16.0%	14.3%	6.3%	4.5%	2.9%
近くに知人や親せきがない、少ないから	9	3	0	0	3	3
	7.8%	12.0%	0.0%	0.0%	13.6%	8.6%
道路などの都市基盤が整っていないから	9	1	2	0	2	3
	7.8%	4.0%	14.3%	0.0%	9.1%	8.6%
地震などの災害への備えに不安があるから	8	0	0	1	4	3
	6.9%	0.0%	0.0%	6.3%	18.2%	8.6%
浸水被害への備えに不安があるから	6	1	0	0	4	1
	5.2%	4.0%	0.0%	0.0%	18.2%	2.9%
自然環境がよくないから	5	0	0	2	1	2
	4.3%	0.0%	0.0%	12.5%	4.5%	5.7%
治安の面で不安があるから	4	1	0	1	2	0
	3.4%	4.0%	0.0%	6.3%	9.1%	0.0%
高齢者福祉がよくないから	4	0	1	0	1	2
	3.4%	0.0%	7.1%	0.0%	4.5%	5.7%
子育て環境がよくないから	2	1	0	0	0	1
	1.7%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
土砂災害への備えに不安があるから	1	0	0	0	1	0
	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
教育環境がよくないから	1	1	0	0	0	0
	0.9%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特に理由はない	15	4	1	4	2	4
	12.9%	16.0%	7.1%	25.0%	9.1%	11.4%
その他	39	9	4	6	9	9
	33.6%	36.0%	28.6%	37.5%	40.9%	25.7%
(無効回答)	3	0	0	0	1	1
	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	2.9%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

(2) 市政全般（くらし）

【市政全般（くらし）に対する満足度・優先度について】

問 13) 次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。日ごろの印象を含め、あなたご自身のお考えに最も近いものに○をつけてください。

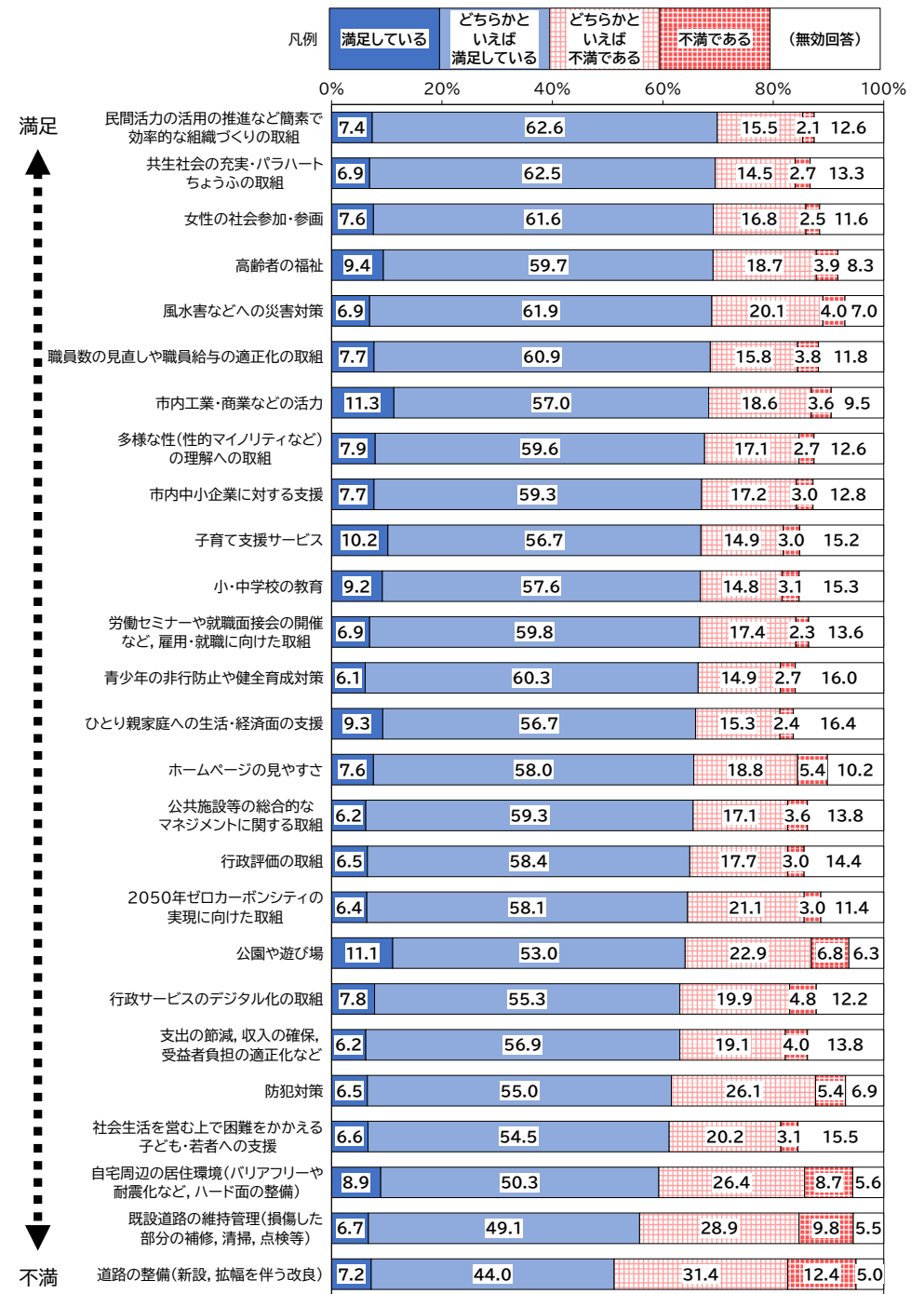
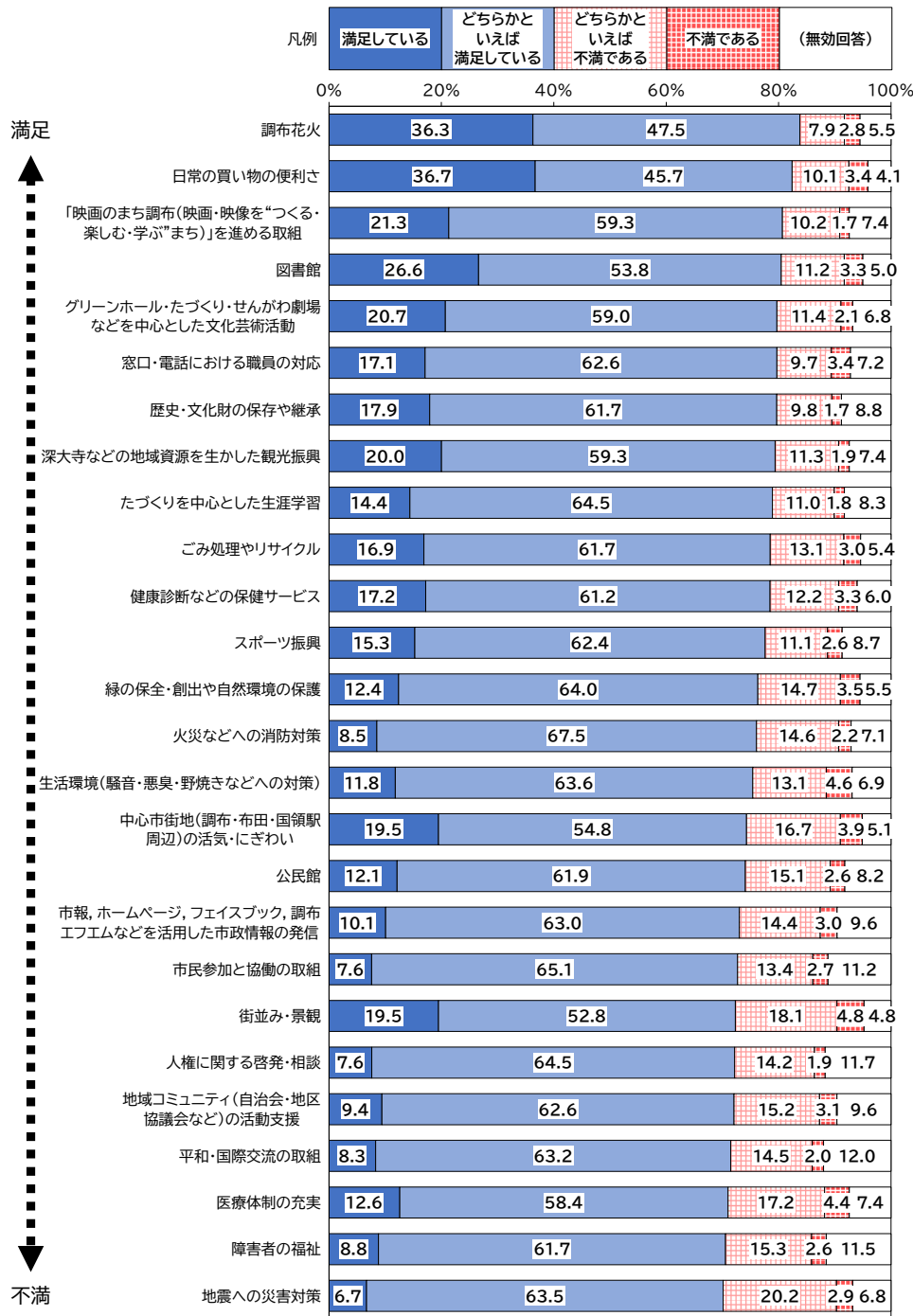
①満足度：普段のくらしの中で、それぞれの取組に対し、どのくらい満足しているか

②優先度：今後、調布市がどのくらい優先的に力を入れて解決、改善、向上に向け取り組むべきか

現在の満足度と今後の優先度

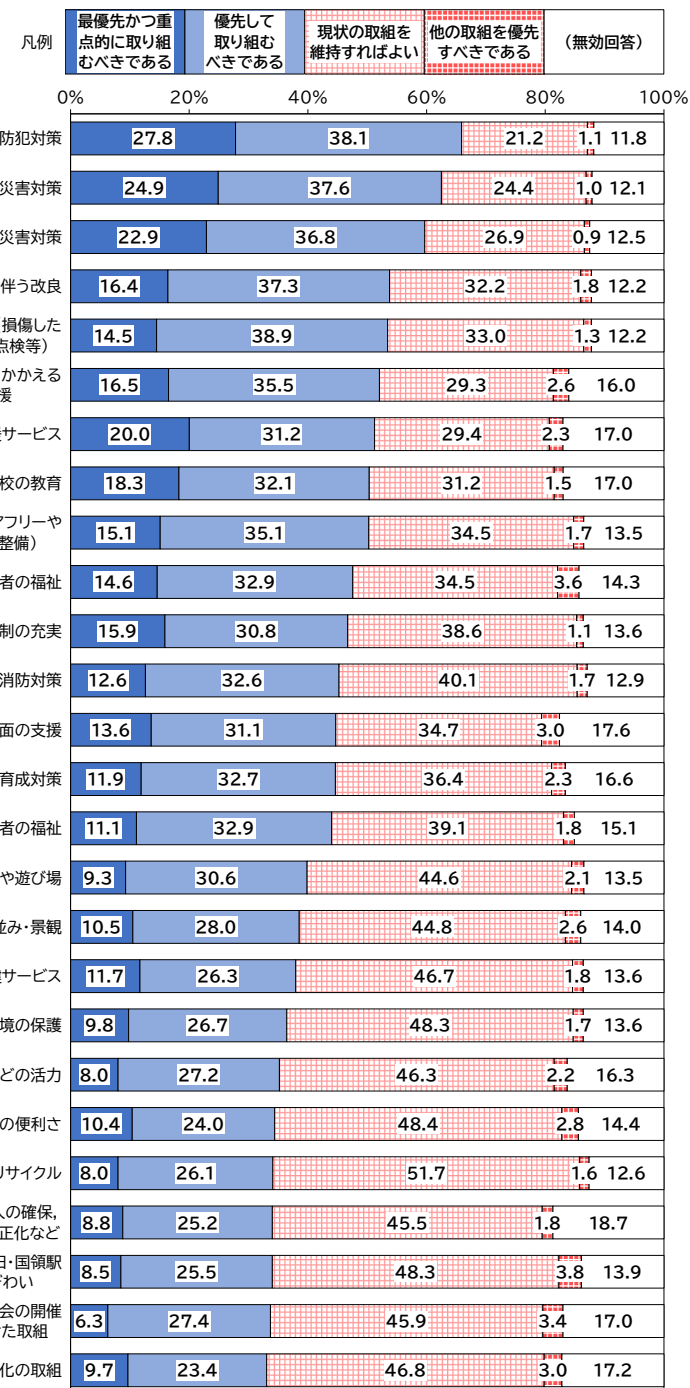
<現在の満足度>

- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「調布花火」が 83.8% で最も高く、次いで「日常の買い物の便利さ」の 82.4%、「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組」の 80.6%の順となっています。これら 3 項目を含めた 52 項目、全てにおいて「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が半数を上回っています。
- 「満足している」は、「日常の買い物の便利さ」が 36.7%で最も高く、次いで「調布花火」の 36.3%、「図書館」の 26.6%の順となっています。
- 「不満である」と「どちらかといえば不満である」の合計は、「道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）」が 43.8%で最も高く、次いで「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）」の 38.7%、「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）」の 35.1%の順となっています。
- 「不満である」は、「道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）」が 12.4%で最も高くなっていますが、これ以外の項目は全て 10%を下回っています。



<今後の優先度>

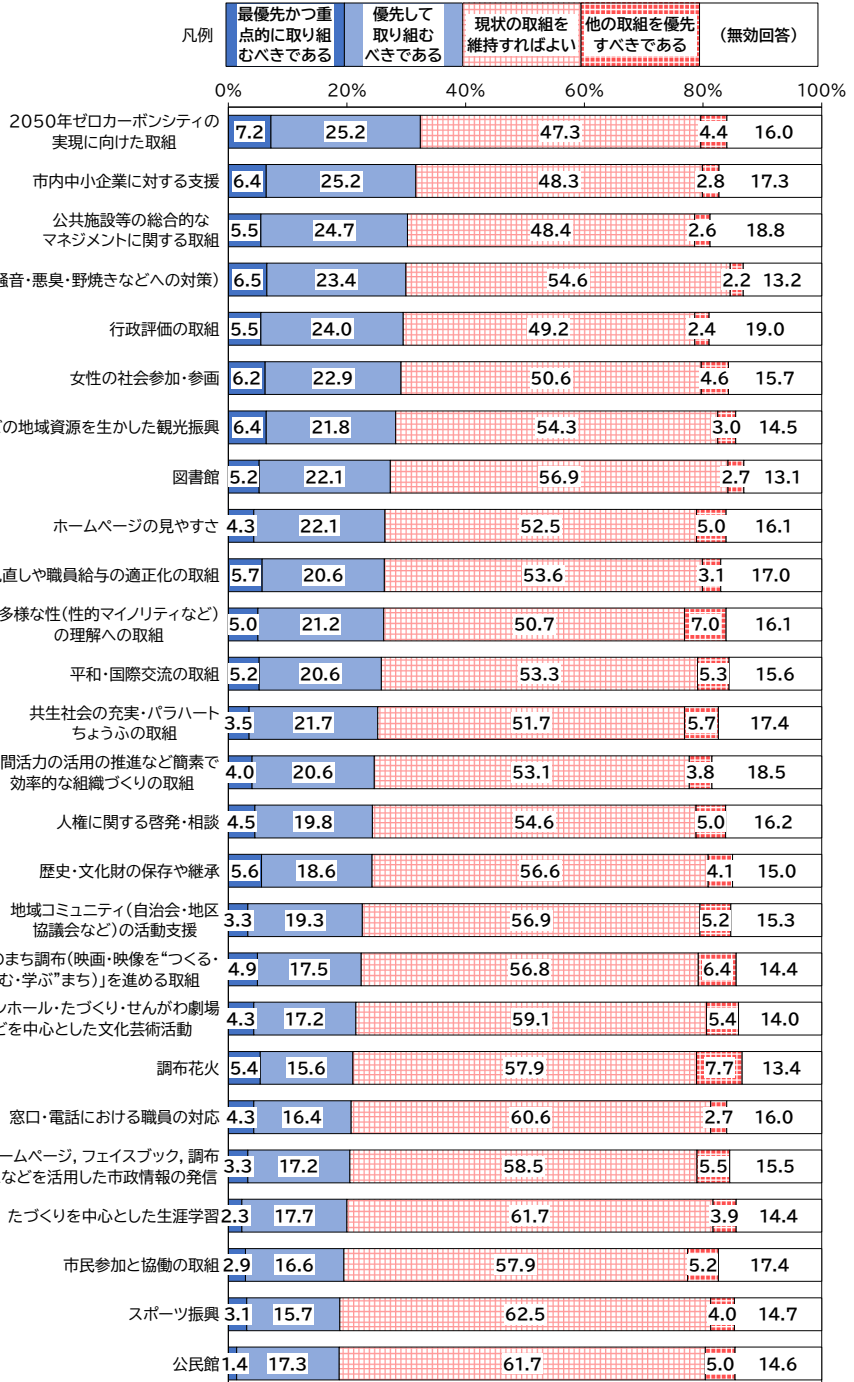
- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「防犯対策」が 65.9%で最も高く、次いで「地震への災害対策」の 62.5%、「風水害などへの災害対策」の 59.7%の順となっています。
- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」は、「防犯対策」が 27.8%で最も高く、次いで「地震への災害対策」の 24.9%、「風水害などへの災害対策」の 22.9%の順となっています。
- 「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計は、「公民館」が 66.7%で最も高く、次いで「スポーツ振興」の 66.5%、「調布花火」，「たづくりを中心とした生涯学習」の 65.6%の順となっています。これら 4 項目を含めた 29 項目で、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。
- 「他の取組を優先すべきである」は、「調布花火」が 7.7%で最も高く、次いで「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」の 7.0%、「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組」の 6.4%の順となっています。

最優先・
重点的他の取組
を優先

優先的・
重点的



他の取組
を優先



<満足度の平均スコア>

○全 52 項目について、令和 6 年度の回答結果の加重平均（重み付け）により満足度平均スコア※を算出したところ、全ての項目でプラスとなっており、中でも「調布花火」が 1.127 と最も高くなっています。次いで「日常の買い物の便利さ」が 1.066, 「映画のまち調布」を進める取組」が 0.953 の順となっています。

※ {「満足している」回答者数×2+「どちらかといえば満足している」回答者数×1+「どちらかといえば不満である」回答者数×(-1)+「不満である」回答者数×(-2)} / (全回答者数-無効回答数) で算出

【図表 満足度の平均スコア】

		(スコア / 順位)	
分野別計画	第1節	地震への災害対策	0.546 41
		風水害などへの災害対策	0.512 42
		火災などへの消防対策	0.705 16
		防犯対策	0.336 49
	第2節	子育て支援サービス	0.665 24
		ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.659 27
		小・中学校の教育	0.648 29
		青少年の非行防止や健全育成対策	0.621 32
	第3節	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	0.487 45
		高齢者の福祉	0.568 38
		障害者の福祉	0.665 23
		労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	0.596 36
	第4節	健康診断などの保健サービス	0.817 11
		医療体制の充実	0.624 30
		共生社会の充実・パラハートちようふの取組	0.650 28
		図書館	0.939 4
	第5節	たづくりを中心とした生涯学習	0.858 9
		スポーツ振興	0.841 10
		公民館	0.716 14
		地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	0.664 25
	第6節	人権に関する啓発・相談	0.699 17
		女性の社会参加・参画	0.622 31
		多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組	0.605 33
		平和・国際交流の取組	0.696 19
	第7節	日常の買い物の便利さ	1.066 2
		市内工業・商業などの活力	0.596 35
		市内中小企業に対する支援	0.591 37
		深大寺などの地域資源を生かした観光振興	0.910 7
	第8節	調布花火	1.127 1
		「映画のまち調布」を進める取組	0.953 3
		グリーンホールなどを中心とした文化芸術活動	0.911 6
		歴史・文化財の保存や継承	0.924 5
	行革プラン2023	街並み・景観	0.674 22
		中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい	0.731 13
		自宅周辺の居住環境	0.258 50
		道路の整備(新設, 拡幅を伴う改良)	0.023 52
	第9節	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修, 清掃, 点検等)	0.147 51
		緑の保全・創出や自然環境の保護	0.710 15
		2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	0.496 43
		公園や遊び場	0.413 48
	第10節	ごみ処理やリサイクル	0.808 12
		生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	0.697 18
		市民参加と協働の取組	0.692 21
		市報, ホームページなどを活用した市政情報の発信	0.695 20
	第11節	ホームページの見やすさ	0.487 46
		民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	0.660 26
		窓口・電話における職員の対応	0.866 8
		職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	0.600 34
	第12節	行政サービスのデジタル化の取組	0.471 47
		公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	0.548 40
		行政評価の取組	0.559 39
		支出の節減, 収入の確保, 受益者負担の適正化など	0.491 44

※ は、上位又は下位 3 項目

<優先度の平均スコア>

○全 52 項目について、令和 6 年度の回答結果の加重平均（重み付け）により優先度平均スコア※を算出したところ、プラスとなっているのは 16 項目で、「防犯対策」が 0.797 と最も高く、次いで「地震への災害対策」の 0.694、「風水害などへの災害対策」の 0.615 の順となっています。

○一方、「公民館（-0.605）」や「スポーツ振興（-0.568）」、「市民参加と協働の取組（-0.556）」などの 36 項目は、優先度平均スコアがマイナスになっています。

※ {「最優先かつ重点的に取り組むべきである」回答者数×2+「優先して取り組むべきである」回答者数×1+「現状の取組を維持すればよい」回答者数×（-1）+「他の取組を優先すべきである」回答者数×（-2）} /（回答者数－無効回答数）で算出

【図表 優先度の平均スコア】

		(スコア／順位)	
第1節	地震への災害対策	0.694	2
	風水害などへの災害対策	0.615	3
第2節	火災などへの消防対策	0.165	14
	防犯対策	0.797	1
第3節	子育て支援サービス	0.448	4
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.215	12
	小・中学校の教育	0.415	5
	青少年の非行防止や健全育成対策	0.185	13
	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	0.406	6
第4節	高齢者の福祉	0.237	11
	障害者の福祉	0.145	15
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	-0.152	25
	健康診断などの保健サービス	-0.009	17
	医療体制の充実	0.253	10
第5節	共生社会の充実・パラハートちようふの取組	-0.416	41
	図書館	-0.344	35
	たづくりを中心とした生涯学習	-0.551	49
	スポーツ振興	-0.568	51
	公民館	-0.605	52
第6節	地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	-0.488	43
	人権に関する啓発・相談	-0.428	42
	女性の社会参加・参画	-0.291	32
	多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組	-0.402	39
	平和・国際交流の取組	-0.390	37
第7節	日常の買い物の便利さ	-0.108	22
	市内工業・商業などの活力	-0.090	21
	市内中小企業に対する支援	-0.194	27
	深大寺などの地域資源を生かした観光振興	-0.299	33
	調布花火	-0.542	48
第8節	「映画のまち調布」を進める取組	-0.495	45
	グリーンホールなどを中心とした文化芸術活動	-0.513	46
	歴史・文化財の保存や継承	-0.412	40
	街並み・景観	-0.013	18
	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい	-0.156	26
第9節	自宅周辺の居住環境	0.316	9
	道路の整備(新設、拡幅を伴う改良)	0.391	7
	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修、清掃、点検等)	0.369	8
	緑の保全・創出や自然環境の保護	-0.064	19
	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	-0.196	28
第10節	公園や遊び場	0.004	16
	ごみ処理やリサイクル	-0.146	24
	生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	-0.261	31
	市民参加と協働の取組	-0.556	50
	市報、ホームページなどを活用した市政情報の発信	-0.540	47
行革 プラン 2023	ホームページの見やすさ	-0.380	36
	民間活力の活用推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	-0.392	38
	窓口・電話における職員の対応	-0.489	44
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	-0.335	34
	行政サービスのデジタル化の取組	-0.121	23
第11節	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	-0.219	29
	行政評価の取組	-0.236	30
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	-0.076	20

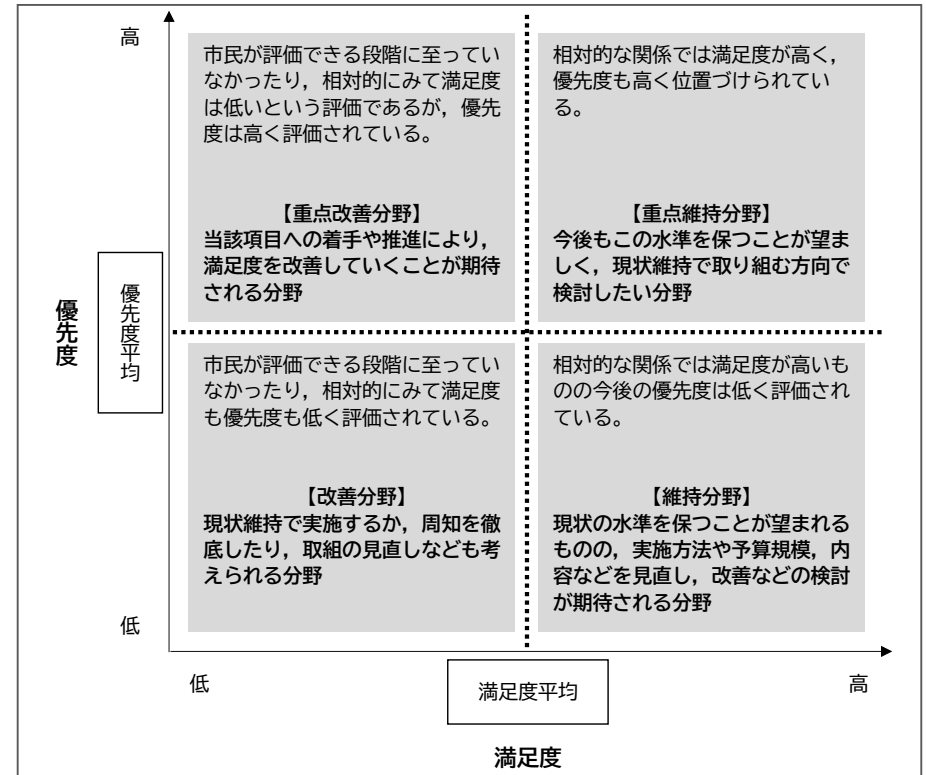
※ [] は、上位又は下位 3 項目

満足度と優先度の比較

○満足度（満足度平均スコア）を横軸、優先度（優先度平均スコア）を縦軸にとり、4 つの区分に分類しました。

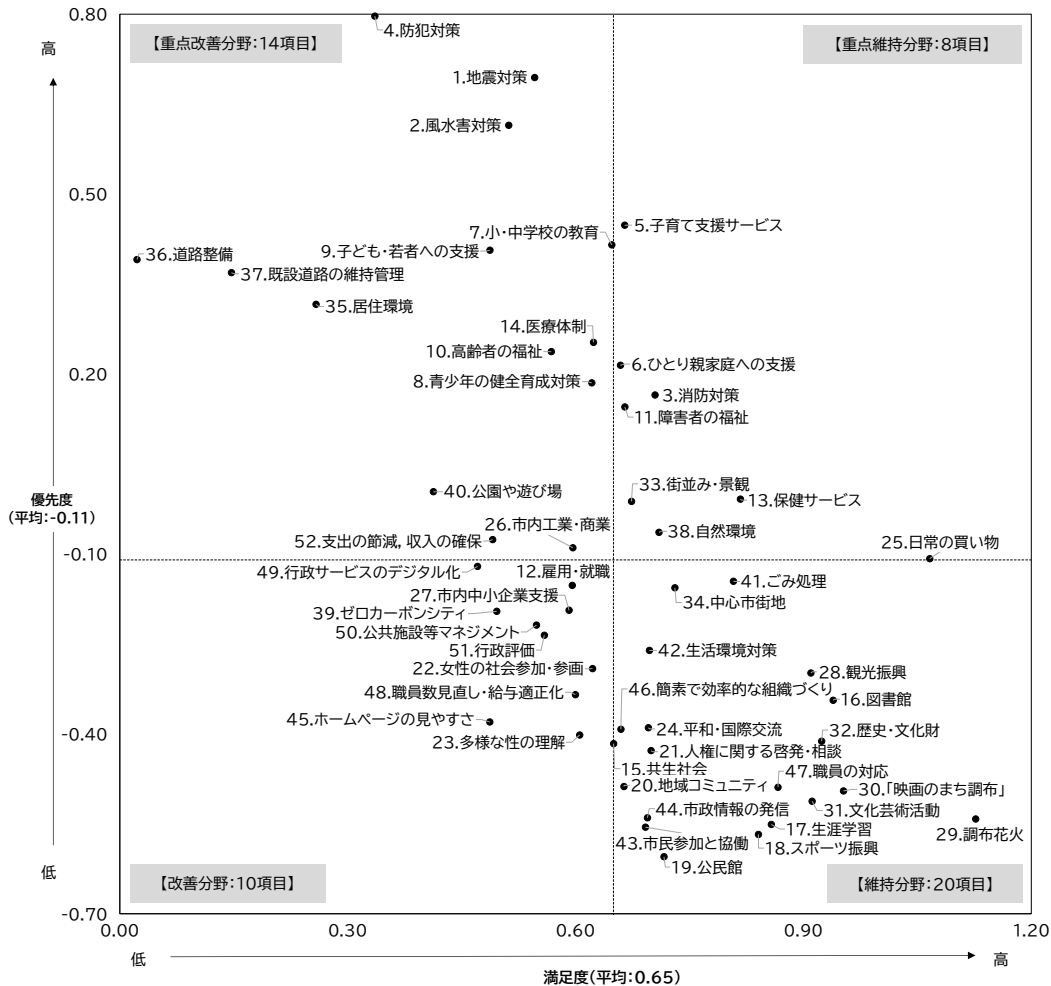
○4 区分のうち、左上の区分は、優先度が高いものの、満足度が低く、ニーズが相対的に高い項目となっています。一方、右下の区分は、満足度が高いものの、優先度が低く、ニーズが相対的に低い項目となっています。

【図表 満足度・優先度散布図の概念】



- 本調査の満足度・優先度散布図を見ると、52項目はおおむね左上の「重点改善分野」（満足度：低，優先度：高）から右下の「維持分野」（満足度：高，優先度：低）にかけて分布しており，優先度が高い分野ほど，満足度が低い傾向にあることが分かります。
- ニーズが高い，左上の「重点改善分野」には14項目が該当しています。

【図表 満足度・優先度散布図】

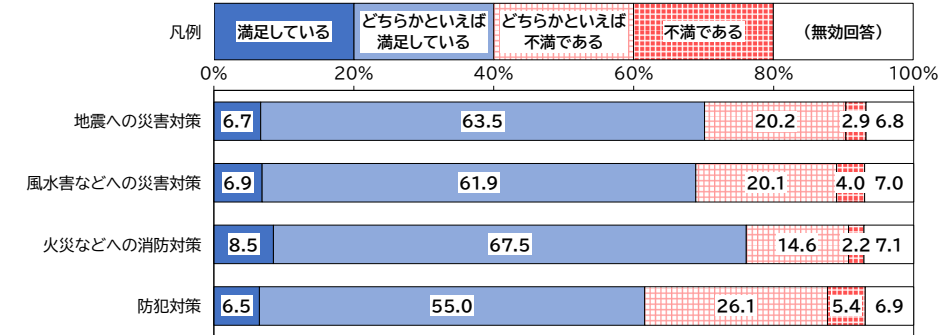


基本目標1 安全に安心して住み続けられるために

（「市政全般（くらし）」についての取組項目No.01～04）

<満足度>

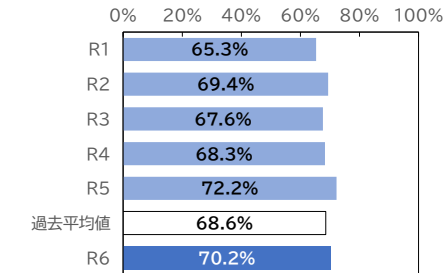
- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「火災などへの消防対策」（76.0%）、「地震への災害対策」（70.2%）、「風水害などへの災害対策」（68.8%）、「防犯対策」（61.5%）の順となっており，4項目全てで60%を超えています。



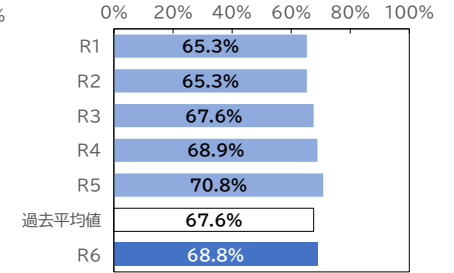
<満足度の経年推移>

- 令和6年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、「地震への災害対策」、「風水害などへの災害対策」において過去の平均を上回っていますが，他の項目では下回っています。

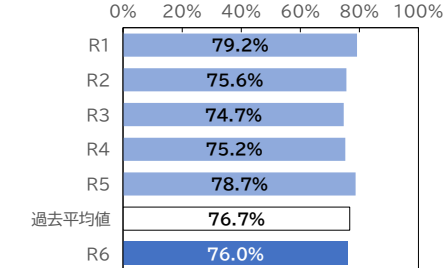
地震への災害対策



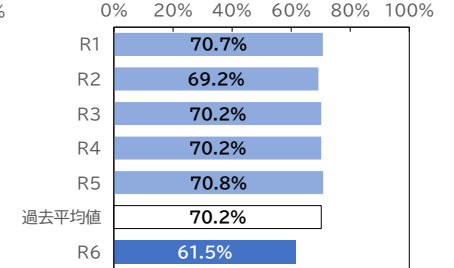
風水害などへの災害対策



火災などへの消防対策



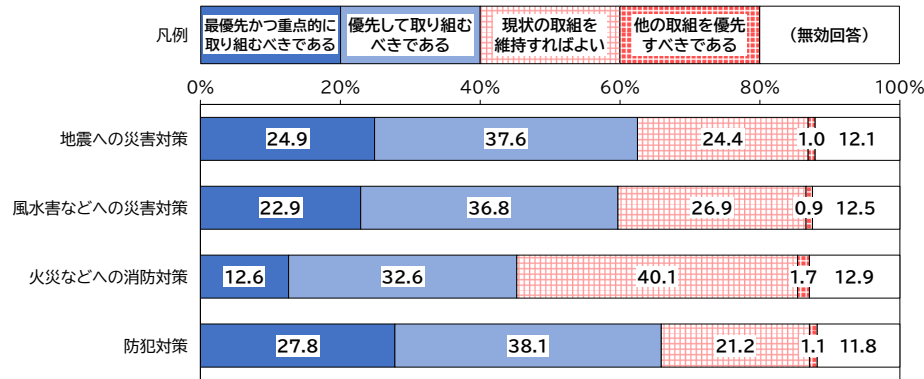
防犯対策



※「地震への災害対策」、「風水害などへの災害対策」は，令和元年度までは「地震，風水害などへの災害対策」としていた調査項目で，令和2年度に分離・新設した項目です。そのため，「地震，風水害などへの災害対策」としていた調査項目における令和元年度の値を参考に掲載しています。

<優先度>

- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「防犯対策」（65.9%）、「地震への災害対策」（62.5%）、「風水害などへの災害対策」（59.7%）、「火災などへの消防対策」（45.2%）の順に高くなっています。

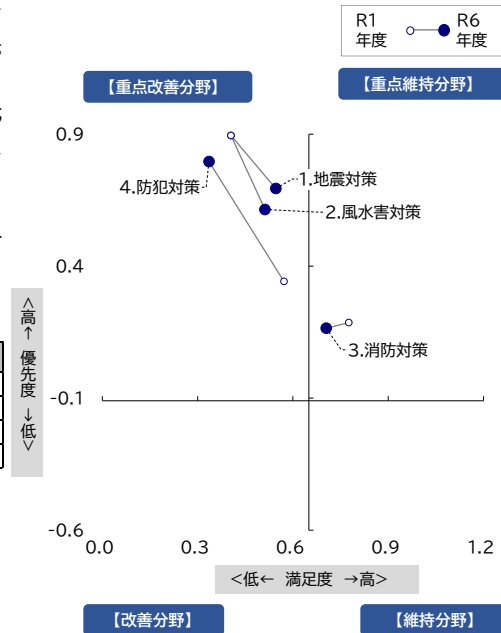


<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標 1 安全に安心して住み続けられるために」の各項目は、総じて優先度が高くなっています。
- 優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「地震への災害対策」、「風水害などへの災害対策」、「防犯対策」が該当しています。
- 令和元年度の調査結果と比べ、「防犯対策」は満足度が低下し、優先度が高まっています。

	取組項目	満足度	優先度
1	地震への災害対策	0.55	0.69
2	風水害などへの災害対策	0.51	0.61
3	火災などへの消防対策	0.70	0.17
4	防犯対策	0.34	0.80

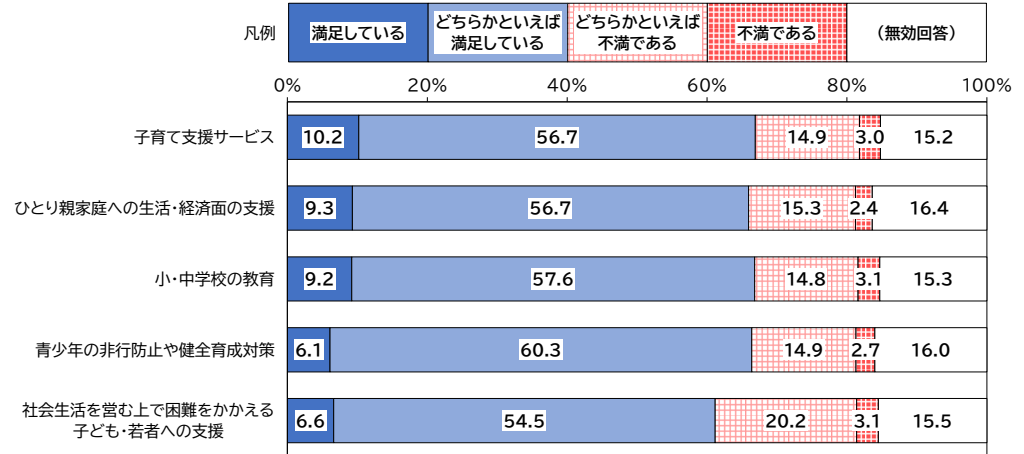
※「地震への災害対策」、「風水害などへの災害対策」は、令和元年度までは「地震、風水害などへの災害対策」としていた調査項目で、令和2年度に分離・新設した項目です。そのため、「地震、風水害などへの災害対策」としていた調査項目における令和元年度からの推移を参考に掲載しています。



基本目標 2 安心して子どもを産み育てられ、将来を担う子ども・若者が力を発揮できるために（「市政全般（くらし）」）についての取組項目No.05～09）

<満足度>

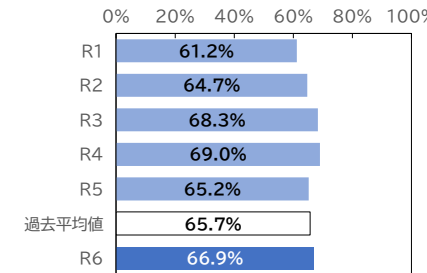
- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「子育て支援サービス」（66.9%）、「小・中学校の教育」（66.8%）、「青少年の非行防止や健全育成対策」（66.4%）の順となっており、5項目全てで60%を超えています。



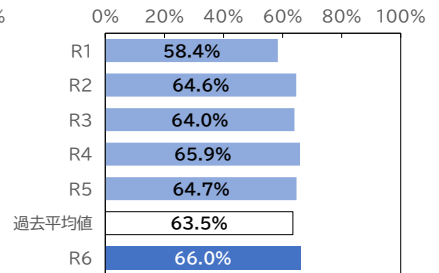
<満足度の経年推移>

- 令和6年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、5項目全てにおいて過去の平均と同じか上回っています。

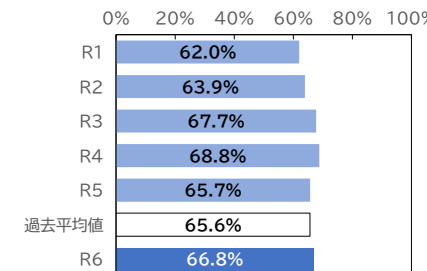
子育て支援サービス



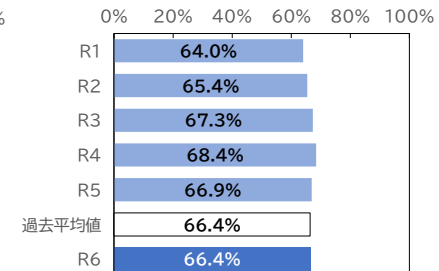
ひとり親家庭への生活・経済面の支援



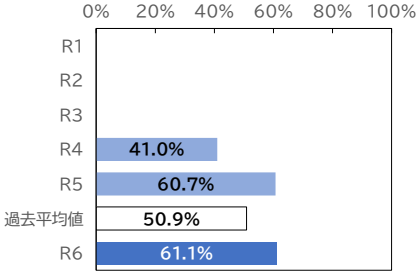
小・中学校の教育



青少年の非行防止や健全育成対策



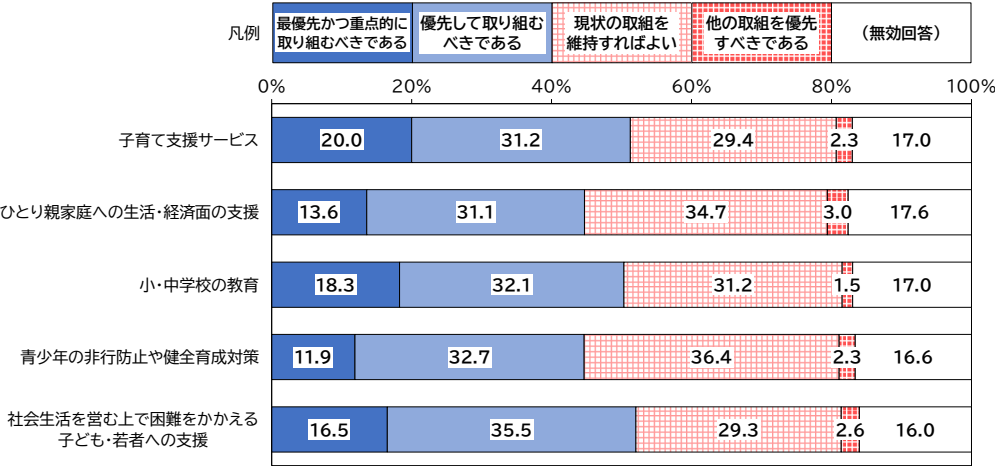
社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援



※「社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者への支援」は、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（R4. 12. 12～12. 28）」から新設した調査項目です。

<優先度>

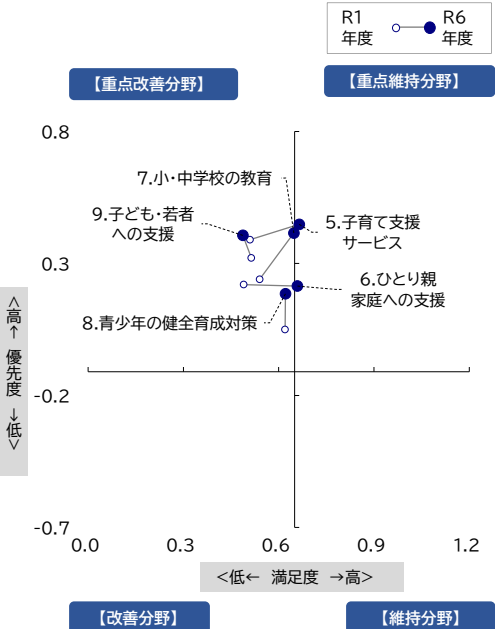
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援」（52.0%）,「子育て支援サービス」（51.2%）,「小・中学校の教育」（50.4%）の順に高くなっています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標 2 安心して子どもを産み育てられ、将来を担う子ども・若者が力を発揮できるために」の各項目は、総じて優先度が高くなっています。
- 優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「小・中学校の教育」,「青少年の非行防止や健全育成対策」,「社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援」が該当します。
- 令和元年度の調査結果と比べ、「子育て支援サービス」と「ひとり親家庭への生活・経済面の支援」は重点改善分野から重点維持分野へ移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
5	子育て支援サービス	0.66	0.45
6	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.66	0.21
7	小・中学校の教育	0.65	0.42
8	青少年の非行防止や健全育成対策	0.62	0.19
9	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	0.49	0.41



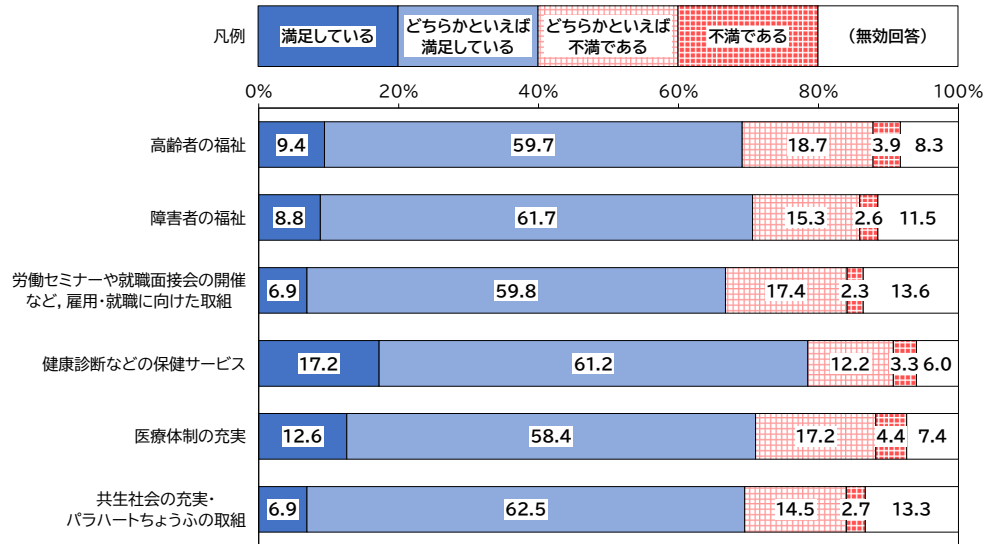
※「社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援」は「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（R4. 12. 12～12. 28）」から新設した調査項目です。そのため、令和4年度からの推移を参考に掲載しています。

基本目標3 みんなで支え合い、いつまでも心穏やかに暮らすために

（「市政全般（くらし）」についての取組項目No.10～15）

<満足度>

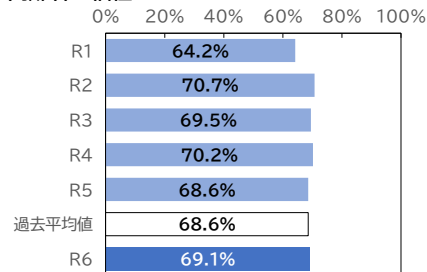
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「健康診断などの保健サービス」（78.4%）、「医療体制の充実」（71.0%）、「障害者の福祉」（70.5%）の順となっており、6項目全てで60%を超えています。



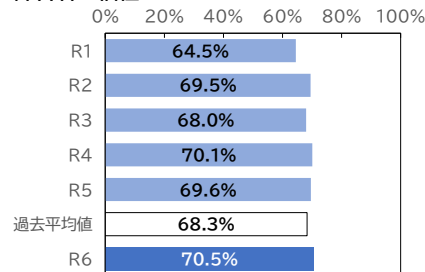
<満足度の経年推移>

○令和6年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、「医療体制の充実」、「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」を除いた4項目で過去の平均を上回っています。

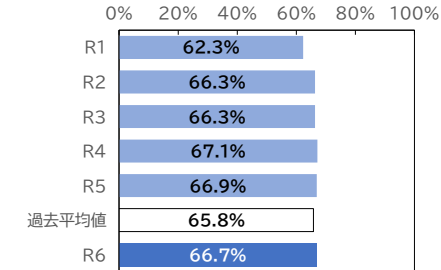
高齢者の福祉



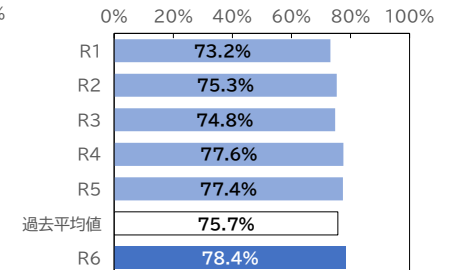
障害者の福祉



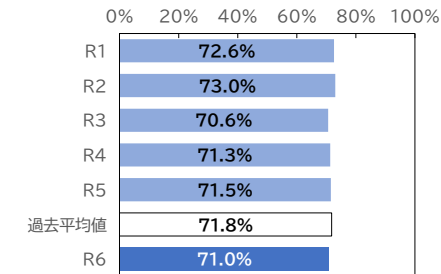
労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組



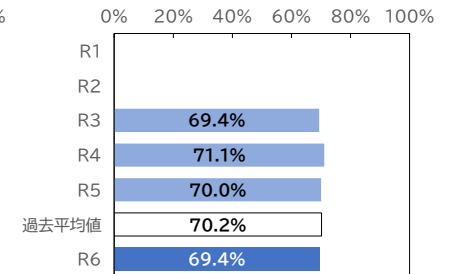
健康診断などの保健サービス



医療体制の充実



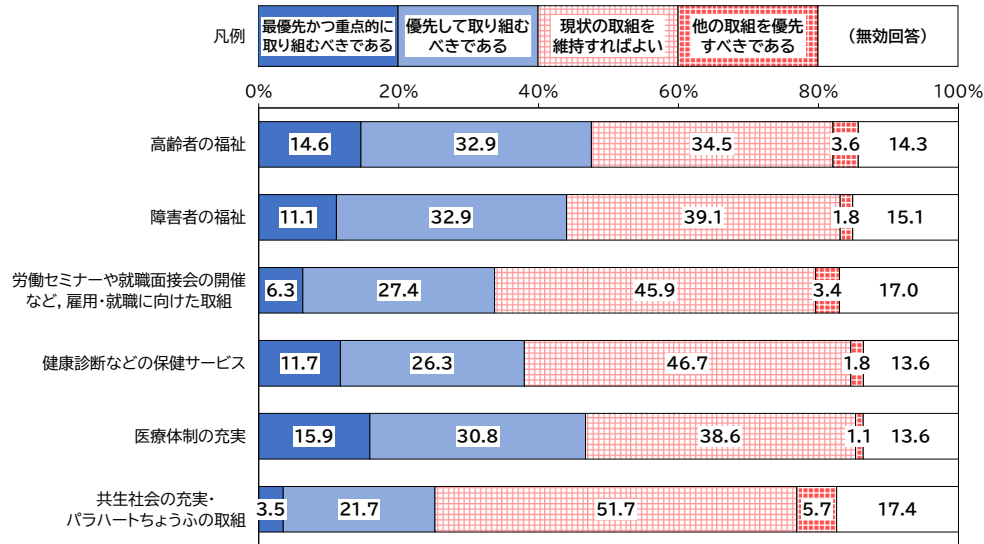
共生社会の充実・パラハートちょうふの取組



※「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」は令和3年度に新設した調査項目です。

<優先度>

- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「高齢者の福祉」（47.5%）,「医療体制の充実」（46.7%）,「障害者の福祉」（44.0%）の順に高くなっています。



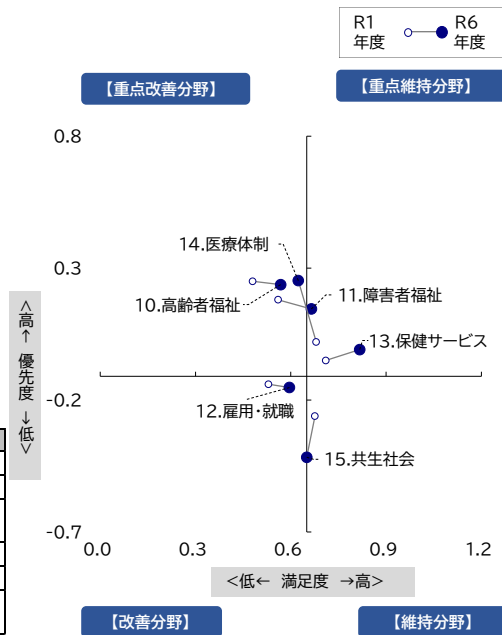
<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標 3 みんなで支え合い、いつまでも心穏やかに暮らすために」の6項目中、「高齢者の福祉」,「医療体制の充実」の2項目が、優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」に該当しています。

- 令和元年度の調査結果と比べ、「障害者の福祉」は重点改善分野から重点維持分野に移行し、「医療体制の充実」は重点維持分野から重点改善分野へと移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
10	高齢者の福祉	0.57	0.24
11	障害者の福祉	0.66	0.15
12	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	0.60	-0.15
13	健康診断などの保健サービス	0.82	-0.01
14	医療体制の充実	0.62	0.25
15	共生社会の充実・パラハートちょうふの取組	0.65	-0.42

※「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」は令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

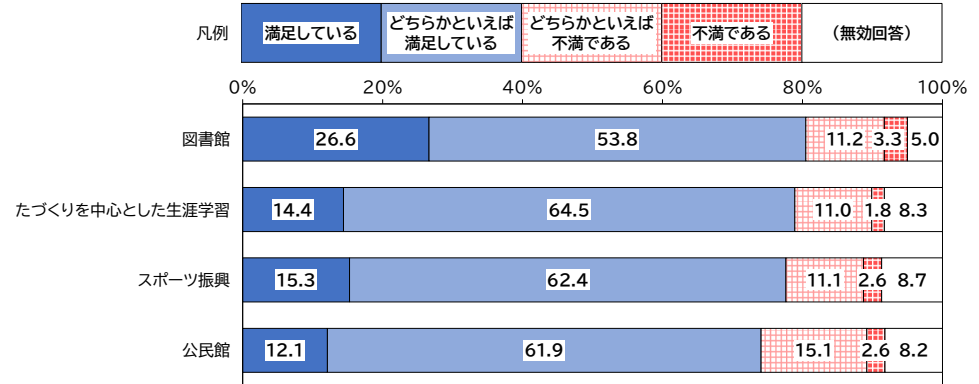


基本目標 4 学びやスポーツを通じ、誰もが充実した毎日過ごすために

(「市政全般(くらし)」についての取組項目No.16~19)

<満足度>

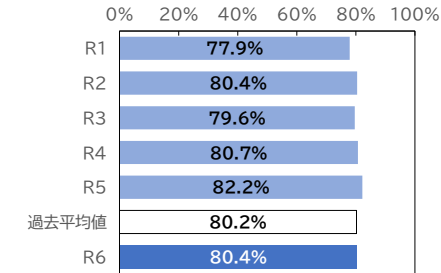
- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「図書館」（80.4%）,「たづくりを中心とした生涯学習」（78.9%）,「スポーツ振興」（77.7%）,「公民館」（74.0%）の順となっており、いずれも70%を超えています。



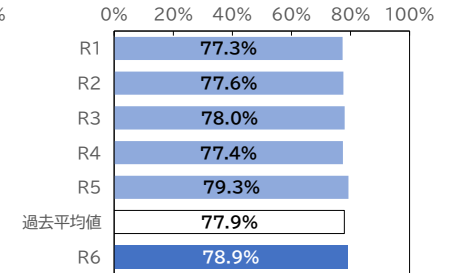
<満足度の経年推移>

- 令和6年度の満足度（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）は、「公民館」を除いた3項目で過去の平均を上回っています。

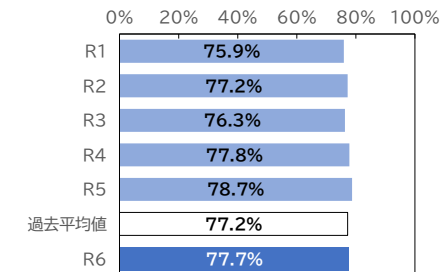
図書館



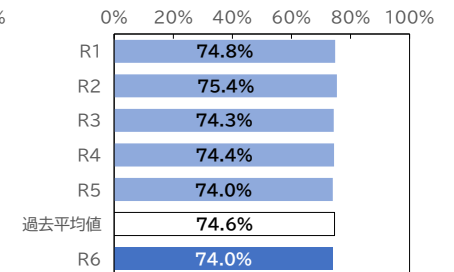
たづくりを中心とした生涯学習



スポーツ振興

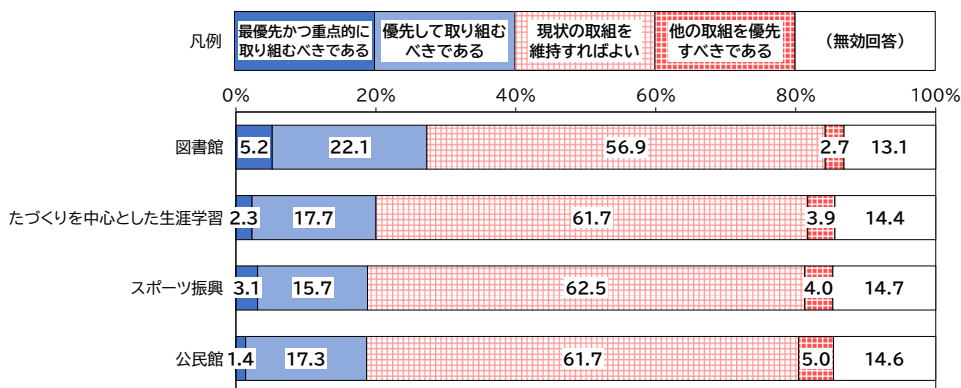


公民館



<優先度>

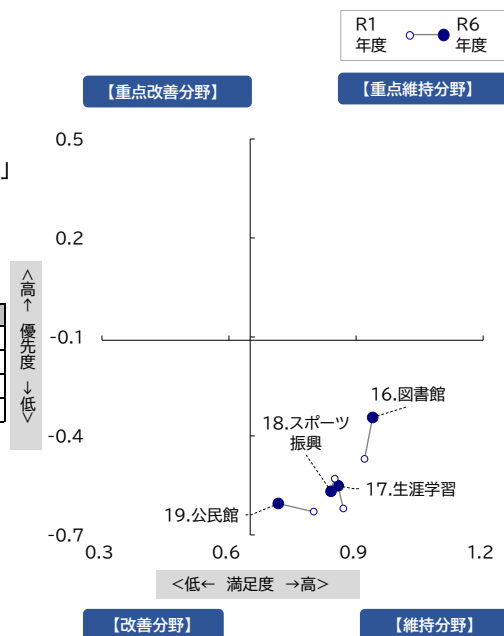
- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも 30%を下回っています。なお、全ての項目において「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



＜満足度・優先度平均スコア＞

- 「基本目標 4 学びやスポーツを通じ、誰もが充実した毎日を過ごすために」の各項目は、全て満足度が高く、優先度が低い「維持分野」に該当しています。
- 令和元年度の調査結果と比べ、「図書館」を除いた 3 項目で満足度が低下し、「スポーツ振興」を除いた 3 項目で優先度が高まっています。

	取組項目	満足度	優先度
16	図書館	0.94	-0.34
17	たづくりを中心とした生涯学習	0.86	-0.55
18	スポーツ振興	0.84	-0.57
19	公民館	0.72	-0.61

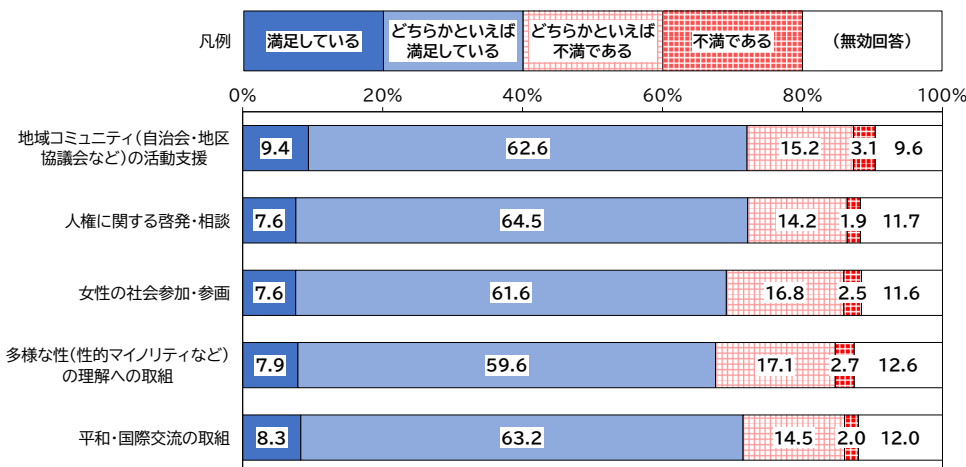


基本目標5 多様性を認め合い、安心して自分らしく暮らせるために

(「市政全般(くらし)」についての取組項目No.20～24)

<満足度>

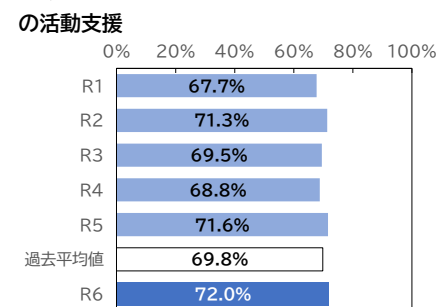
- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「人権に関する啓発・相談」(72.1%)、「地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援」(72.0%)、「平和・国際交流の取組」(71.5%)の順となっており、全項目で60%を超えています。



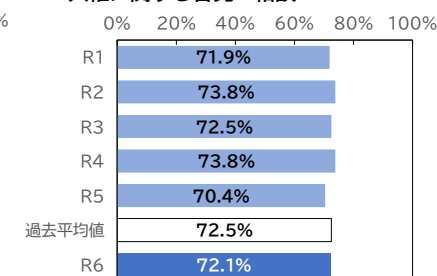
＜満足度の経年推移＞

- 令和 6 年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、「地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援」と「多様性（性的マイノリティなど）の理解への取組」において過去の平均を上回っていますが、他の項目はいずれも過去の平均を下回っています。

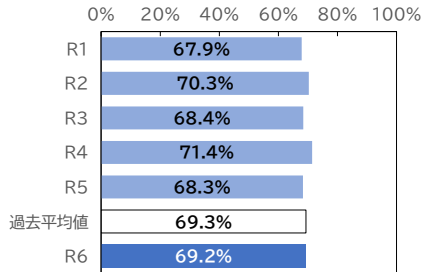
地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）



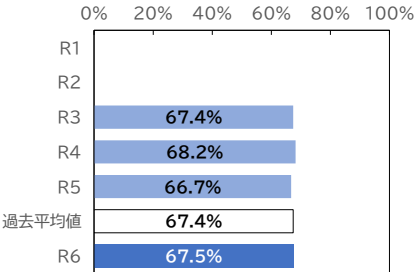
人権に関する啓発・相談



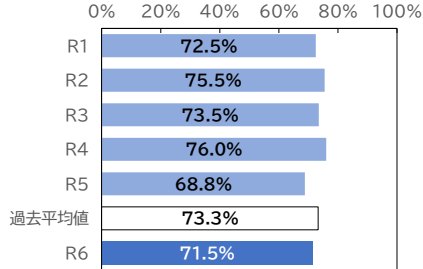
女性の社会参加・参画



多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組



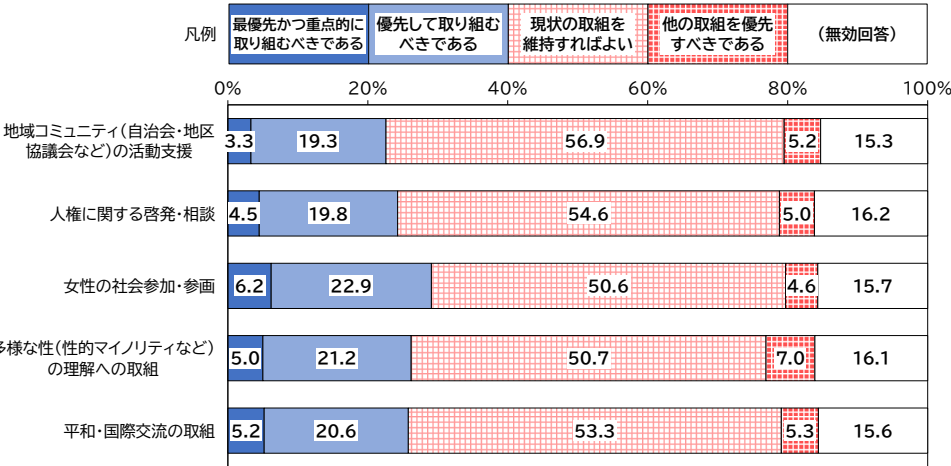
平和・国際交流の取組



※「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」は令和3年度に新設した調査項目です。

<優先度>

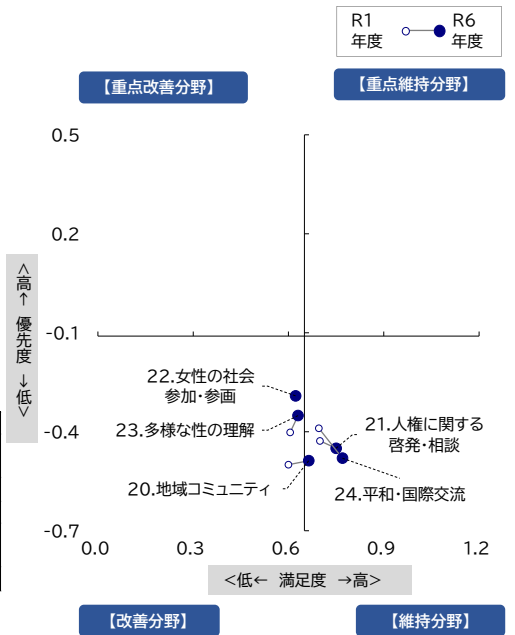
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも30%を下回っています。また、5項目全てで、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標5 多様性を認め合い、安心して自分らしく暮らせるために」の5項目中、「女性の社会参加・参画」、「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」の2項目が、満足度及び優先度がともに低い「改善分野」に該当しています。
- 令和元年度の調査結果と比べ、「地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援」は改善分野から維持分野に移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
20	地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	0.66	-0.49
21	人権に関する啓発・相談	0.70	-0.43
22	女性の社会参加・参画	0.62	-0.29
23	多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組	0.61	-0.40
24	平和・国際交流の取組	0.70	-0.39



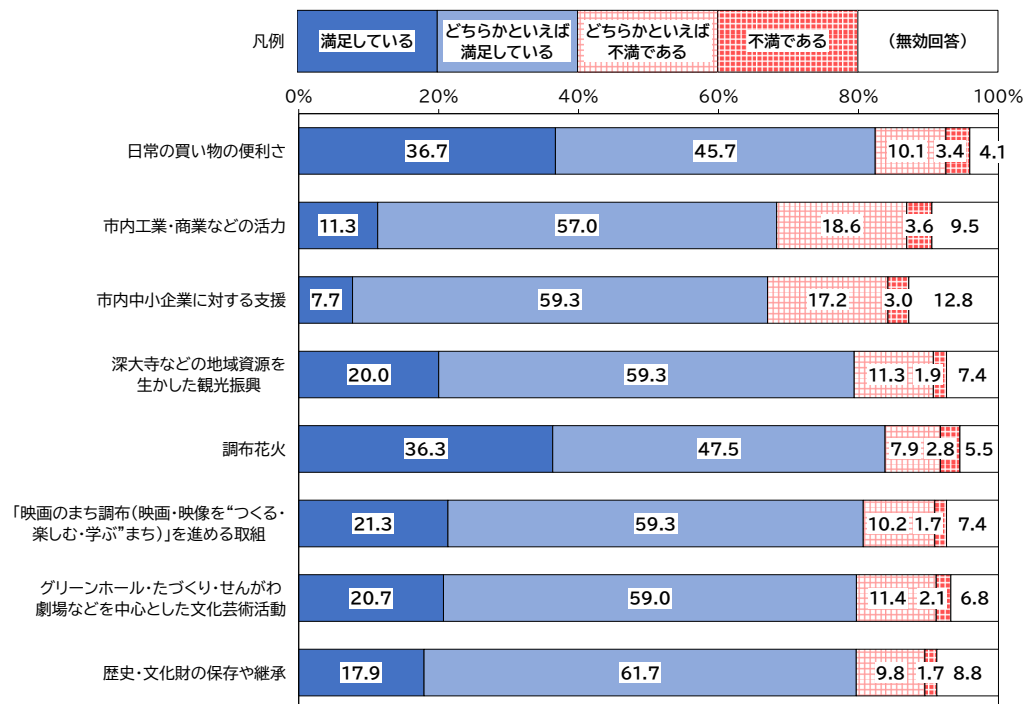
※「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」は令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

基本目標 6 調布ならではの魅力にあふれ、活気に満ちたまちにするために

（「市政全般（くらし）」についての取組項目No.25～32）

<満足度>

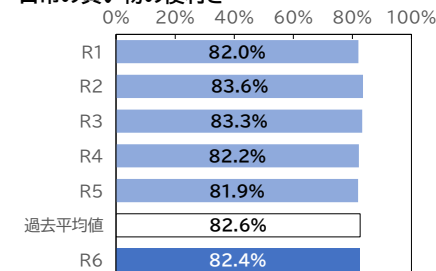
- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「調布花火」（83.8%）、「日常の買い物の便利さ」（82.4%）、「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組」（80.6%）、「グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動」（79.7%）の順となっており、8項目全てで60%を超えています。



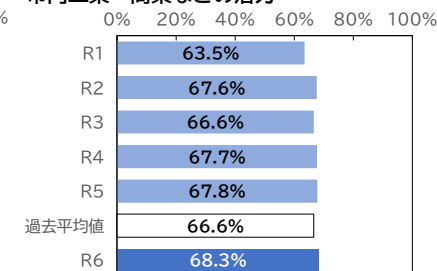
<満足度の経年推移>

- 令和6年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、「日常の買い物の便利さ」と「深大寺などの地域資源を生かした観光振興」において過去の平均を下回っていますが、他の項目はいずれも過去の平均を上回っています。

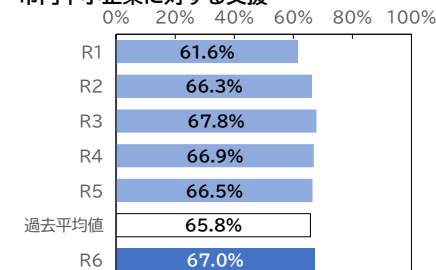
日常の買い物の便利さ



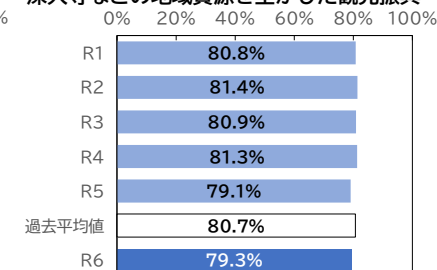
市内工業・商業などの活力



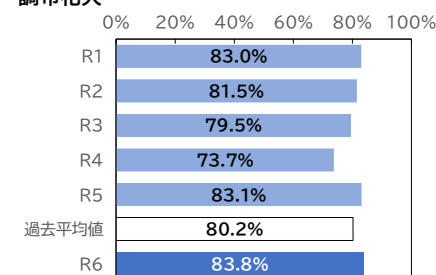
市内中小企業に対する支援



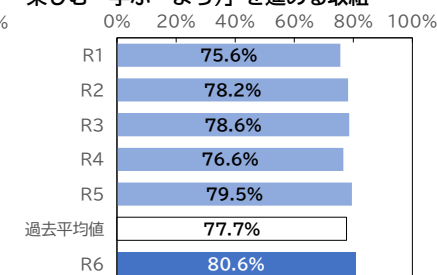
深大寺などの地域資源を生かした観光振興



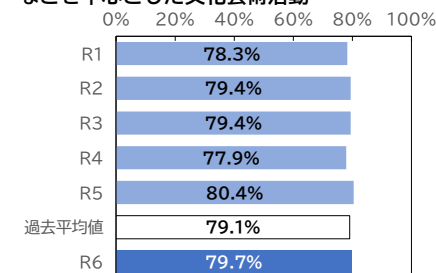
調布花火



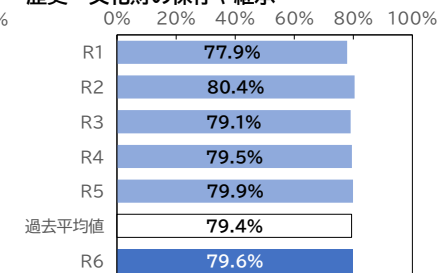
「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組



グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動



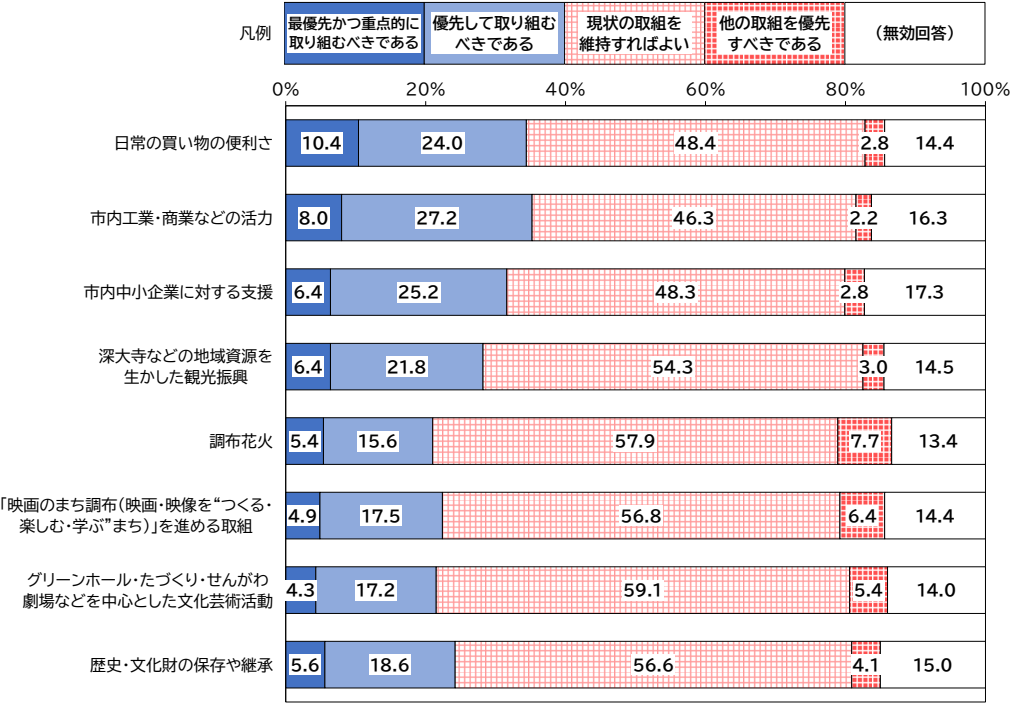
歴史・文化財の保存や継承



※「調布花火」は、令和3年度までは「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」、令和4年度は「調布花火（映画のまち調布花火）」としていた調査項目です。そのため、「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」としていた調査項目における令和3年度以前の推移を参考に掲載しています。

<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも40%を下回っています。また、「市内工業・商業などの活力」を除いた7項目で、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。

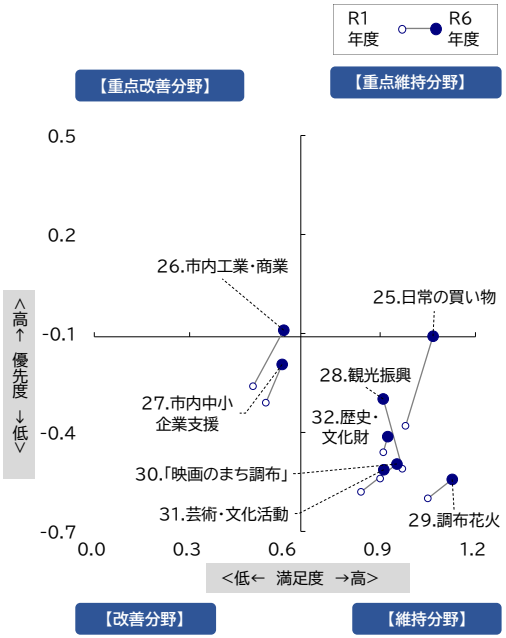


<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標6 調布ならではの魅力にあふれ、活気に満ちたまちにするために」の全8項目中5項目が、「維持分野」に該当しています。
- 令和元年度の調査結果と比べ、「深大寺などの地域資源を生かした観光振興」を除いた7項目で満足度が高まり、優先度は8項目全てが高まっています。このうち、令和元年度に維持分野に該当していた「日常の買い物の便利さ」は重点維持分野に、改善分野に該当していた「市内工業・商業などの活力」は重点改善分野に移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
25	日常の買い物の便利さ	1.07	-0.11
26	市内工業・商業などの活力	0.60	-0.09
27	市内中小企業に対する支援	0.59	-0.19
28	深大寺などの地域資源を生かした観光振興	0.91	-0.30
29	調布花火	1.13	-0.54
30	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	0.95	-0.50
31	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動	0.91	-0.51
32	歴史・文化財の保存や継承	0.92	-0.41

※「調布花火」は、令和3年度までは「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」、令和4年度は「調布花火（映画のまち調布花火）」としていた調査項目です。そのため、「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」としていた調査項目における令和元年度からの推移を参考に掲載しています。

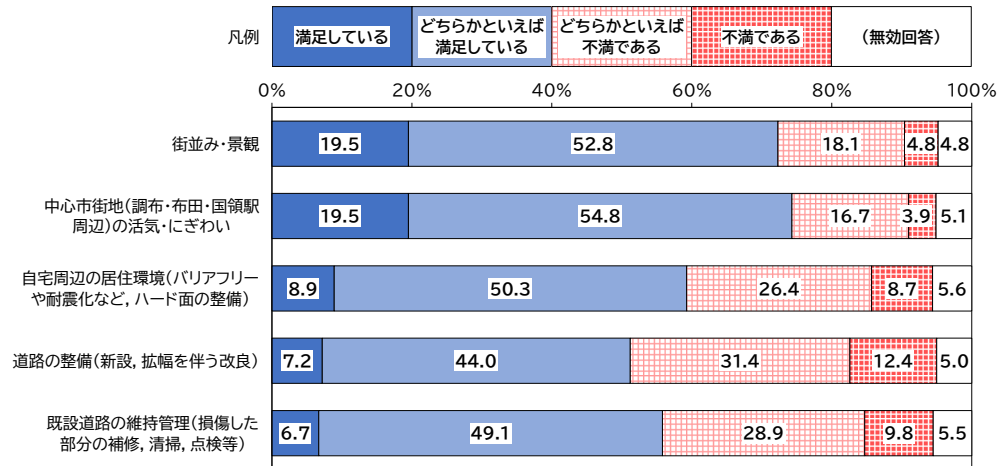


基本目標7 地域の特徴を生かした快適で利便性に富むまちをつくるために

（「市政全般（くらし）」についての取組項目No.33～37）

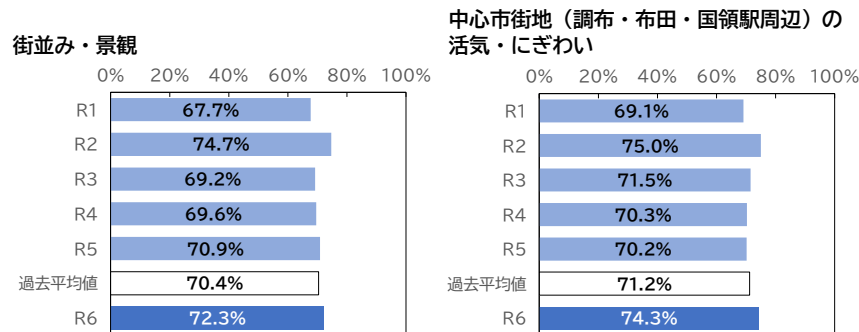
<満足度>

- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい」（74.3%）,「街並み・景観」（72.3%）,「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）」（59.2%）,「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修, 清掃, 点検等）」（55.8%）の順となっており, 5項目全てで半数を上回っています。

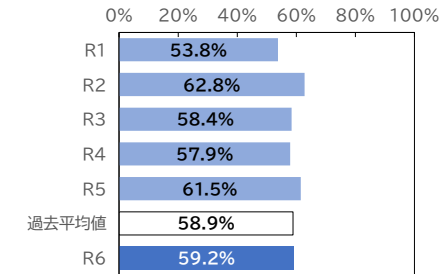


<満足度の経年推移>

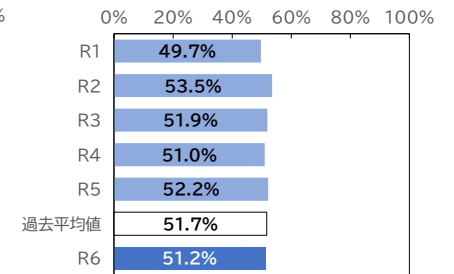
- 令和6年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、「道路の整備（新設, 拡幅を伴う改良）」において過去の平均を下回っていますが, 他の項目では上回っています。



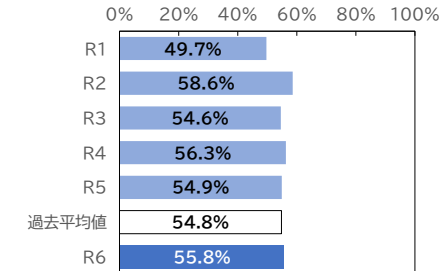
自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）



道路の整備（新設, 拡幅を伴う改良）



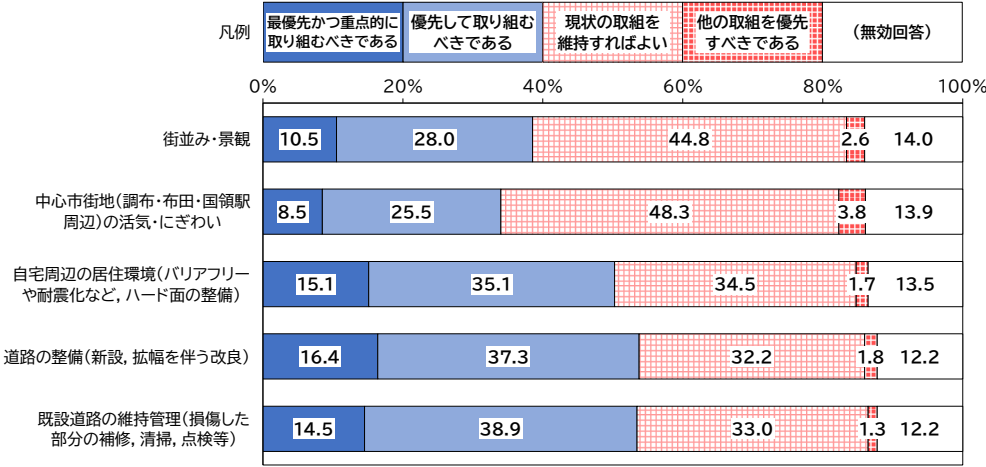
既設道路の維持管理（損傷した部分の補修, 清掃, 点検等）



※「道路の整備（新設, 拡幅を伴う改良）」,「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修, 清掃, 点検等）」は, 令和元年度までは「道路整備」としていた調査項目で, 令和2年度に分離・新設した項目です。そのため, 「道路整備」としていた調査項目における令和元年度の値を参考に掲載しています。

<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）」（53.7%），「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，清掃，点検等）」（53.4%），「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など，ハード面の整備）」（50.2%），「街並み・景観」（38.5%），「中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい」（34.0%）の順となっています。

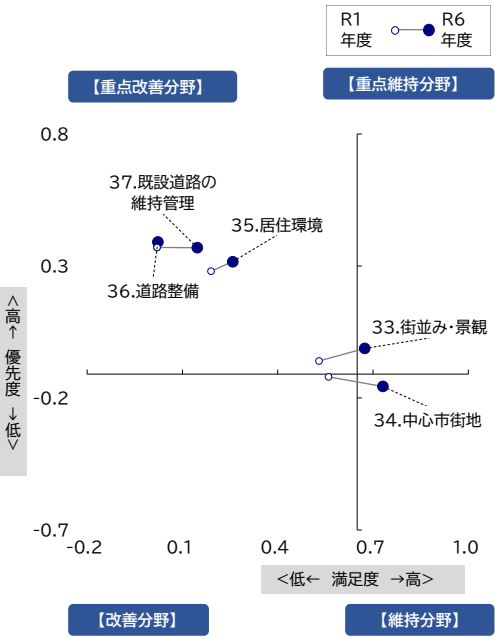


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標7 地域の特徴を生かした快適で利便性に富むまちをつくるために」の5項目中，「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など，ハード面の整備）」，「道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）」，「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，清掃，点検等）」の3項目が，優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」に該当しています。

○令和元年度の調査結果と比べ，いずれの項目も満足度が高くなっています。このため，「街並み・景観」は重点改善分野から重点維持分野に移行し，「中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい」は改善分野から維持分野に移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
33	街並み・景観	0.67	-0.01
34	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい	0.73	-0.16
35	自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など，ハード面の整備)	0.26	0.32
36	道路の整備(新設，拡幅を伴う改良)	0.02	0.39
37	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修，清掃，点検等)	0.15	0.37



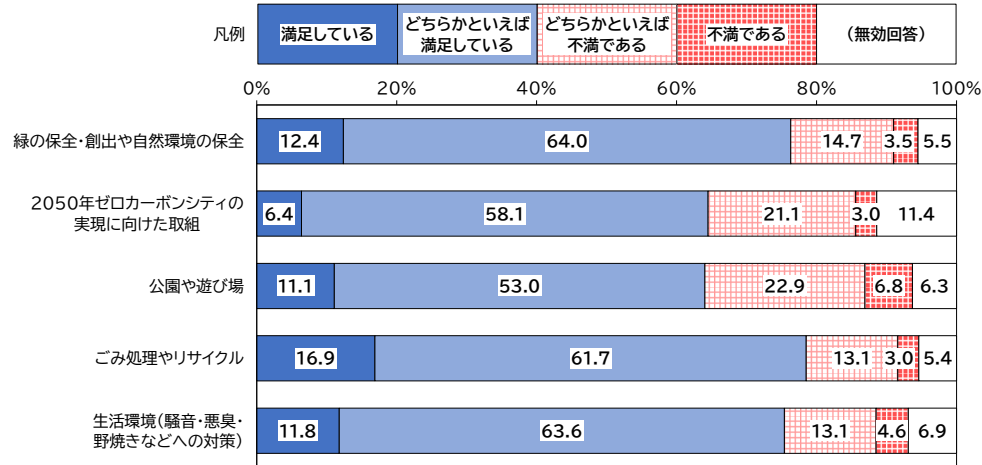
※「道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）」，「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，補修，清掃，点検等）」は，令和元年度までは「道路整備」としていた調査項目で，令和2年度に分離・新設した項目です。そのため，「道路整備」としていた調査項目における令和元年度からの推移を参考に掲載しています。

基本目標 8 豊かな自然と人が共生する、持続可能なまちをつくるために

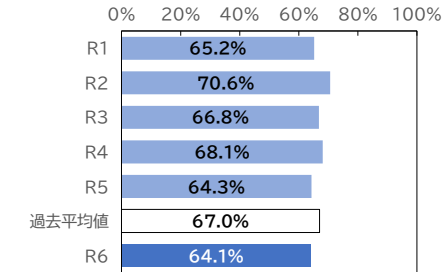
（「市政全般（くらし）」についての取組項目No.38～42）

<満足度>

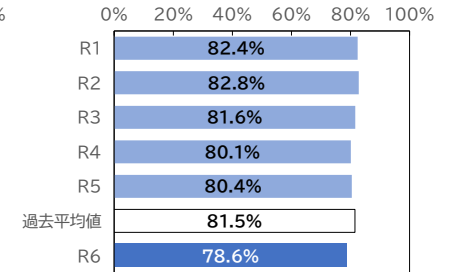
- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「ごみ処理やリサイクル」（78.6%）,「緑の保全・創出や自然環境の保護」（76.4%）,「生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）」（75.4%）,「2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」（64.5%）の順となっています。



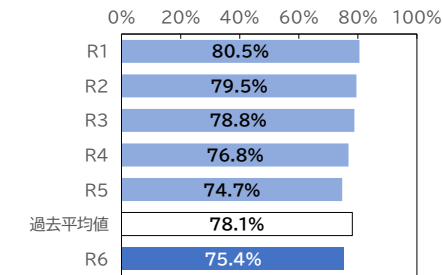
公園や遊び場



ごみ処理やリサイクル



生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）

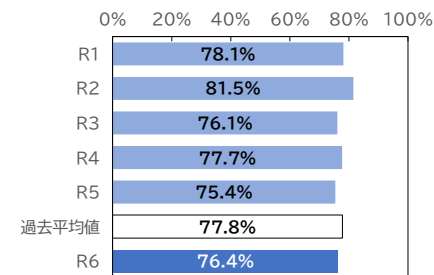


※「2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」は、令和 3 年度に新設した調査項目です。

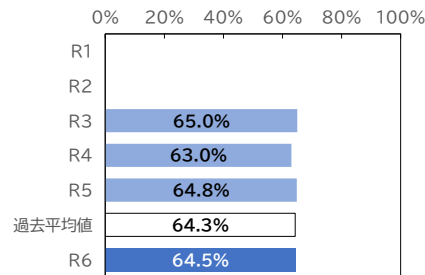
<満足度の経年推移>

- 令和 6 年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、「2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」において過去の平均をわずかに上回っていますが、他の項目ではいずれも過去の平均を下回っています。

緑の保全・創出や自然環境の保護

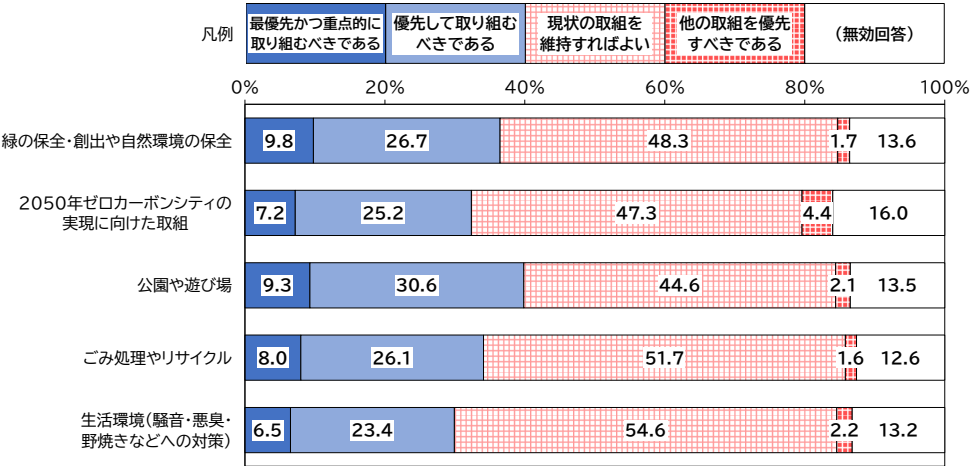


2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組



<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも 40%を下回っています。

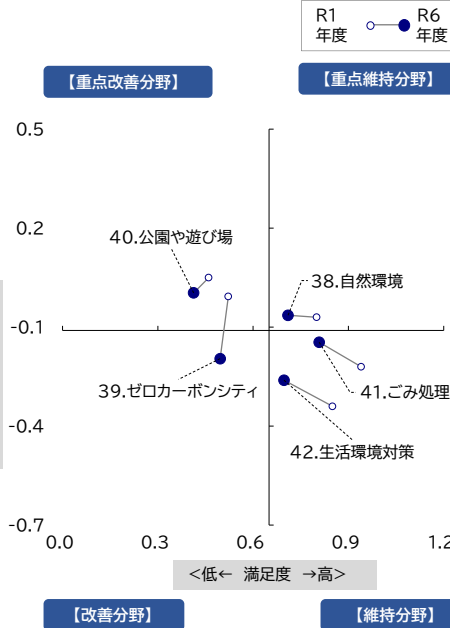


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標 8 豊かな自然と人が共生する、持続可能なまちをつくるために」の 5 項目中、「公園や遊び場」の 1 項目が、優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」に該当しています。また、満足度が高く、優先度も高い「重点維持分野」には、「緑の保全・創出や自然環境の保全」が該当しています。

○令和元年度の調査結果と比べ、いずれの項目も満足度が低くなっています。また、令和元年度に「重点改善分野」に該当していた「2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」は「改善分野」に移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
38	緑の保全・創出や自然環境の保全	0.71	-0.06
39	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	0.50	-0.20
40	公園や遊び場	0.41	0.00
41	ごみ処理やリサイクル	0.81	-0.15
42	生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	0.70	-0.26

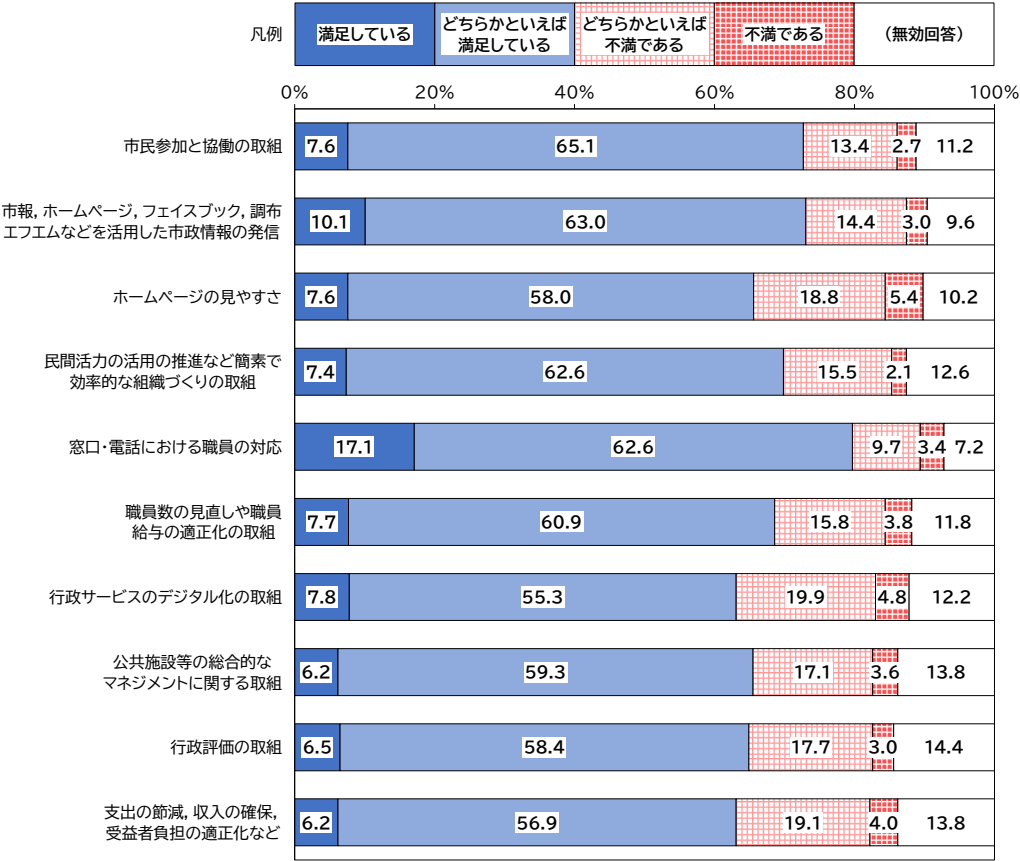


※「2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」は令和 3 年度に新設した調査項目です。そのため、令和 3 年度からの推移を参考に掲載しています。

行革プラン 2023(「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.43～52)

<満足度>

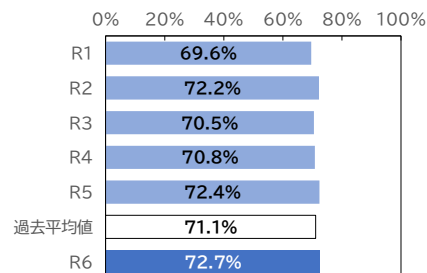
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「窓口・電話における職員の対応」(79.7%),「市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信」(73.1%),「市民参加と協働の取組」(72.7%)の順となっており、全項目において 60%を超えています。



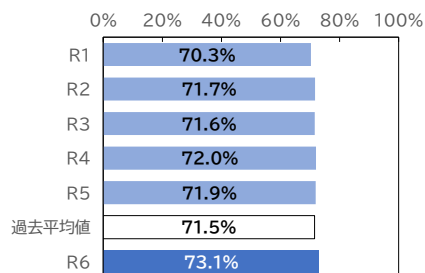
<満足度の経年推移>

○令和6年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、「公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組」において過去の平均をわずかに下回っていますが、他の項目ではいずれも過去の平均を上回っています。

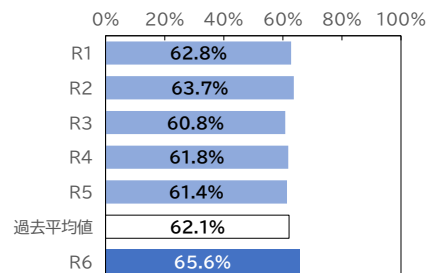
市民参加と協働の取組



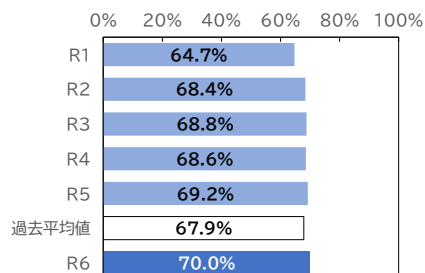
市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信



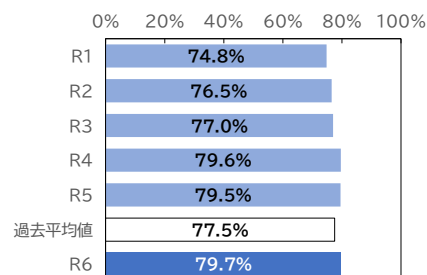
ホームページの見やすさ



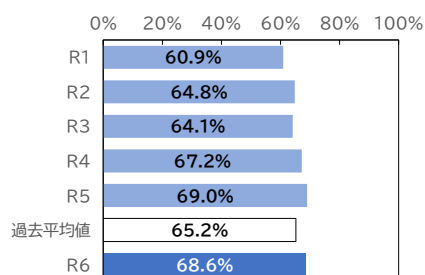
民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組



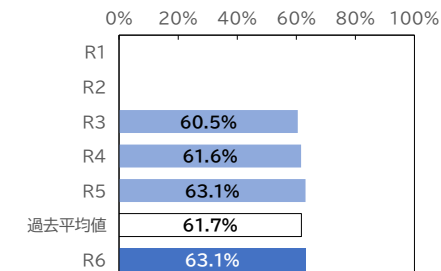
窓口・電話における職員の対応



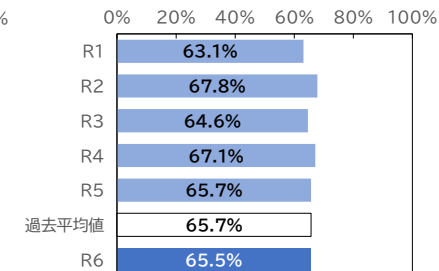
職員数の見直しや職員給与の適正化の取組



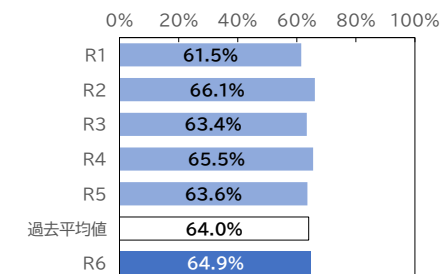
行政サービスのデジタル化の取組



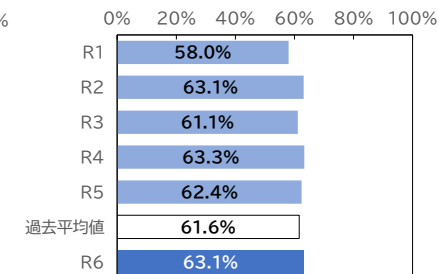
公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組



行政評価の取組



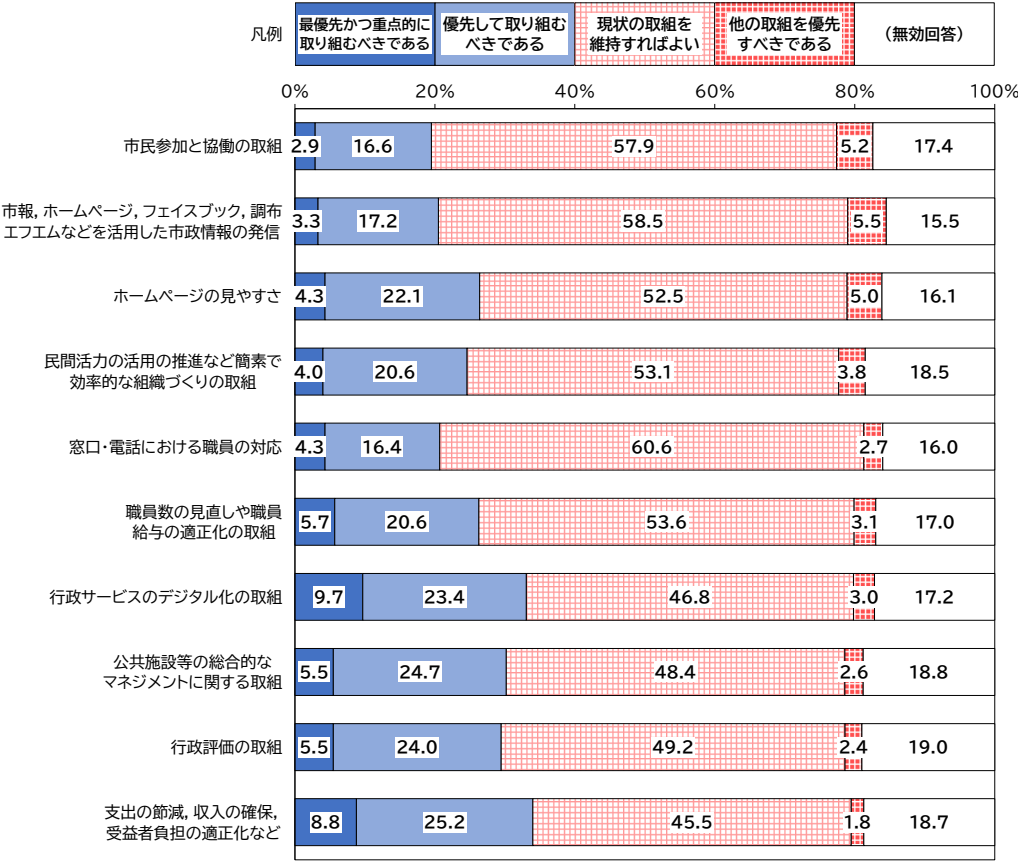
支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など



※「行政サービスのデジタル化の取組」は令和3年度に新設した調査項目です。

<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも40%を下回っています。なお、「行政サービスのデジタル化の取組」と「支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など」を除く8項目では、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



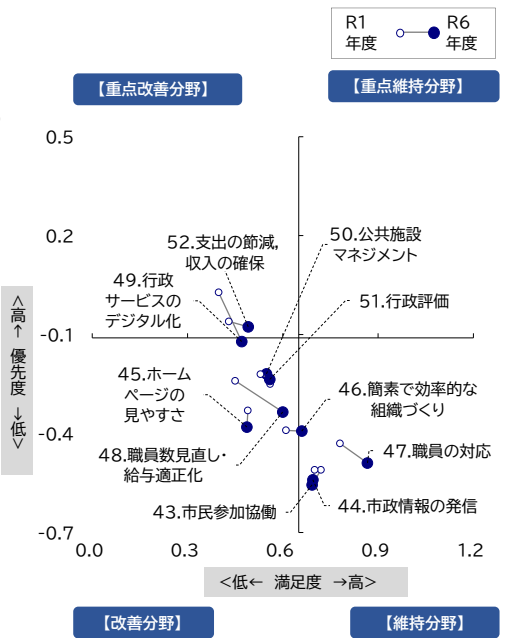
<満足度・優先度平均スコア>

○「行革プラン2023」の各項目は、おおむね優先度が低くなっています。

○優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など」が該当しています。

○令和元年度の調査結果と比べ、「行政サービスのデジタル化の取組」は重点改善分野から改善分野に移行し、「民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組」は改善分野から維持分野に移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
43	市民参加と協働の取組	0.69	-0.56
44	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	0.69	-0.54
45	ホームページの見やすさ	0.49	-0.38
46	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	0.66	-0.39
47	窓口・電話における職員の対応	0.87	-0.49
48	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	0.60	-0.33
49	行政サービスのデジタル化の取組	0.47	-0.12
50	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	0.55	-0.22
51	行政評価の取組	0.56	-0.24
52	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	0.49	-0.08

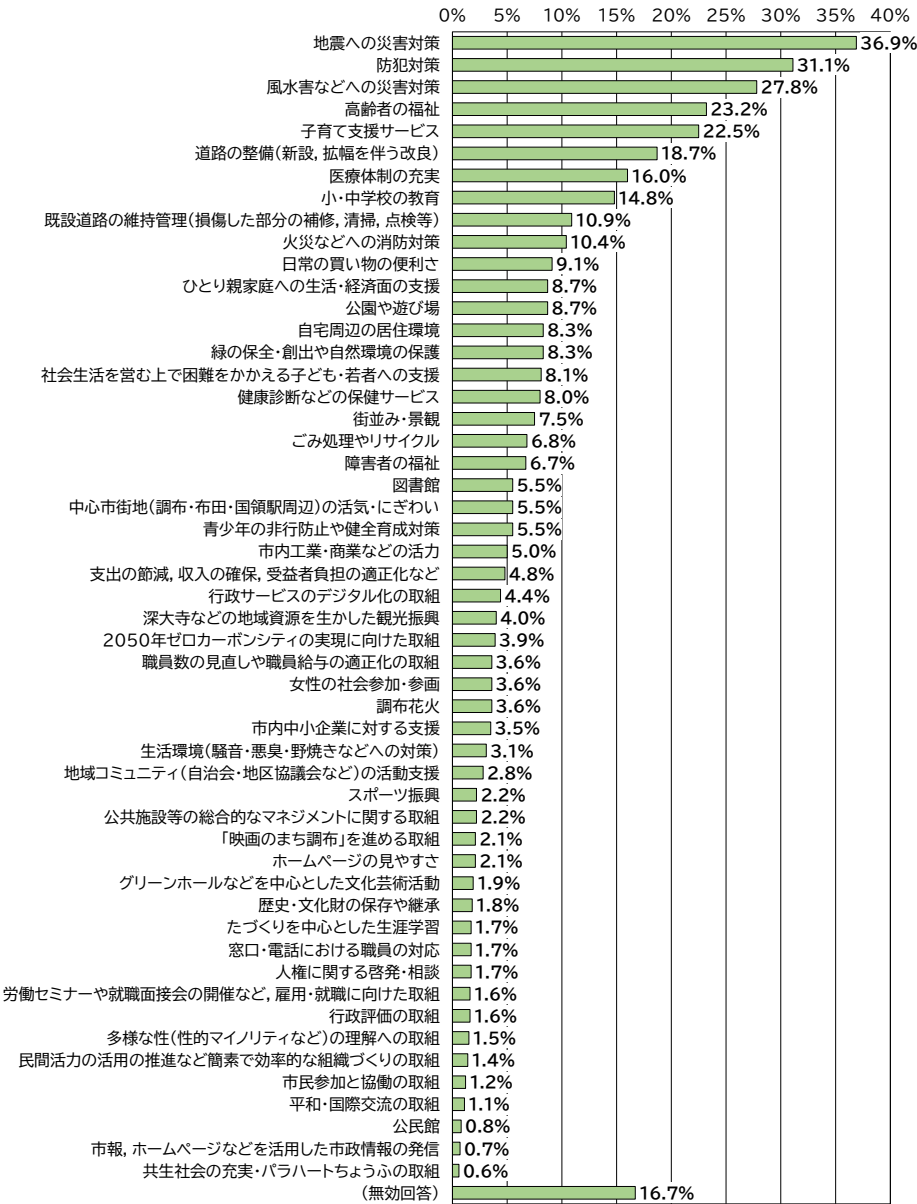


※「行政サービスのデジタル化の取組」は、令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

問 13-1) あなたは、問 13 の No.1～No. 52 までの取組項目の中で、今後、市がもっと力を入れるべきだと思う取組はどれですか。

<全体（n=1,210）>

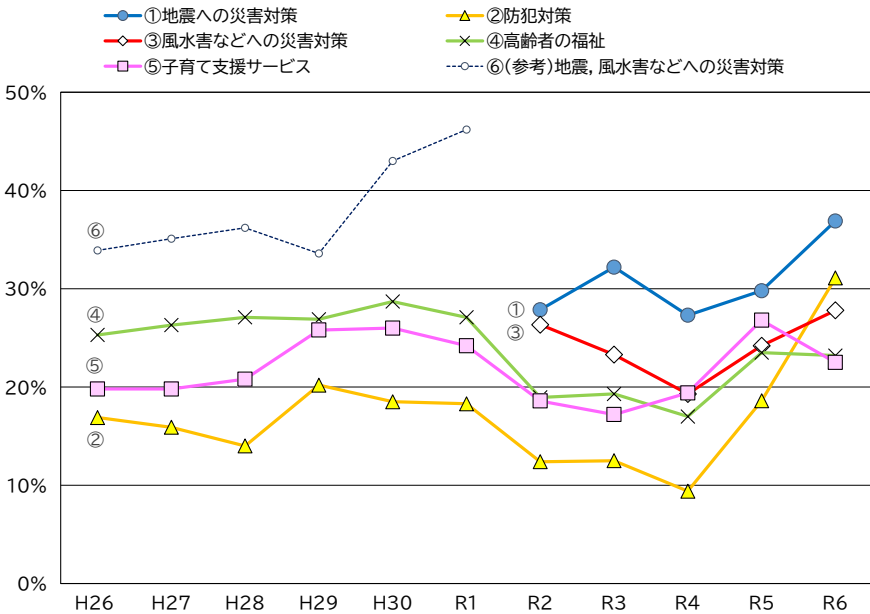
○「地震への災害対策」が 36.9%で最も高く、次いで「防犯対策」の 31.1%、「風水害などへの災害対策」の 27.8%となっています。



<経年比較>

○平成 26 年度から令和元年度まで、「地震、風水害などへの災害対策」※1 が最も高くなっています。
○令和 6 年度も「地震への災害対策」が最も高く、令和 5 年度は第 6 位だった「防犯対策」が令和 6 年度は第 2 位となっています。

【図表 令和 6 年度における上位 5 項目の経年比較】



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
①地震への災害対策							27.9%	32.2%	27.3%	29.8%	36.9%
②防犯対策	16.9%	15.9%	14.0%	20.2%	18.5%	18.3%	12.4%	12.5%	9.4%	18.6%	31.1%
③風水害などへの災害対策							26.3%	23.3%	19.3%	24.2%	27.8%
④高齢者の福祉	25.3%	26.3%	27.1%	26.9%	28.7%	27.1%	18.9%	19.3%	17.0%	23.5%	23.2%
⑤子育て支援サービス	19.8%	19.8%	20.8%	25.8%	26.0%	24.2%	18.6%	17.2%	19.4%	26.8%	22.5%

参考：令和元年度までの項目

⑥(参考)地震、風水害などへの災害対策	33.9%	35.1%	36.2%	33.6%	43.0%	46.2%
---------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

令和元年度1位

※1 平成 30 年度までは「地震などの災害対策」，令和元年度は「地震，風水害などへの災害対策」

<年齢層別>

○全ての年齢層で「地震への災害対策」が1番目または2番目に高くなっています。また、49歳以下は「子育て支援サービス」が、70歳以上は「高齢者の福祉」が1番目または2番目に高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
地震への災害対策	44.7	9	22	44	87	96	45	35	71	36
	36.9%	47.4%	36.1%	38.6%	44.2%	39.7%	40.2%	36.8%	38.6%	21.3%
防犯対策	37.6	6	17	36	64	88	40	34	53	36
	31.1%	31.6%	27.9%	31.6%	32.5%	36.4%	35.7%	35.8%	28.8%	21.3%
風水害などへの災害対策	33.6	6	14	39	61	84	38	25	47	21
	27.8%	31.6%	23.0%	34.2%	31.0%	34.7%	33.9%	26.3%	25.5%	12.4%
高齢者の福祉	28.1	3	6	11	24	69	32	29	68	37
	23.2%	15.8%	9.8%	9.6%	12.2%	28.5%	28.6%	30.5%	37.0%	21.9%
子育て支援サービス	27.2	6	22	57	65	42	21	12	30	15
	22.5%	31.6%	36.1%	50.0%	33.0%	17.4%	18.8%	12.6%	16.3%	8.9%
道路の整備(新設, 拡幅を伴う改良)	22.6	6	13	27	46	43	22	18	22	29
	18.7%	31.6%	21.3%	23.7%	23.4%	17.8%	19.6%	18.9%	12.0%	17.2%
医療体制の充実	19.4	3	8	20	33	35	21	15	35	21
	16.0%	15.8%	13.1%	17.5%	16.8%	14.5%	18.8%	15.8%	19.0%	12.4%
小・中学校の教育	17.9	3	8	28	58	29	11	11	19	10
	14.8%	15.8%	13.1%	24.6%	29.4%	12.0%	9.8%	11.6%	10.3%	5.9%
既設道路の維持管理(損傷した部分の補修, 清掃, 点検等)	13.2	1	8	17	23	24	10	8	21	19
	10.9%	5.3%	13.1%	14.9%	11.7%	9.9%	8.9%	8.4%	11.4%	11.2%
火災などへの消防対策	12.6	3	5	11	19	34	16	12	16	10
	10.4%	15.8%	8.2%	9.6%	9.6%	14.0%	14.3%	12.6%	8.7%	5.9%
日常の買い物の便利さ	11.0	0	10	17	29	14	10	3	12	12
	9.1%	0.0%	16.4%	14.9%	14.7%	5.8%	8.9%	3.2%	6.5%	7.1%
ひとり親家庭への生活・経済面の支援	10.5	4	5	9	15	31	7	8	16	9
	8.7%	21.1%	8.2%	7.9%	7.6%	12.8%	6.3%	8.4%	8.7%	5.3%
公園や遊び場	10.5	2	6	10	32	17	11	5	10	12
	8.7%	10.5%	9.8%	8.8%	16.2%	7.0%	9.8%	5.3%	5.4%	7.1%
自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備)	10.0	0	5	10	17	25	7	7	18	10
	8.3%	0.0%	8.2%	8.8%	8.6%	10.3%	6.3%	7.4%	9.8%	5.9%
緑の保全・創出や自然環境の保護	10.0	0	4	5	15	21	7	10	17	19
	8.3%	0.0%	6.6%	4.4%	7.6%	8.7%	6.3%	10.5%	9.2%	11.2%
社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	9.8	2	6	11	14	21	10	9	12	13
	8.1%	10.5%	9.8%	9.6%	7.1%	8.7%	8.9%	9.5%	6.5%	7.7%
健康診断などの保健サービス	9.7	1	5	7	15	21	13	9	14	11
	8.0%	5.3%	8.2%	6.1%	7.6%	8.7%	11.6%	9.5%	7.6%	6.5%
街並み・景観	9.1	4	1	9	19	23	11	7	12	5
	7.5%	21.1%	1.6%	7.9%	9.6%	9.5%	9.8%	7.4%	6.5%	3.0%
ごみ処理やリサイクル	8.2	3	4	6	11	22	8	6	15	6
	6.8%	15.8%	6.6%	5.3%	5.6%	9.1%	7.1%	6.3%	8.2%	3.6%
障害者の福祉	8.1	2	5	5	8	22	9	9	13	8
	6.7%	10.5%	8.2%	4.4%	4.1%	9.1%	8.0%	9.5%	7.1%	4.7%
図書館	6.7	4	5	7	16	11	7	4	10	3
	5.5%	21.1%	8.2%	6.1%	8.1%	4.5%	6.3%	4.2%	5.4%	1.8%
中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい	6.7	1	8	8	14	12	8	4	7	5
	5.5%	5.3%	13.1%	7.0%	7.1%	5.0%	7.1%	4.2%	3.8%	3.0%
青少年の非行防止や健全育成対策	6.6	1	4	5	10	10	8	2	15	10
	5.5%	5.3%	6.6%	4.4%	5.1%	4.1%	7.1%	2.1%	8.2%	5.9%
市内工業・商業などの活力	6.1	0	5	7	14	13	5	3	6	7
	5.0%	0.0%	8.2%	6.1%	7.1%	5.4%	4.5%	3.2%	3.3%	4.1%
支出の節減, 収入の確保, 受益者負担の適正化など	5.8	1	2	7	8	16	7	3	10	4
	4.8%	5.3%	3.3%	6.1%	4.1%	6.6%	6.3%	3.2%	5.4%	2.4%

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
行政サービスのデジタル化の取組	53	0	4	8	9	12	7	3	4	5
	4.4%	0.0%	6.6%	7.0%	4.6%	5.0%	6.3%	3.2%	2.2%	3.0%
深大寺などの地域資源を生かした観光振興	48	2	1	7	11	14	5	2	5	1
	4.0%	10.5%	1.6%	6.1%	5.6%	5.8%	4.5%	2.1%	2.7%	0.6%
2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	47	0	3	3	6	12	2	4	8	7
	3.9%	0.0%	4.9%	2.6%	3.0%	5.0%	1.8%	4.2%	4.3%	4.1%
職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	44	0	4	4	7	9	3	3	7	7
	3.6%	0.0%	6.6%	3.5%	3.6%	3.7%	2.7%	3.2%	3.8%	4.1%
女性の社会参加・参画	43	2	5	3	6	8	3	8	4	4
	3.6%	10.5%	8.2%	2.6%	3.0%	3.3%	2.7%	8.4%	2.2%	2.4%
調布花火	43	2	6	2	11	8	2	4	5	3
	3.6%	10.5%	9.8%	1.8%	5.6%	3.3%	1.8%	4.2%	2.7%	1.8%
市内中小企業に対する支援	42	1	2	1	8	12	6	3	3	6
	3.5%	5.3%	3.3%	0.9%	4.1%	5.0%	5.4%	3.2%	1.6%	3.6%
生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	38	1	1	4	6	5	4	1	8	6
	3.1%	5.3%	1.6%	3.5%	3.0%	2.1%	3.6%	1.1%	4.3%	3.6%
地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	34	0	1	0	7	10	4	2	4	6
	2.8%	0.0%	1.6%	0.0%	3.6%	4.1%	3.6%	2.1%	2.2%	3.6%
スポーツ振興	27	2	3	0	6	6	1	3	1	5
	2.2%	10.5%	4.9%	0.0%	3.0%	2.5%	0.9%	3.2%	0.5%	3.0%
公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	27	0	1	0	3	8	3	4	5	3
	2.2%	0.0%	1.6%	0.0%	1.5%	3.3%	2.7%	4.2%	2.7%	1.8%
「映画のまち調布(映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち)」を進める取組	26	1	3	2	4	9	2	2	1	2
	2.1%	5.3%	4.9%	1.8%	2.0%	3.7%	1.8%	2.1%	0.5%	1.2%
ホームページの見やすさ	25	2	1	5	6	4	1	0	4	2
	2.1%	10.5%	1.6%	4.4%	3.0%	1.7%	0.9%	0.0%	2.2%	1.2%
グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動	23	0	1	1	7	5	0	2	4	3
	1.9%	0.0%	1.6%	0.9%	3.6%	2.1%	0.0%	2.1%	2.2%	1.8%
歴史・文化財の保存・継承	22	0	0	3	1	4	4	3	4	2
	1.8%	0.0%	0.0%	2.6%	0.5%	1.7%	3.6%	3.2%	2.2%	1.2%
たづくりを中心とした生涯学習	21	0	2	0	2	6	1	2	6	2
	1.7%	0.0%	3.3%	0.0%	1.0%	2.5%	0.9%	2.1%	3.3%	1.2%
窓口・電話における職員の対応	21	0	0	2	6	4	1	0	6	2
	1.7%	0.0%	0.0%	1.8%	3.0%	1.7%	0.9%	0.0%	3.3%	1.2%
人権に関する啓発・相談	20	0	1	3	4	1	2	3	3	3
	1.7%	0.0%	1.6%	2.6%	2.0%	0.4%	1.8%	3.2%	1.6%	1.8%
労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	19	1	3	1	2	4	4	2	1	0
	1.6%	5.3%	4.9%	0.9%	1.0%	1.7%	3.6%	2.1%	0.5%	0.0%
行政評価の取組	19	0	3	0	2	5	3	2	1	2
	1.6%	0.0%	4.9%	0.0%	1.0%	2.1%	2.7%	2.1%	0.5%	1.2%
多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組	18	0	2	5	4	2	2	2	0	1
	1.5%	0.0%	3.3%	4.4%	2.0%	0.8%	1.8%	2.1%	0.0%	0.6%
民間活力の活用や推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	17	0	0	2	2	3	1	0	3	5
	1.4%	0.0%	0.0%	1.8%	1.0%	1.2%	0.9%	0.0%	1.6%	3.0%
市民参加と協働の取組	14	0	2	0	3	2	0	2	1	4
	1.2%	0.0%	3.3%	0.0%	1.5%	0.8%	0.0%	2.1%	0.5%	2.4%
平和・国際交流の取組	13	1	0	2	1	2	2	0	3	2
	1.1%	5.3%	0.0%	1.8%	0.5%	0.8%	1.8%	0.0%	1.6%	1.2%
公民館	10	0	0	0	2	0	1	1	5	1
	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.9%	1.1%	2.7%	0.6%
市報, ホームページ, フェイスブック, 調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	9	0	0	0	2	2	1	0	1	3
	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.8%	0.9%	0.0%	0.5%	1.8%
共生社会の充実・バラハートちようふの取組	7	0	1	1	0	1	0	0	0	4
	0.6%	0.0%	1.6%	0.9%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
(無効回答)	202	0	5	8	13	26	15	20	39	66
	16.7%	0.0%	8.2%	7.0%	6.6%	10.7%	13.4%	21.1%	21.2%	39.1%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 回答割合が2番目に高い: 

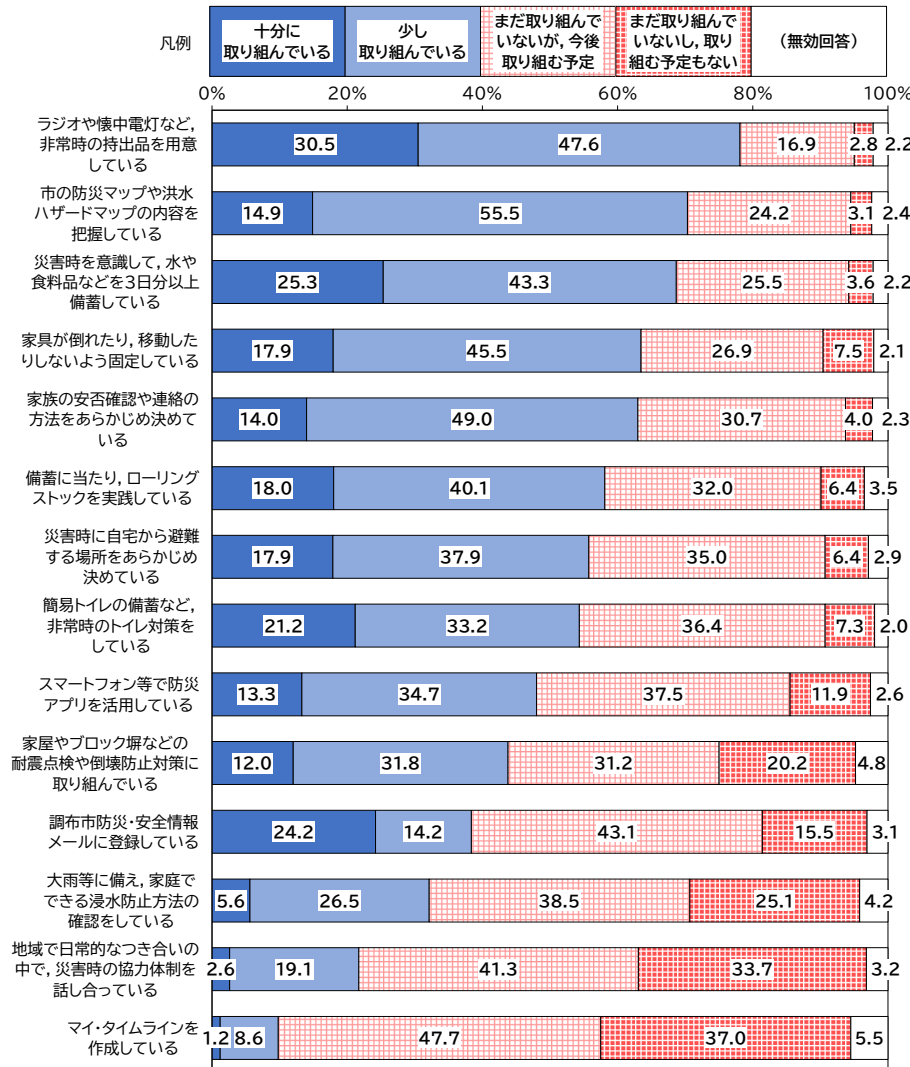
(3) 日ごろの意識や行動

【防災について】

問 14) あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。

<全体 (n=1,210)>

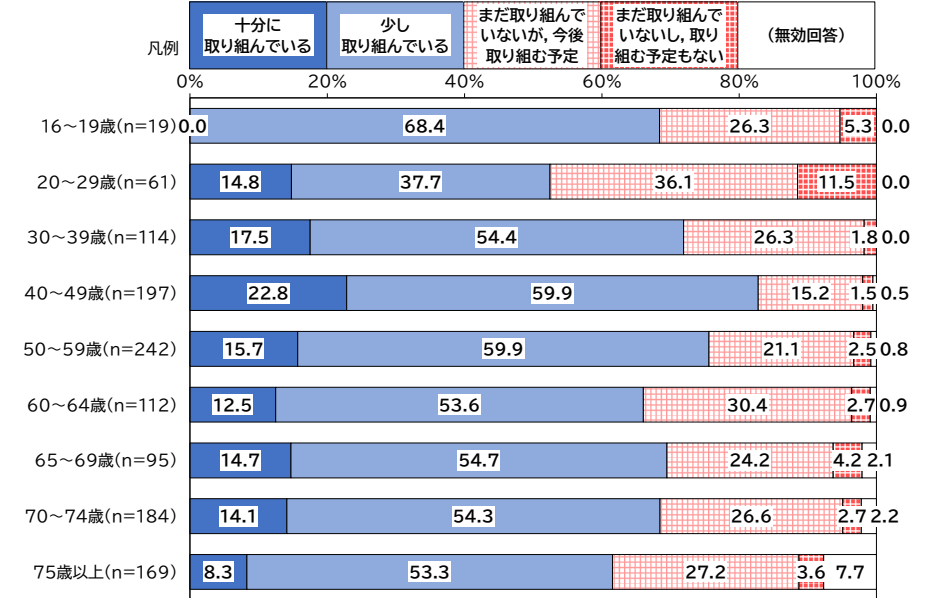
○「十分にに取り組んでいる」と「少し取り組んでいる」の合計は、「ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している」が78.1%と最も高く、次いで、「市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している」の70.4%、「災害時を意識して、水や食料品などを3日以上備蓄している」の68.6%の順となっています。



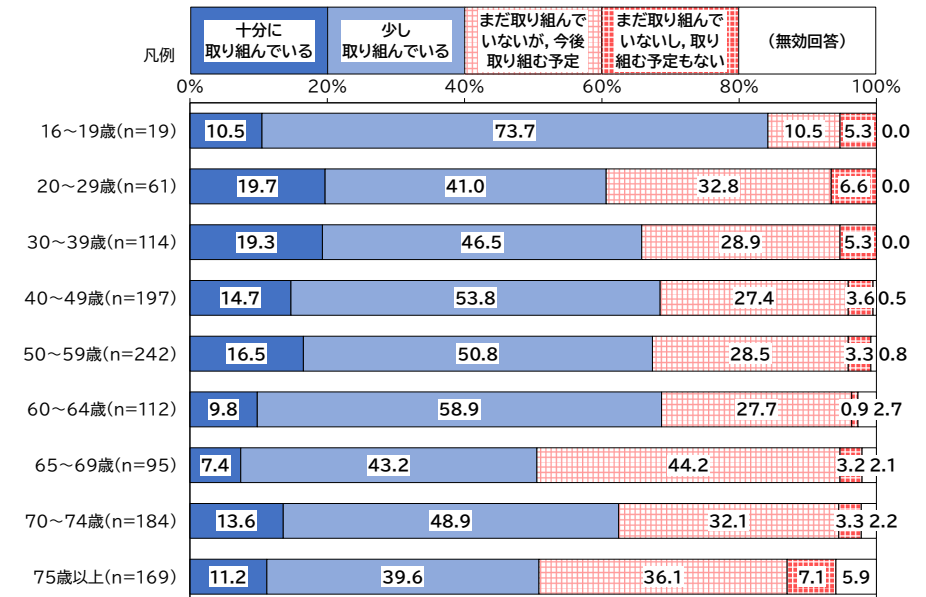
<年齢層別>

○「市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している」では、30～59歳で「十分に取り組んでいる」と「少し取り組んでいる」の合計が70%を超えて高くなっています。また、「備蓄に当たり、ローリングストックを実践している」では、75歳以上を除く全ての年代で半数を超え、16～19歳と40～59歳では60%を超えています。

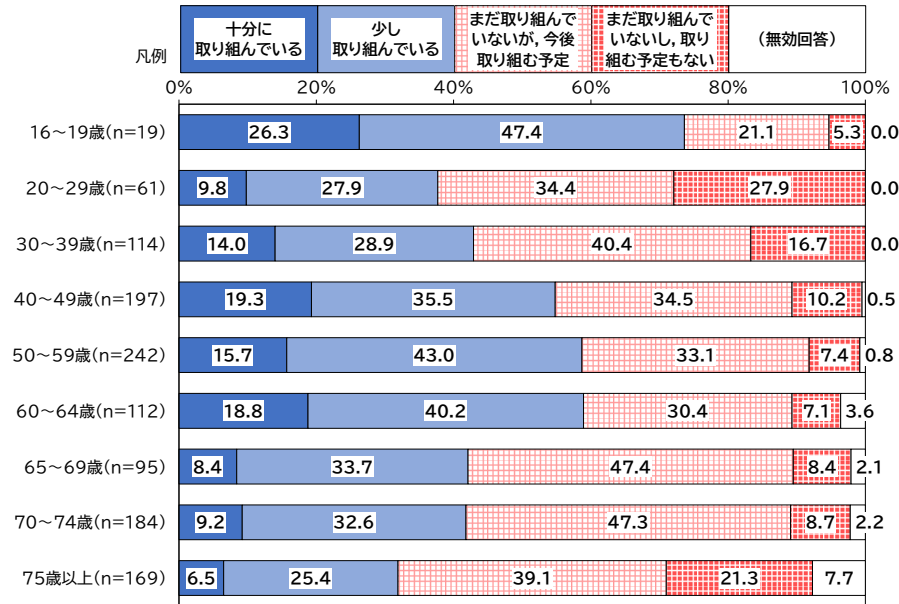
1 市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している



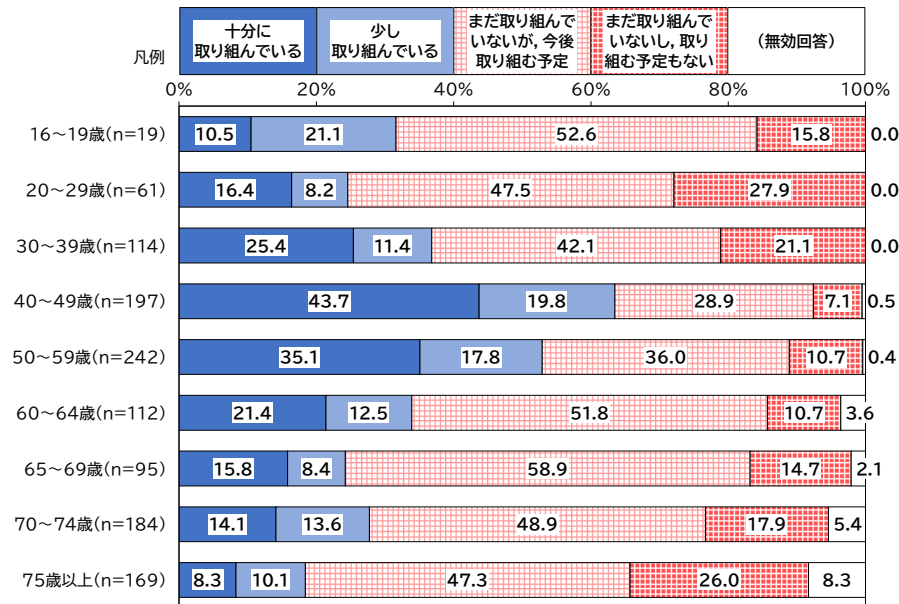
2 家族の安否確認や連絡の方法をあらかじめ決めている



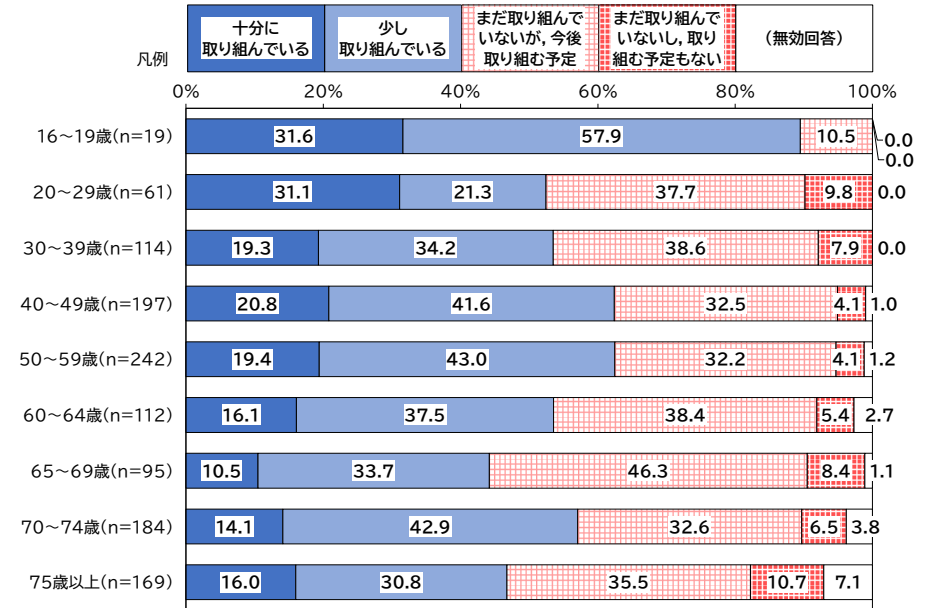
3 スマートフォン等で防災アプリを活用している



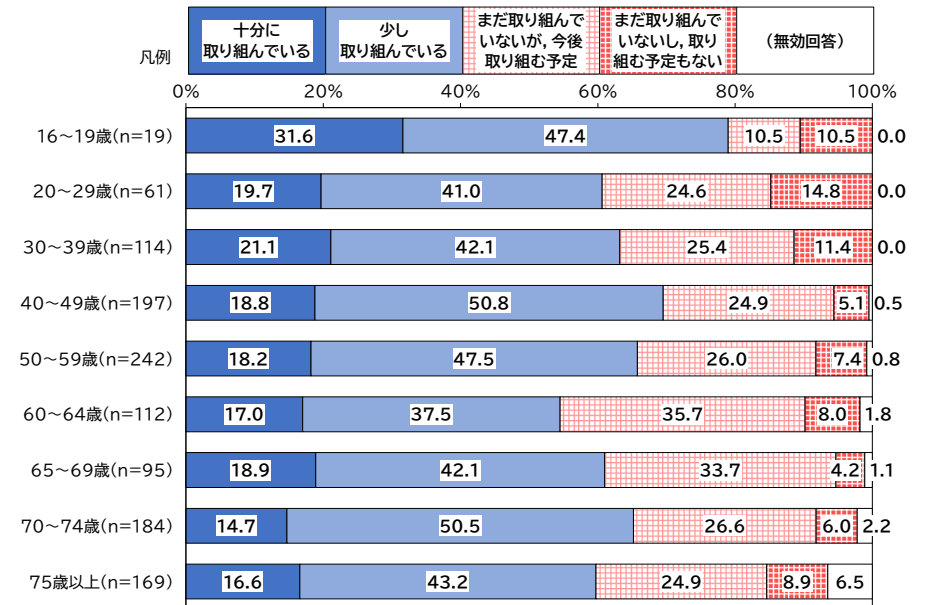
4 調布市防災・安全情報メールに登録している



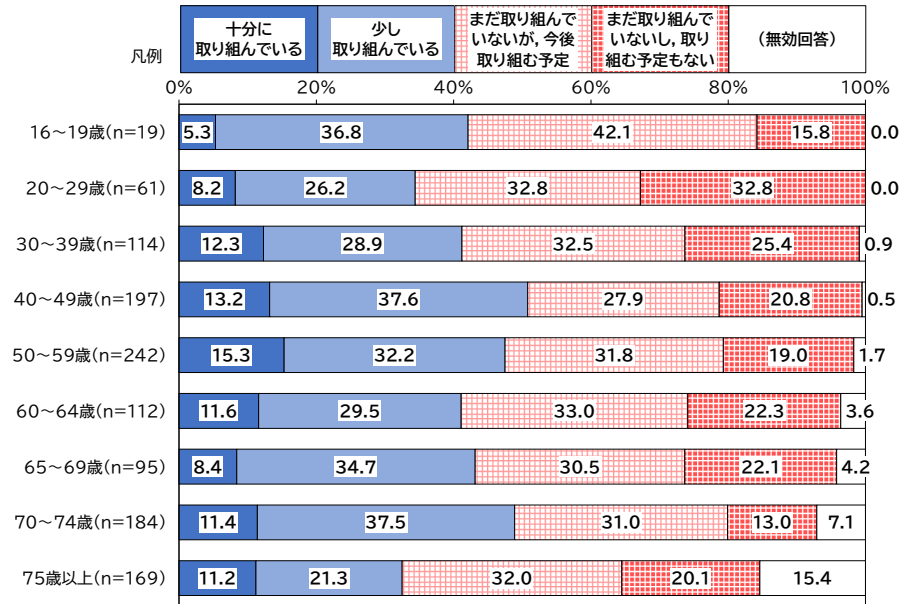
5 災害時に自宅から避難する場所（避難所、自宅の上層階、親族や友人・知人宅）をあらかじめ決めている



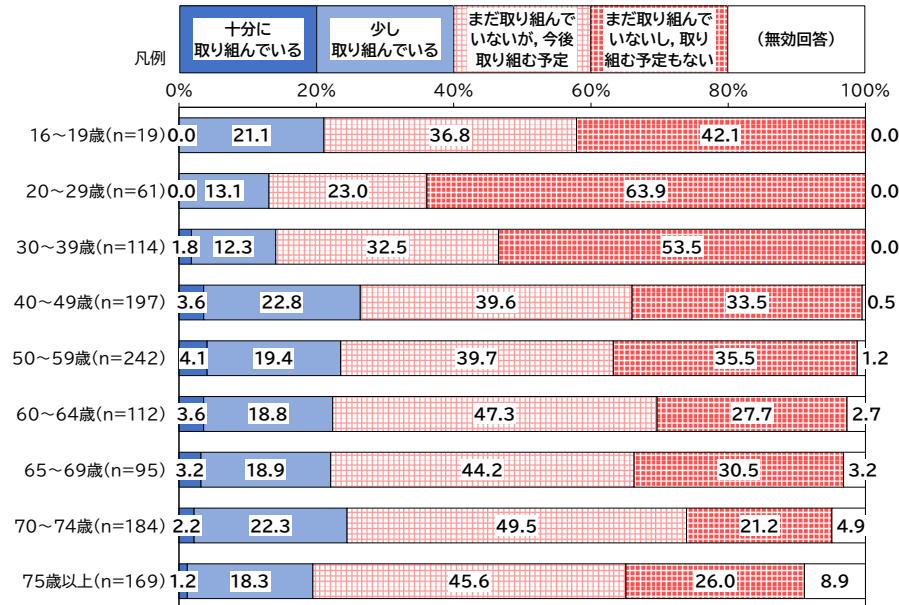
6 家具が倒れたり、移動したりしないよう固定している



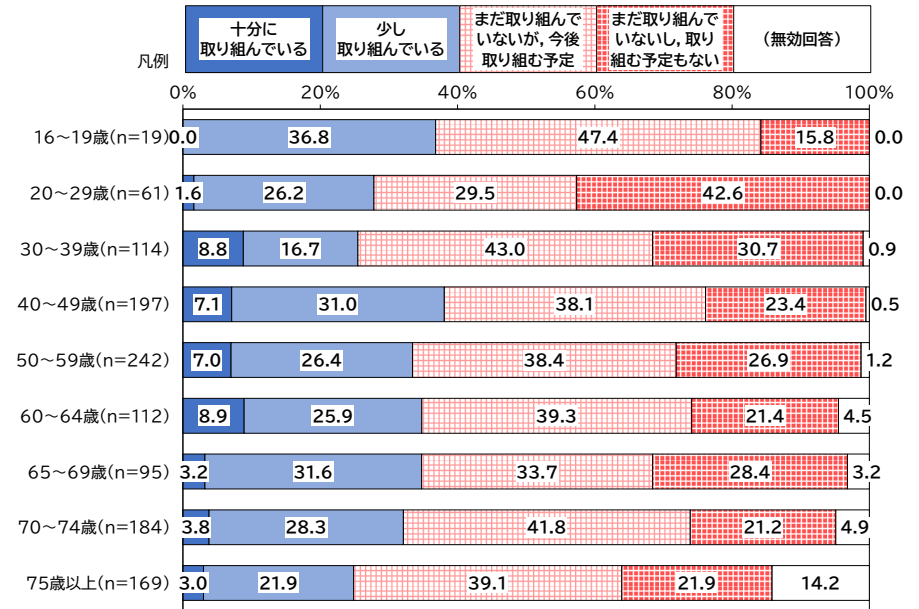
7 家屋やブロック塀などの耐震点検や倒壊防止対策に取り組んでいる



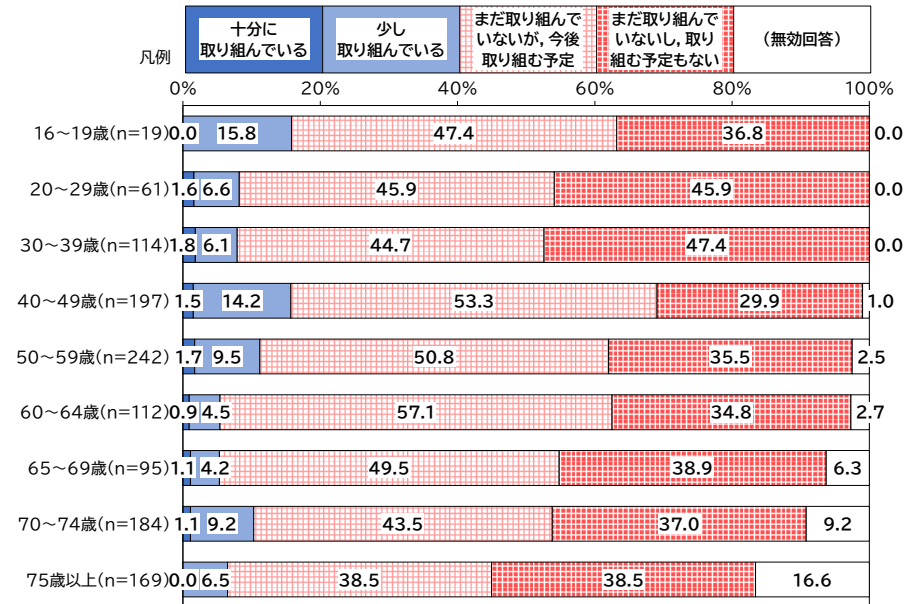
8 地域で日常的なつき合いの中で、災害時の協力体制を話し合っている



9 大雨等に備え、家庭でできる浸水防止方法の確認をしている

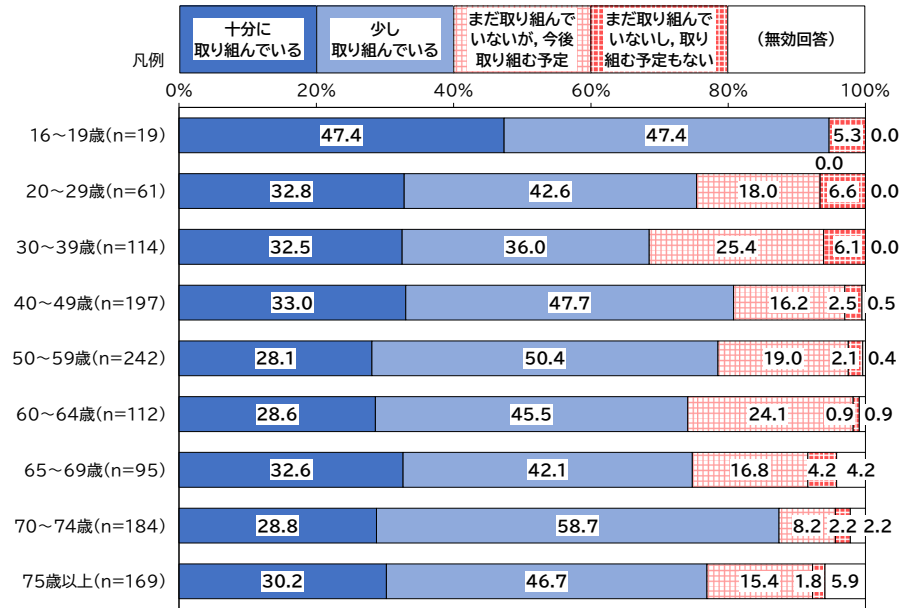


10 マイ・タイムライン※を作成している

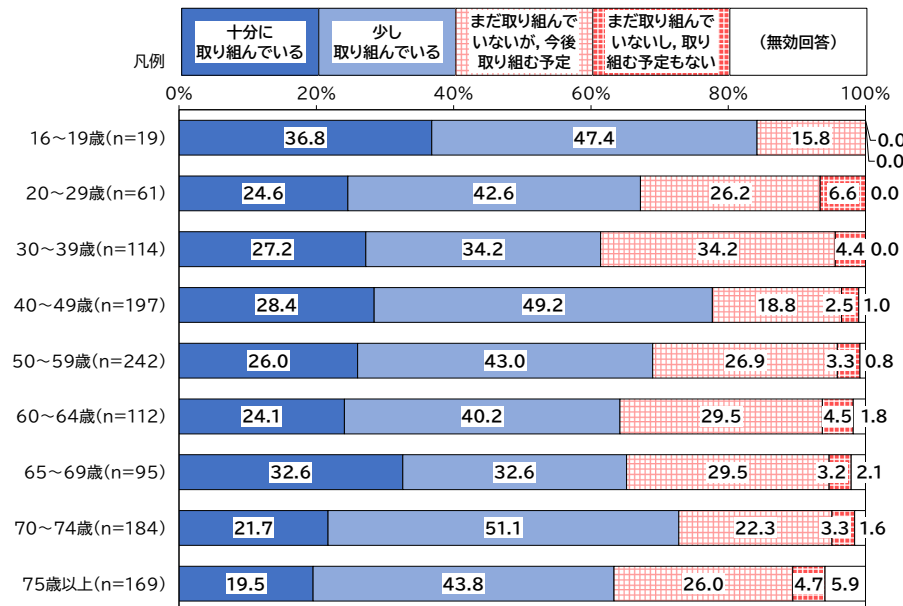


※マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これから起きるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」、「誰が」、「何を」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画のことです。

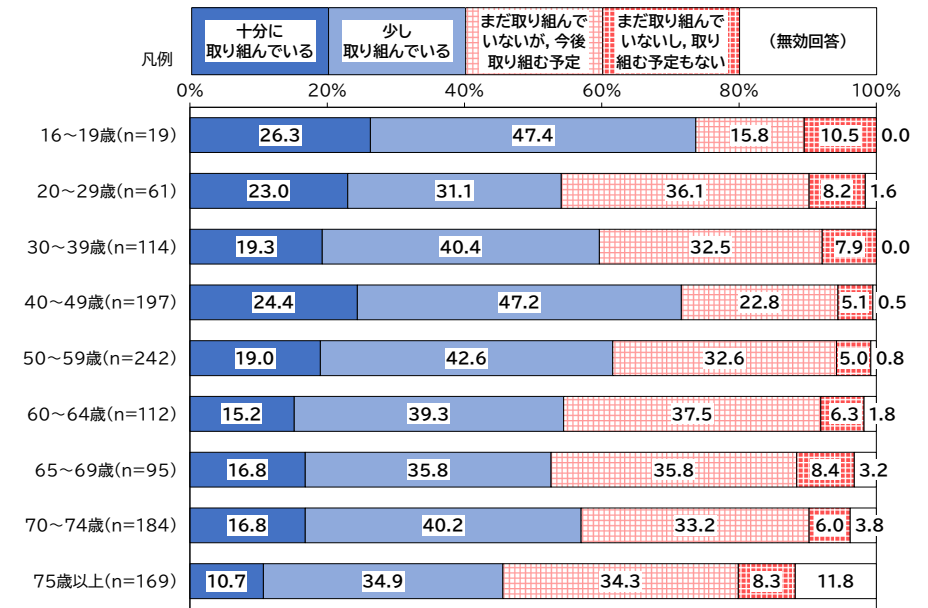
11 ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している



12 災害時を意識して、水や食料品などを3日以上備蓄している

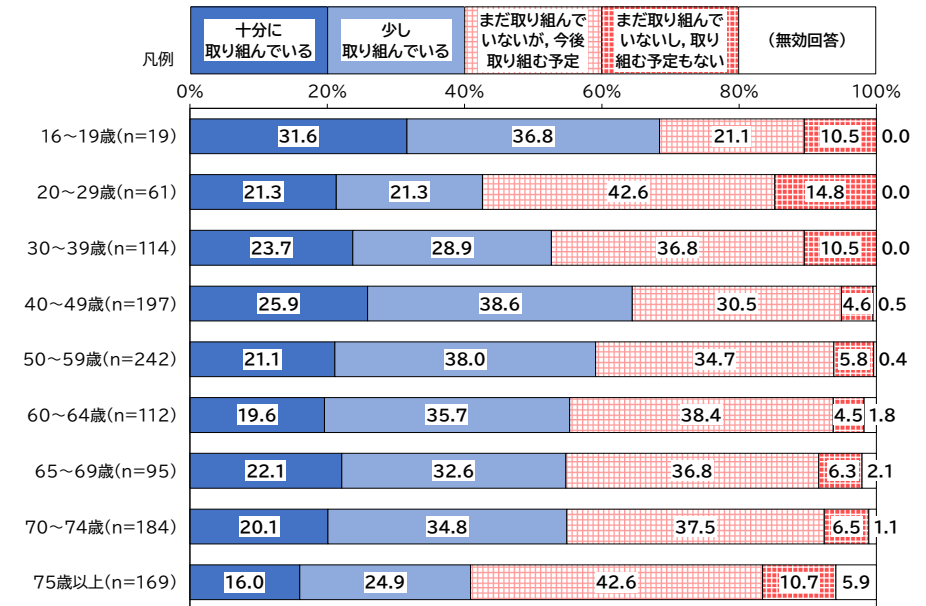


13 備蓄に当たり、ローリングストック※を実践している



※ローリングストックとは、普段から使っているものを常に少し多めに備えておき、消費したらその分を補充して、常に一定量の食品・日用品を備蓄することです。

14 簡易トイレの備蓄など、非常時のトイレ対策をしている



<自由記述> 主な意見を抜粋

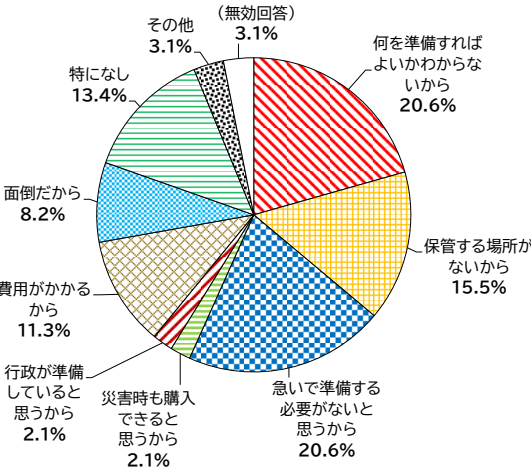
【図表 防災対策についてのご意見・ご提案】(64件)

- ・避難所の運営の際に防犯を強化してほしいです。女性のための寝所や女性用トイレを安全に確保したいです。
- ・防災に限らず無線がほとんど聞き取れないので改善してほしい。
- ・電柱の地下設備化を進めていく。

問14-1) 問14の「ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している」「災害時を意識して、水や食料品などを3日以上備蓄している」「簡易トイレの備蓄など、非常時のトイレ対策をしている」について、「まだ取り組んでいないし、取り組む予定もない」と回答した主な理由をお聞かせください。

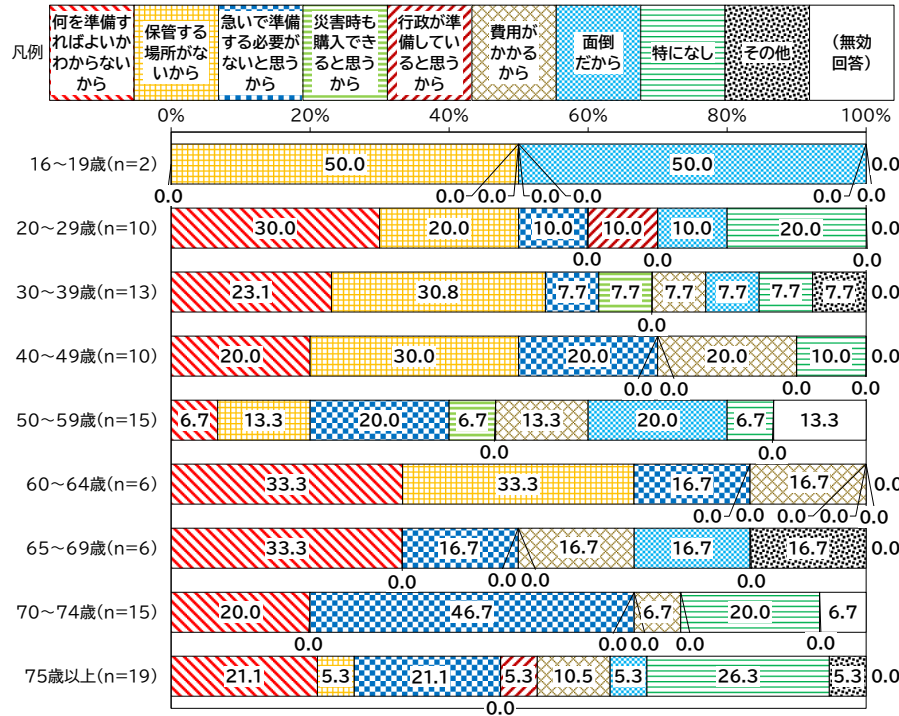
<全体 (n=97)>

○「何を準備すればよいかわからないから」と「急いで準備する必要がないと思うから」が20.6%で最も高く、次いで「保管する場所がないから」の15.5%の順となっています。



<年齢層別>

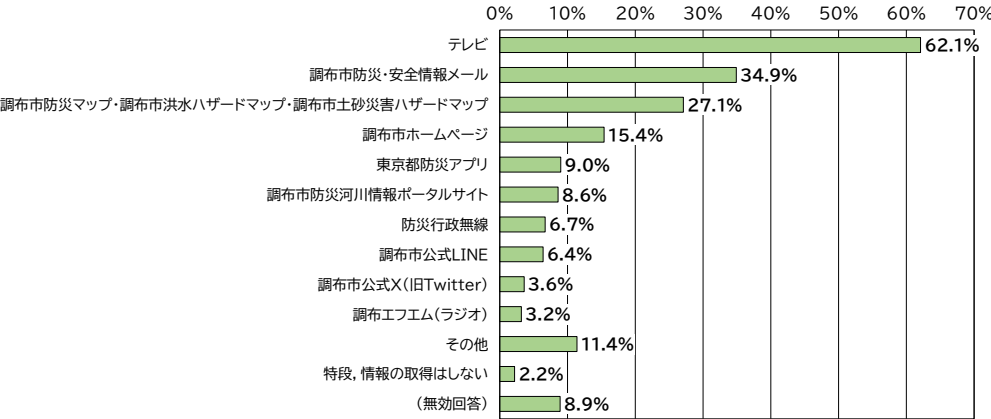
○「保管する場所がないから」は64歳以下が、65歳以上に比べ高くなっています。



問 15) あなたは台風や地震等の災害時にどのように情報を得ていますか。

<全体 (n=1,210) >

○「テレビ」が62.1%で最も高く、次いで「調布市防災・安全情報メール」の34.9%、「調布市防災マップ・調布市洪水ハザードマップ・調布市土砂災害ハザードマップ」の27.1%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層においても、「テレビ」が最も高く、これに次ぐものとしては、69歳以下で「調布市防災・安全情報メール」、65歳以上で「調布市防災マップ・調布市洪水ハザードマップ・調布市土砂災害ハザードマップ」となっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
テレビ	752	10	34	64	108	135	77	64	138	115
調布市防災・安全情報メール	422	5	16	32	108	99	34	27	54	42
調布市防災マップ・調布市洪水ハザードマップ・調布市土砂災害ハザードマップ	328	2	13	23	54	60	29	27	62	54
調布市ホームページ	186	2	6	16	35	39	20	19	24	25
東京都防災アプリ	109	4	3	12	16	26	15	9	17	6
調布市防災河川情報ポータルサイト	104	2	3	9	34	25	7	7	8	8
防災行政無線	81	5	0	3	8	8	5	6	22	23
調布市公式LINE	77	0	4	10	15	16	4	3	11	10
調布市公式X(旧Twitter)	44	2	8	13	8	10	2	0	1	0
調布エフエム(ラジオ)	39	0	1	3	2	3	2	2	11	15
その他	138	3	14	21	29	29	15	6	11	9
特段、情報の取得はしない	27	0	2	2	7	5	0	1	3	7
(無効回答)	108	1	3	9	12	25	7	11	13	20

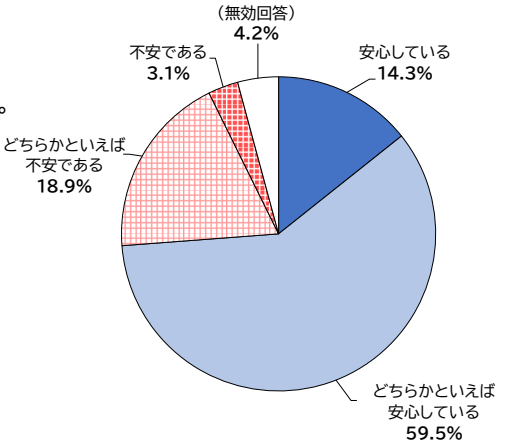
回答割合が最も高い: (上段:実数(人), 下段:構成比)

【防犯対策について】

問 16) あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせる場所だと感じていますか。

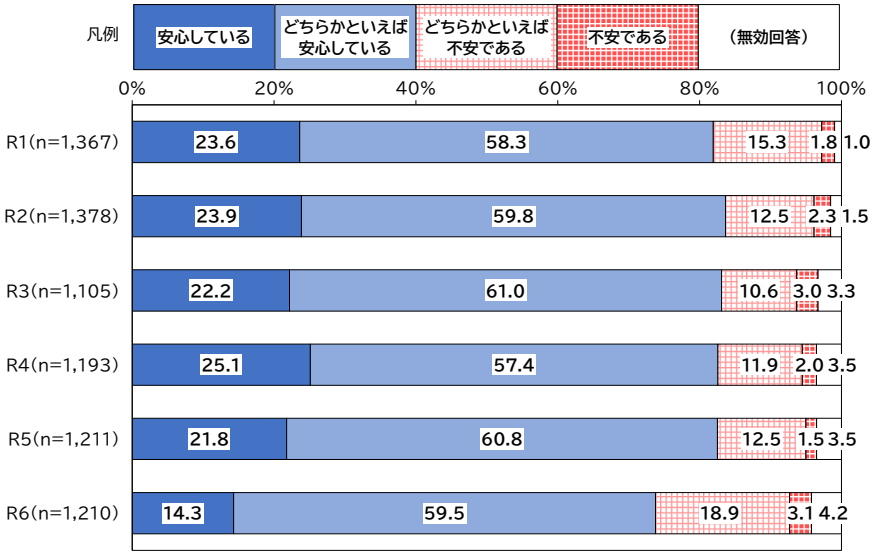
<全体 (n=1,210) >

○「安心している」は14.3%、「どちらかといえば安心している」は59.5%であり、合計73.8%を占めています。



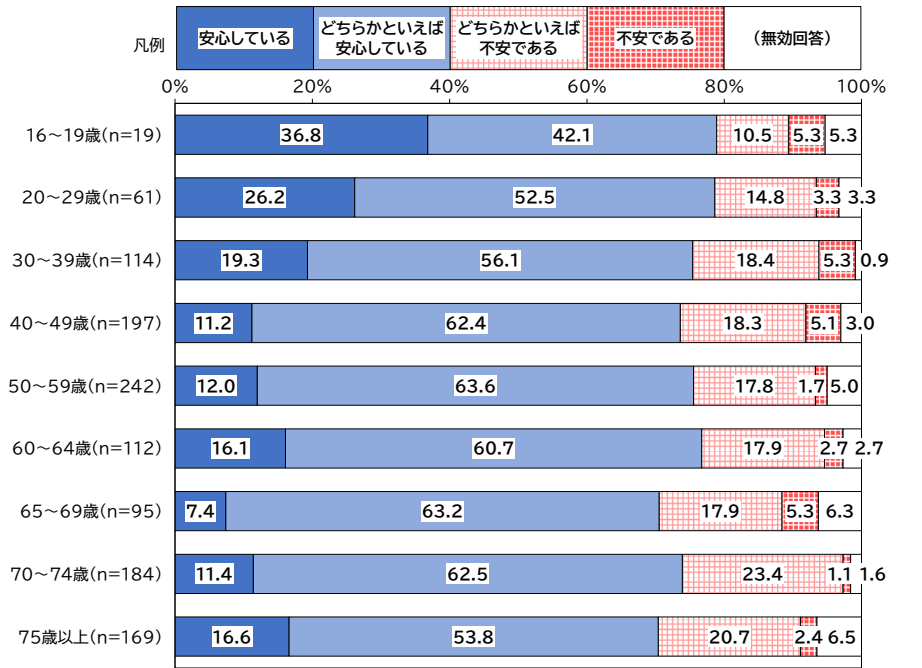
<経年比較>

○「安心している」、「どちらかといえば安心している」の合計(73.8%)は、令和5年度(82.6%)に比べ8.8ポイント減少しています。
○「不安である」、「どちらかといえば不安である」の合計(22.0%)は、令和5年度(14.0%)に比べ8.0ポイント増加しています。



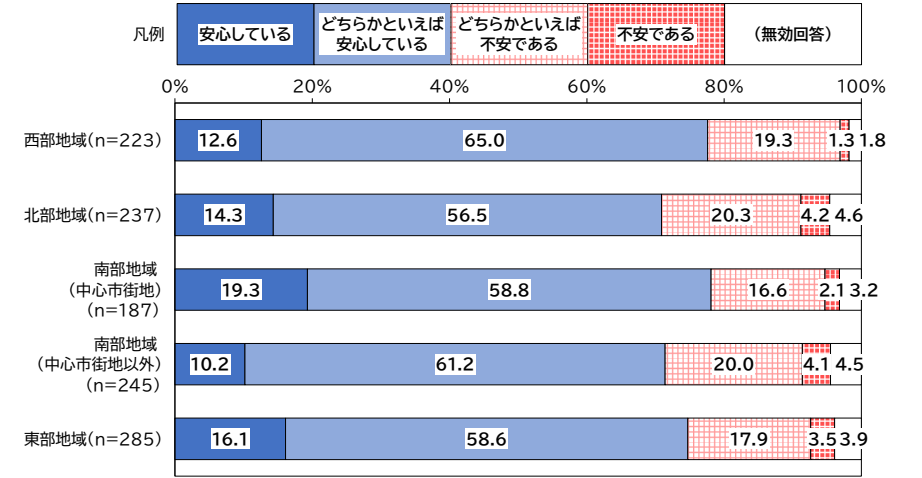
<年齢層別>

- 全ての年齢層で「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が 70%を超えています。
- 30～49歳と60歳以上で「どちらかといえば不安である」と「不安である」の合計が20%を超え、他の年齢層に比較して高くなっています。



<地域別>

- 西部地域及び南部地域（中心市街地）で、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が 75%を超え、他の地域に比較して高くなっています。
- 南部地域（中心市街地）以外の地域で「どちらかといえば不安である」と「不安である」の合計が 20%を超えています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

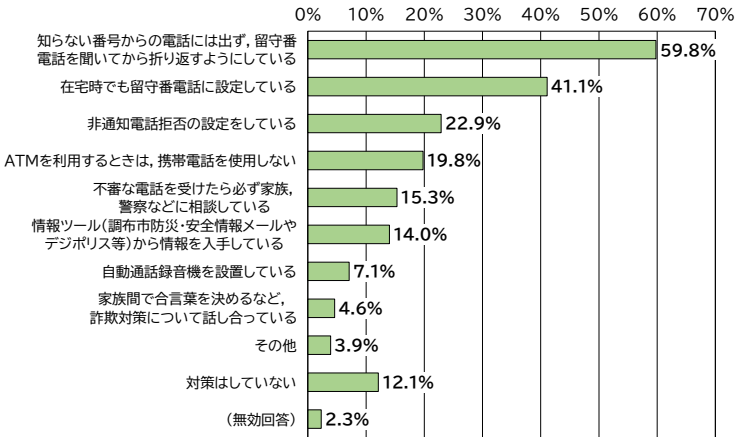
【図表 住んでいる地域が安心、または不安と感じる理由】(285 件)

「安心している」 「どちらかといえば安心している」	「不安である」 「どちらかといえば不安である」
・ 町内パトロールの車がよく巡回してくれているので安心です。コロナや熱中症の時期など、毎日来てくれて助かりました。 ・ 治安が悪いというような話を耳にしない。 ・ 治安が悪いと感じる経験がない。	・ 強盗事件が多発しているので常に不安はある。 ・ 家の周りの街灯が少なく、日が暮れると真っ暗になるため。

問 17) あなたは（ご家族を含む）、特殊詐欺※被害等防止のためにどのような対策をしていますか。

<全体（n=1,210）>

○特殊詐欺への対策は、「知らない番号からの電話には出ず、留守番電話を聞いてから折り返すようにしている」が 59.8%で最も高く、次いで「在宅時でも留守番電話に設定している」の 41.1%、「非通知電話拒否の設定をしている」の 22.9%の順となっています。



※「特殊詐欺」とは、親族や公共機関の職員等を名乗り、現金をだまし取ったり、還付金を受け取るなどと言って、犯人の口座に振り込ませる犯罪のことです。

<年齢層別>

○特殊詐欺への対策は、74 歳以下で「知らない番号からの電話には出ず、留守番電話を聞いてから折り返すようにしている」が最も高く、75 歳以上では「在宅時でも留守番電話に設定している」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳 以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
知らない番号からの電話には出ず、留守番電話を聞いてから折り返すようにしている	724	9	35	70	125	134	73	62	122	86
在宅時でも留守番電話に設定している	497	5	7	12	50	121	50	50	112	88
非通知電話拒否の設定をしている	277	5	10	22	46	59	24	25	51	31
ATMを利用するときは、携帯電話を使用しない	240	0	5	12	17	44	24	27	58	50
不審な電話を受けたら必ず家族、警察などに相談している	185	7	4	13	29	36	13	13	25	43
情報ツール(調布市防災・安全情報メールやデジボリス等)から情報を入手している	170	1	4	17	35	37	16	7	29	23
自動通話録音機を設置している	86	1	1	3	5	11	7	11	23	24
家族間で合言葉を決めるなど、詐欺対策について話し合っている	56	1	2	4	8	4	4	4	11	14
その他	47	1	1	4	4	10	4	3	12	7
対策はしていない	146	5	15	20	27	32	14	4	12	16
(無効回答)	28	1	0	3	2	3	1	1	1	11
	2.3%	5.3%	0.0%	2.6%	1.0%	1.2%	0.9%	1.1%	0.5%	6.5%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 回答割合が2番目に高い:

<自由記述> 主な意見を抜粋

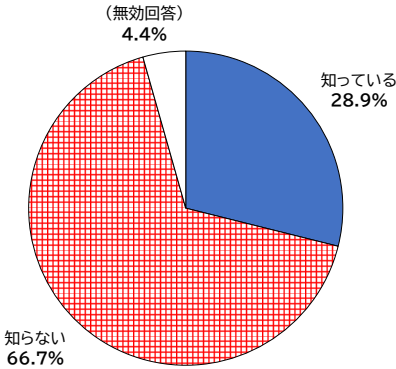
【図表 防犯対策についてのご意見・ご提案】(74 件)

- ・パトロール強化。
- ・防犯カメラの数を増やしてほしい。細い道や畑の側など、暗い道も多く心配だ。カメラがあれば抑止にもつながるのではないだろうか。
- ・街灯を増やして夜間の死角を減らして頂きたい。
- ・最近は海外からも不審な電話がかかってくるので新聞の折り込みチラシなどでもっと注意を呼びかけてほしいです。
- ・各家庭の防犯対策に補助金を。

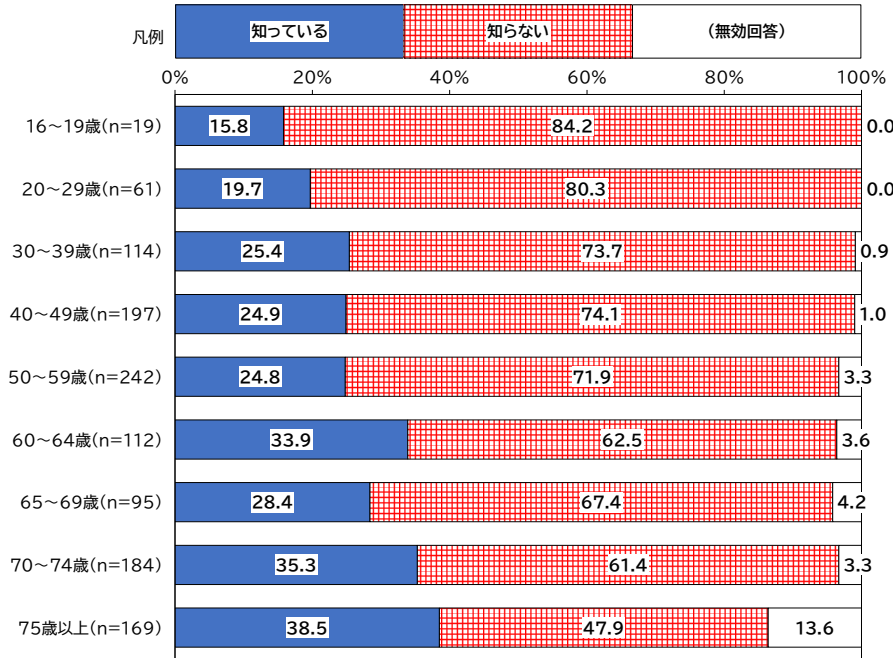
【各種相談について】

問 18) あなたは、消費者トラブルに関する相談を、市役所3階の消費生活センターで受け付けていることを知っていますか。

<全体 (n=1,210) >
○「知っている」は28.9%であり、「知らない」の66.7%を大きく下回っています。

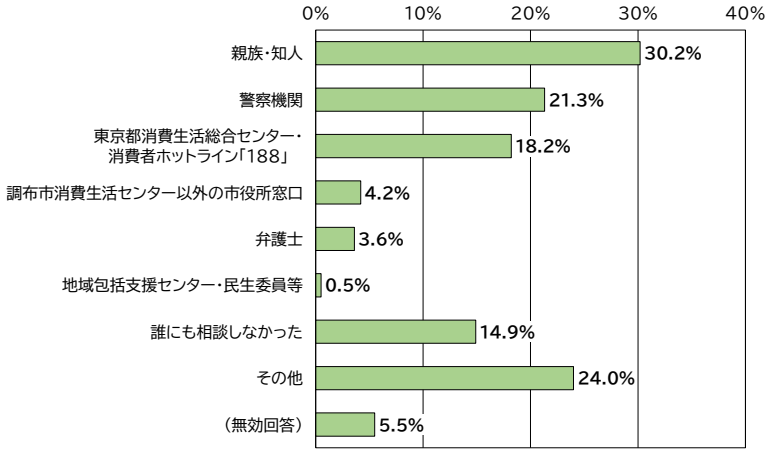


<年齢層別>
○60～64歳と70歳以上で、「知っている」が他の年齢層と比べて高くなっています。



問 18-1) 問 18 で「知らない」と回答した方にうかがいます。消費者トラブルにあった場合にはどこに相談していますか。

<全体 (n=807) >
○相談相手としては「親族・知人」が30.2%で最も高く、次いで「警察機関」の21.3%、「東京都消費生活総合センター・消費者ホットライン「188」」の18.2%の順となっています。なお、「誰にも相談しなかった」は14.9%となっています。



<年齢層別>
○65～69歳で、「東京都消費生活総合センター・消費者ホットライン「188」」が最も高く、それ以外の全ての年齢層で、「親族・知人」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	807	16	49	84	146	174	70	64	113	81
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
親族・知人	244	5	20	27	45	47	25	16	30	29
	30.2%	31.3%	40.8%	32.1%	30.8%	27.0%	35.7%	25.0%	26.5%	35.8%
警察機関	172	4	12	15	25	34	16	13	30	20
	21.3%	25.0%	24.5%	17.9%	17.1%	19.5%	22.9%	20.3%	26.5%	24.7%
東京都消費生活総合センター・消費者ホットライン「188」	147	1	9	14	24	33	12	19	20	13
	18.2%	6.3%	18.4%	16.7%	16.4%	19.0%	17.1%	29.7%	17.7%	16.0%
調布市消費生活センター以外の市役所窓口	34	0	1	2	2	9	3	3	8	6
	4.2%	0.0%	2.0%	2.4%	1.4%	5.2%	4.3%	4.7%	7.1%	7.4%
弁護士	29	1	2	4	3	10	3	3	1	1
	3.6%	6.3%	4.1%	4.8%	2.1%	5.7%	4.3%	4.7%	0.9%	1.2%
地域包括支援センター・民生委員等	4	0	1	0	1	1	0	0	0	1
	0.5%	0.0%	2.0%	0.0%	0.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
誰にも相談しなかった	120	2	3	21	28	27	9	7	11	9
	14.9%	12.5%	6.1%	25.0%	19.2%	15.5%	12.9%	10.9%	9.7%	11.1%
その他	194	4	13	19	34	39	21	15	30	17
	24.0%	25.0%	26.5%	22.6%	23.3%	22.4%	30.0%	23.4%	26.5%	21.0%
(無効回答)	44	1	2	3	8	9	2	4	6	8
	5.5%	6.3%	4.1%	3.6%	5.5%	5.2%	2.9%	6.3%	5.3%	9.9%

(上段:実数(人), 下段:構成比)
回答割合が最も高い: 30.2%
回答割合が2番目に高い: 21.3%

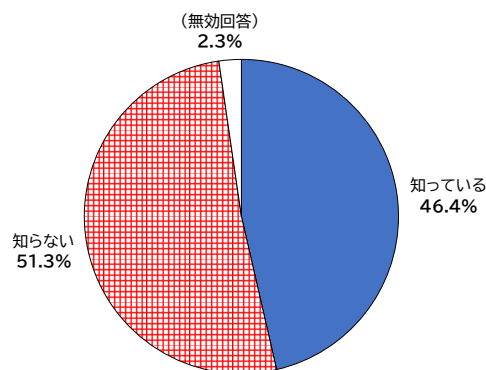
【地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉について】

問 19) あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。

地域包括支援センター

<全体 (n=1,210)>

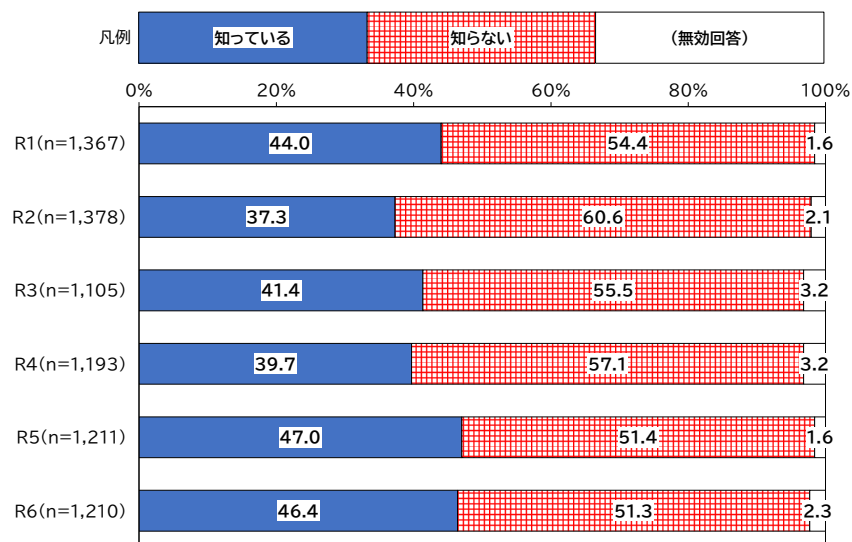
- 「知っている」は46.4%、「知らない」は51.3%であり、後者が前者を4.9ポイント上回っています。



※地域包括支援センターは、市内8箇所・サブセンター2箇所が高齢者に関する様々な相談のほか、介護予防ケアマネジメント業務、成年後見制度の利用手続や高齢者虐待に関する相談などの権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務などを行っています。

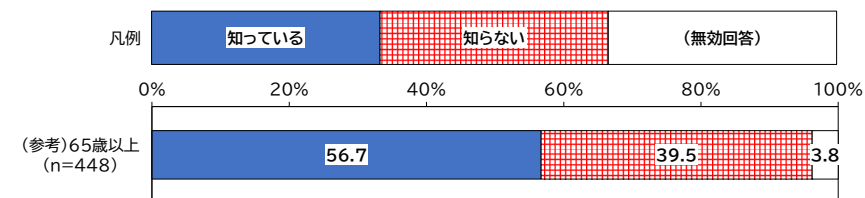
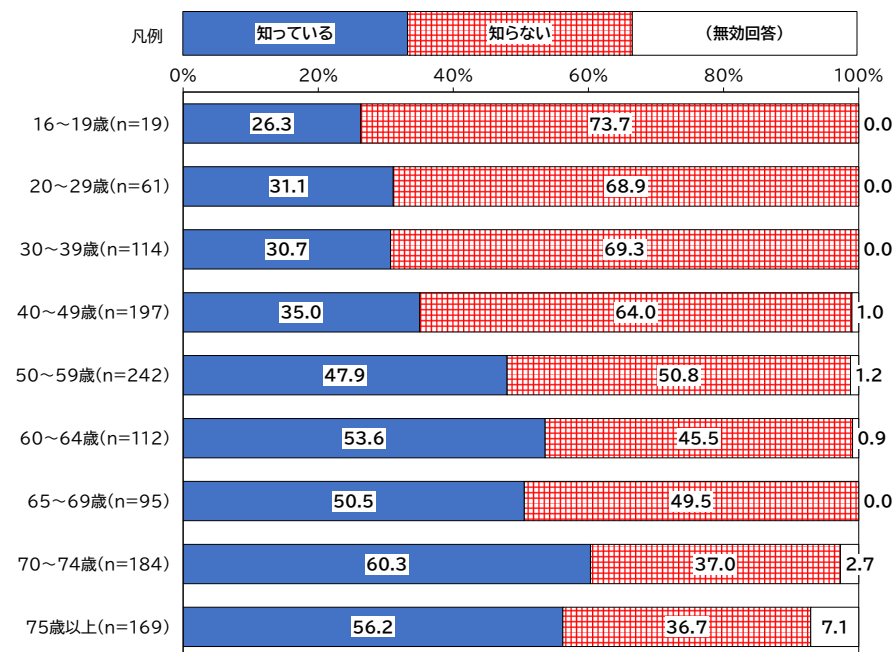
<経年比較>

- 「知っている」(46.4%)は、令和5年度(47.0%)に比べ0.6ポイント減少しています。



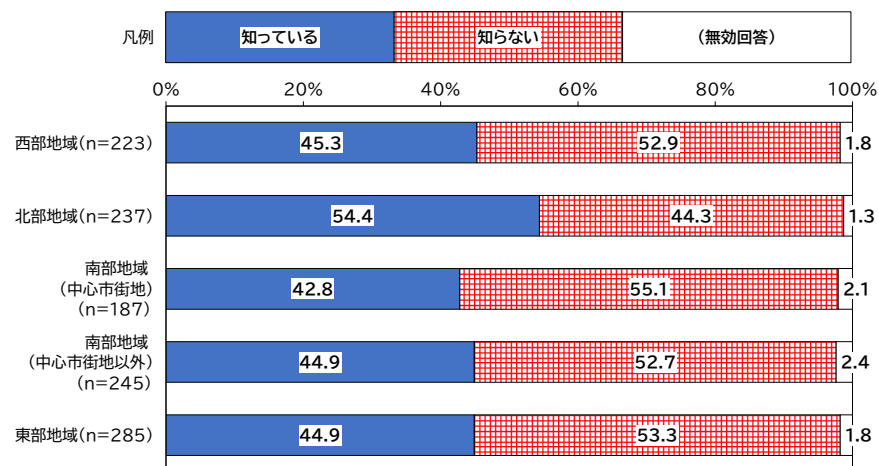
<年齢層別>

- 「知っている」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあり、50歳以上では40%を超えています。



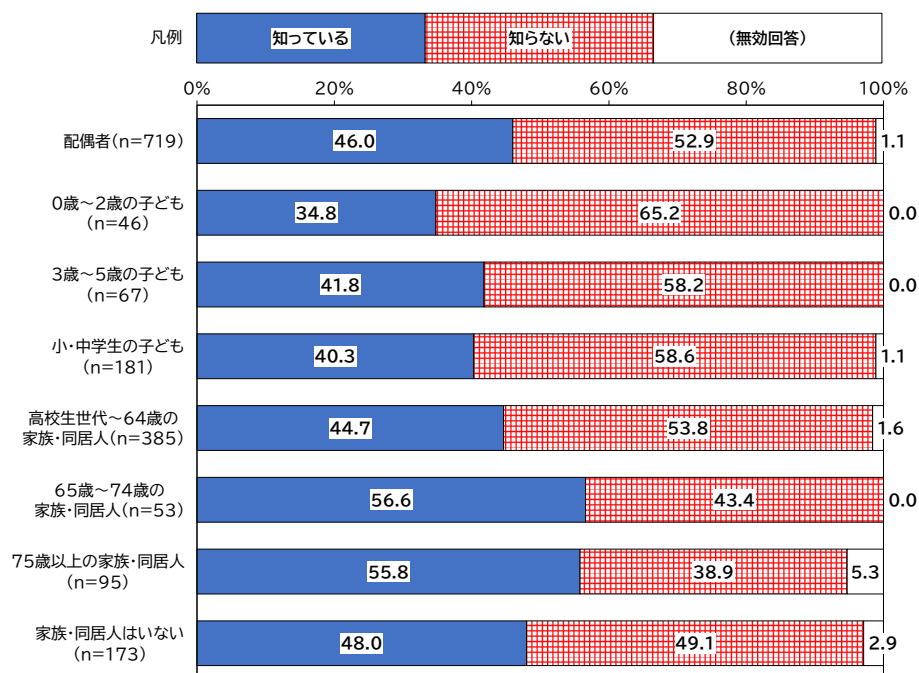
<地域別>

○「知っている」は、北部地域で 50%を超え、他の地域と比較して高くなっています。他の地域も「知っている」は 40%を超えています。



<同居人別>

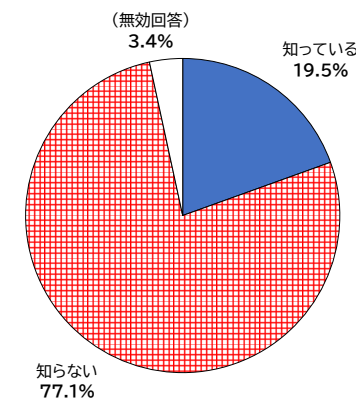
○「65歳～74歳の家族・同居人」「75歳以上の家族・同居人」で「知っている」が50%を超えています。



地域福祉コーディネーター

<全体 (n=1,210)>

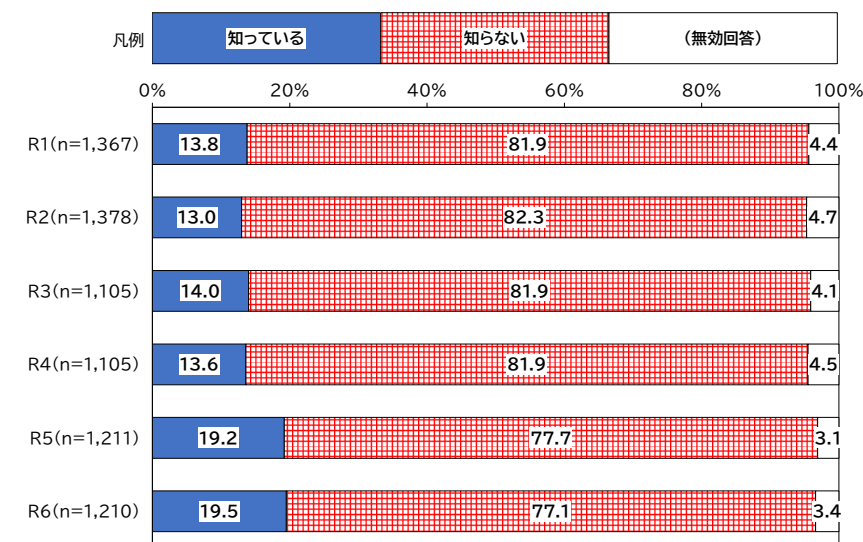
○「知っている」は 19.5%であり、「知らない」の 77.1%を大きく下回っています。



※地域福祉コーディネーターは、市内を8つに分けた福祉圏域にそれぞれ1人を配置し、既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方、制度の狭間で困っている方などに対し、地域の生活課題の解決に向けた相談・支援を行っています。

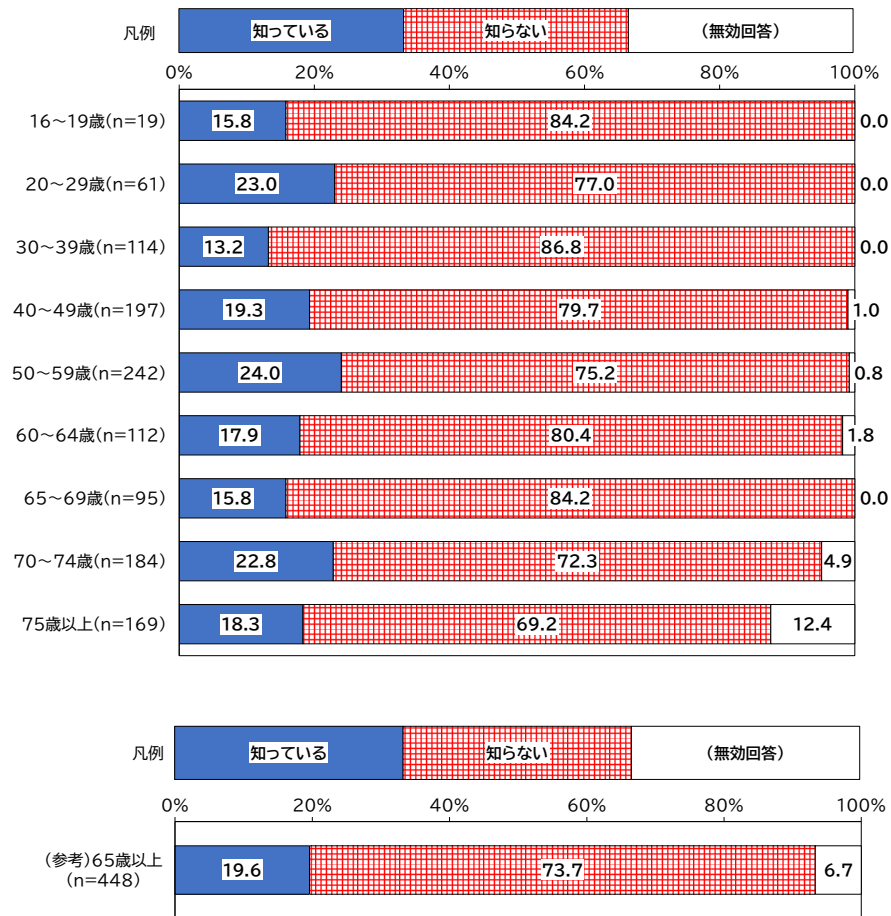
<経年比較>

○「知っている」は、令和4年度以前は15%未満で推移していましたが、令和5年度 (19.2%)、令和6年度 (19.5%) は20%近くで推移しています。



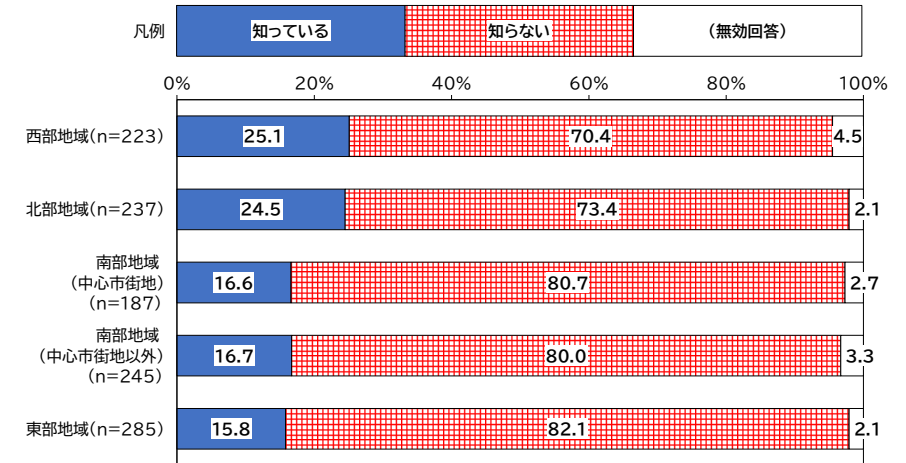
<年齢層別>

○「知っている」は、20～29歳、50～59歳、70～74歳で20%を超えています。その他の年齢層では10%台にとどまっています。



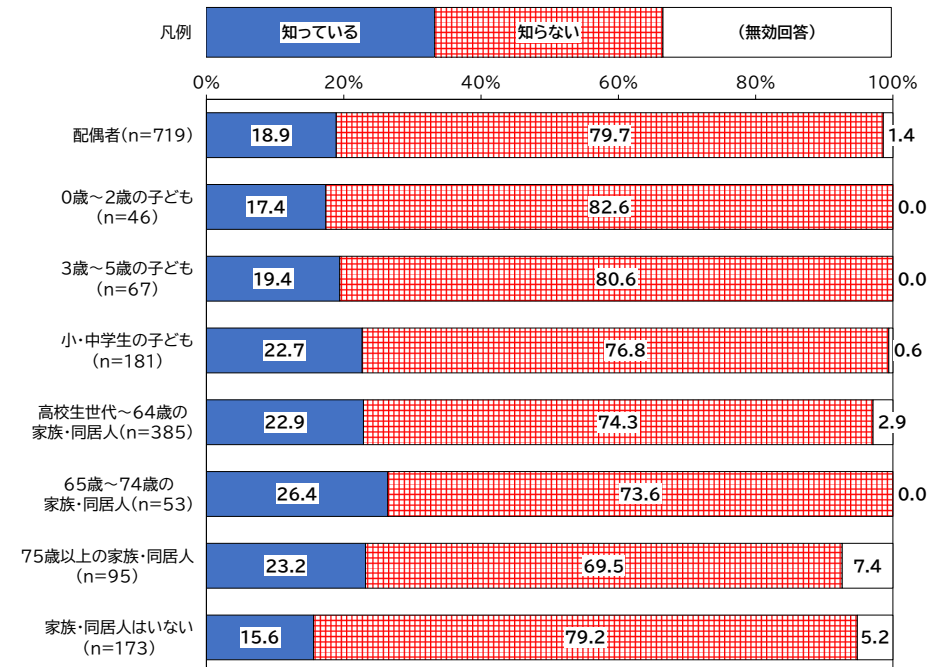
<地域別>

○「知っている」は、西部地域、北部地域で20%を超え、他の地域と比較して高くなっています。



<同居人別>

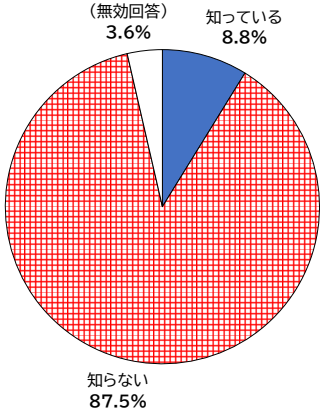
○「65歳～74歳の家族・同居人」で「知っている」が26.4%と最も高くなっています。



地域支え合い推進員

<全体 (n=1,210)>

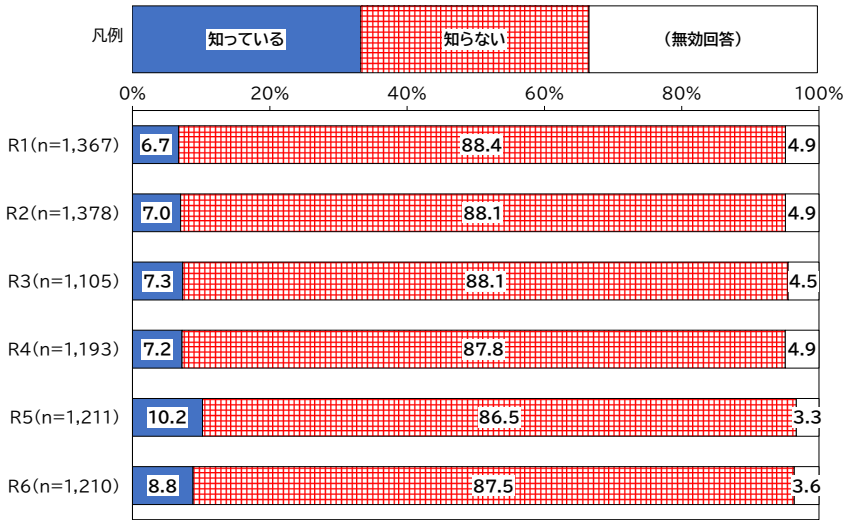
○「知っている」は 8.8%、「知らない」は 87.5%
であり、後者が前者を大きく上回っています。



※地域支え合い推進員は、市全域を活動エリアとする推進員に加え、市内を8つに分けた福祉圏域に段階的に配置を進めています。介護予防や交流を目的とした活動に関する相談等に応じるなど、高齢者等が地域の中で安全・安心に暮らしていけるよう、生活支援・介護予防サービスの充実や強化に取り組んでいます。

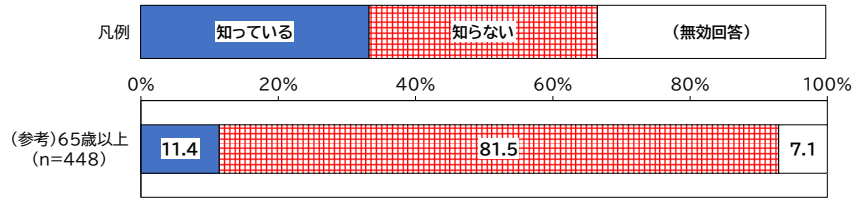
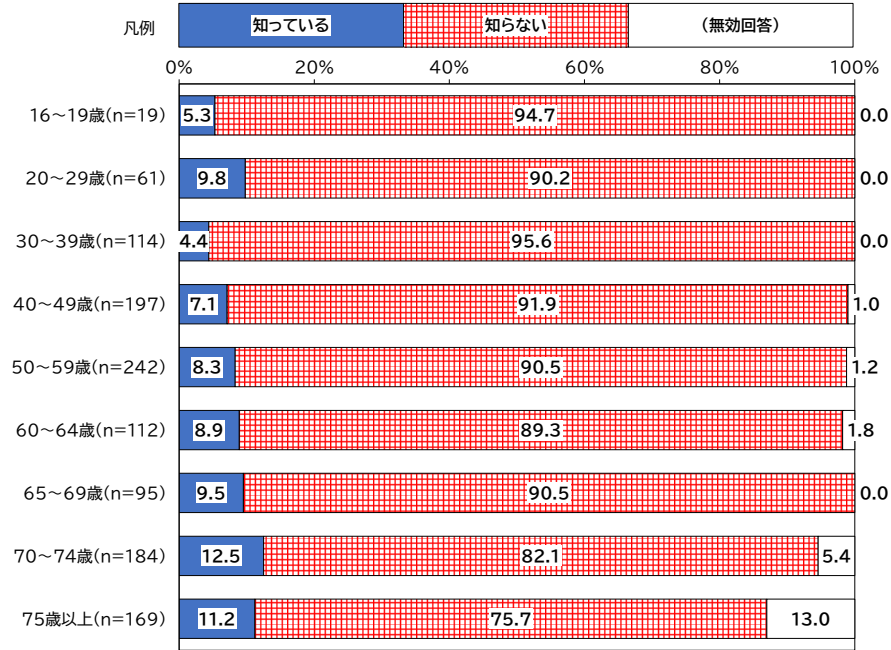
<経年比較>

○「知っている」(8.8%)は、令和5年度(10.2%)に比べ1.4ポイント減少しています。



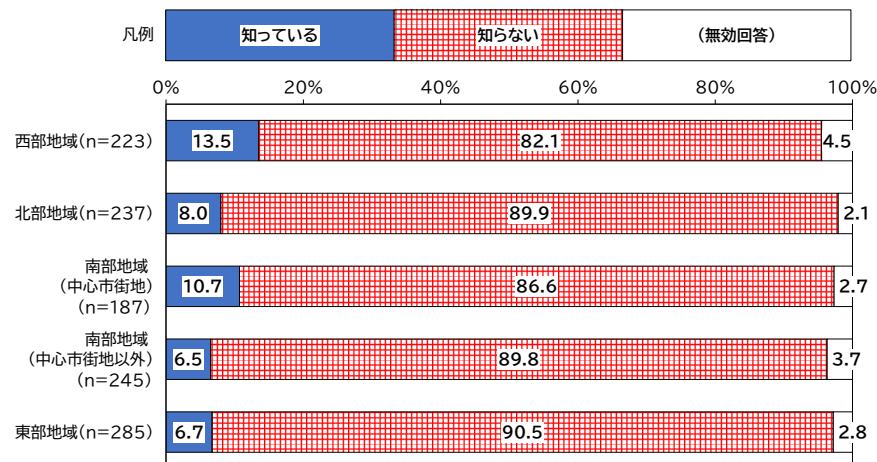
<年齢層別>

○「知っている」は最も高い 70~74 歳でも 12.5%にとどまっており、59 歳以下と 65~69 歳では「知らない」が 90%を超えています。



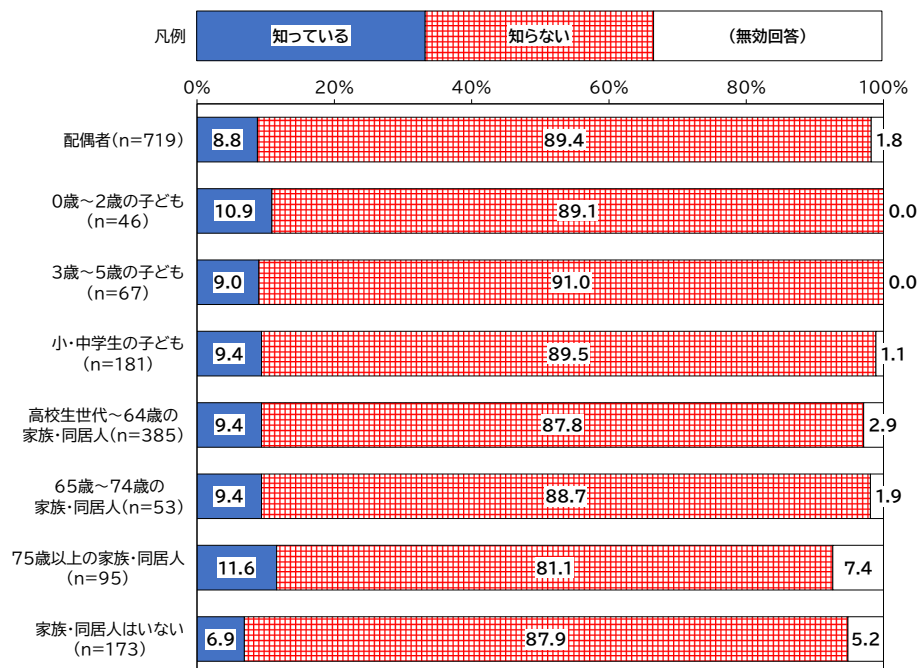
<地域別>

○「知っている」は、西部地域、南部地域（中心市街地）で 10%を超えています。他の地域は 10%未満にとどまっています。



<同居人別>

○「知っている」は最も高い「75 歳以上の家族・同居人」でも 11.6%にとどまっています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 地域福祉、高齢者・障害者福祉についてのご意見・ご提案】(40 件)

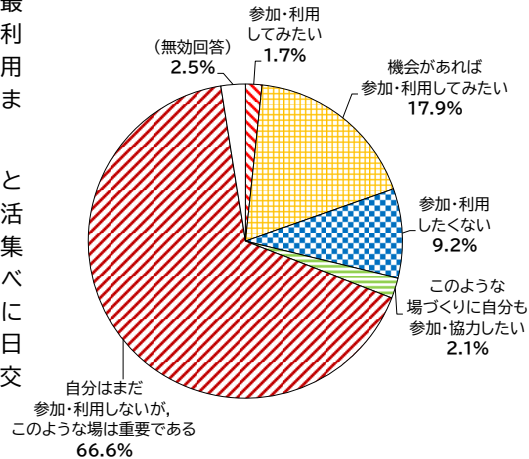
- ・困った時どこに相談すればよいかもっと積極的に周知・アナウンスしてほしい。
- ・市のロビーなどで障害者の方が作っているお菓子や作品など販売するスペースや機会があると、地域参加の一環になると思う。
- ・小学生、中学生のうちに地域包括支援センターを訪問、見学する機会を授業内で作り、ヤングケアラーにならない、一人で抱えこまないことを教えておくことが大切ではないかと思う。
- ・要介護、要支援にこだわらず、相談できる体制があることが望ましい。
- ・オンラインに弱い高齢者のフォロー。
- ・特養と保育園は、市民で希望される方は必ず収容できる規模の施設を確保できたら理想です。

問20) あなたは、地域における交流の場（「ひだまりサロン※」など）についてどのように感じますか。

<全体（n=1,210）>

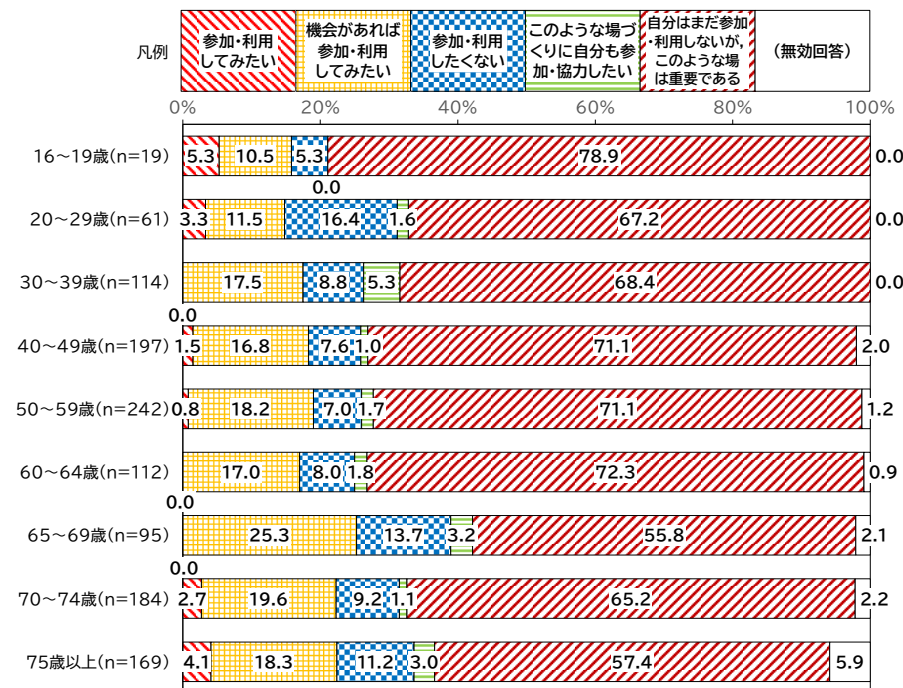
- 「自分はまだ参加・利用しないが、このような場合は重要である」が66.6%で最も高く、次いで「機会があれば参加・利用してみたい」の17.9%、「参加・利用したくない」の9.2%の順となっています。

※「ひだまりサロン」とは、市民が主体となり、自宅や公共施設等のスペースを活用して、ご近所同士など市民が気軽に集い、お茶やお食事をしながら、おしゃべりや趣味活動などを行う場です。市内にはひだまりサロン（令和6年3月31日現在 89箇所）をはじめとした様々な交流活動の場があります。



<年齢層別>

- 「参加・利用してみたい」と「機会があれば参加・利用してみたい」の合計は、65歳以上で20%を超え、64歳以下より高くなっています。

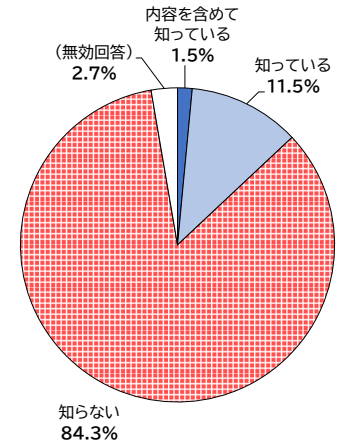


問21) あなたは、「パラハート月間※」を知っていますか。

<全体（n=1,210）>

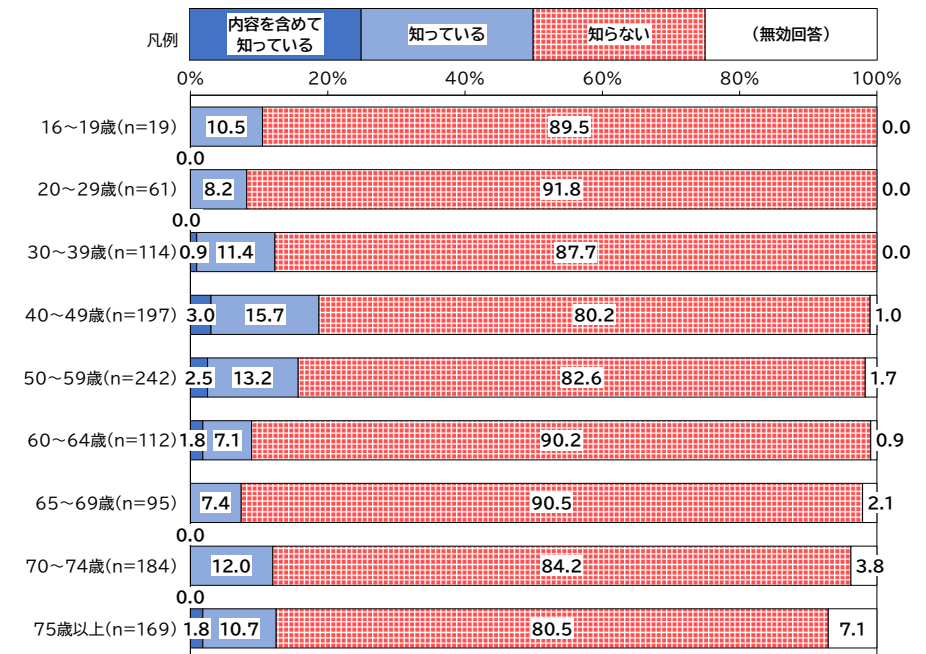
- 「内容を含めて知っている」は1.5%、「知っている」は11.5%であり、合計で13.0%となっています。

※「パラハート月間」とは、障害者基本法により、毎年12月3日から12月9日までが障害者週間とされていることに合わせ、調布市において、この期間を含む12月の1箇月間を「パラハート」月間と位置付け、障害理解を推進するための普及啓発活動などを行っています。



<年齢層別>

- 40～49歳で、「内容を含めて知っている」と「知っている」の合計が18.7%と最も高く、次いで50～59歳の15.7%、75歳以上の12.5%の順となっています。

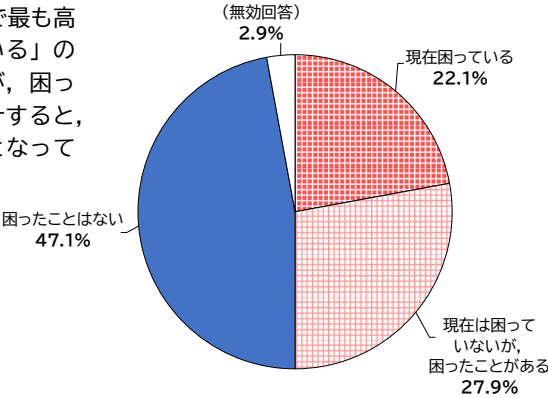


【生活支援について】

問 22) あなたは、近年の物価高騰により、経済的に困った経験がありますか。

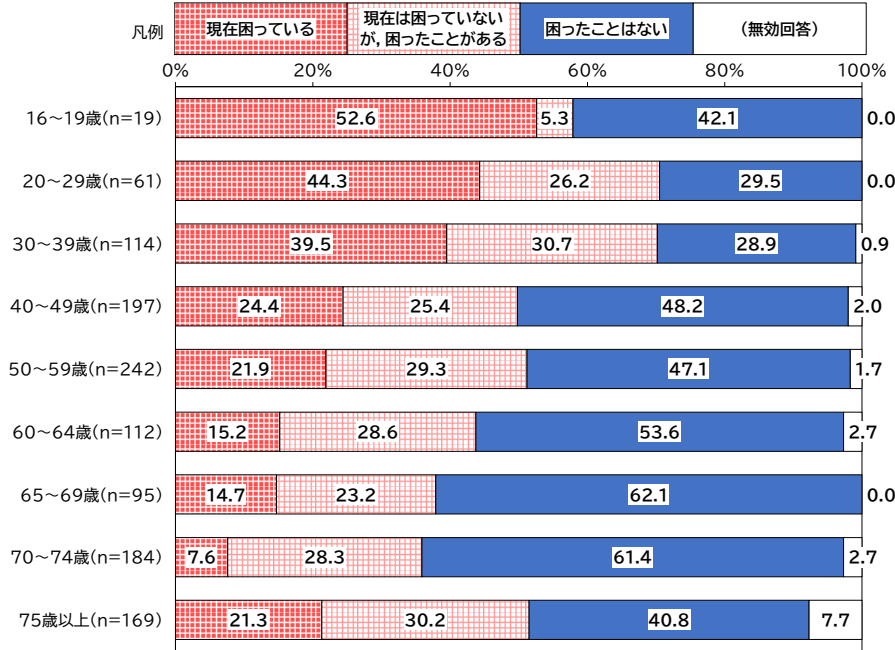
<全体 (n=1,210) >

○「困ったことはない」が47.1%で最も高くなっています。「現在困っている」の22.1%、「現在は困っていないが、困ったことがある」の27.9%を合計すると、困った経験がある人は50.0%となっています。



<年齢層別>

○「現在困っている」はおおむね年齢が下がるにつれて高くなる傾向にあり、29歳以下では40%を超えています。また、「現在困っている」と「現在は困っていないが、困ったことがある」の合計は、20～39歳で70%を超えています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 物価高騰に対する生活支援に関することについてのご意見・ご提案】(155件)

- ・商品券などをまた発行してほしい。
- ・野菜など高いので、地元の農産物を安く買えると嬉しい。
- ・公団などの家賃補助や年金額の増額、低所得世帯に対する住民税などの減額、高齢者でも働いて収入を得られる場の開拓と提供。
- ・ひとり親や非課税世帯ばかり支援があり、その世帯より少し上の収入の課税世帯が何も支援がないのがとても生きにくい。
- ・支援を受けることができるのであれば、宣伝してほしい。
- ・電気代の補助金の拡充。

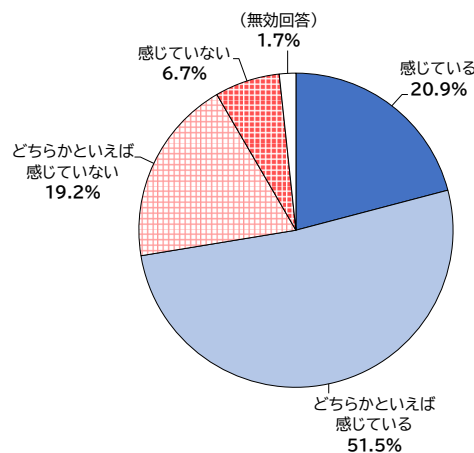
【健康づくりについて】

問 23) あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。

<全体 (n=1,210) >

○心身ともに健康だと「感じている」は 20.9%、「どちらかといえば感じている」は 51.5%であり、合計で 72.4%を占めています。

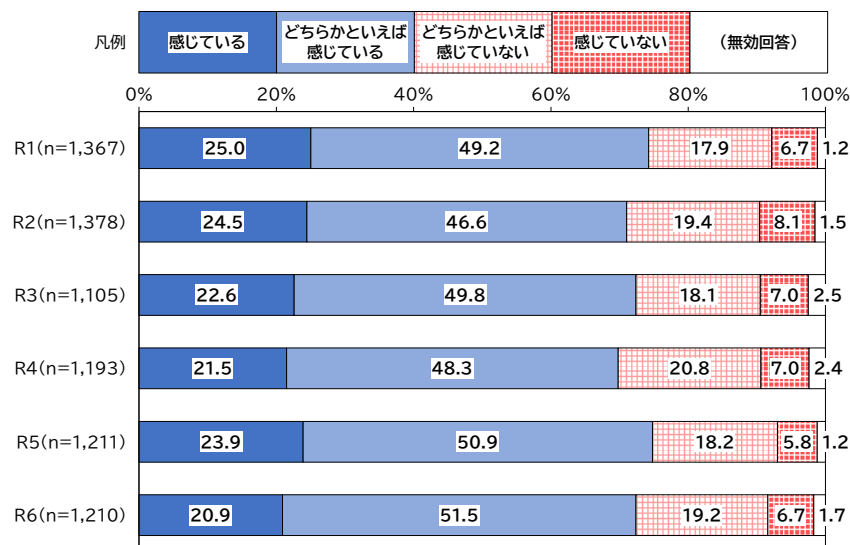
○一方、「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計は 25.9%となっています。



<経年比較>

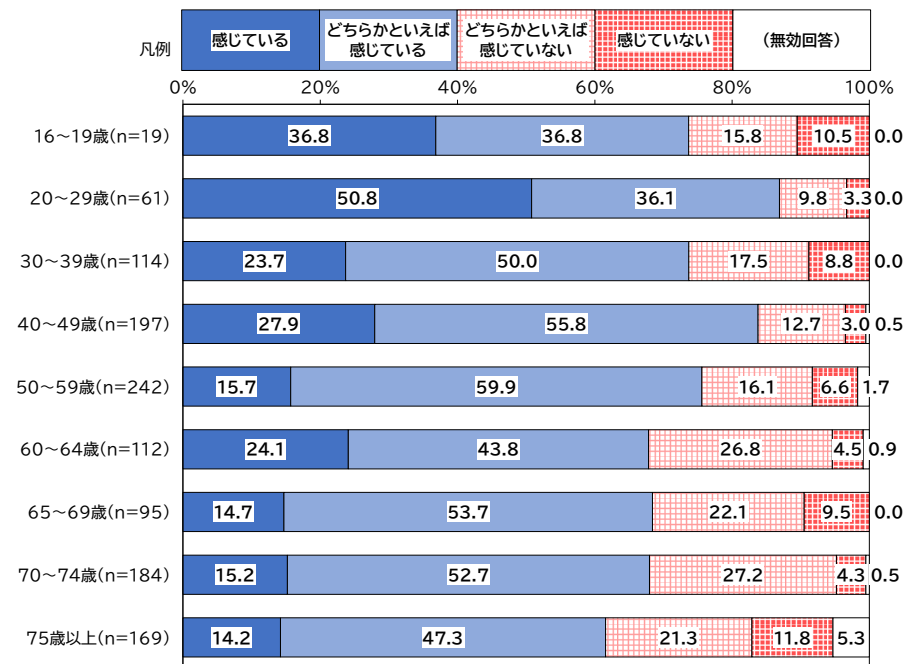
○「感じている」、「どちらかといえば感じている」の合計 (72.4%) は、令和 5 年度 (74.8%) に比べ 2.4 ポイント減少しています。

○「感じていない」、「どちらかといえば感じていない」の合計 (25.9%) は、令和 5 年度 (24.0%) に比べ 1.9 ポイント増加しています。



<年齢層別>

○「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、20～29 歳及び 40～49 歳で 80%を超えて高く、60 歳以上で 70%を下回っています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 健康づくりに関することについてのご意見・ご提案】 (77 件)

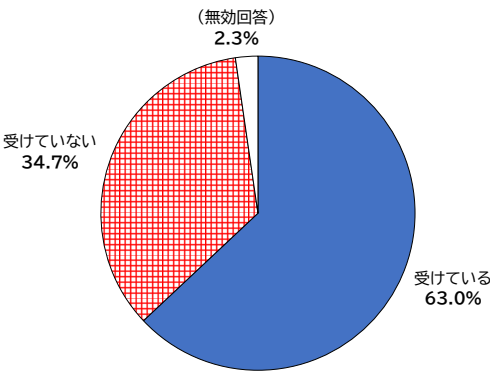
- ・安全にウォーキング・ランニングができる場があればいいと思います。
- ・子どものインフルエンザ予防接種の市の補助があると助かる (世田谷区などのように)。
- ・地産地消の食材を使った健康レシピの紹介。
- ・調布観光ウォーキングイベント。
- ・定期的に市が主催して、無料の市民健康相談を受けられるような場を設定して頂きたい。
- ・人口が増えているのに申込制の検診定員がずっと変わらないので改善希望。高齢者のがん検診 (前立腺) 年齢制限撤廃。

問 24) あなたは、定期的に以下の検診を受けていますか。

歯科検診

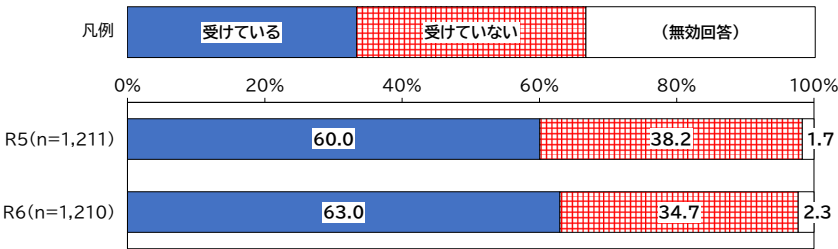
<全体 (n=1,210) >

○「受けている」は 63.0%、「受けていない」は 34.7%であり、「受けている」の割合が大きく上回っています。



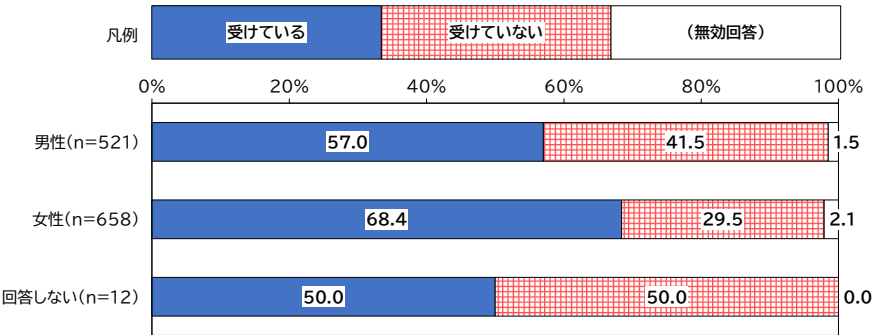
<経年比較>

○「受けている」(63.0%)は、令和5年度(60.0%)に比べて3.0ポイント増加しています。



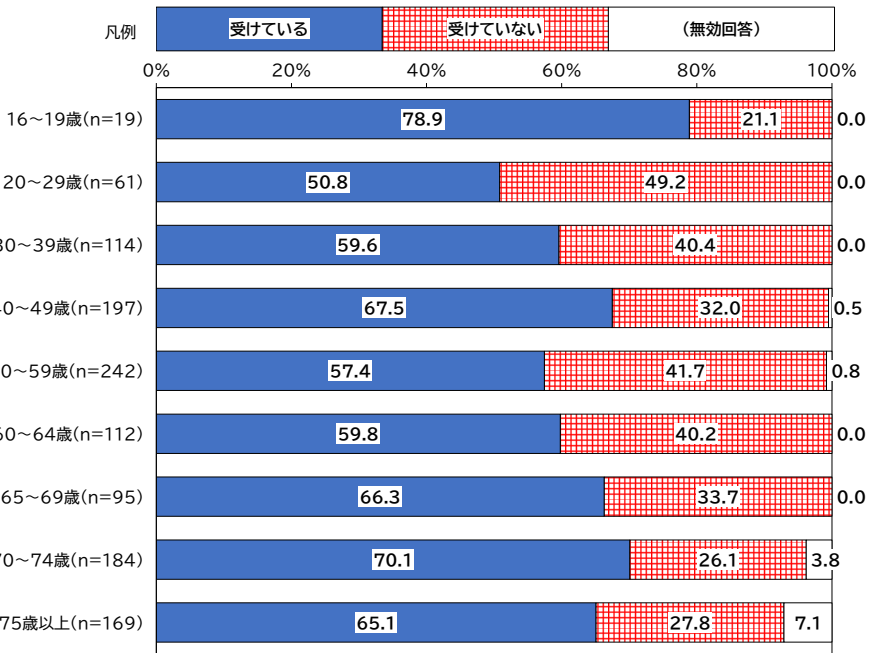
<性別>

○「受けている」は男性が57.0%、女性は68.4%で、女性が男性を11.4ポイント上回っています。



<年齢層別>

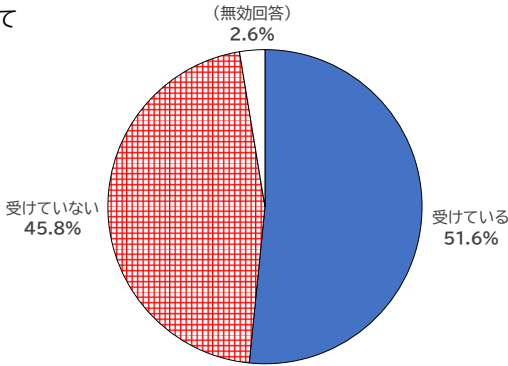
○「受けている」は、16～19歳が78.9%と最も高く、いずれの年齢層も50%を超えています。



がん検診

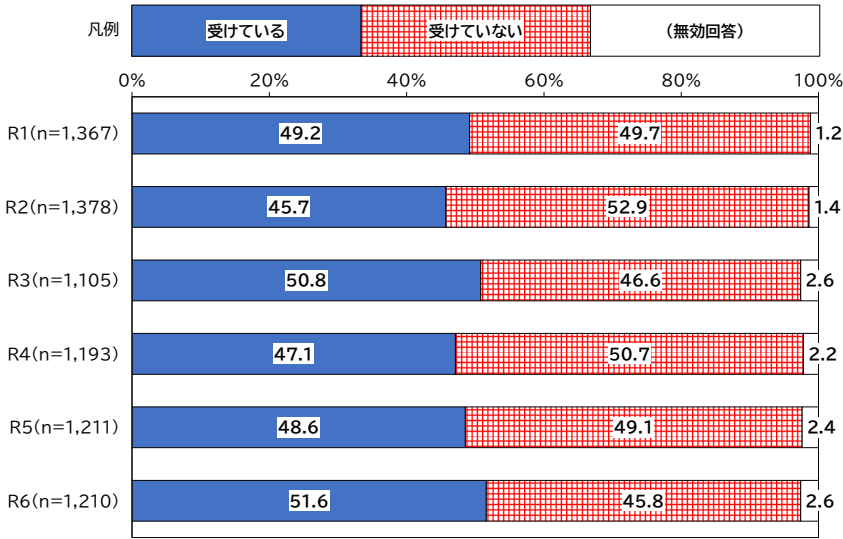
<全体 (n=1,210) >

○「受けている」は 51.6%, 「受けていない」は 45.8%であり, 「受けている」の割合が上回っています。



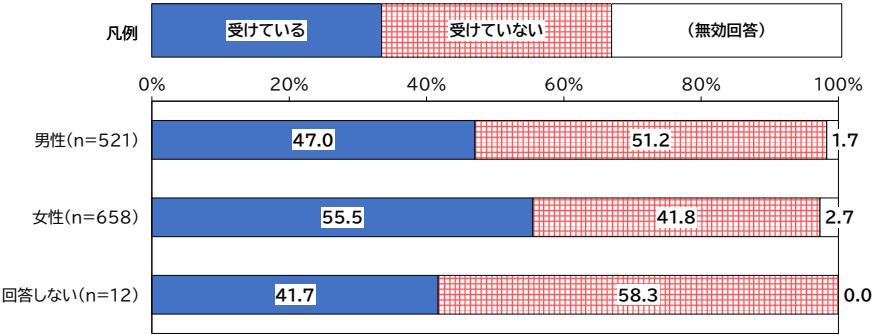
<経年比較>

○「受けている」(51.6%)は, 令和5年度(48.6%)に比べて 3.0ポイント増加しており, 令和元年度以降で最も高くなっています。



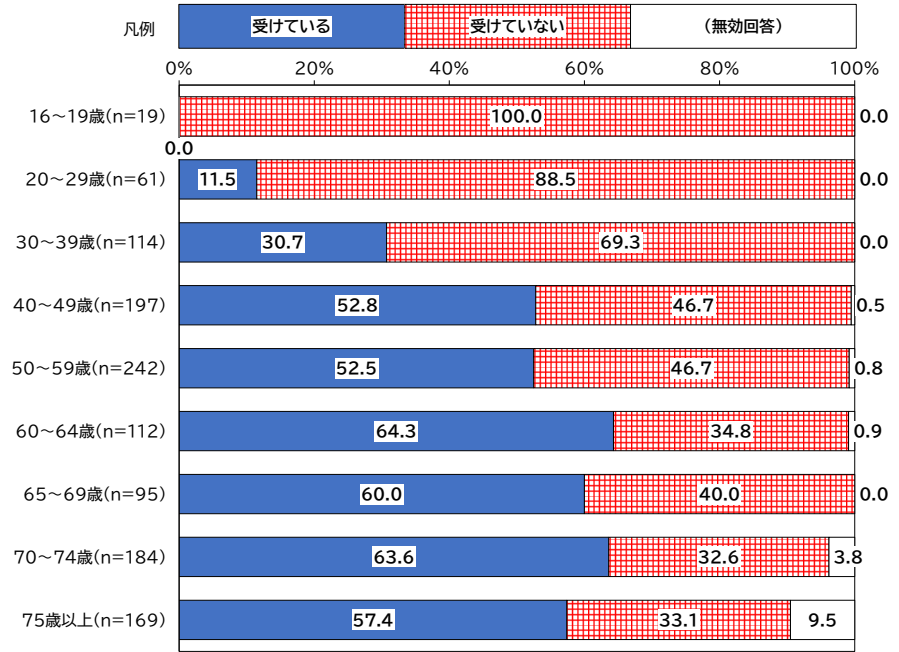
<性別>

○「受けている」は男性が 47.0%, 女性は 55.5%で, 女性が男性を 8.5ポイント上回っています。



<年齢層別>

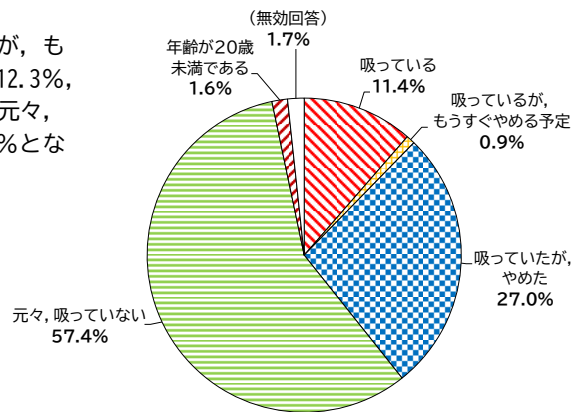
○「受けている」は, 40歳以上の年齢層では 50%を超えています。



問25) あなたは普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ、葉巻）を吸いますか。（ここでは、受動喫煙（他の方の喫煙によりたばこの煙を吸ってしまうこと）は含みません。）

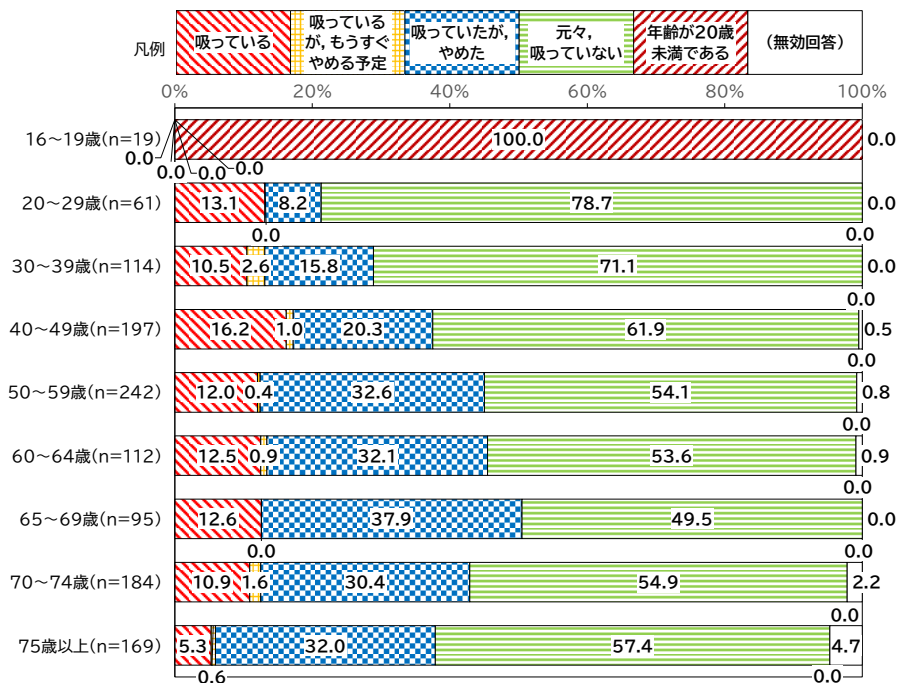
<全体（n=1,210）>

- 「吸っている」と「吸っているが、もうすぐやめる予定」の合計が 12.3%、「吸っていたが、やめた」と「元々、吸っていない」の合計が 84.4%となっています。



<年齢層別>

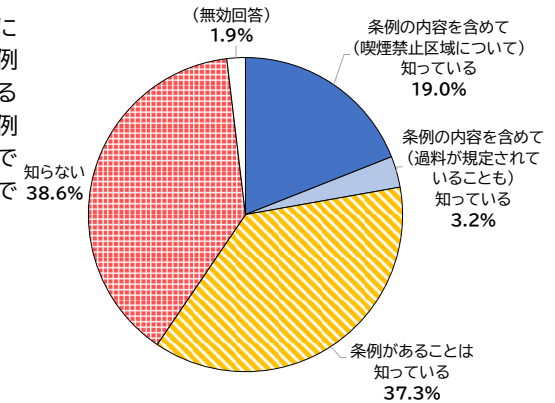
- 「吸っている」と「吸っているが、もうすぐやめる予定」の合計は、40～49歳が 17.2%で最も高く、次いで 60～64歳の 13.4%の順となっています。
- 「元々、吸っていない」は 20～39歳で 70%を超え、他の年齢層に比べて高くなっています。



問26) あなたは、調布市受動喫煙防止条例※（平成31年3月公布、令和元年7月施行）を知っていますか。

<全体（n=1,210）>

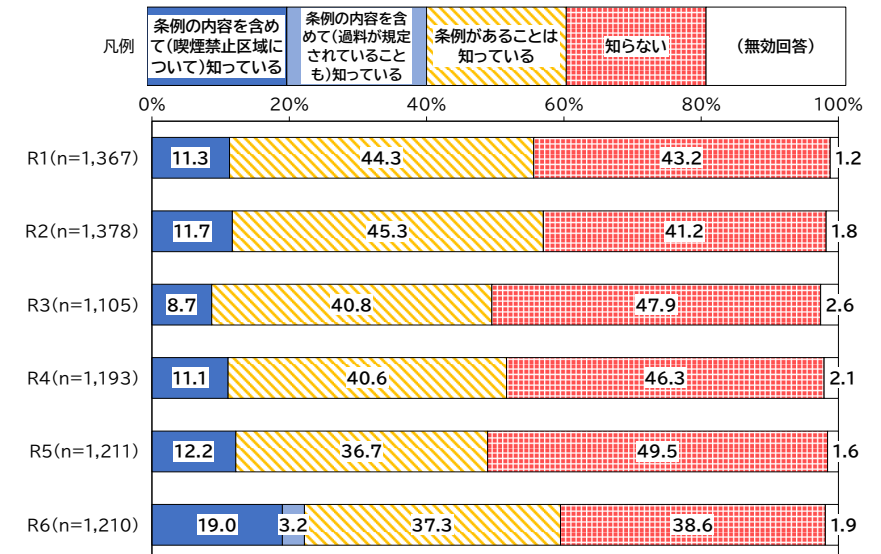
- 「条例の内容を含めて（喫煙禁止区域について）知っている」が 19.0%、「条例の内容を含めて（過料が規定されていることも）知っている」が 3.2%、「条例があることは知っている」が 37.3%であり、条例を知っている人は合計で 59.5%となっています。



※市は、受動喫煙による健康への悪影響から市民等を守るとともに受動喫煙及び喫煙による身体への悪影響等に関する啓発及び教育を行うことにより、次代を担う子どもたちをはじめ誰もが健康に暮らせるまち調布の実現に寄与することを目的として「調布市受動喫煙防止条例」を施行しています。

<経年比較>

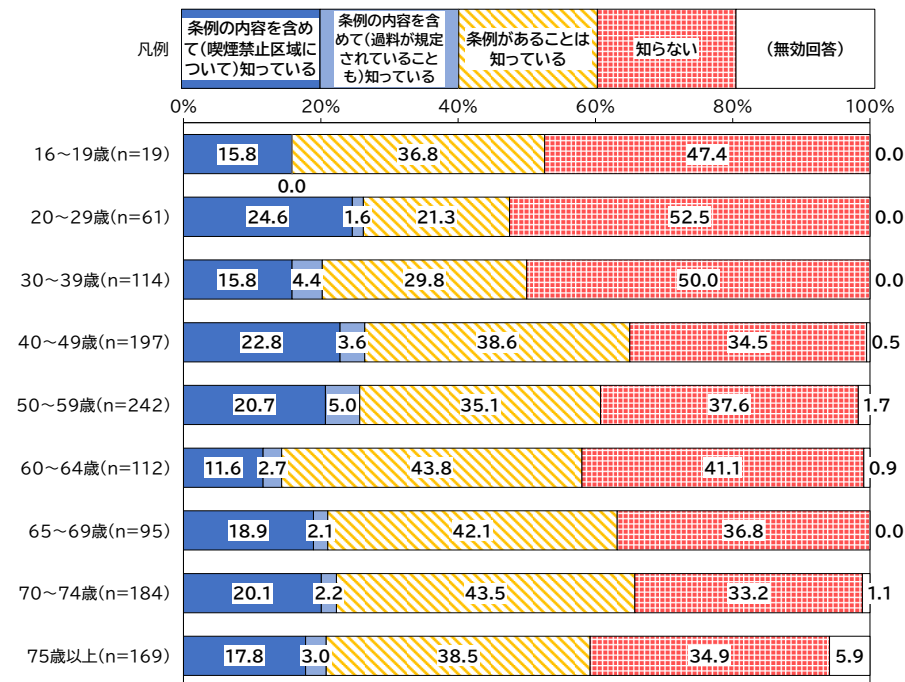
- 「知らない」は、令和元年度～令和5年度は40%を超えていますが、令和6年度は38.6%となっています。



※令和5年度までの選択肢は、「内容を含めて知っている」「知っている」「知らない」となっています。

<年齢層別>

- 「条例の内容を含めて（喫煙禁止区域について）知っている」、「条例の内容を含めて（過料が規定されていることも）知っている」、「条例があることは知っている」の合計は、70～74歳が65.8%で最も高く、次いで40～49歳の65.0%の順となっています。
- 「知らない」は、20～39歳が50%以上となっています。

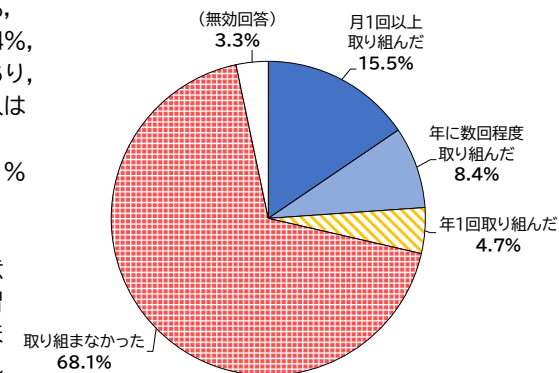


【生涯学習について】

問 27) あなたは、この1年間に、生涯学習※に取り組みましたか。

<全体 (n=1,210) >

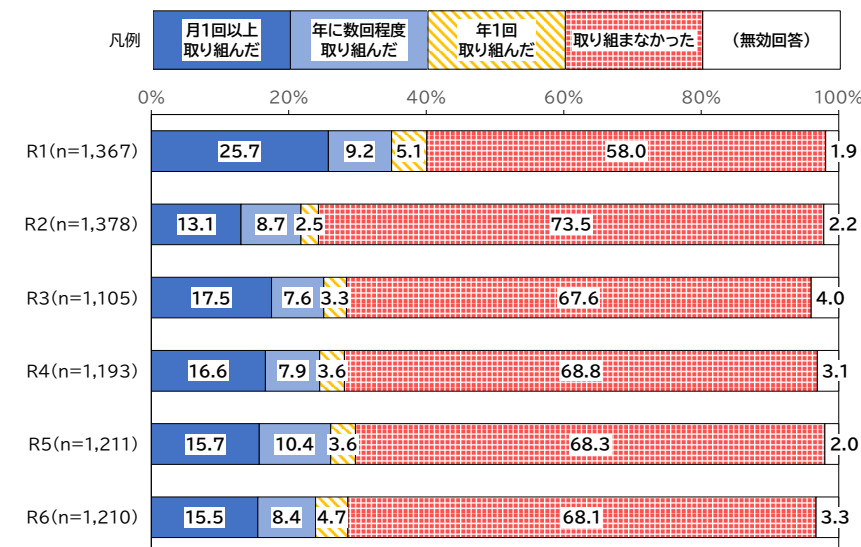
- 「月1回以上取り組んだ」が15.5%，「年に数回程度取り組んだ」が8.4%，「年1回取り組んだ」が4.7%であり、生涯学習に年1回以上取り組んだ人は合計で28.6%となっています。
- 一方、「取り組まなかった」は68.1%となっています。



※「生涯学習」とは、人々が自発的意思に基づいて生涯を通じて行う学習のことで、学校や社会教育施設のほか、家庭・職場・地域などで行われる学習や、文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア・趣味など生活のあらゆる場面で行われる学習が含まれます。

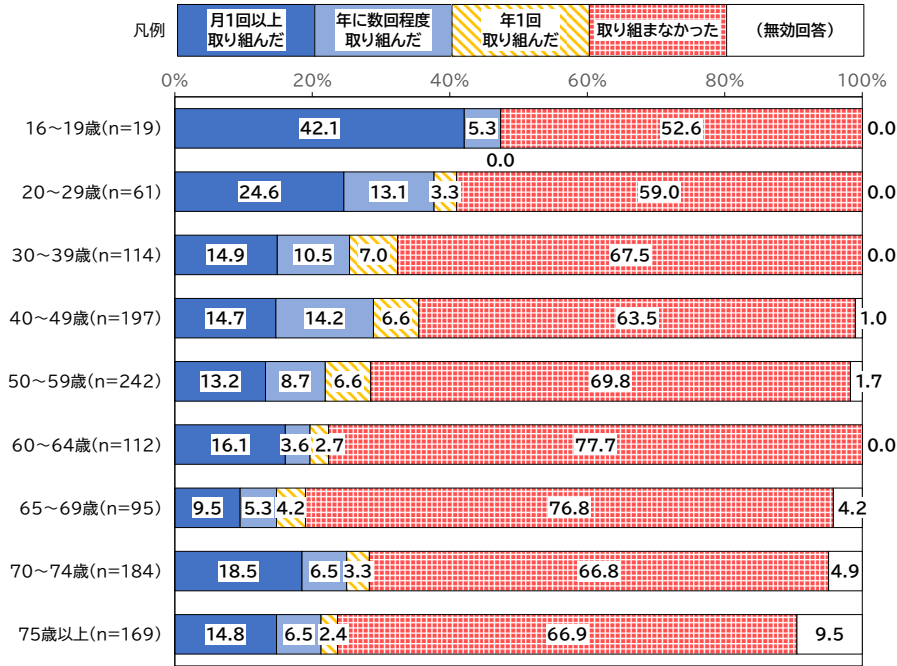
<経年比較>

- 「取り組んだ」の合計（28.6%）は、令和5年度（29.7%）に比べて1.1ポイント減少しています。
- 「取り組まなかった」（68.1%）は、令和5年度（68.3%）に比べて0.2ポイント減少しています。



<年齢層別>

○生涯学習に年1回以上取り組んだ方の割合は29歳以下で40%を超えています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

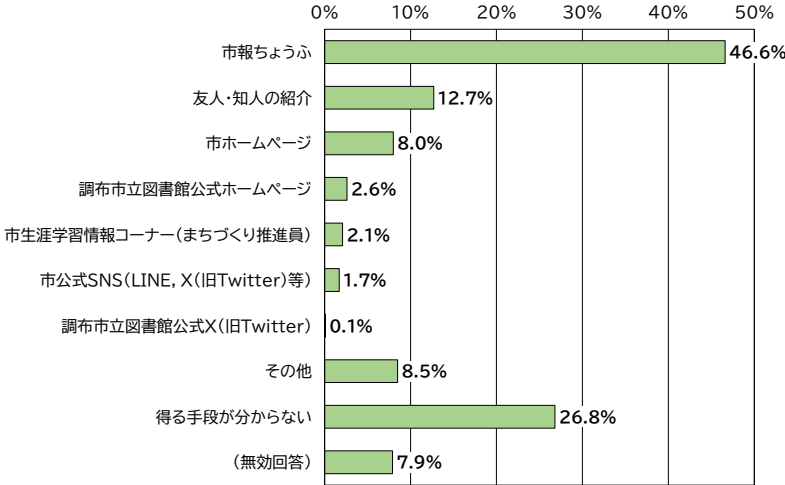
【図表 生涯学習に関する施策についてのご意見・ご提案】(39件)

- ・調布でしていることを知らなかった。
- ・図書館の充実。
- ・そのような時間的、金銭的余裕はない。
- ・フルタイム勤務者向けに、夜間実施や動画公開等の対応をお願いしたい。

問28) あなたは、生涯学習に関する情報を何から入手していますか。

<全体 (n=1,210)>

○生涯学習に関する情報の入手経路としては、「市報ちょうふ」が46.6%で最も高く、次いで「友人・知人の紹介」の12.7%、「市ホームページ」の8.0%の順となっています。一方で、「得る手段が分からない」は26.8%となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層においても、「市報ちょうふ」が高くなっています。

○「得る手段が分からない」は、39歳以下で40%を超えています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市報ちょうふ	564	3	13	29	80	111	58	48	114	102
	46.6%	15.8%	21.3%	25.4%	40.6%	45.9%	51.8%	50.5%	62.0%	60.4%
友人・知人の紹介	154	4	7	17	31	20	9	10	31	24
	12.7%	21.1%	11.5%	14.9%	15.7%	8.3%	8.0%	10.5%	16.8%	14.2%
市ホームページ	97	1	5	7	15	15	12	6	19	14
	8.0%	5.3%	8.2%	6.1%	7.6%	6.2%	10.7%	6.3%	10.3%	8.3%
調布市立図書館公式ホームページ	32	0	1	3	8	6	5	3	4	2
	2.6%	0.0%	1.6%	2.6%	4.1%	2.5%	4.5%	3.2%	2.2%	1.2%
市生涯学習情報コーナー(まちづくり推進員)	26	0	1	1	1	4	3	0	8	8
	2.1%	0.0%	1.6%	0.9%	0.5%	1.7%	2.7%	0.0%	4.3%	4.7%
市公式SNS(LINE, X(旧Twitter)等)	20	1	0	3	4	6	1	1	1	3
	1.7%	5.3%	0.0%	2.6%	2.0%	2.5%	0.9%	1.1%	0.5%	1.8%
調布市立図書館公式X(旧Twitter)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	103	2	7	10	15	33	12	7	11	5
	8.5%	10.5%	11.5%	8.8%	7.6%	13.6%	10.7%	7.4%	6.0%	3.0%
得る手段が分からない	324	9	28	52	64	56	25	25	30	30
	26.8%	47.4%	45.9%	45.6%	32.5%	23.1%	22.3%	26.3%	16.3%	17.8%
(無効回答)	95	0	4	6	10	22	5	8	12	23
	7.9%	0.0%	6.6%	5.3%	5.1%	9.1%	4.5%	8.4%	6.5%	13.6%

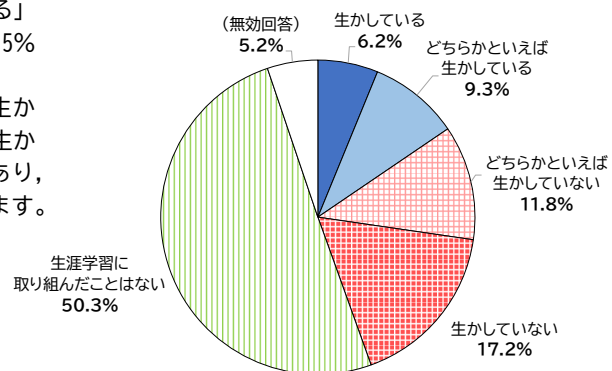
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 市報ちょうふ 回答割合が2番目に高い: 得る手段が分からない

問 29) あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくり、地域活動など自分以外のために生かしていますか。

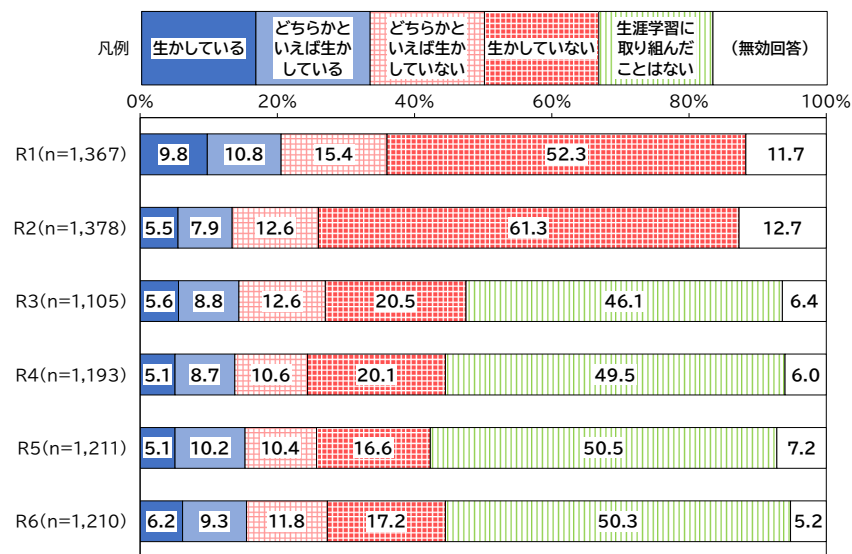
<全体 (n=1,210) >

- 「生かしている」は6.2%、「どちらかといえば生かしている」は9.3%であり、合計で15.5%となっています。
- 一方、「どちらかといえば生かしていない」は11.8%、「生かしていない」は17.2%であり、合計で29.0%を占めています。



<経年比較>

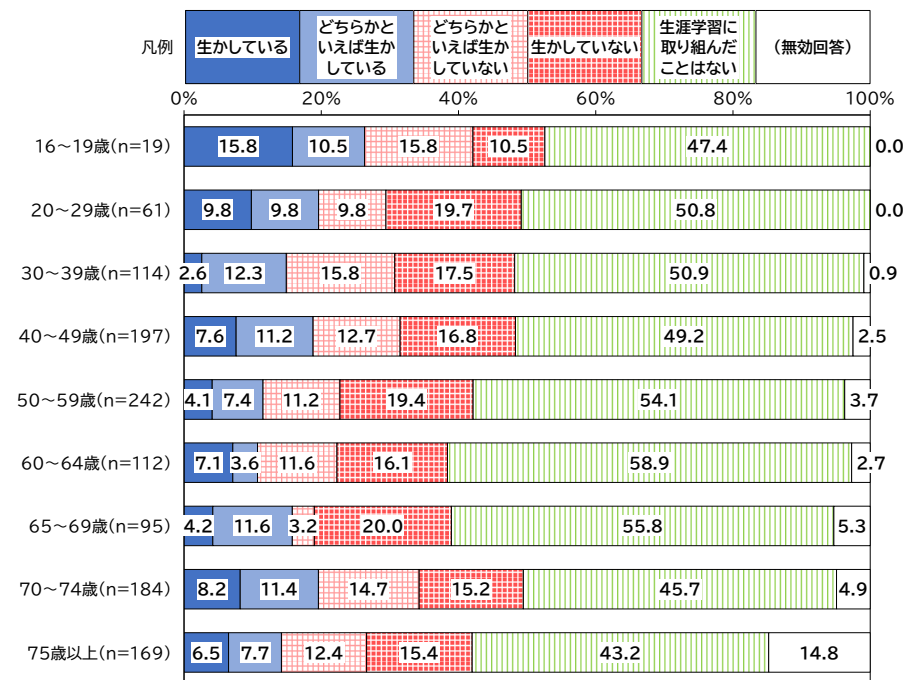
- 「生かしている」と「どちらかといえば生かしている」の合計（15.5%）は、令和5年度（15.3%）に比べて0.2ポイント増加しています。



※「生涯学習に取り組んだことはない」は、令和3年度以降追加された選択肢です。

<年齢層別>

- 「生かしている」と「どちらかといえば生かしている」の合計は、16～19歳で20%を超えています、他の年齢層は10%台となっています。

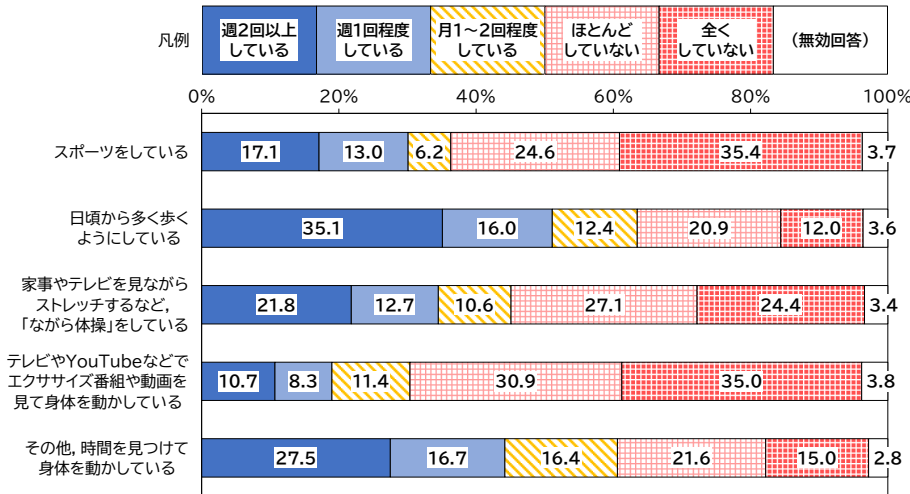


【スポーツ振興について】

問 30) あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。

<全体 (n=1,210) >

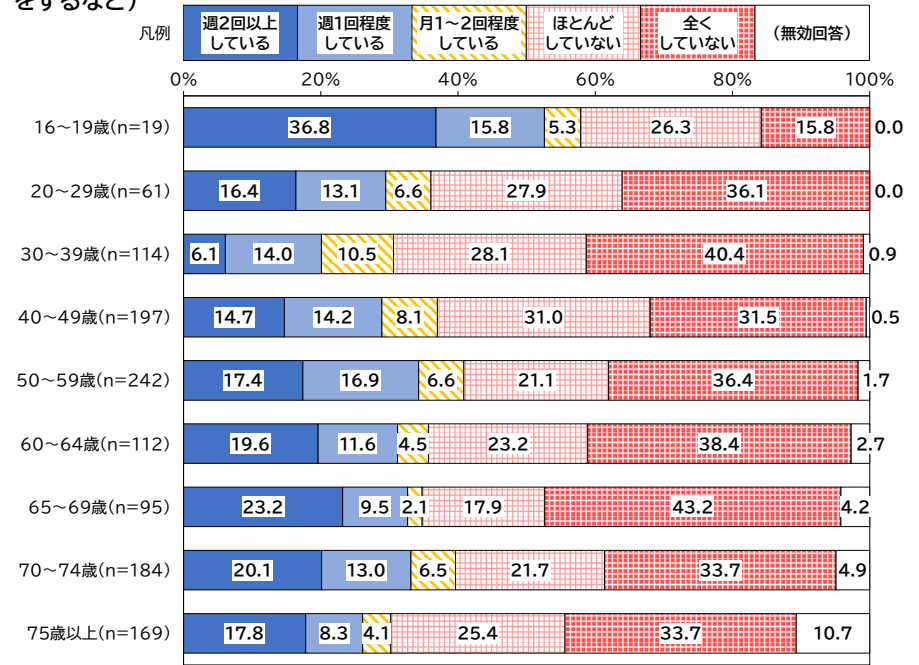
○「週2回以上している」と「週1回程度している」の合計は、「日頃から多く歩くようにしている（電車やバス等の最寄りの駅で降車せず、1駅分多く歩いているなど）」が51.1%と最も高く、次いで「その他、時間を見つけて身体を動かしている」の44.2%の順となっています。



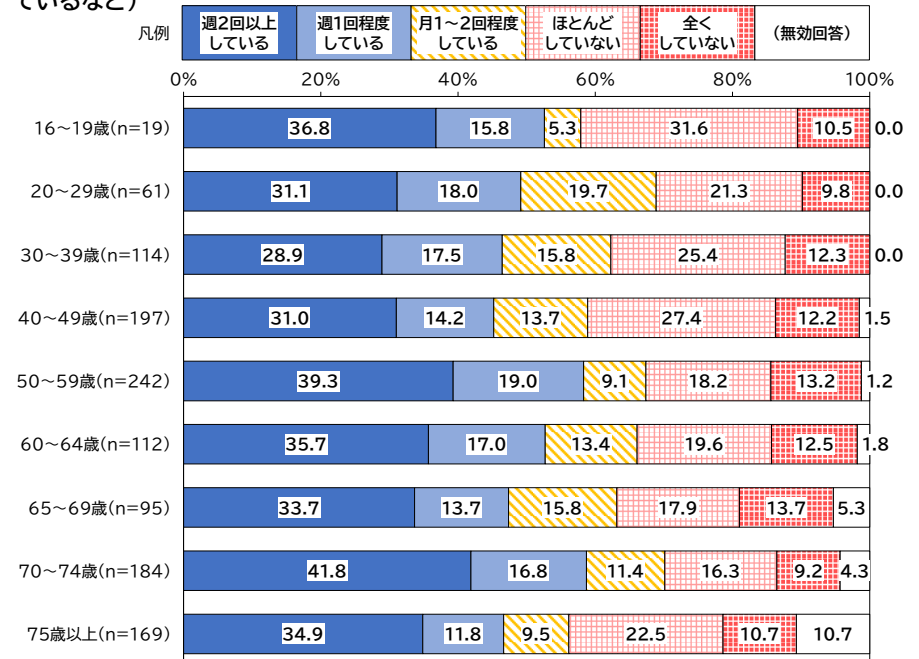
<年齢層別>

○「週2回以上している」と「週1回程度している」の合計は、16~19歳では「スポーツをしている」と「日頃から多く歩くようにしている（電車やバス等の最寄りの駅で降車せず、1駅分多く歩いているなど）」、20~74歳は「日頃から多く歩くようにしている（電車やバス等の最寄りの駅で降車せず、1駅分多く歩いているなど）」、75歳以上は「その他、時間を見つけて身体を動かしている」が最も高くなっています。

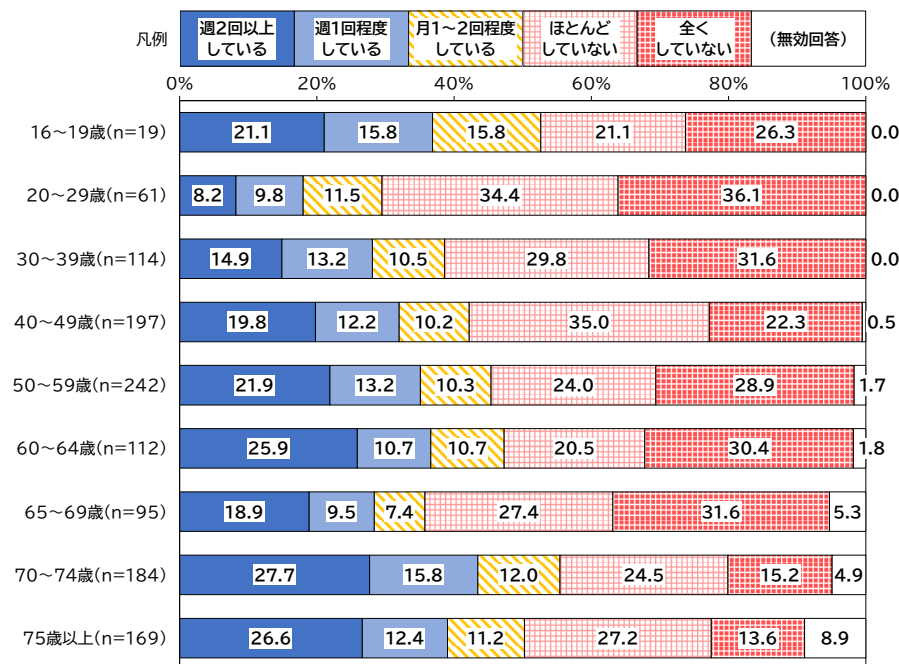
ア スポーツをしている（スポーツジムやプールに通う、ランニングをする、仲間とスポーツをするなど）



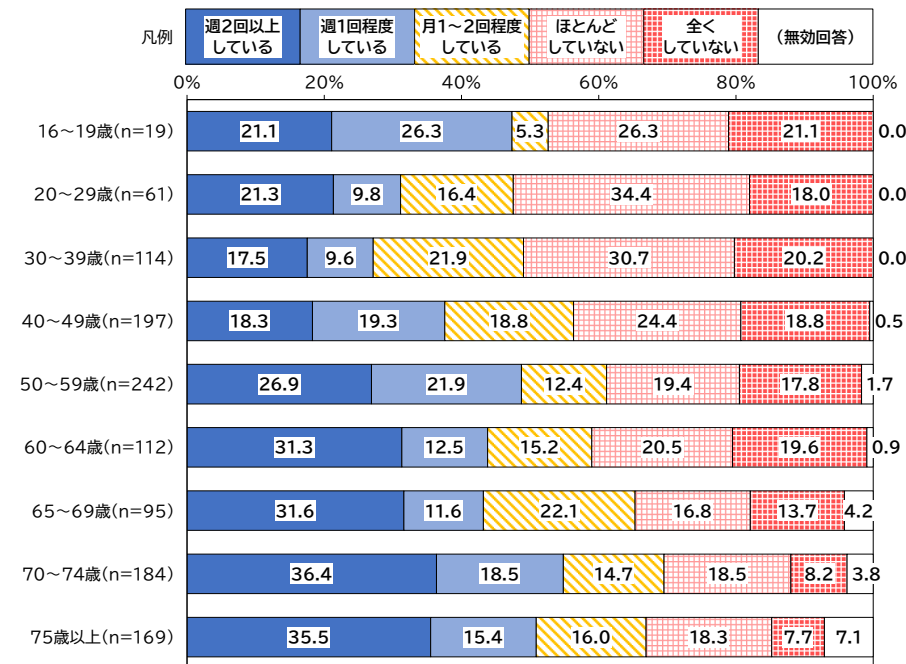
イ 日頃から多く歩くようにしている（電車やバス等の最寄りの駅で降車せず、1駅分多く歩いているなど）



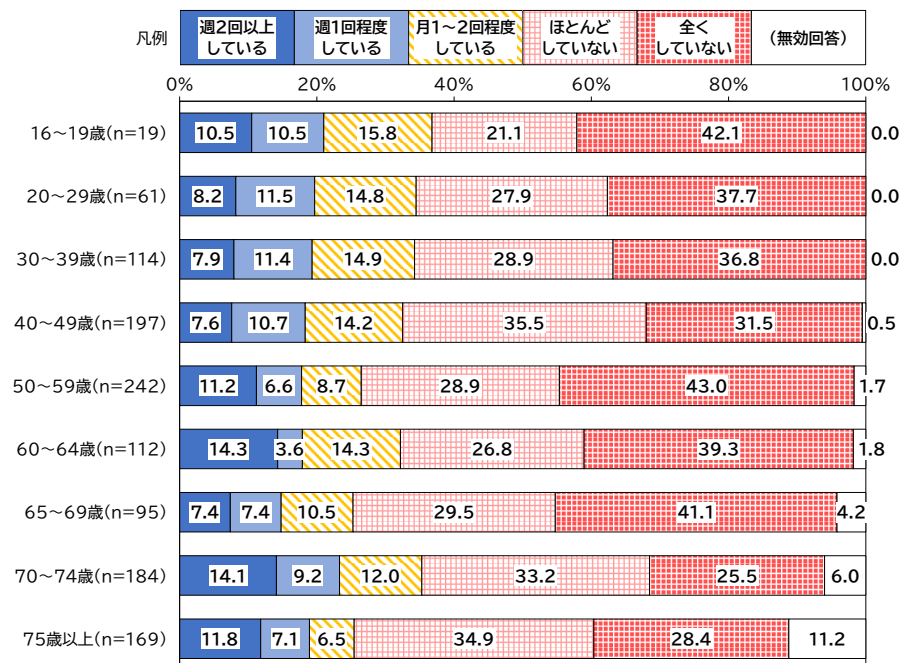
ウ 家事やテレビを見ながらストレッチするなど、「ながら体操」をしている



オ その他、時間を見つけて身体を動かしている



エ テレビやYouTubeなどでエクササイズ番組や動画を見て身体を動かしている



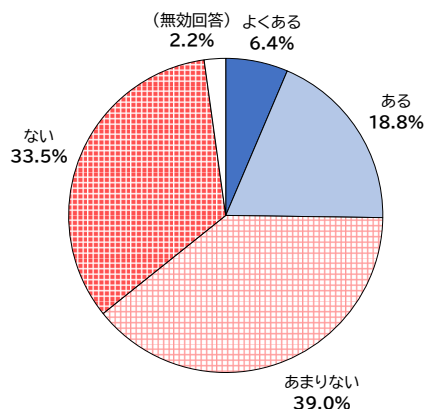
【地域コミュニティについて】

問 31) あなたは、地域のコミュニティ活動が行われていると実感する機会がありますか。

<全体 (n=1,210) >

○地域のコミュニティ活動が行われていると実感する機会が「よくある」は 6.4%、「ある」は 18.8%であり、合計で 25.2%となっています。

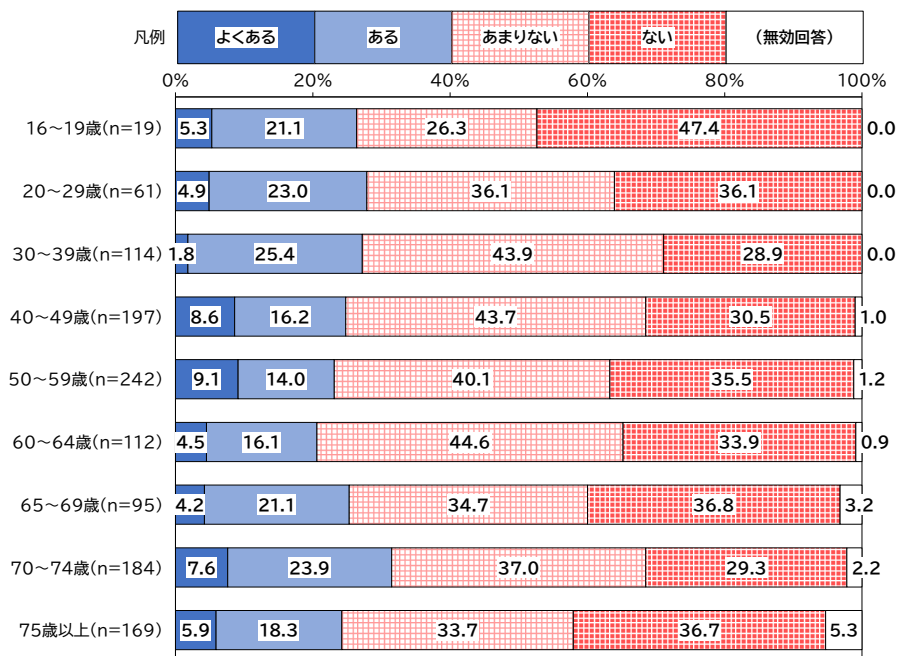
○一方、「あまりない」は 39.0%、「ない」は 33.5%であり、合計で 72.5%となっています。



<年齢層別>

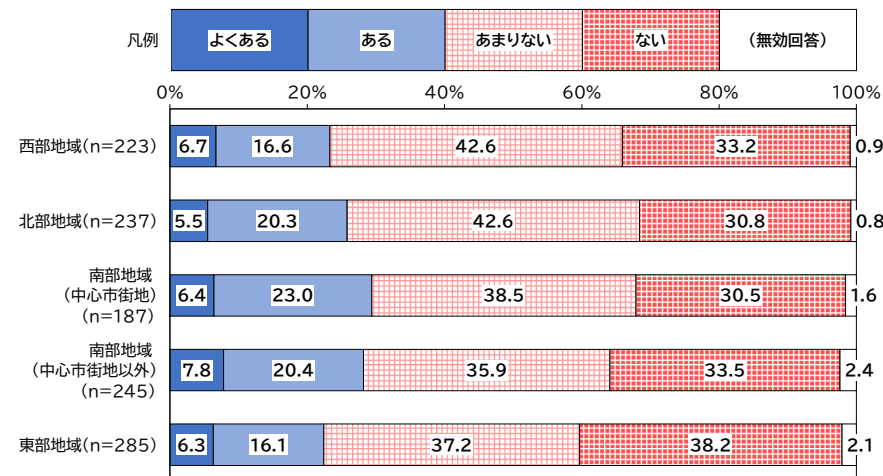
○「ある」と「よくある」の合計は、70～74 歳が 31.5%で最も高く、次いで 20～29 歳 (27.9%)、30～39 歳 (27.2%) の順となっています。

○一方、「あまりない」と「ない」の合計は、70～74 歳を除いた年齢層で 70%を超えています。



<地域別>

○「ある」と「よくある」の合計は、南部地域（中心市街地）(29.4%)が最も高く、全ての地域で 20%台となっています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

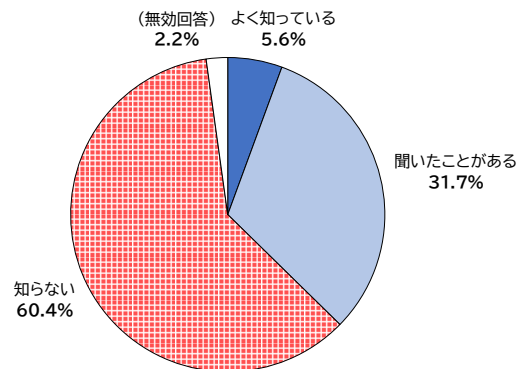
【図表 地域コミュニティに関する施策についてのご意見・ご提案】(38 件)

- ・町内会に加入しているが、会費を払って回覧板を回すだけ。災害用備蓄などに活用されているのかも誰に聞けばいいのかわからず、困っている。
- ・サークルは仲間に入りづらい雰囲気がありそうで、なかなか行こうと思えない。
- ・自治会活動は活発だと思うが、担い手が高齢化していたり、固定して大変そうに見える。
- ・周知する機会を増やす。
- ・地区ごとの盆踊り大会、運動会。
- ・平日仕事をしているため、平日日中に行われている事には参加できないので、終業後の活動、休日等の実施を考えてほしい。

問 32) あなたは、「地区協議会※」を知っていますか。

<全体 (n=1,210) >

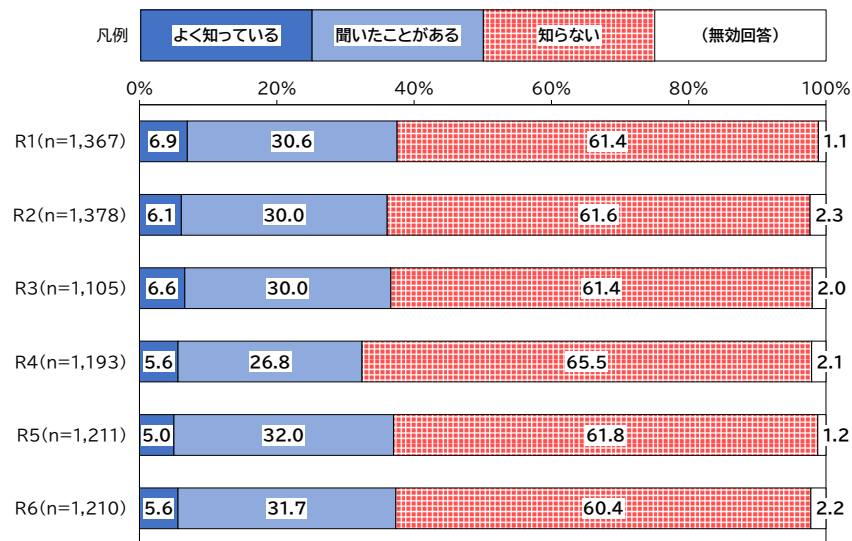
- 「よく知っている」が 5.6%、「聞いたことがある」が 31.7%、合計で 37.3%となっています。



※「地区協議会」とは、自治会をはじめ地域で活動する多様な団体や個人を結ぶ地域主体のネットワーク組織で、地域の情報共有や防災訓練等のまちづくり活動における連携・協力などを行っています。市内に 20 ある小学校区を単位として、現在 18 地区で設立されています。

<経年比較>

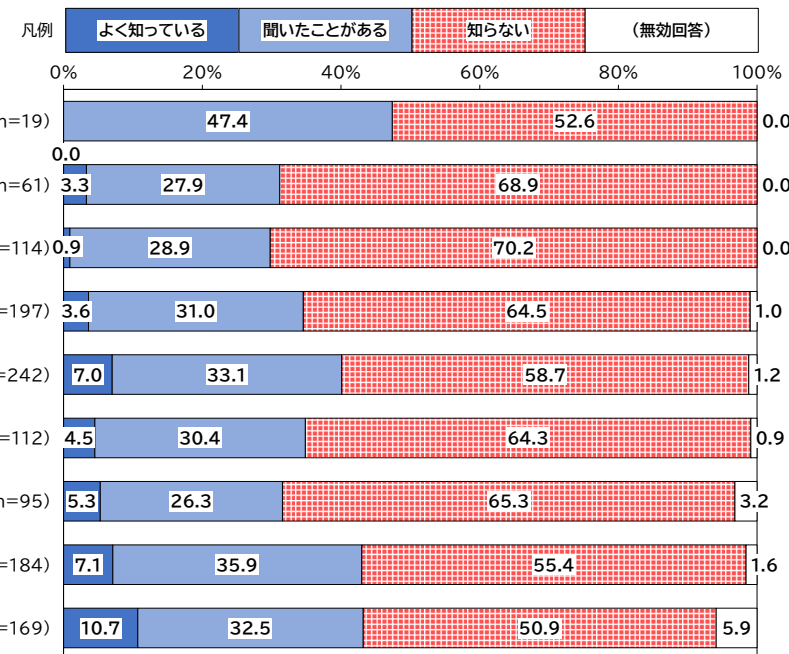
- 「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計 (37.3%) は、令和5年度 (37.0%) に比べ 0.3 ポイント増加しています。



<年齢層別>

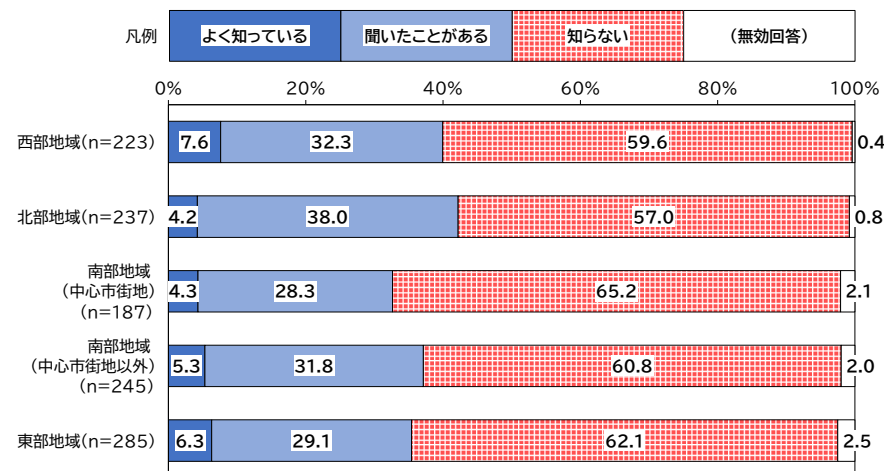
- 「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、30～39 歳を除き、30%を超えています。

- 「知らない」は 30～39 歳で 70%を超え、最も高くなっています。



<地域別>

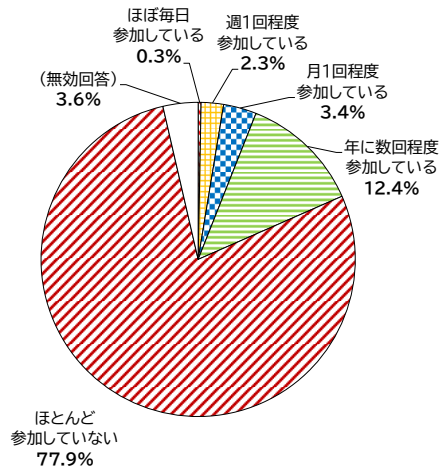
- 「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、北部地域が 42.2%で最も高く、次いで西部地域 (39.9%)、南部地域 (中心市街地以外) (37.1%) の順になっています。



問 33) あなたは、この1年間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。

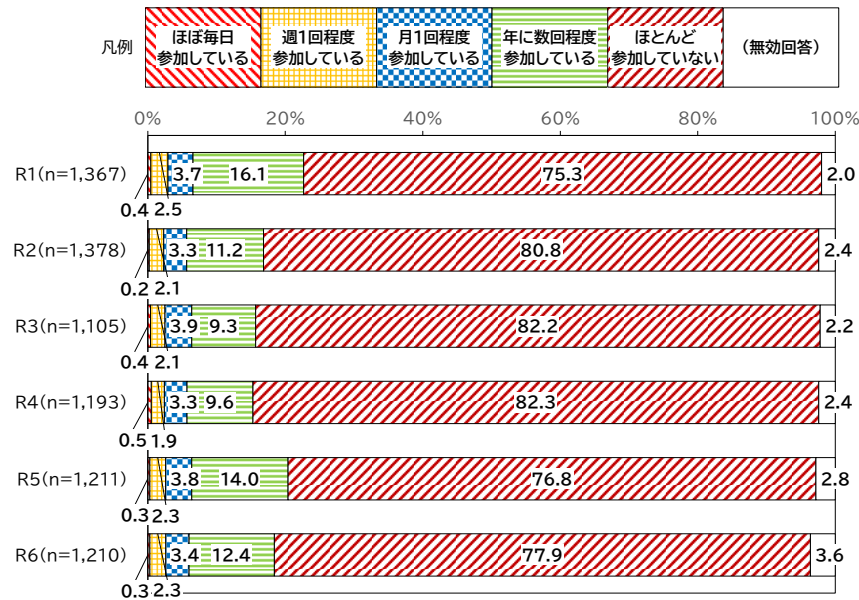
<全体 (n=1,210) >

○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計が18.4%となっています。



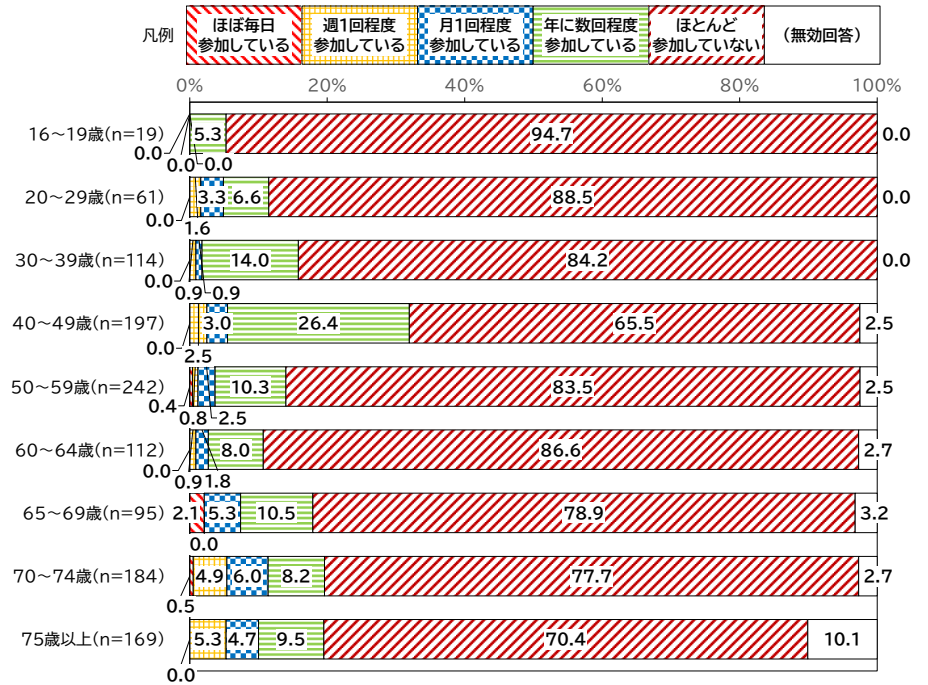
<経年比較>

○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計（18.4%）は、令和5年度（20.4%）に比べ2.0ポイント減少しています。



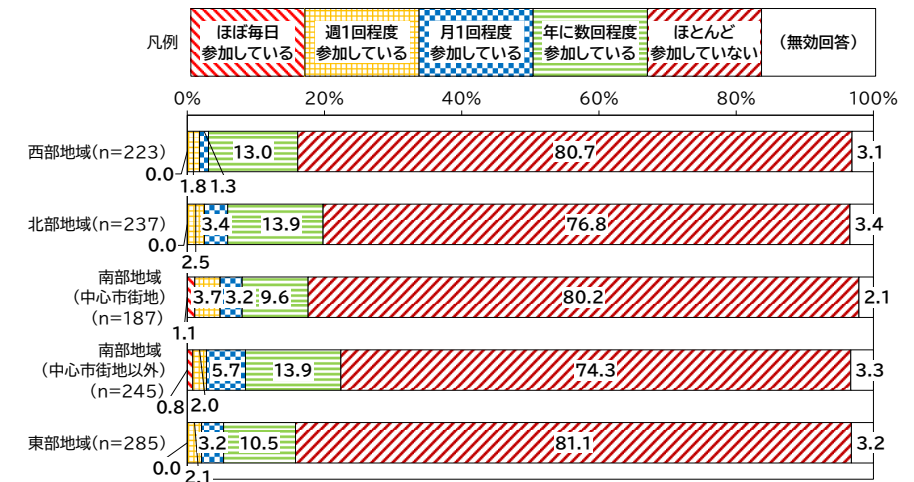
<年齢層別>

○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計は、40～49歳が31.9%で最も高く、それ以外の年齢層はいずれも20%を下回っています。



<地域別>

○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計は、南部地域（中心市街地以外）が22.4%で最も高く、次いで北部地域（19.8%）、南部地域（中心市街地）（17.6%）の順になっています。

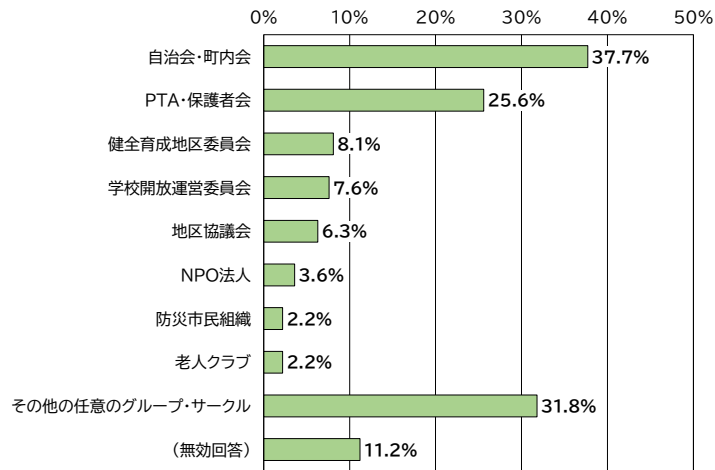


問 33-1) 問 33 で「ほぼ毎日参加している」「週1 回程度参加している」「月1 回程度参加している」「年に数回程度参加している」と回答した方にうかがいます。
参加した団体、活動、場所について、あてはまるものを選んでください。

団体

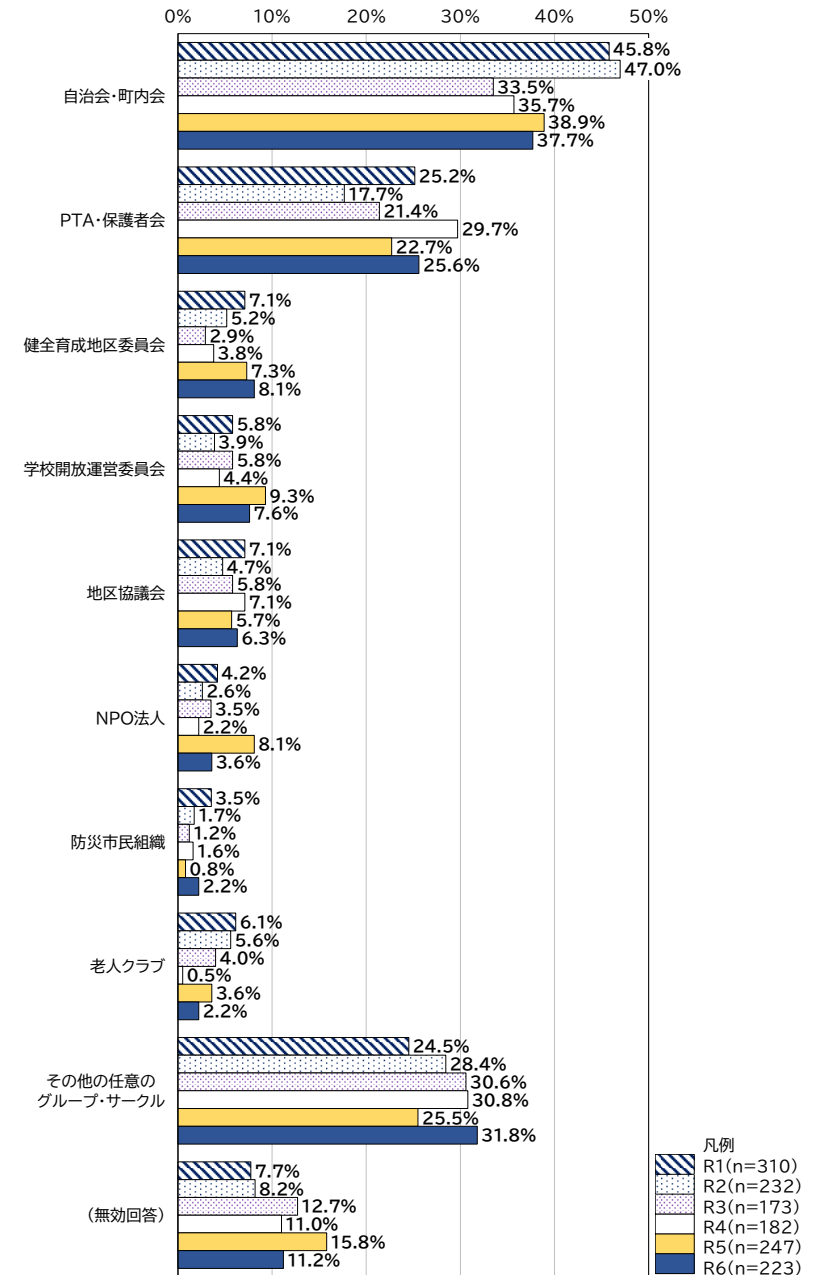
<全体 (n=223) >

○「自治会・町内会」が 37.7%で最も高く、次いで「PTA・保護者会」の 25.6%の順となっています。また、「その他の任意のグループ・サークル」も 31.8%と高くなっています。



<経年比較>

○「自治会・町内会」は、令和3 年度以降は 30%台で推移しています。また、「PTA・保護者会」(25.6%) は、令和5 年度 (22.7%) に比べ 2.9 ポイント増加、「その他の任意のグループ・サークル」(31.8%) は、令和5 年度 (25.5%) に比べ 6.3 ポイント増加しています。



<年齢層別>

○30～49 歳では「PTA・保護者会」、50 歳以上では「自治会・町内会」、が最も高くなっています。

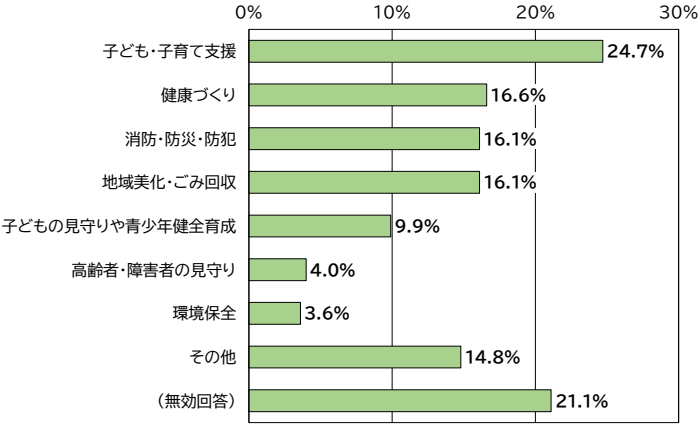
選択肢	合計	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳 以上
全体	223	1	7	18	63	34	12	17	36	33
自治会・町内会	84	0	2	4	16	18	6	8	17	13
PTA・保護者会	57	0	0	8	41	8	0	0	0	0
健全育成地区委員会	18	0	0	1	9	4	1	1	2	0
学校開放運営委員会	17	0	0	1	9	1	2	1	2	1
地区協議会	14	0	0	0	5	2	1	1	3	2
NPO法人	8	0	0	1	2	1	2	2	1	0
防災市民組織	5	0	0	0	0	1	0	2	0	2
老人クラブ	5	0	0	0	0	1	0	0	2	2
その他の任意のグループ・サークル	71	1	3	4	10	11	2	6	17	15
(無効回答)	25	0	2	5	4	5	1	2	1	5

(上段:実数(人), 下段:構成比)
回答割合が最も高い:  回答割合が2番目に高い: 

活動

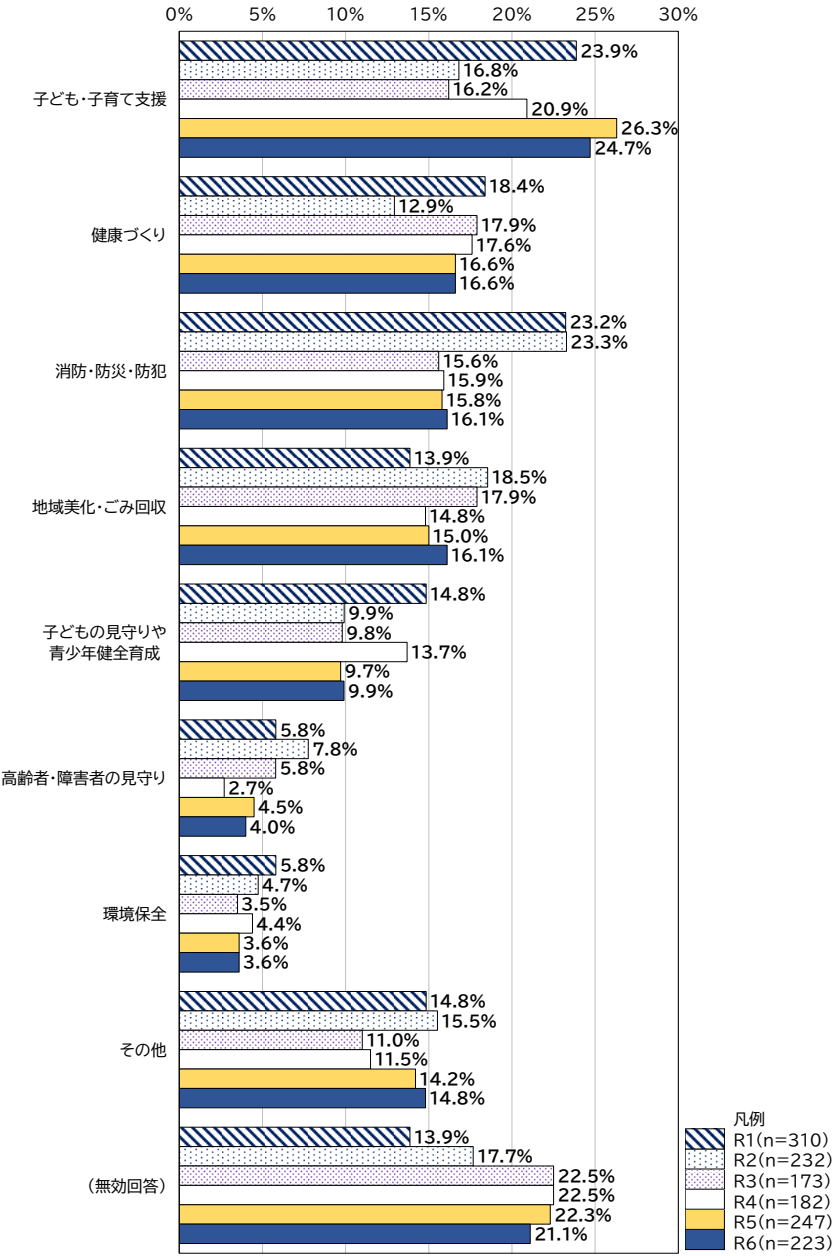
<全体 (n=223) >

○「子ども・子育て支援」が24.7%で最も高く、次いで「健康づくり」が16.6%、「消防・防災・防犯」と「地域美化・ごみ回収」が共に16.1%の順となっています。



<経年比較>

○「子ども・子育て支援」(24.7%)は、令和5年度(26.3%)に比べ1.6ポイント減少していますが、令和4年度以降は20%台で推移しています。また、「消防・防災・防犯」は、令和2年度以前は20%を超えていましたが、令和3年度以降は10%台で推移しています。



<年齢層別>

○30～49歳と60～64歳では「子ども・子育て支援」、50～59歳と65～69歳では「消防・防災・防犯」と「地域美化・ごみ回収」、70歳以上では「健康づくり」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	223	1	7	18	63	34	12	17	36	33
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
子ども・子育て支援	55	0	1	9	35	2	3	1	1	3
	24.7%	0.0%	14.3%	50.0%	55.6%	5.9%	25.0%	5.9%	2.8%	9.1%
健康づくり	37	0	0	0	3	2	1	2	13	15
	16.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	5.9%	8.3%	11.8%	36.1%	45.5%
消防・防災・防犯	36	0	0	0	8	9	1	5	9	4
	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%	12.7%	26.5%	8.3%	29.4%	25.0%	12.1%
地域美化・ごみ回収	36	0	1	1	6	9	1	5	4	9
	16.1%	0.0%	14.3%	5.6%	9.5%	26.5%	8.3%	29.4%	11.1%	27.3%
子どもの見守りや青少年健全育成	22	0	0	2	13	4	0	0	0	3
	9.9%	0.0%	0.0%	11.1%	20.6%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
高齢者・障害者の見守り	9	0	0	0	0	2	0	1	3	3
	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	8.3%	9.1%
環境保全	8	0	0	0	1	0	0	1	2	4
	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	5.9%	5.6%	12.1%
その他	33	1	2	2	8	4	2	4	4	5
	14.8%	100.0%	28.6%	11.1%	12.7%	11.8%	16.7%	23.5%	11.1%	15.2%
(無効回答)	47	0	3	4	13	7	6	2	8	4
	21.1%	0.0%	42.9%	22.2%	20.6%	20.6%	50.0%	11.8%	22.2%	12.1%

回答割合が最も高い:

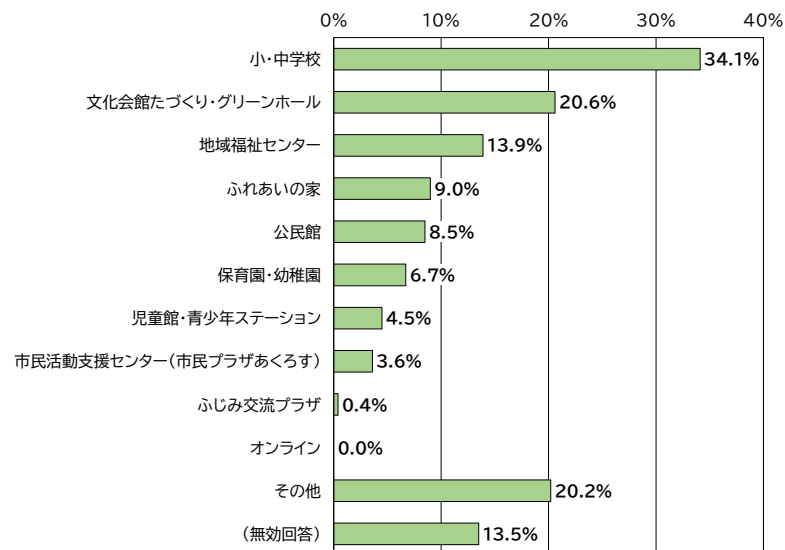
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が2番目に高い:

場所

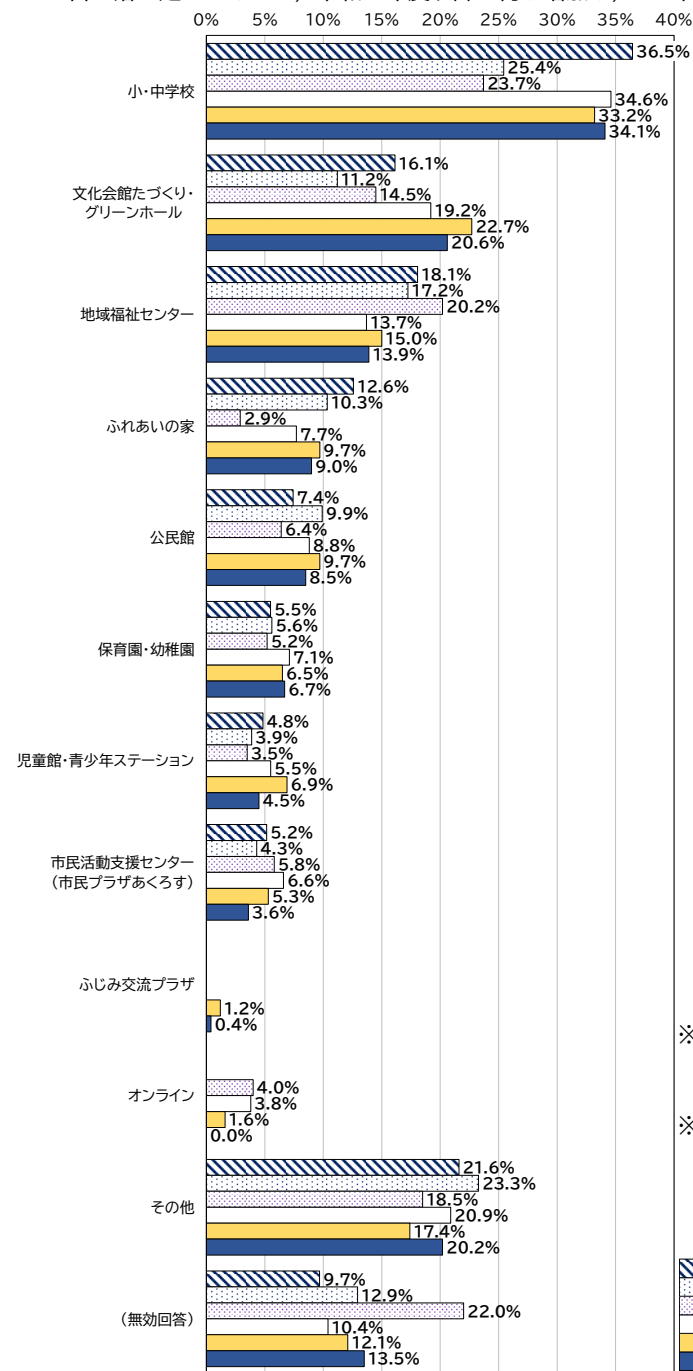
<全体 (n=223)>

○「小・中学校」が34.1%で最も高く、次いで「文化会館たづくり・グリーンホール」の20.6%、「地域福祉センター」の13.9%の順になっています。



<経年比較>

○「小・中学校」は、いずれの年度においても最も高く、令和2年度と令和3年度は20%台に落ち込んだものの、令和4年度以降は再び増加し、30%台に戻っています。



※「オンライン」は、令和3年度に追加された選択肢です。

※「ふじみ交流プラザ」は、令和5年度に追加された選択肢です。

凡例
R1 (n=310)
R2 (n=232)
R3 (n=173)
R4 (n=182)
R5 (n=247)
R6 (n=223)

<年齢層別>

○64 歳以下では「小・中学校」、65～74 歳では「文化会館たづくり・グリーンホール」、75 歳以上では「地域福祉センター」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳 以上
全体	223	1	7	18	63	34	12	17	36	33
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
小・中学校	76	1	2	9	43	10	2	2	2	5
	34.1%	100.0%	28.6%	50.0%	68.3%	29.4%	16.7%	11.8%	5.6%	15.2%
文化会館たづくり・グリーンホール	46	0	1	2	11	9	1	4	11	6
	20.6%	0.0%	14.3%	11.1%	17.5%	26.5%	8.3%	23.5%	30.6%	18.2%
地域福祉センター	31	0	2	0	3	6	0	3	7	10
	13.9%	0.0%	28.6%	0.0%	4.8%	17.6%	0.0%	17.6%	19.4%	30.3%
ふれあいの家	20	0	0	2	5	3	0	1	4	5
	9.0%	0.0%	0.0%	11.1%	7.9%	8.8%	0.0%	5.9%	11.1%	15.2%
公民館	19	1	0	0	2	1	1	1	6	6
	8.5%	100.0%	0.0%	0.0%	3.2%	2.9%	8.3%	5.9%	16.7%	18.2%
保育園・幼稚園	15	0	0	5	7	1	0	0	0	2
	6.7%	0.0%	0.0%	27.8%	11.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%
児童館・青少年ステーション	10	0	1	0	5	1	1	0	0	2
	4.5%	0.0%	14.3%	0.0%	7.9%	2.9%	8.3%	0.0%	0.0%	6.1%
市民活動支援センター(市民プラザ あくろす)	8	0	0	0	2	0	0	1	2	3
	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	5.9%	5.6%	9.1%
ふじみ交流プラザ	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%
オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	45	0	2	2	7	10	3	4	10	6
	20.2%	0.0%	28.6%	11.1%	11.1%	29.4%	25.0%	23.5%	27.8%	18.2%
(無効回答)	30	0	1	4	4	5	5	4	5	2
	13.5%	0.0%	14.3%	22.2%	6.3%	14.7%	41.7%	23.5%	13.9%	6.1%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 回答割合が2番目に高い:

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 活動場所のその他の例】(36 件)

・ 公会堂	・ 自治会館, 自治会の集会所
・ 公園, 広場	・ 通学路

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 地域における子育て支援や青少年健全育成に関する施策についてのご意見・ご提案】(17 件)

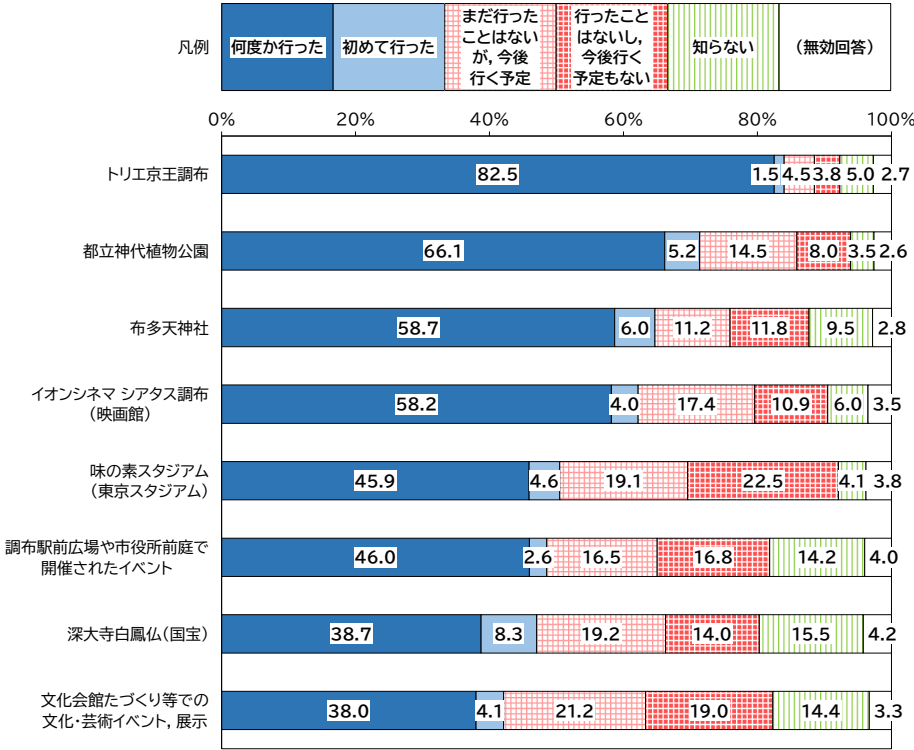
- ・ 地域の中からスキルのある人を使って、もっと様々なイベントをする。学校に呼ぶ。
- ・ 子供が私立小に通っているので地域と触れ合う機会が少ないです。地元のイベントも参加しにくいので、交流できるイベントがあると助かります。
- ・ 幼稚園の園児確保の支援(他市へ流出している園児を引き止めることができるような魅力的な施策)をお願いします。

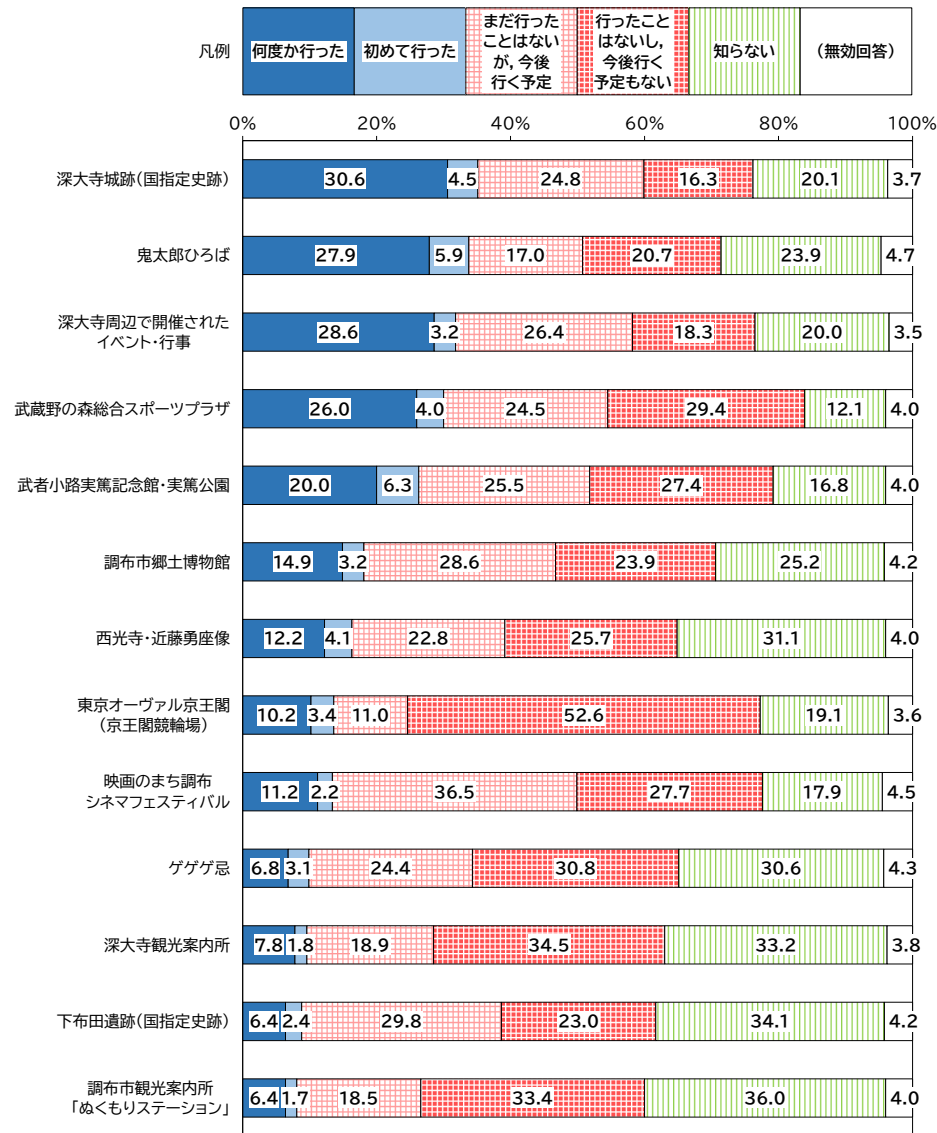
【産業・農業・観光について】

問 34) あなたはこの 1 年間に、次のイベントや施設・場所に行ったことがありますか。

<全体 (n=1,210) >

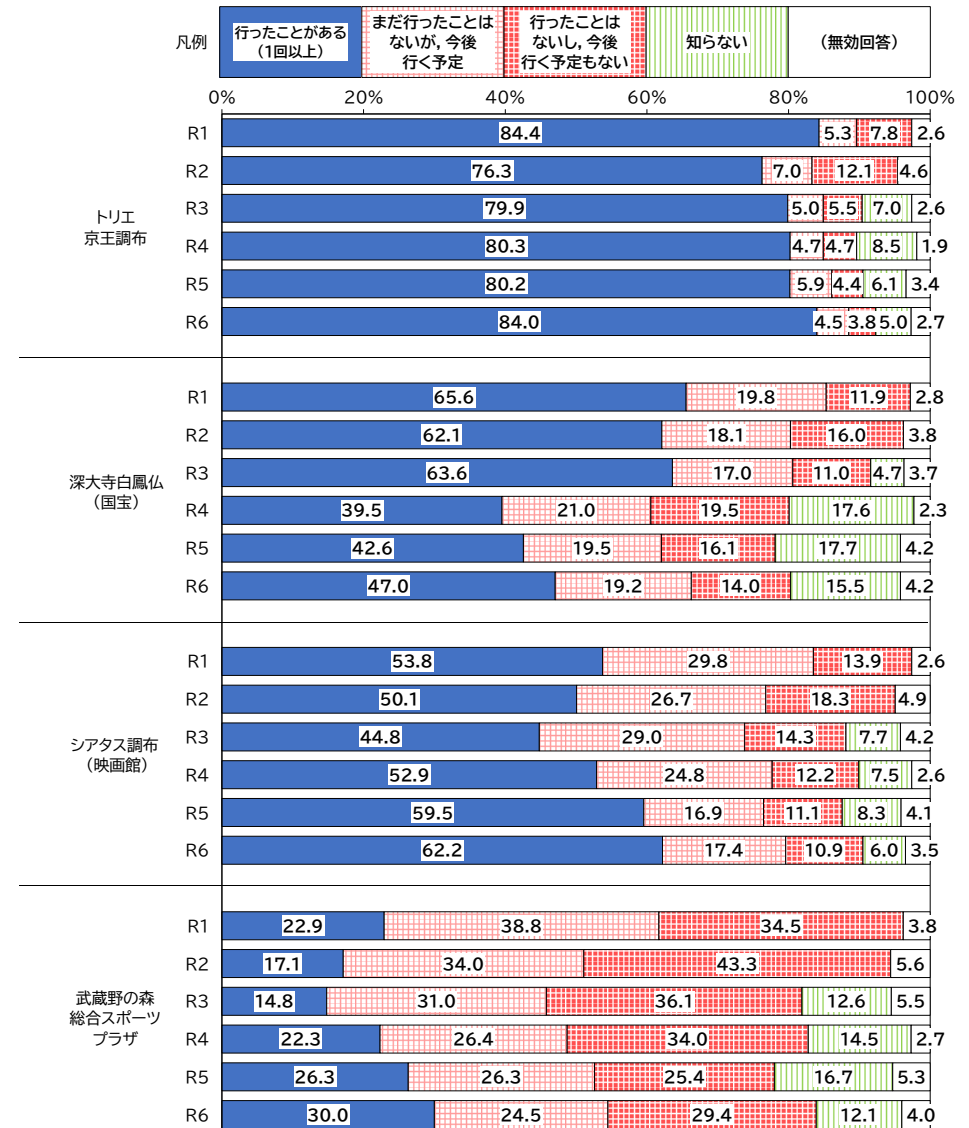
- 「何度か行った」、「初めて行った」の合計が 50%を超えているのは、「トリエ京王調布」、「都立神代植物公園」、「布多天神社」、「イオンシネマ シアタス調布(映画館)」、「味の素スタジアム(東京スタジアム)」となっています。
- 「映画のまち調布シネマフェスティバル」は、「まだ行ったことはないが、今後行く予定」が 30%を超えています。





<経年比較>

- 「行ったことがある（1回以上）」と回答した方の割合は、「トリエ京王調布」では令和2年度と3年度を除き、80%台で推移しています。
- 「深大寺白鳳仏（国宝）」は令和4年度、「シアタス調布（映画館）」と「武蔵野の森総合スポーツプラザ」は令和3年度に「行ったことがある（1回以上）」と回答した方の割合が過去5年間で最も低くなっていますが、いずれも令和6年度は令和5年度と比べて増加しています。

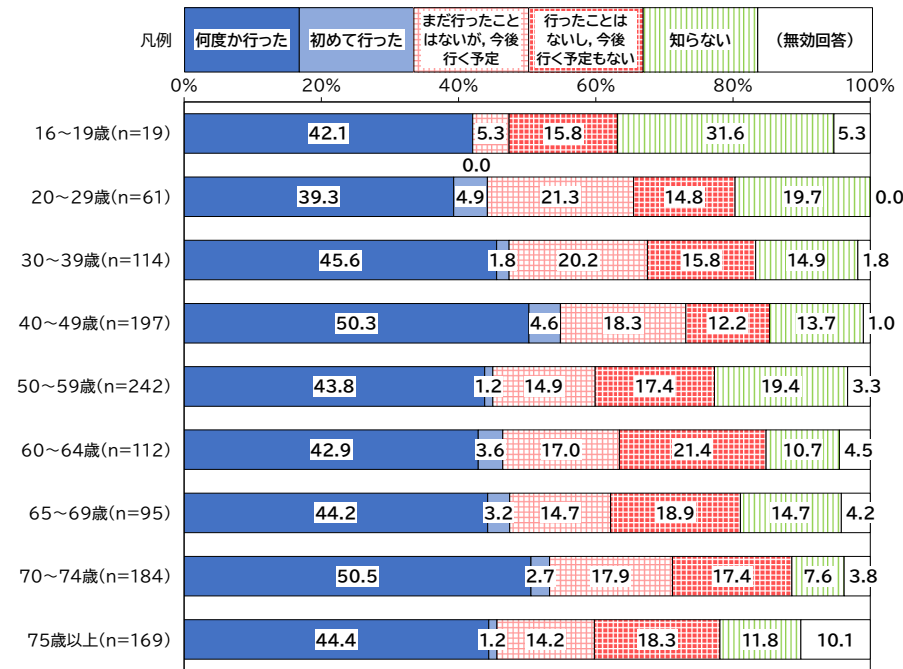


※「知らない」は、令和3年度以降追加された選択肢です。

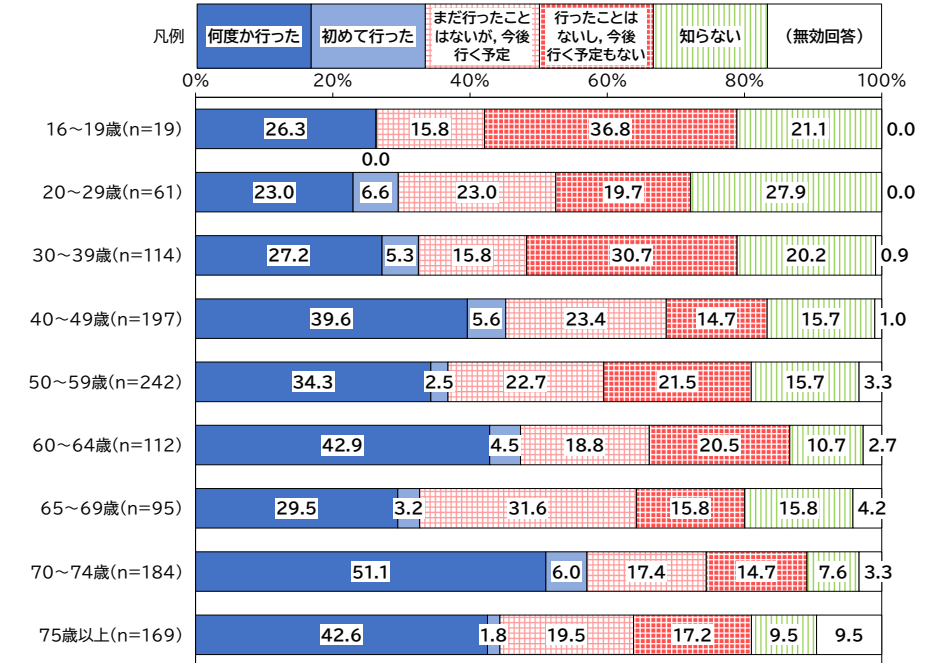
<年齢層別>

- 「何度か行った」、「初めて行った」の合計は、「オ 映画のまち調布シネマフェスティバル」、「カ 武者小路実篤記念館・実篤公園」、「ス 深大寺城跡（国指定史跡）」、「セ 下布田遺跡（国指定史跡）」、「ソ 調布市郷土博物館」、「ナ 深大寺観光案内所」は75歳以上が最も高くなっています。
- 「ア 調布駅前広場や市役所前庭で開催されたイベント」、「ウ 深大寺周辺で開催されたイベント・行事」、「エ ゲゲゲの鬼子」、「キ トリエ京王調布」、「タ 鬼太郎ひろば」、「テ 東京オーヴァル京王閣（京王閣競輪場）」、「ト 調布市観光案内所「ぬくもりステーション」」は40～49歳が最も高くなっています。
- 「ケ 味の素スタジアム（東京スタジアム）」は16～19歳と40～49歳が最も高く、「コ 武蔵野の森総合スポーツプラザ」は16～19歳が最も高くなっています。

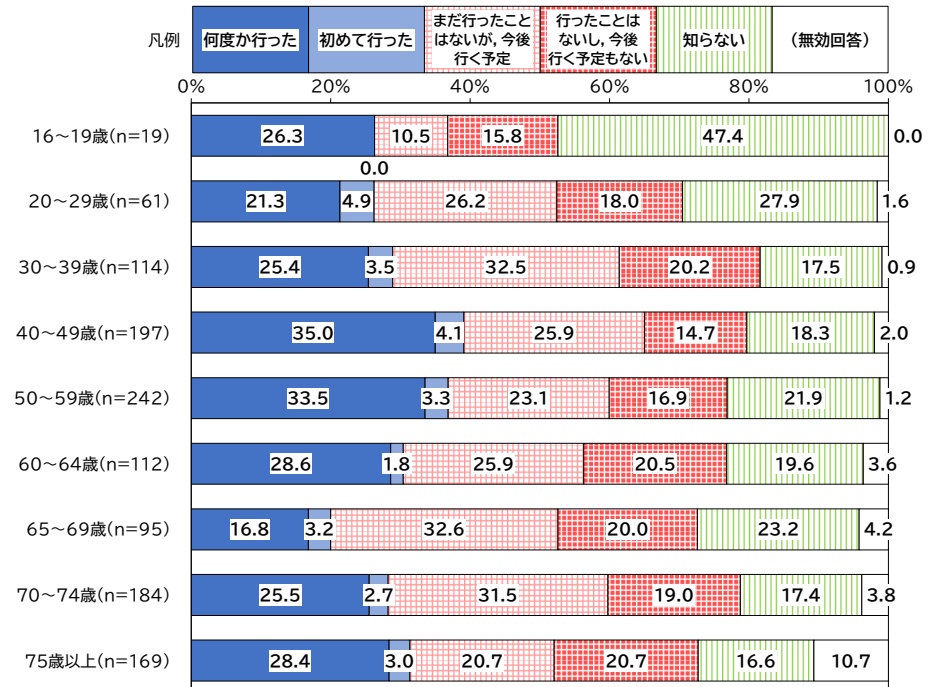
ア 調布駅前広場や市役所前庭で開催されたイベント



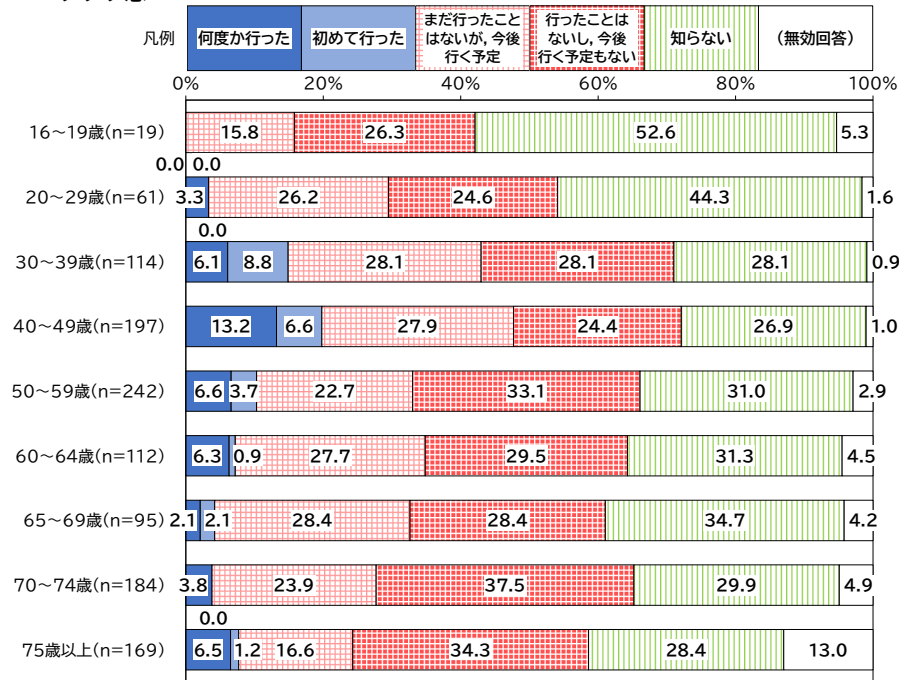
イ 文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場での文化・芸術イベント、展示



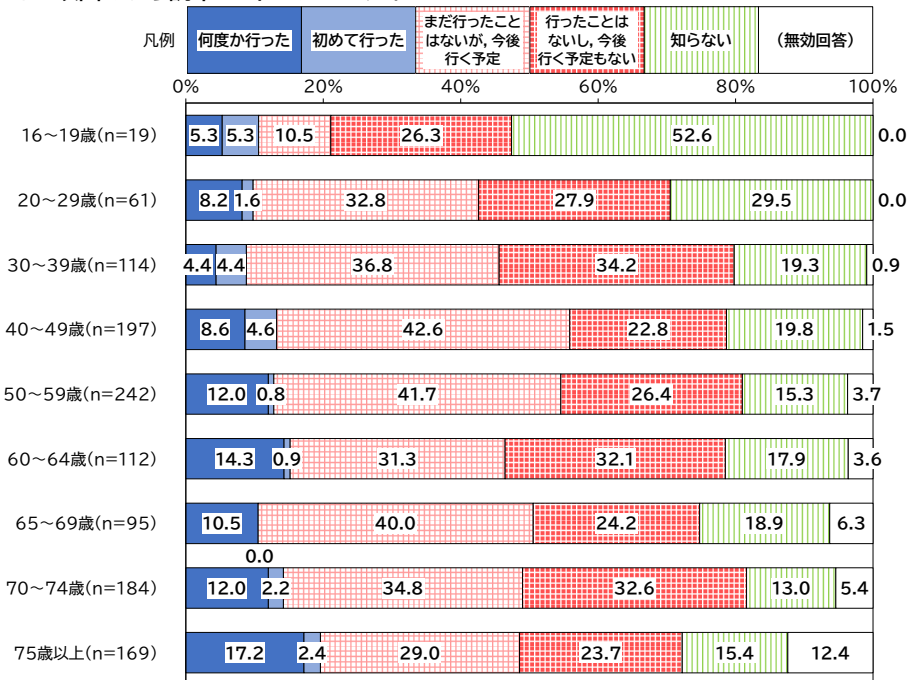
ウ 深大寺周辺で開催されたイベント・行事



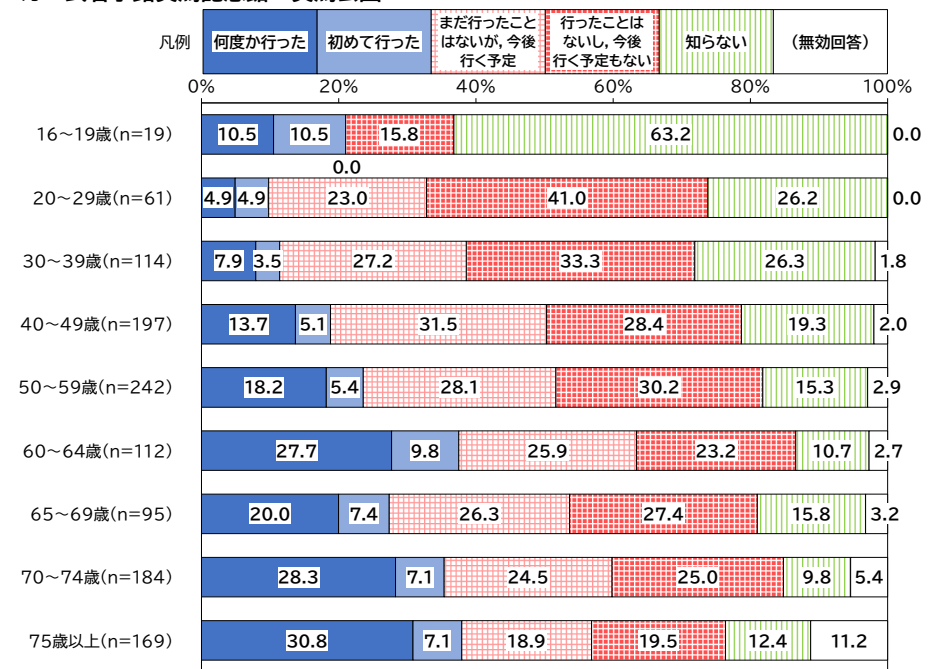
エ ゲゲゲ忌



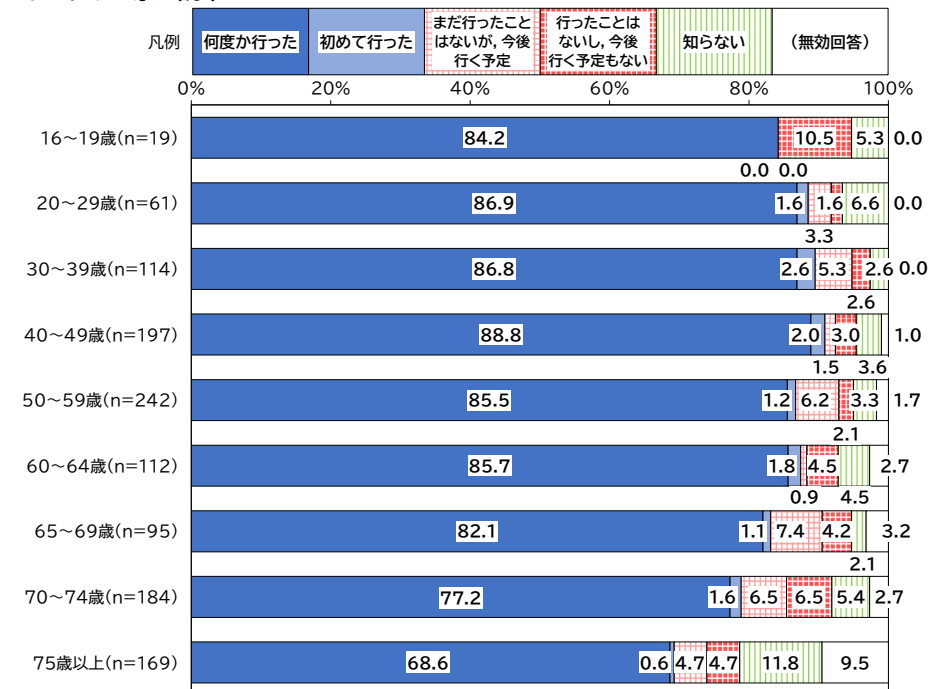
オ 映画のまち調布 シネマフェスティバル



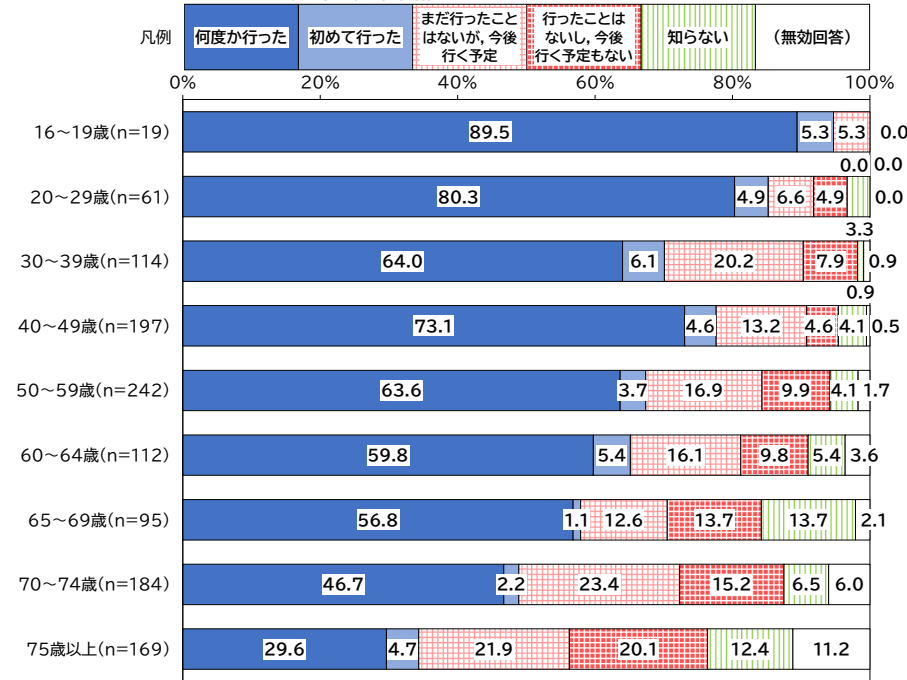
カ 武者小路実篤記念館・実篤公園



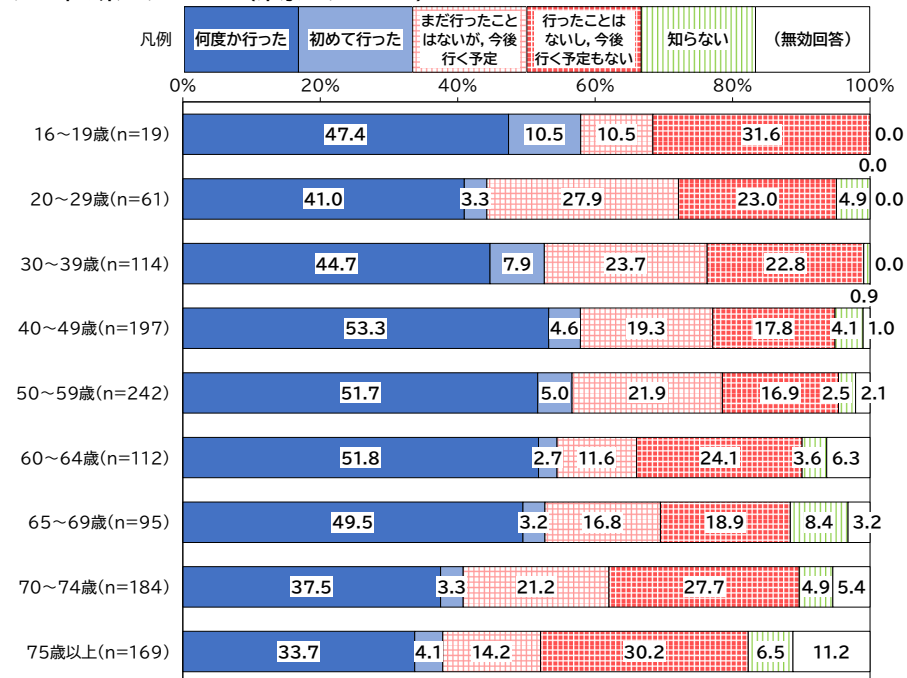
キ トリエ京王調布



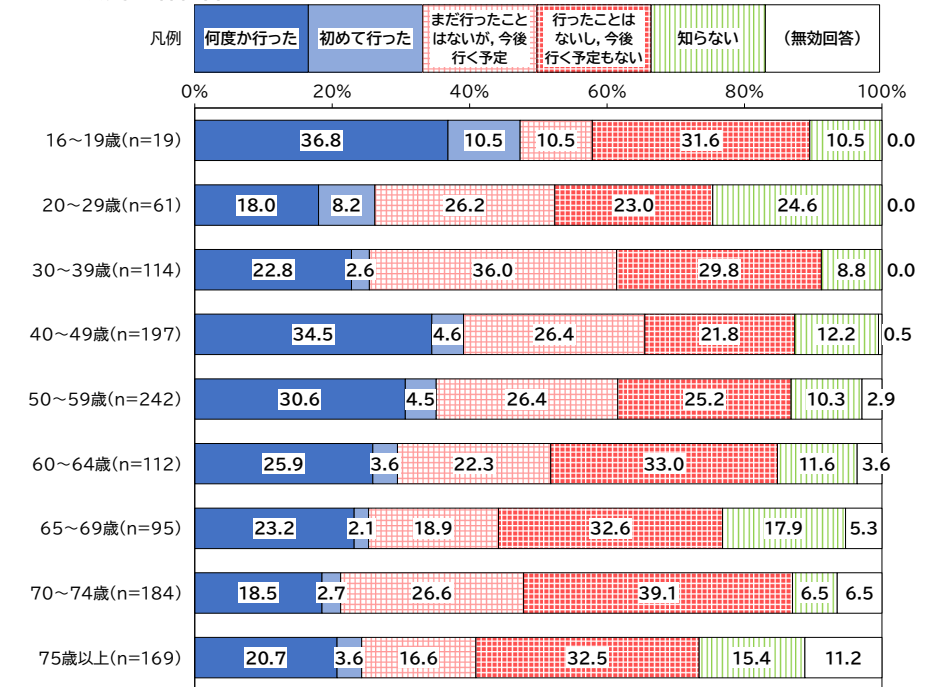
ク イオンシネマ シアタス調布（映画館）



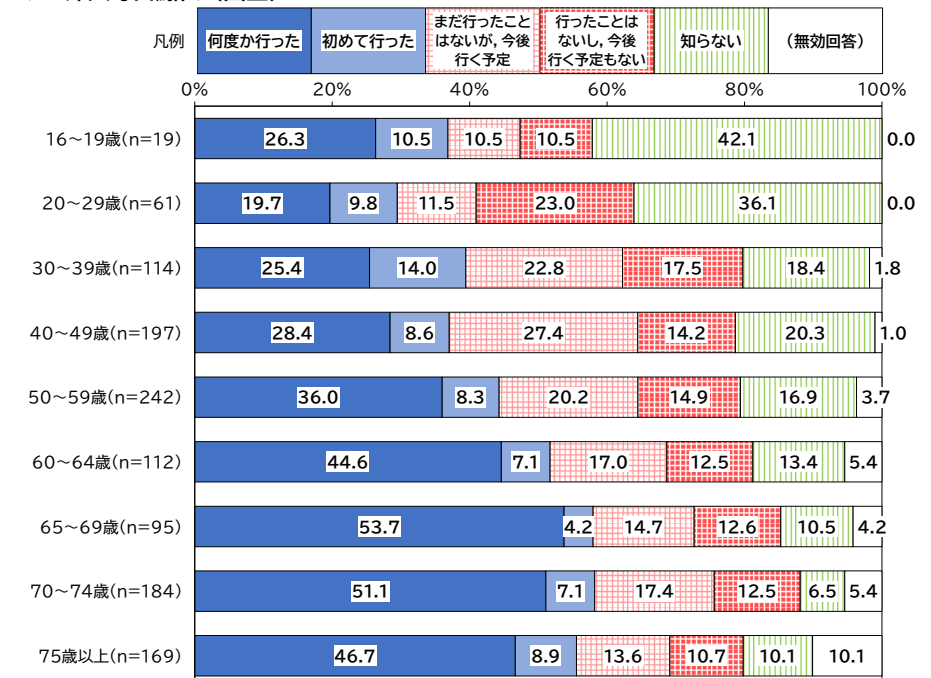
ケ 味の素スタジアム（東京スタジアム）



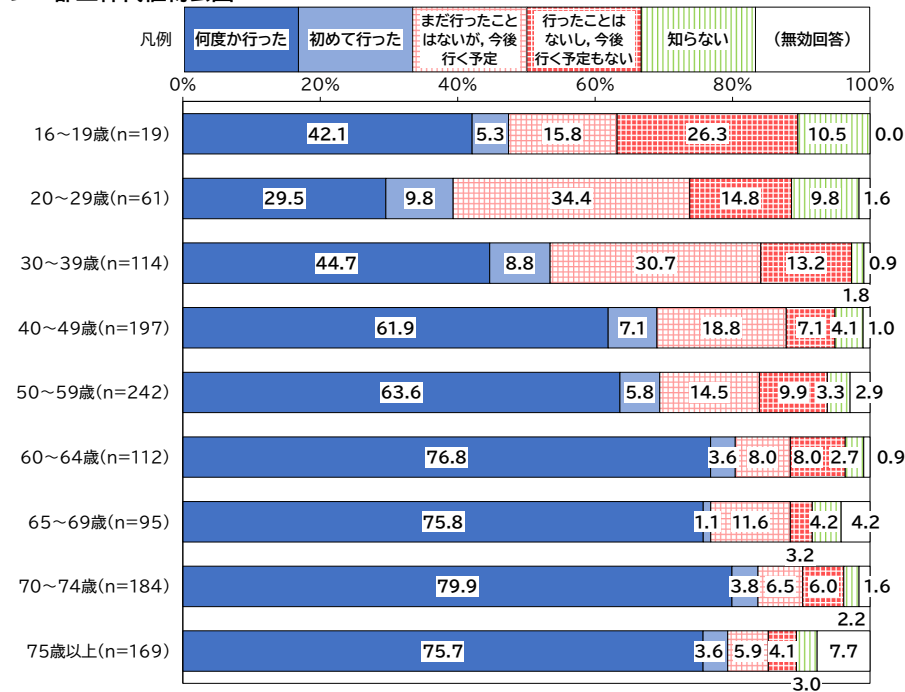
コ 武蔵野の森総合スポーツプラザ



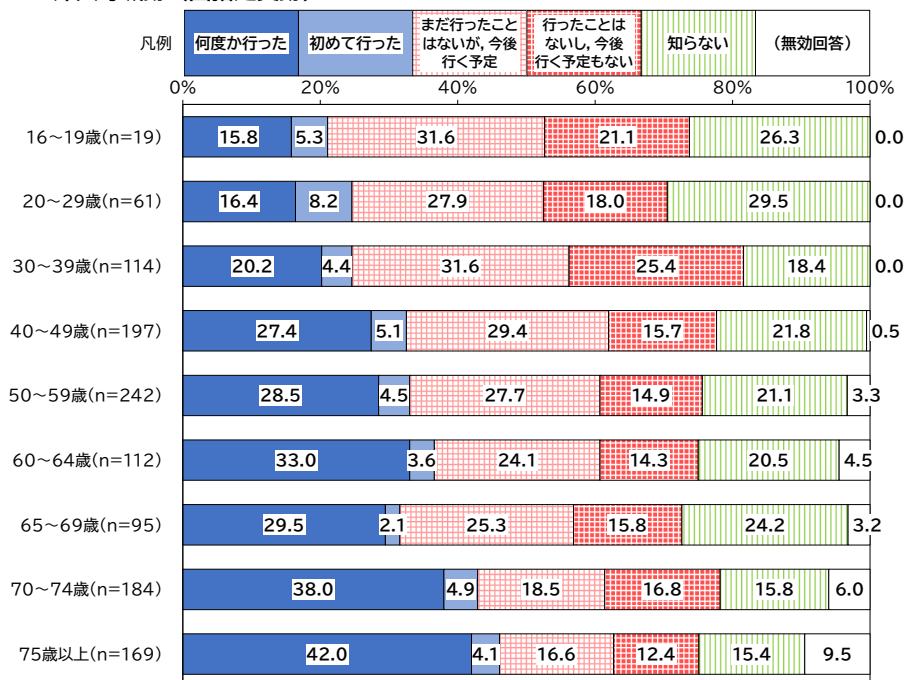
サ 深大寺白鳳仏（国宝）



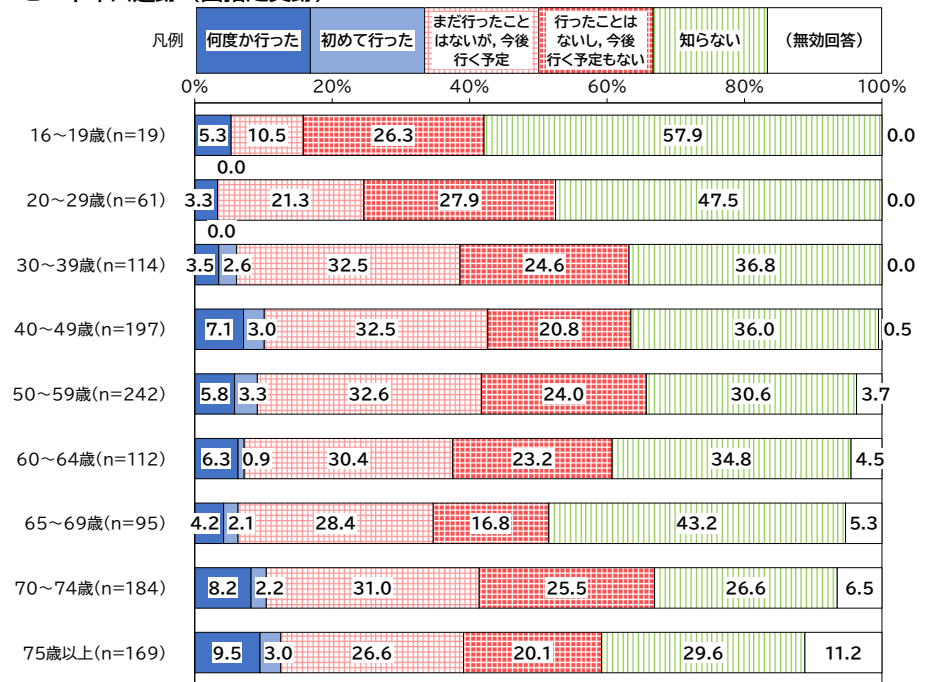
シ 都立神代植物公園



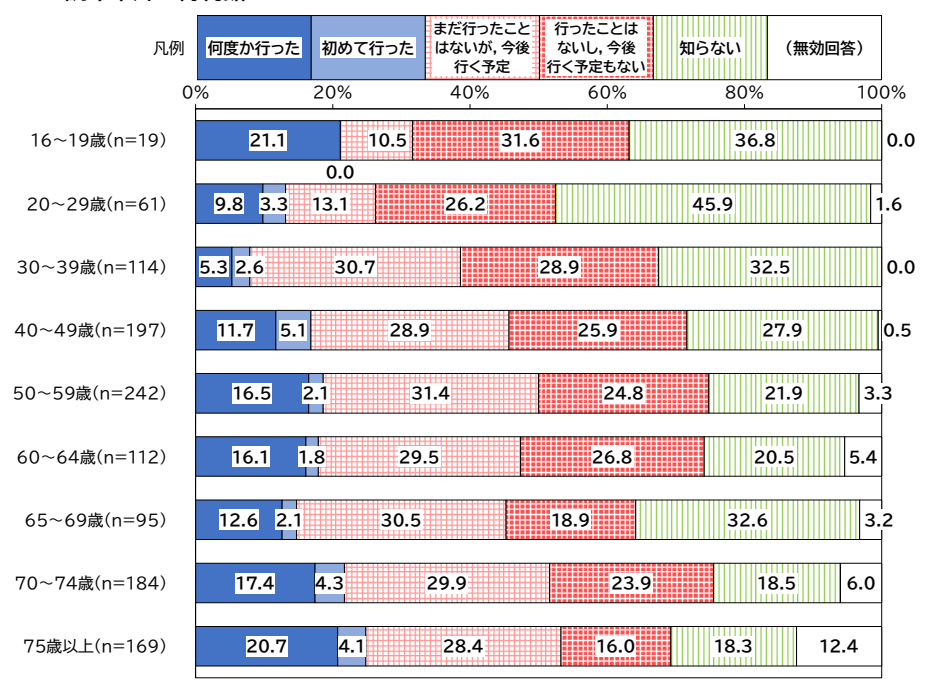
ス 深大寺城跡 (国指定史跡)



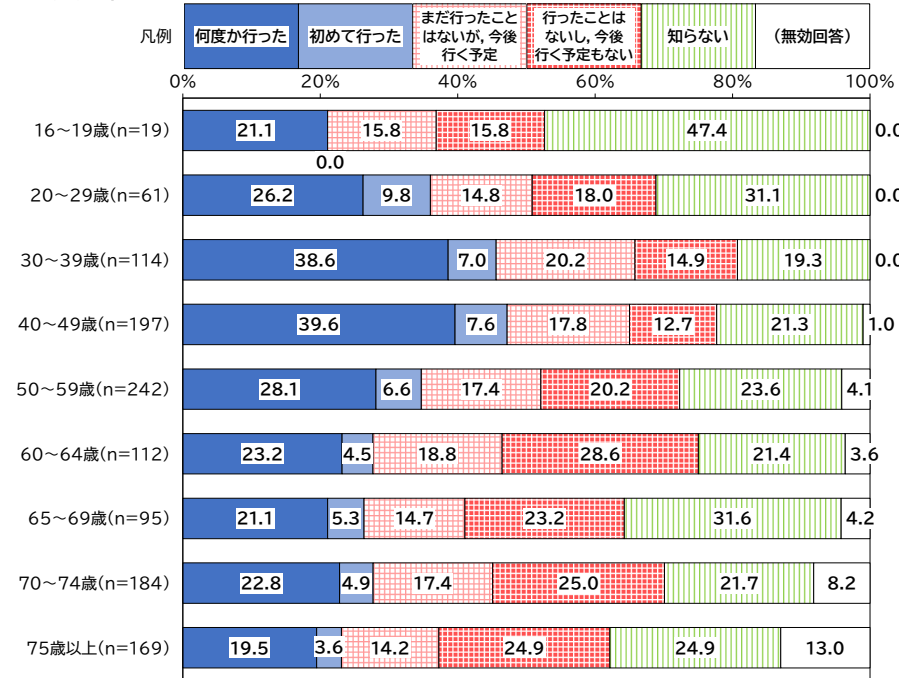
セ 下布田遺跡 (国指定史跡)



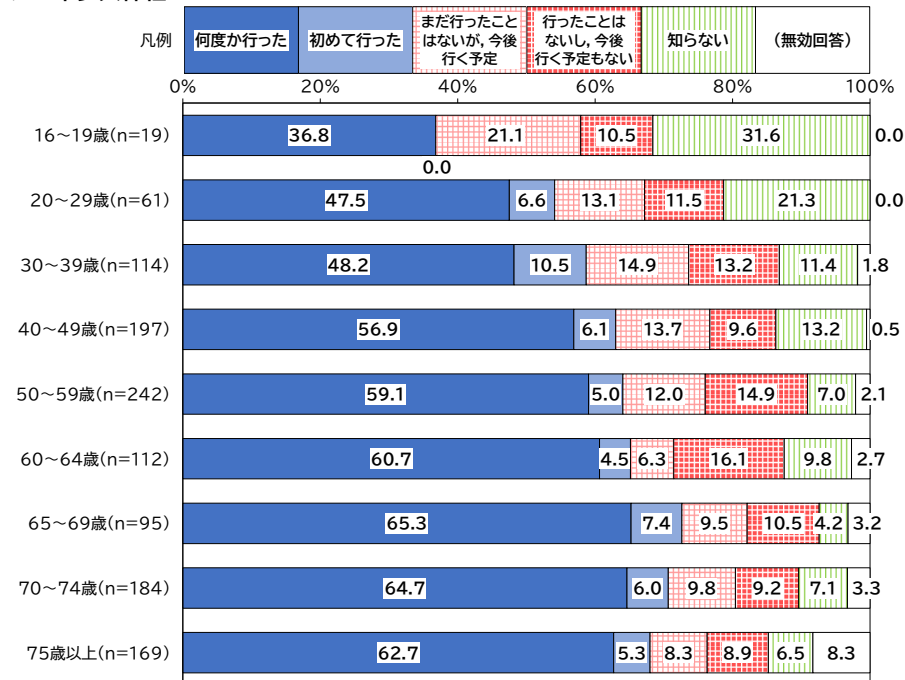
ソ 調布市郷土博物館



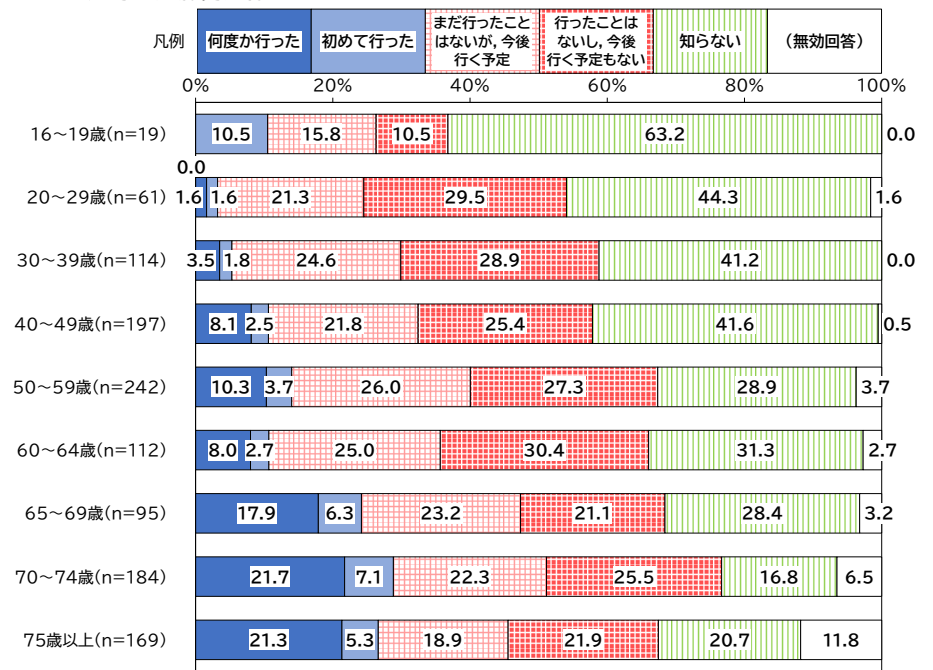
タ 鬼太郎ひろば



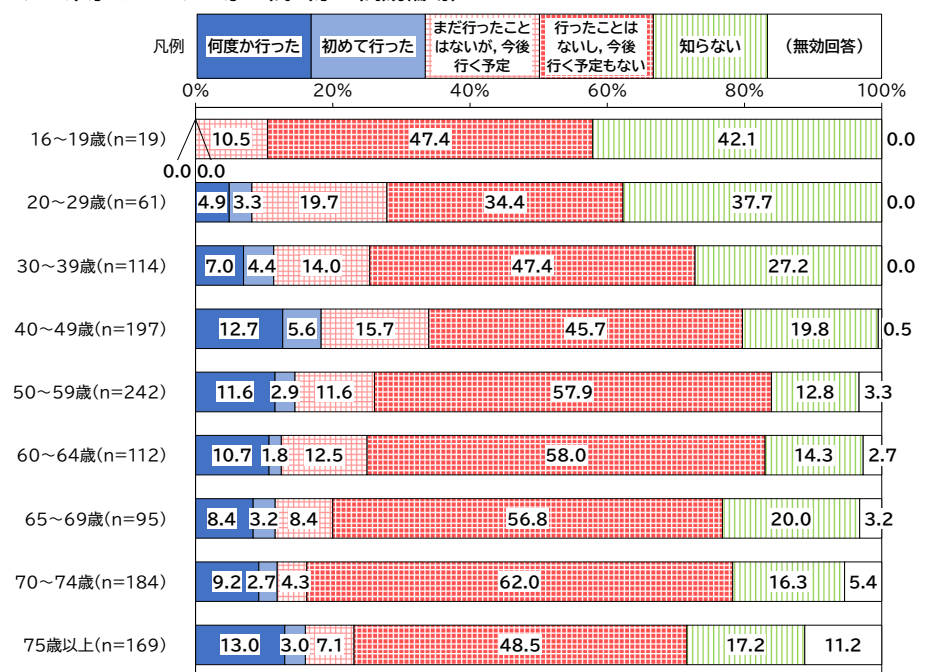
チ 布多天神社



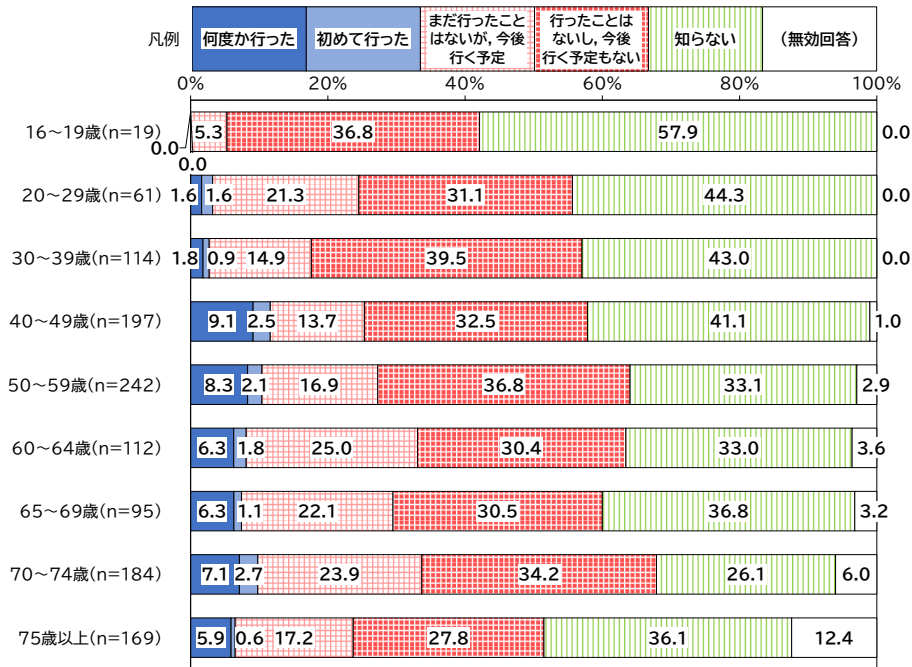
ツ 西光寺・近藤勇座像



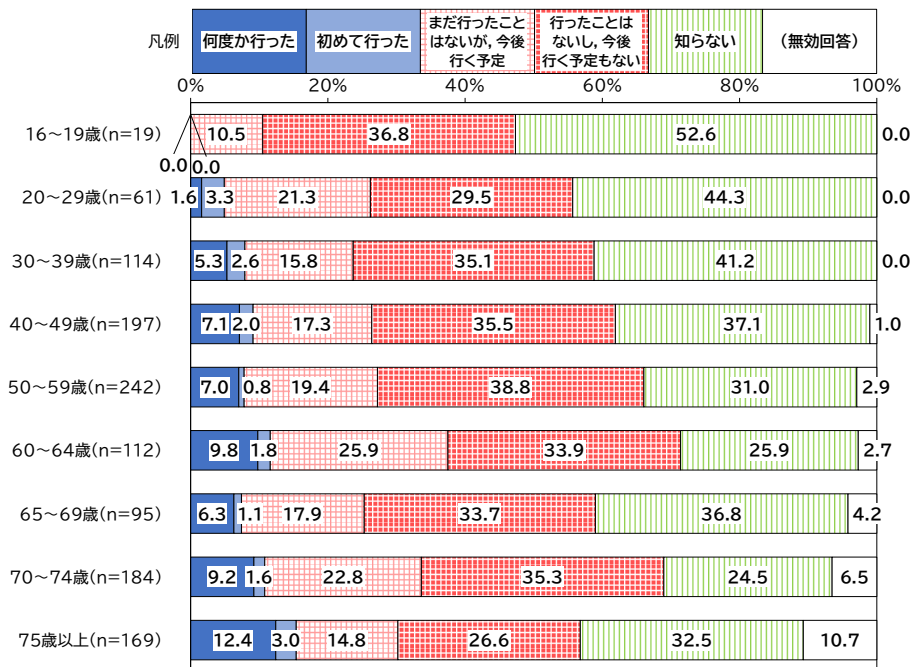
テ 東京オーヴァル京王閣（京王閣競輪場）



ト 調布市観光案内所「ぬくもりステーション」



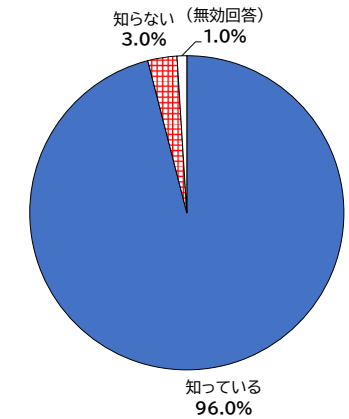
ナ 深大寺観光案内所



問 35) あなたは、調布市が、名誉市民・水木しげる氏が 50 年以上暮らし、「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」など、数々の作品を生み出した「水木マンガの生まれた街」であることを知っていますか。

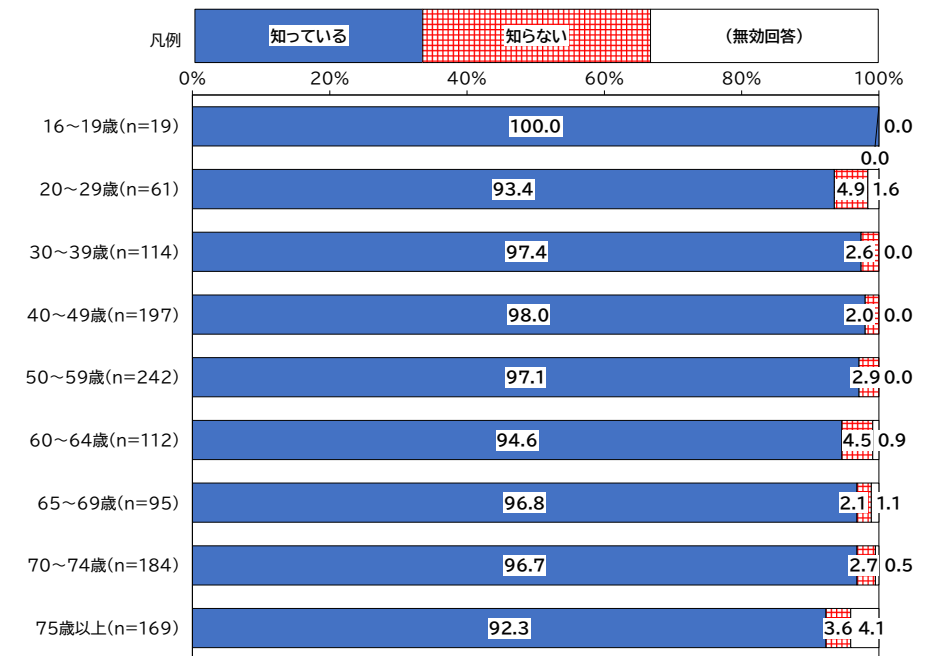
<全体 (n=1,210) >

○「知っている」が 96.0%、「知らない」が 3.0%となっています。



<年齢層別>

○「知っている」は、いずれの年齢層でも 90%を超えています。

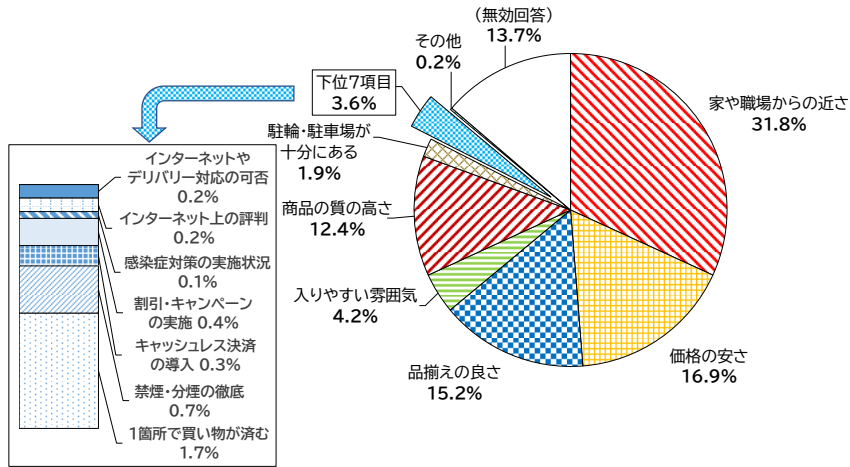


問 36) 買い物や食事など、お店選びで重視していることは何ですか。

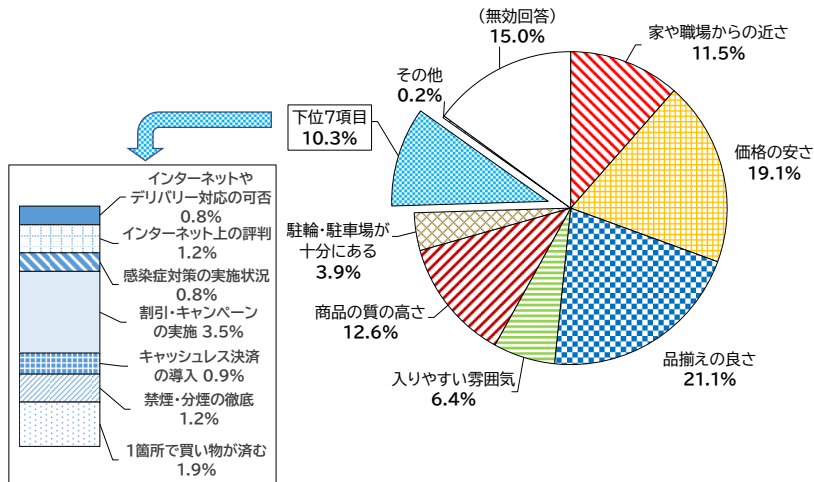
<全体 (n=1,210) >

- 1 番目に重視していることは、「家や職場からの近さ」が 31.8%で最も高く、次いで「価格の安さ」の 16.9%、「品揃えの良さ」の 15.2%の順となっています。
- 2 番目に重視していることは、「品揃えの良さ」が 21.1%で最も高く、次いで「価格の安さ」の 19.1%、「商品の質の高さ」の 12.6%の順となっています。
- 3 番目に重視していることは、「品揃えの良さ」が 18.3%で最も高く、次いで「価格の安さ」の 12.0%、「商品の質の高さ」の 11.0%の順となっています。

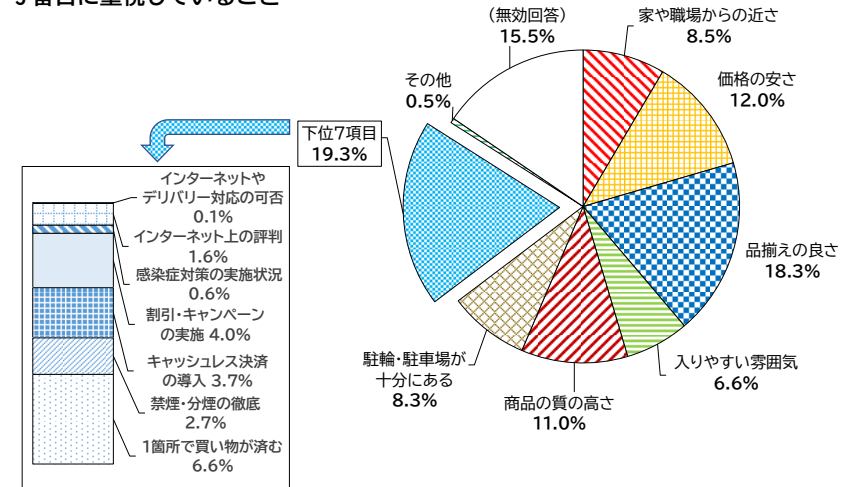
1 番目に重視していること



2 番目に重視していること



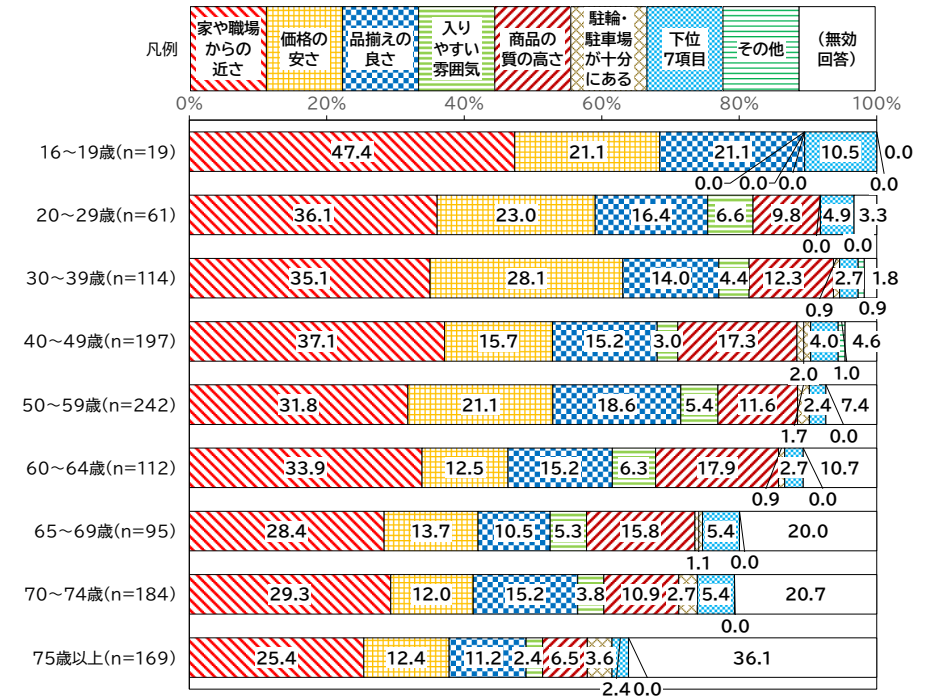
3 番目に重視していること



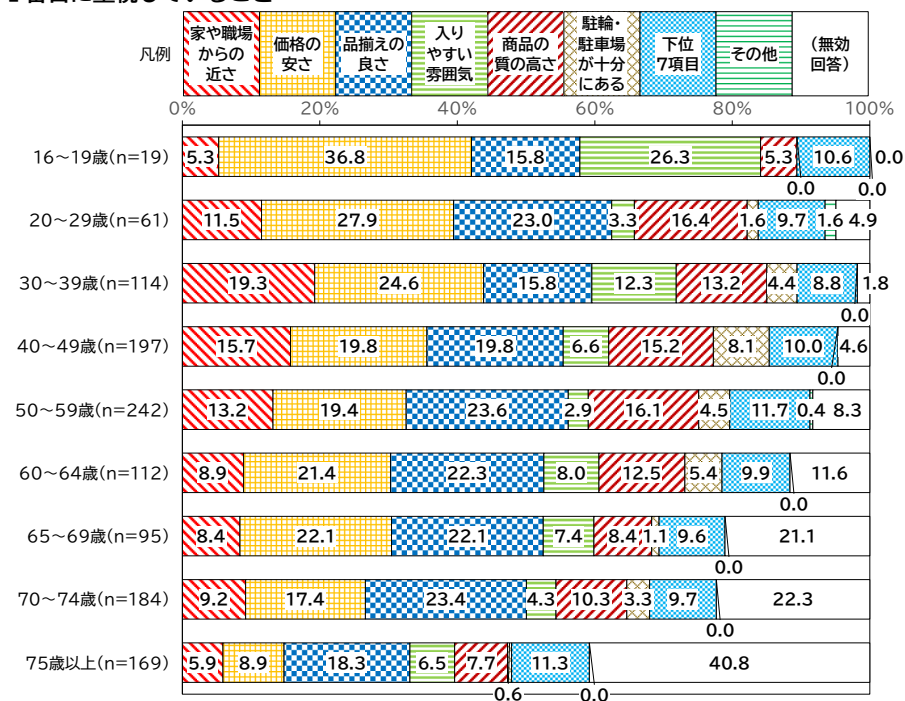
<年齢層別>

- 1 番目に重視していることは、いずれの年齢層も「家や職場からの近さ」が最も高く、2 番目に重視していることは、39 歳以下では「価格の安さ」が最も高く、40～69 歳では「価格の安さ」と「品揃えの良さ」が同程度で高く、70 歳以上では「品揃えの良さ」が最も高くなっています。

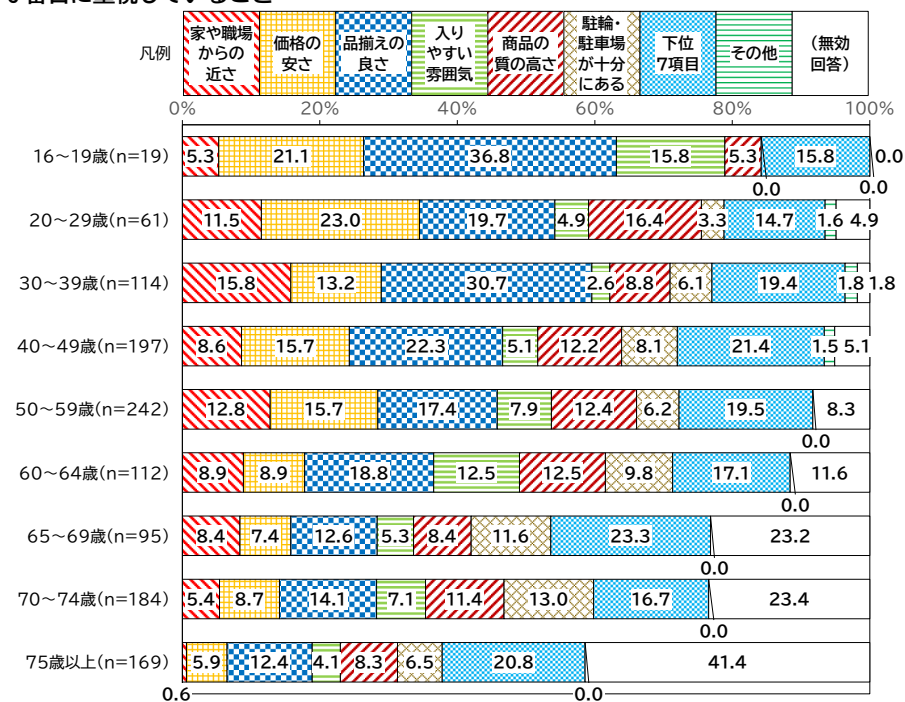
1 番目に重視していること



2 番目に重視していること



3 番目に重視していること



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 産業振興に関する施策についてのご意見・ご提案】(51件)

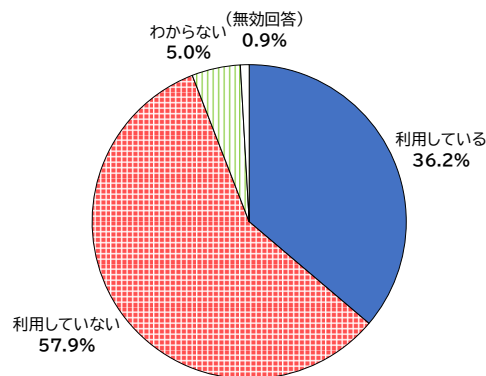
- ・子連れでも買い物しやすい作りであるとありがたいです。
- ・利便性も大事ですが、大規模チェーン店ばかりではなく個性のある店舗の誘致をしていただけると嬉しいです。
- ・アニメの聖地などを狙ってはどうか。



問 37) あなたは、普段の買い物で商店街を利用していますか。

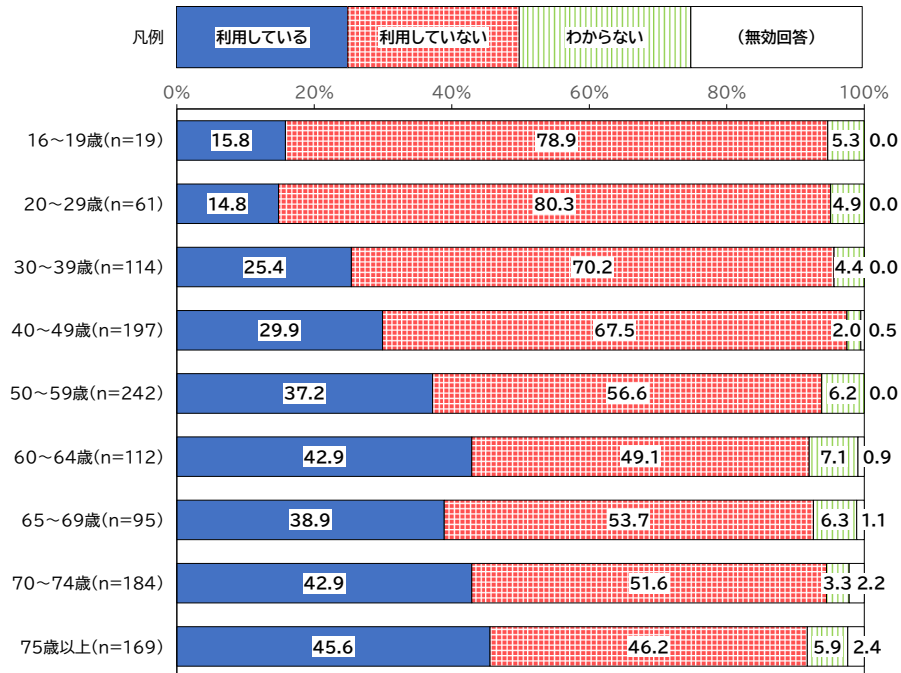
<全体 (n=1,210) >

- 「利用している」が 36.2%、「利用していない」が 57.9%であり、後者が前者を大きく上回っています。



<年齢層別>

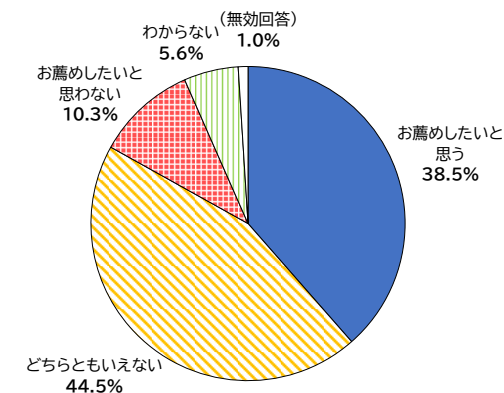
- おおむね年齢が上がるほど「利用している」が高くなる傾向にあります。
○「利用していない」は 49 歳以下で 60%を超えています。



問 38) あなたは、友人や知人に対して買い物・遊び、または観光を目的に訪れるまちとして、調布市をお薦めしたいと思いますか。

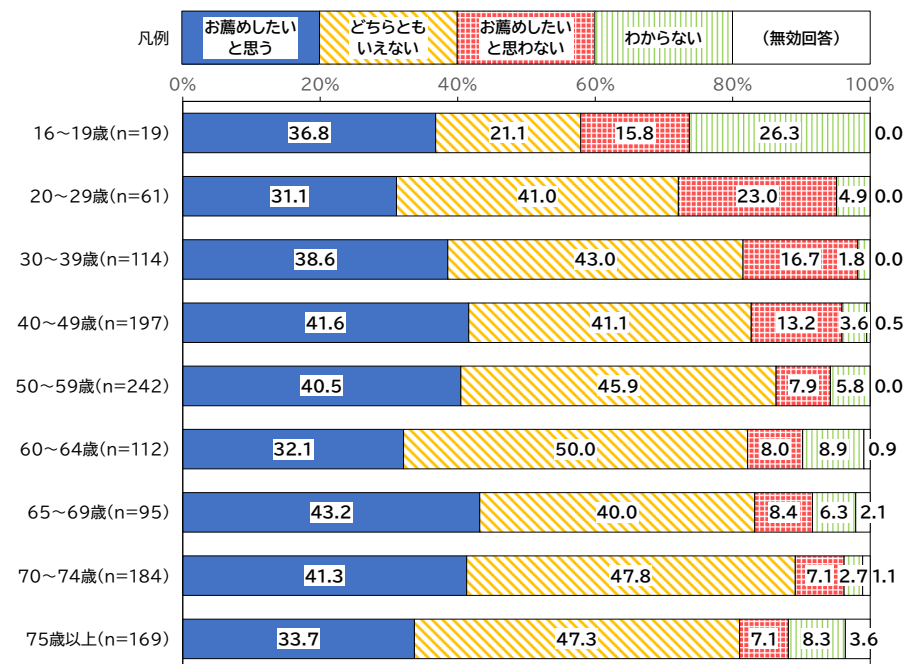
<全体 (n=1,210) >

- 「どちらともいえない」が 44.5%で最も高く、次いで「お薦めしたいと思う」の 38.5%、「お薦めしたいと思わない」の 10.3%の順となっています。



<年齢層別>

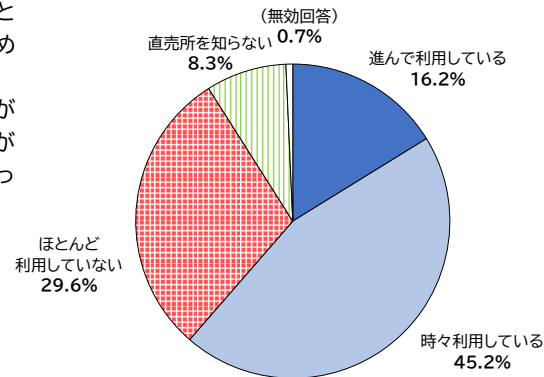
- 「お薦めしたいと思う」は全ての年齢層で 30～40%台となっています。
○「お薦めしたいと思わない」は 49 歳以下が 10%を超え、50 歳以上より高くなっています。



問 39) あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。

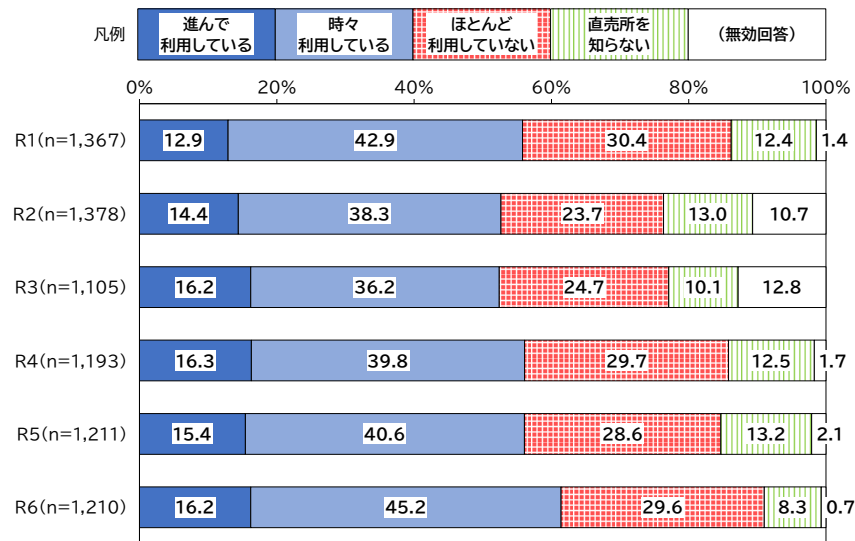
<全体 (n=1,210) >

- 「進んで利用している」は 16.2%、「時々利用している」は 45.2%となっており、合計で 61.4%を占めています。
- 「ほとんど利用していない」が 29.6%、「直売所を知らない」が 8.3%で、合計すると 37.9%となっています。



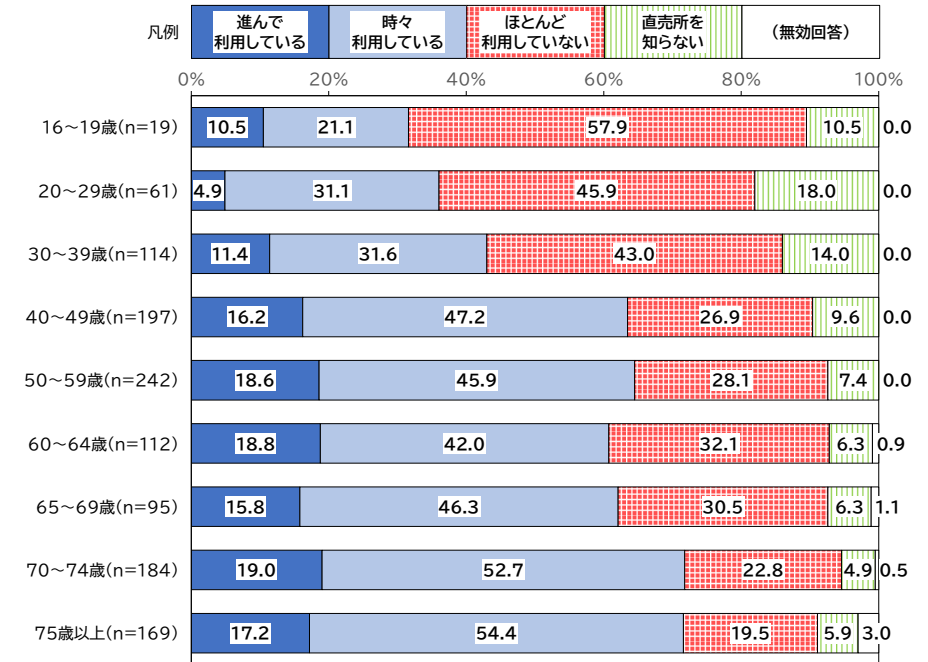
<経年比較>

- 「進んで利用している」と「時々利用している」の合計（61.4%）は、令和 5 年度（56.0%）に比べ 5.4 ポイント増加しており、令和元年度以降で最も高くなっています。



<年齢層別>

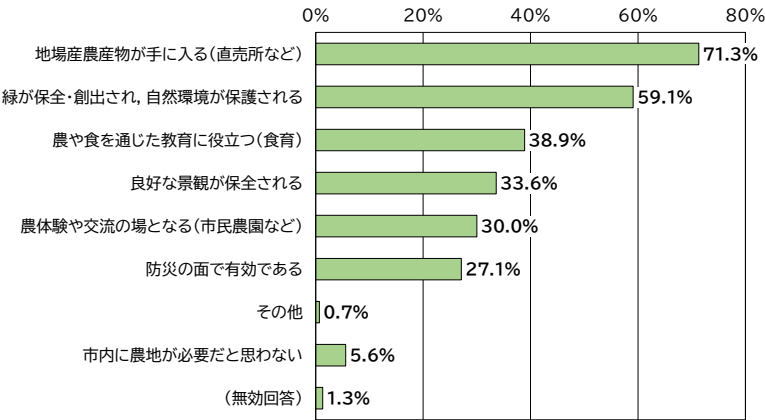
- 「進んで利用している」と「時々利用している」の合計は、70 歳以上で 70%台、40～69 歳で 60%台、39 歳以下で半数を下回っています。
- 29 歳以下では、「ほとんど利用していない」と「直売所を知らない」の合計が 60%を超えています。



問 40) あなたは市内に農地が必要だと思いますか。必要だと思う場合はその理由について、選んでください。

<全体 (n=1,210) >

○「地場産農産物が手に入る（直売所など）」が 71.3%で最も高く、次いで「緑が保全・創出され、自然環境が保護される」の 59.1%の順となっています。



<年齢層別>

○全ての年齢層で「地場産農産物が手に入る（直売所など）」が最も高くなっています。
○30～39 歳では「農や食を通じた教育に役立つ（食育）」が 2 番目に高く、それ以外の年齢層では「緑が保全・創出され、自然環境が保護される」が 2 番目に高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
地場産農産物が手に入る(直売所など)	863	12	33	75	135	179	80	66	145	127
緑が保全・創出され、自然環境が保護される	715	11	32	57	107	146	65	60	124	105
農や食を通じた教育に役立つ(食育)	471	10	19	61	100	94	40	35	62	44
良好な景観が保全される	407	5	20	32	73	79	31	37	72	55
農体験や交流の場となる(市民農園など)	363	6	13	49	75	75	30	28	46	36
防災の面で有効である	328	4	9	21	44	66	27	35	64	55
その他	9	0	1	0	2	1	0	3	0	2
市内に農地が必要だと思わない	68	3	7	12	10	8	9	5	5	8
(無効回答)	16	0	0	1	1	1	1	1	3	8

(上段:実数(人), 下段:構成比)
回答割合が最も高い: [地場産農産物が手に入る(直売所など)]
回答割合が2番目に高い: [緑が保全・創出され、自然環境が保護される]

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 農業に関する施策についてのご意見・ご提案】(66 件)

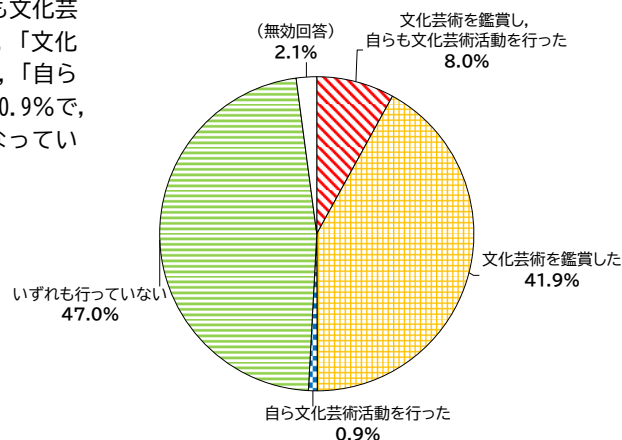
- ・最近、生産緑地帯がマンションや住宅建設に変わることが多い。これ以上生産緑地を減らさないでほしい。
- ・市民農園を拡大してもらいたい。
- ・宅地化され農地がどんどん減っているのは、仕方ないことですが少し寂しいです。農地を持つ人にとって、続けたいけど続けられないという状態が生まれないような、政策になっているといい。
- ・捨てる野菜（規格外など）の活用，新鮮な野菜をもっと市内で販売してほしい。
- ・直売所について情報を得る場（SNS）が明確だと助かる。
- ・無農薬を推進してほしい。子どもがもっと農体験できるようにしてほしい。
- ・調布市内における生産緑地は必要ない。税収増加が必要。

【芸術・歴史文化について】

問 41) あなたは、この1年間に、市内・市外を問わず、文化芸術（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら文化芸術活動を行いましたか。

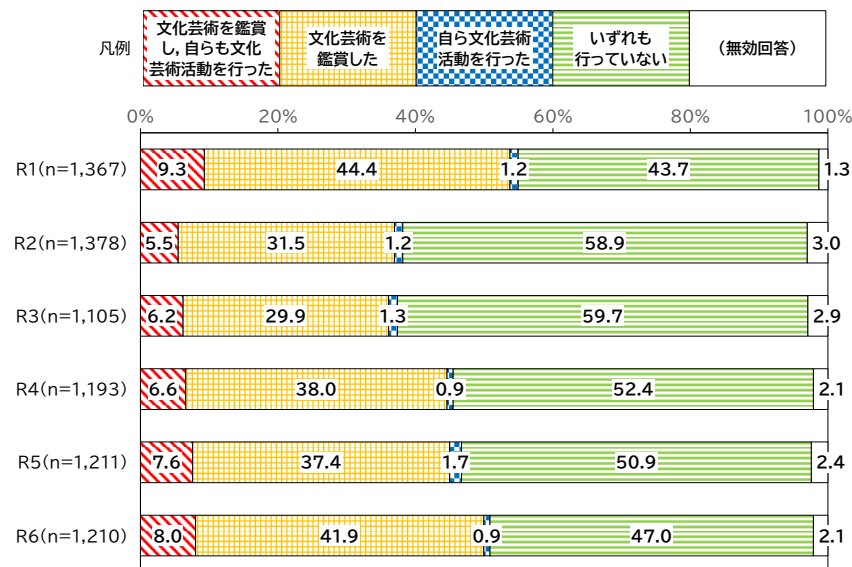
<全体 (n=1,210) >

○「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」が 8.0%、「文化芸術を鑑賞した」が 41.9%、「自ら文化芸術活動を行った」が 0.9%で、これらの合計が 50.8%となっています。



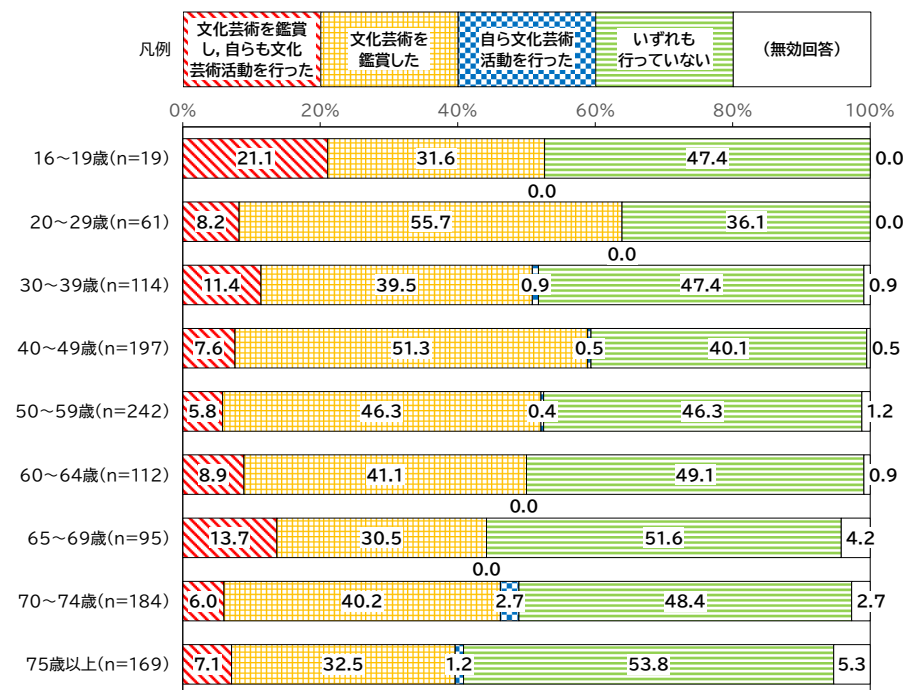
<経年比較>

○「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」、「文化芸術を鑑賞した」、「自ら文化芸術活動を行った」の合計は、令和2年度と令和3年度は30%台に落ち込んでいましたが、令和4年度と令和5年度は40%台に増加し、令和6年度（50.8%）は令和元年度（54.9%）の水準に戻つつあります。



<年齢層別>

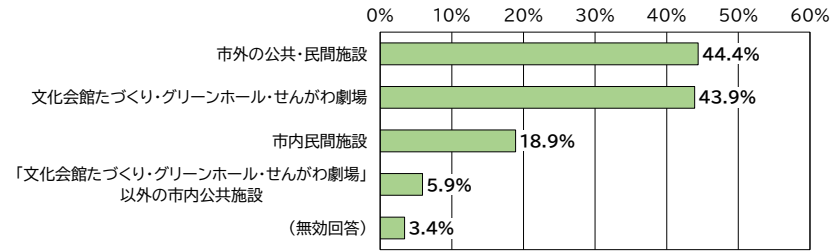
○「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」、「文化芸術を鑑賞した」、「自ら文化芸術活動を行った」の合計は、20～29歳の63.9%が最も高く、64歳以下は50%以上となっていますが、65歳以上は50%を下回っています。



問 41-1) 問 41 で「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」「文化芸術を鑑賞した」「自ら文化芸術活動を行った」と回答した方にうかがいます。文化芸術を鑑賞した、または文化芸術活動を行った場所はどこですか。

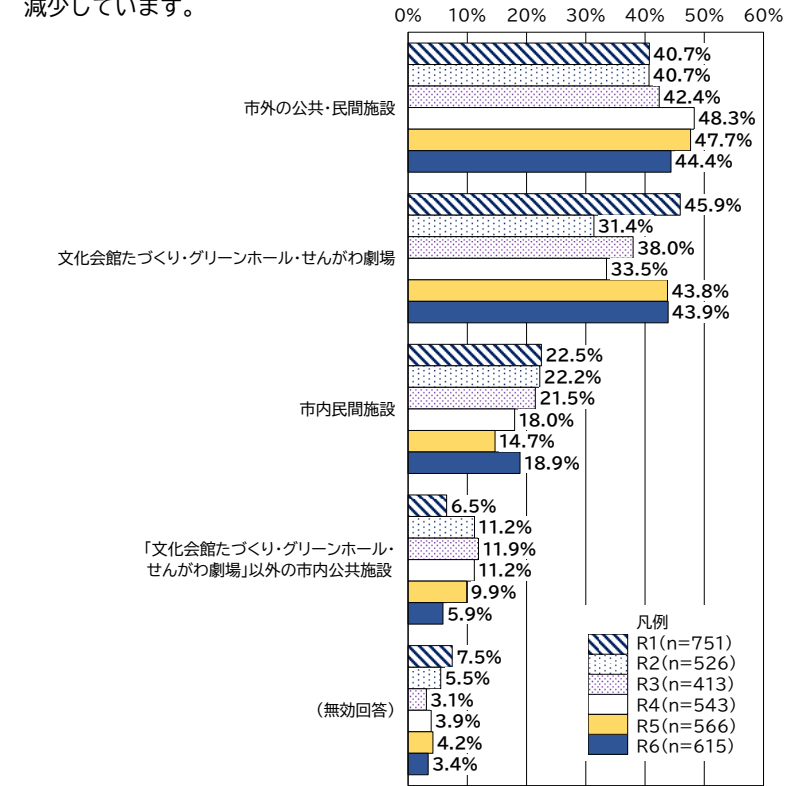
<全体 (n=615) >

○「市外の公共・民間施設」の 44.4%が最も高く、次いで「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」の 43.9%の順となっています。



<経年比較>

○「市内民間施設」は、令和5年度(14.7%)に比べ令和6年度(18.9%)は4.2ポイント増加しています。一方で、「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」以外の市内公共施設は、令和5年度(9.9%)に比べ令和6年度(5.9%)は4.0ポイント減少しています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層においても、「市外の公共・民間施設」と「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」が高くなっています。「市内民間施設」は 20～59 歳で 20%を超え、他の年齢層より高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	615	10	39	59	117	127	56	42	90	69
市外の公共・民間施設	273	6	16	28	48	73	32	20	29	18
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場	270	3	10	17	58	42	19	17	50	51
市内民間施設	116	1	15	12	32	27	9	8	9	3
「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」以外の市内公共施設	36	1	3	4	9	4	2	1	7	4
(無効回答)	21	0	3	4	0	2	4	1	5	2

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 主な市外の施設】(186 件)

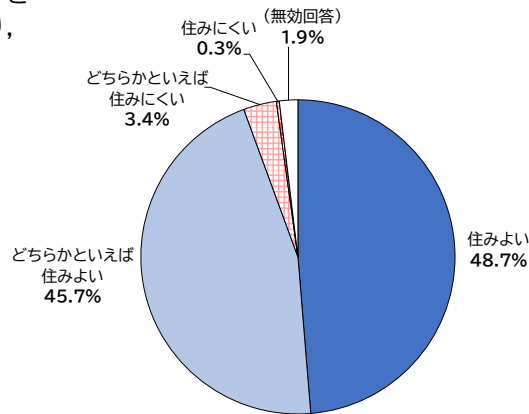
・ 東京都美術館 (台東区)	・ 東京オペラシティ (新宿区)
・ 府中市美術館 (府中市)	・ サントリーホール (港区)
・ 帝国劇場 (千代田区)	・ 歌舞伎座 (中央区)

【良好な市街地について】

問 42) あなたは、調布市を住みよいまちだと思いますか。

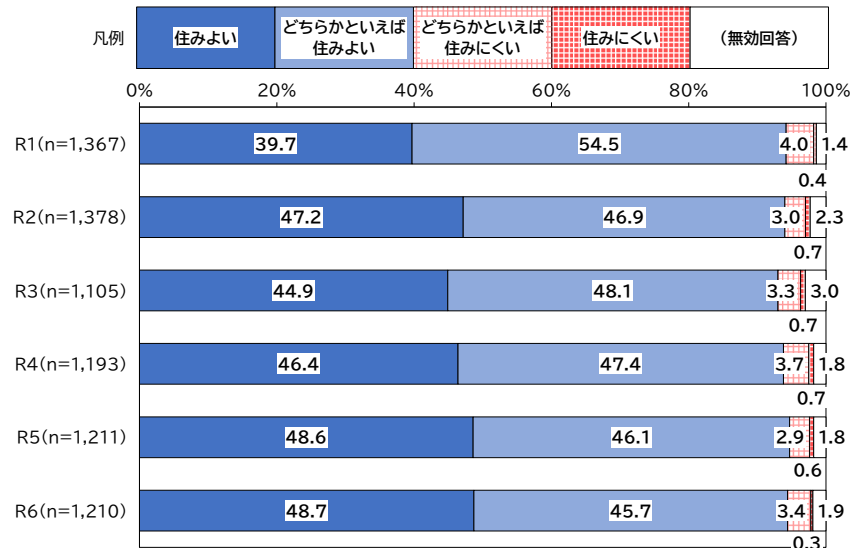
<全体 (n=1,210) >

○「住みよい」は 48.7%, 「どちらかといえば住みよい」は 45.7%であり、合計で 94.4%を占めています。



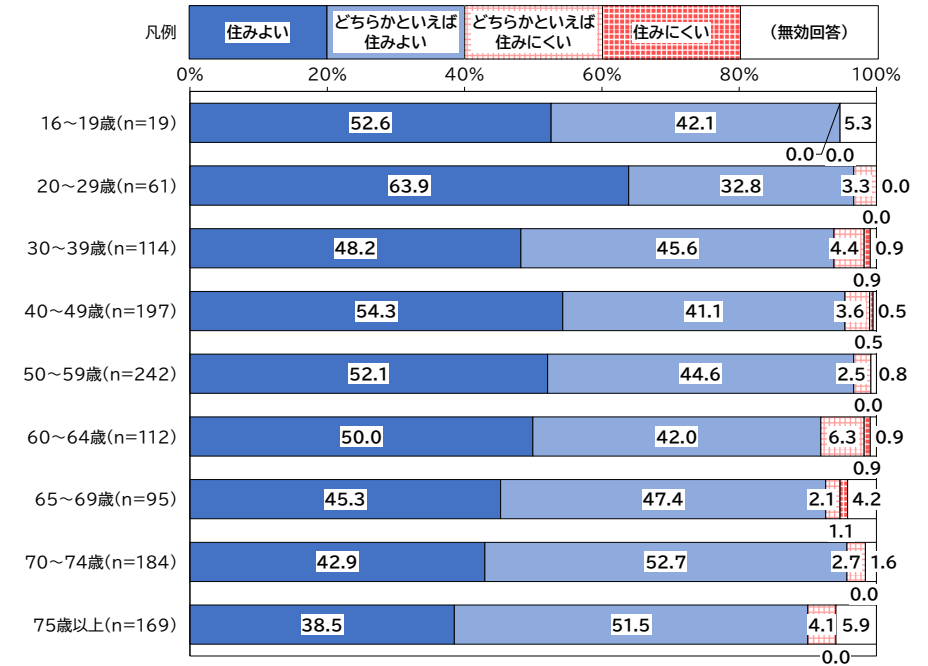
<経年比較>

○「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は、令和元年度以降、いずれも90%台で推移しています。



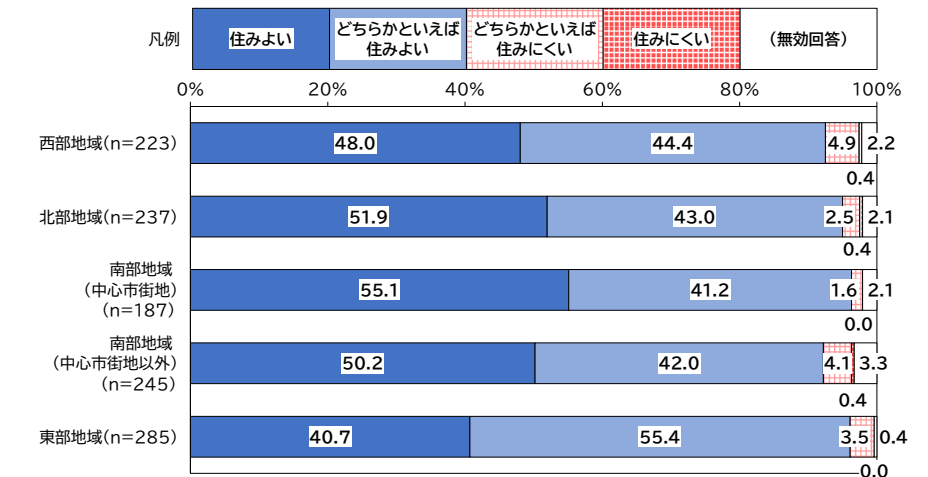
<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は90%台となっています。



<地域別>

○いずれの地域も、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計が90%台となっています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

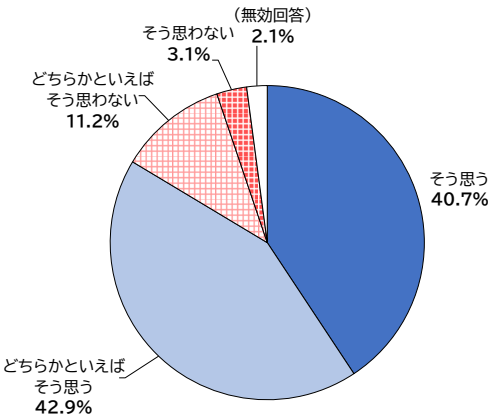
【図表 住みよい/住みにくいと思う理由】(250 件)

「住みよい」 「どちらかといえば住みよい」	「住みにくい」 「どちらかといえば住みにくい」
・都心へのアクセスが良いのに自然もある点。 ・生活する上で便利（買い物，緑の環境）。 ・周辺で事件，事故がない。 ・子育てがしやすいと思います。	・家の近くに買い物する店，スーパー，コンビニなどない（自転車，車を利用でむずかしい）。買い物難民。 ・農地，畑が次から次へマンションになっていく。日陰が増え，空はより遠くなり，夏はより暑くなった。 ・人が多すぎ。

問 43) あなたは，調布市内に優れた景観の場所があると思いますか。

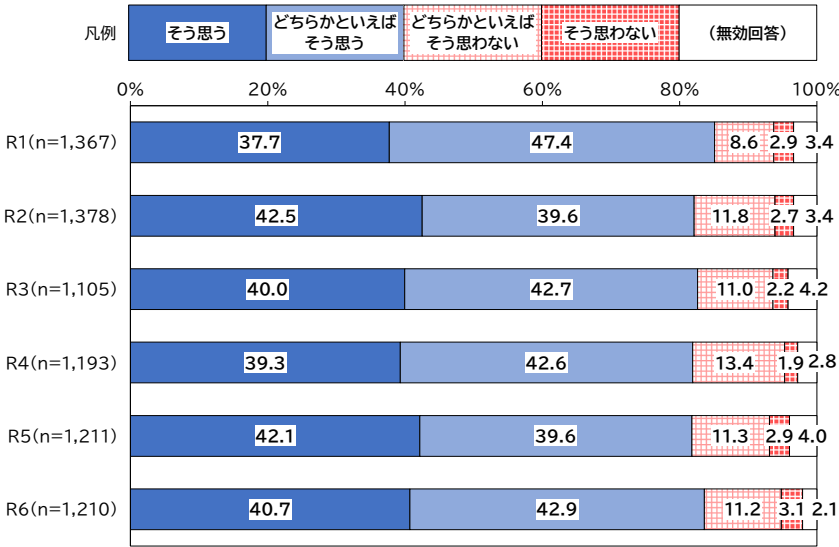
<全体 (n=1,210) >

○「そう思う」は 40.7%，「どちらか
といえばそう思う」は 42.9% であ
り，合計で 83.6%を占めています。



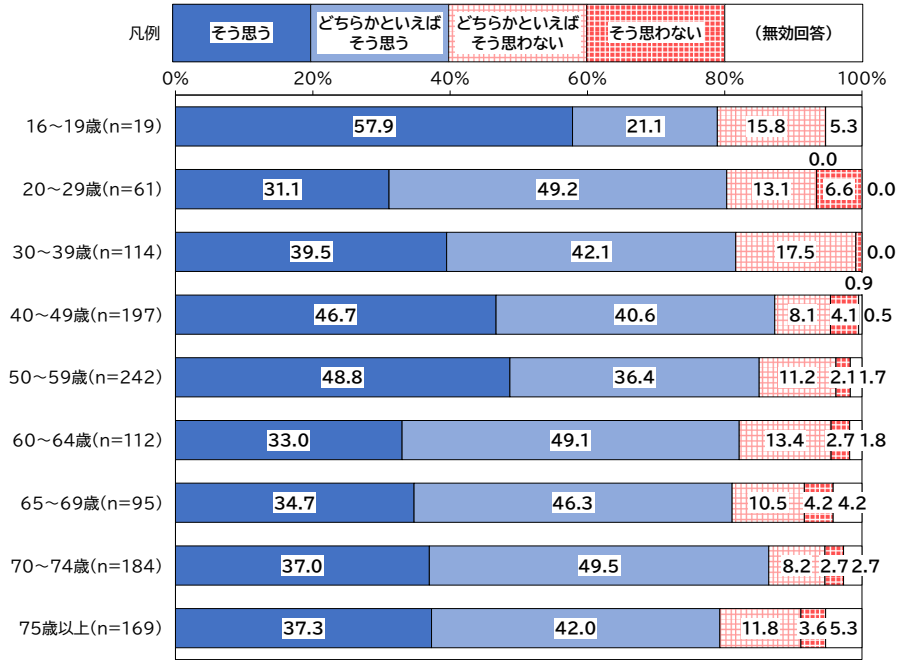
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は，令和元年度以降いずれも 80% 台で推移しています。



<年齢層別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、16～19歳と75歳以上で70%台、20～74歳で80%を超えています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

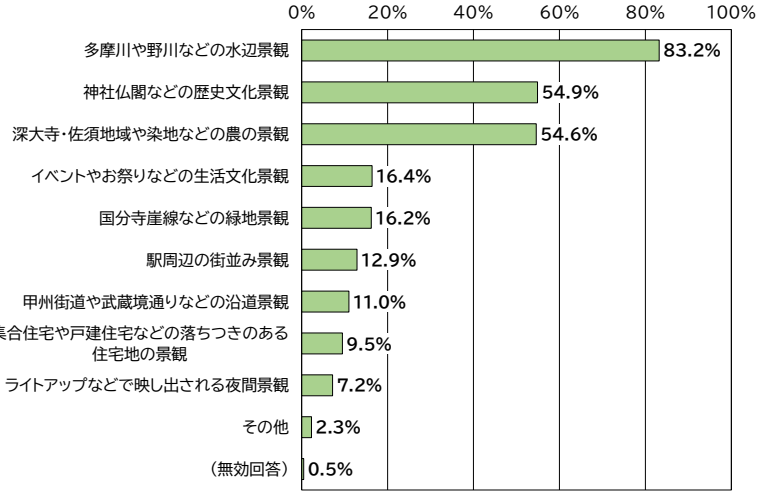
【図表 緑豊かなまちづくりや良好な景観づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】(58件)

- ・野川の改修整備を進めて欲しい(河川敷について)。
- ・公園の枯葉や雑草が気になります。見回りを増やして欲しいです。
- ・電柱が多い。
- ・散策できるコース、歩いていて楽しいと思える街にしたい(仕掛けを作ったり)。

問43-1) 問43で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した方にうかがいます。優れた景観だと思う場所はどこですか。

<全体(n=1,011)>

○「多摩川や野川などの水辺景観」が83.2%で最も高く、次いで「神社仏閣などの歴史文化景観」の54.9%、「深大寺・佐須地域や染地などの農の景観」の54.6%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「多摩川や野川などの水辺景観」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,011	15	49	93	172	206	92	77	159	134
多摩川や野川などの水辺景観	841	11	37	63	140	172	76	67	142	121
神社仏閣などの歴史文化景観	555	6	16	41	89	118	54	44	99	82
深大寺・佐須地域や染地などの農の景観	552	4	26	60	97	106	49	46	84	71
イベントやお祭りなどの生活文化景観	166	4	12	18	34	30	13	8	27	17
国分寺崖線などの緑地景観	164	2	2	7	19	41	20	19	28	25
駅周辺の街並み景観	130	1	9	18	25	23	9	6	17	20
甲州街道や武蔵境通りなどの沿道景観	111	2	0	5	18	22	12	11	20	21
集合住宅や戸建住宅などの落ちつきのある住宅地の景観	96	2	6	9	21	21	4	7	11	11
ライトアップなどで映し出される夜間景観	73	3	4	5	12	14	3	8	10	12
その他	23	0	3	4	5	6	0	0	2	1
(無効回答)	5	0	0	0	1	2	0	1	0	1

回答割合が最も高い:

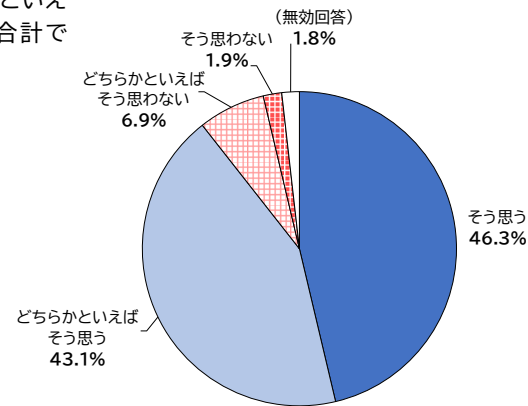
回答割合が2番目に高い:

(上段:実数(人), 下段:構成比)

問 44) あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。

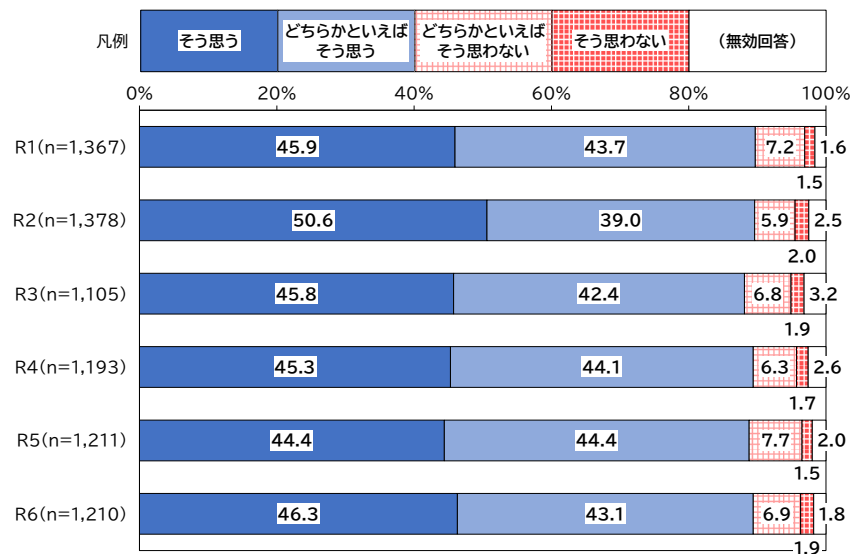
<全体 (n=1,210) >

○「そう思う」は 46.3%, 「どちらかといえばそう思う」は 43.1%であり、合計で 89.4%を占めています。



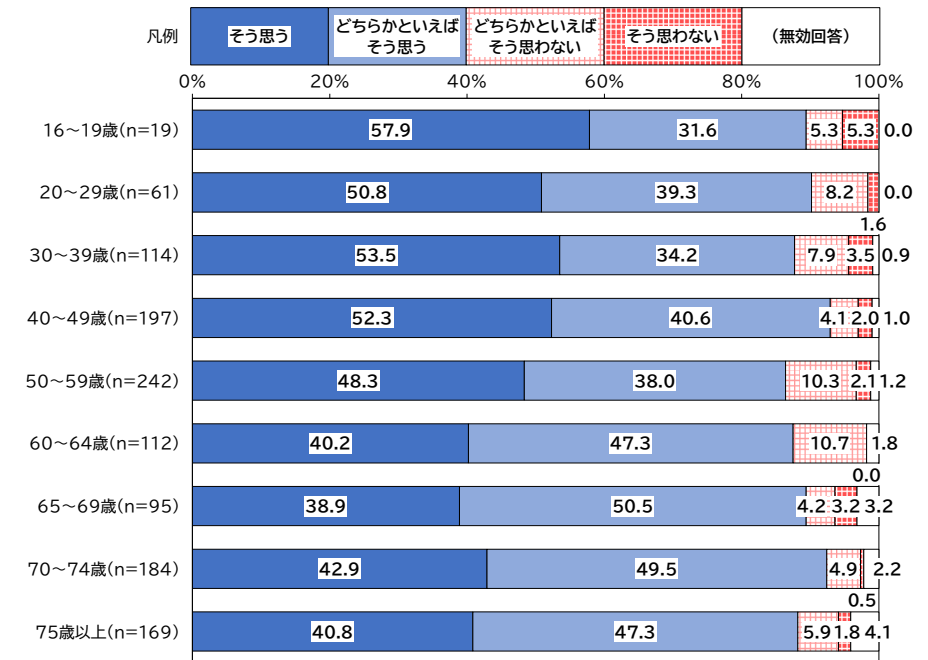
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和元年度以降、一貫して 80%台で推移しています。



<年齢層別>

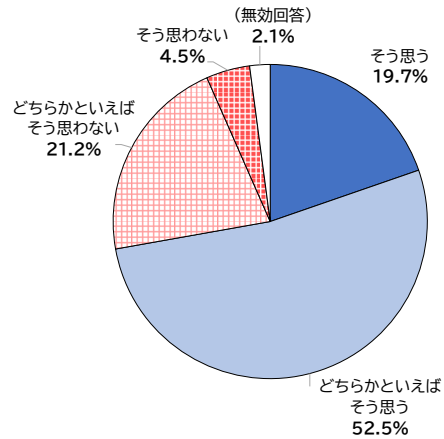
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、40～49 歳が 92.9%と最も高く、次いで 70～74 歳の 92.4%, 20～29 歳の 90.1%の順となっています。



問 45) あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的なまちであると思いますか。

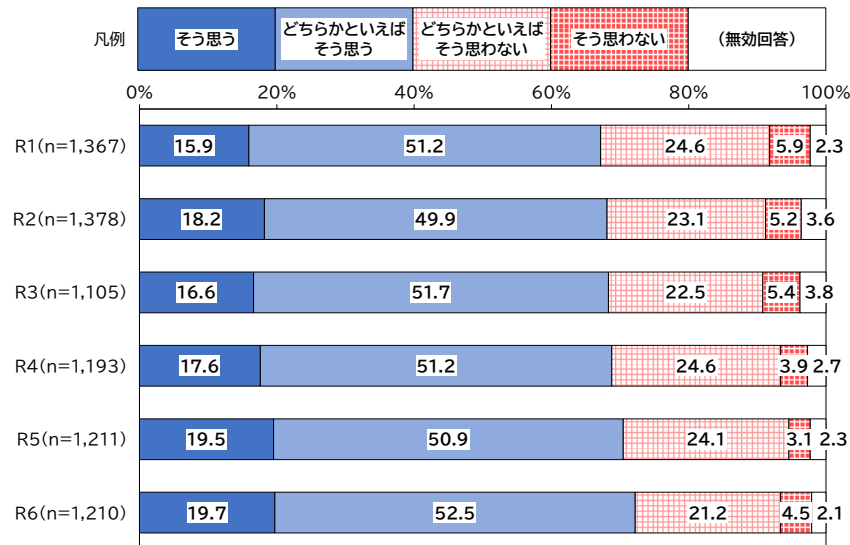
<全体（n=1,210）>

○「そう思う」が 19.7%、「どちらかといえばそう思う」が 52.5%で、合計で 72.2%を占めています。



<経年比較>

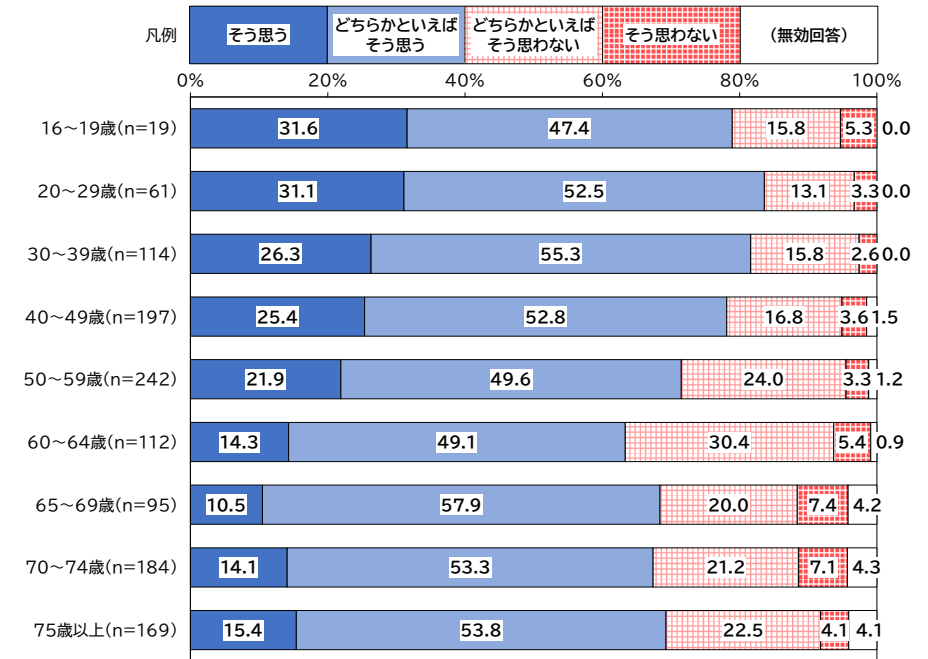
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和元年度以降、増加傾向にあり、令和6年度（72.2%）は令和5年度（70.4%）に比べ1.8ポイント増加しています。



<年齢層別>

○20～39 歳で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が 80%を超えています。

○60～64 歳では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が 30%を超えており、他の年齢層に比べて高くなっています。



<自由記述> 主な意見を抜粋【図表 中心市街地が魅力的な街であると思う/思わない理由】（292 件）

「そう思う」 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」 「どちらかといえばそう思わない」
・買い物に便利。交通の便が良い。 ・駅周辺が整備され、きれいになった。 ・映画館や飲食店があり子供から高齢者まで楽しむことができる。	・街並みに統一感がなく、ごちゃごちゃしている。 ・布田、国領は店も少なく栄えていない。 ・パチンコ店が多くタバコ臭い。風紀が良くない。

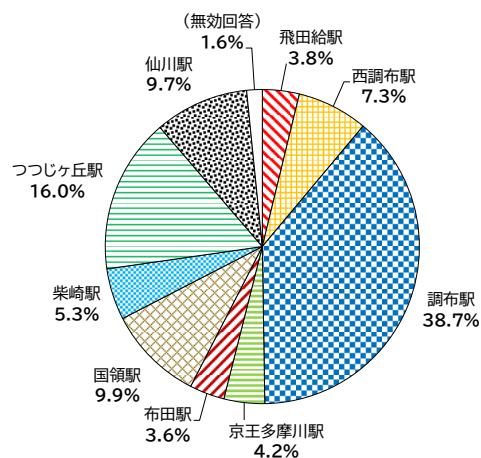
【図表 中心市街地のまちづくりに関する施策についてのご意見・ご提案】（145 件）

- ・仙川の安藤ストリートのように電柱を無くすと良い。
- ・若い人達も集客できるような「大きなモール」があると良い。
- ・どこの道も歩道が狭い。
- ・大きな木やベンチがたくさんあると嬉しい。

問 46) あなたは、次のうち、普段どの駅を最も利用しますか。

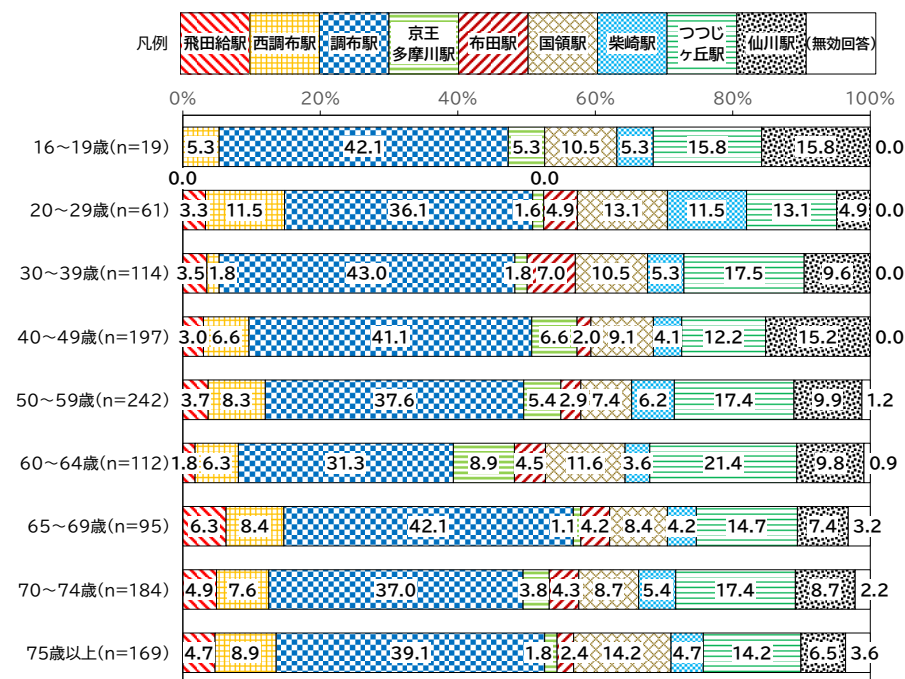
<全体 (n=1,210) >

○「調布駅」が38.7%で最も高く、次いで「つつじヶ丘駅」の16.0%、「国領駅」の9.9%、「仙川駅」の9.7%の順となっています。



<年齢層別>

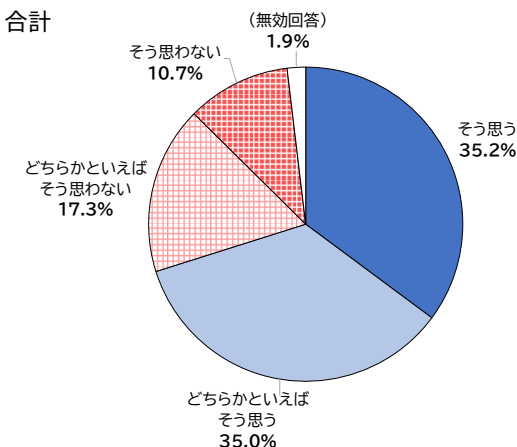
○いずれの年齢層も、調布駅が最も高くなっています。



問 46-1) あなたはその駅（普段最も利用する駅）の周辺は利便性が高いと思いますか。

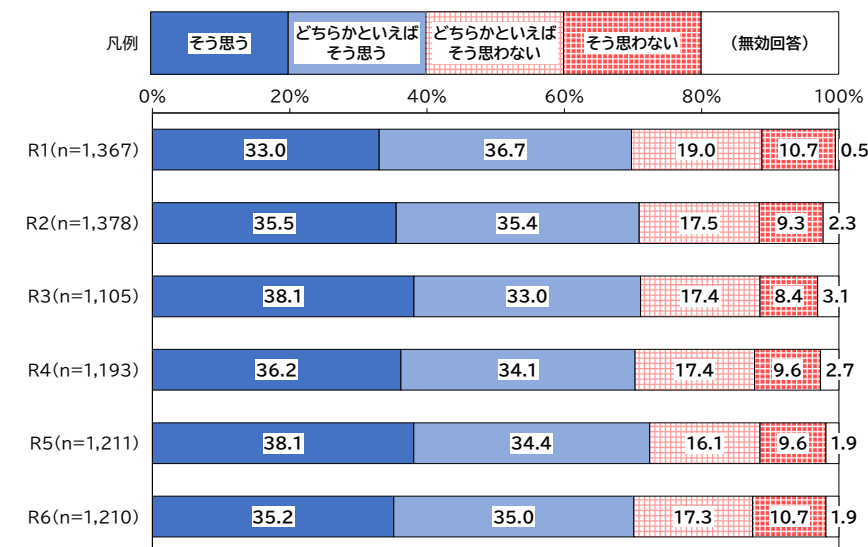
<全体 (n=1,210) >

○「そう思う」が35.2%、「どちらかといえばそう思う」が35.0%で、合計70.2%を占めています。



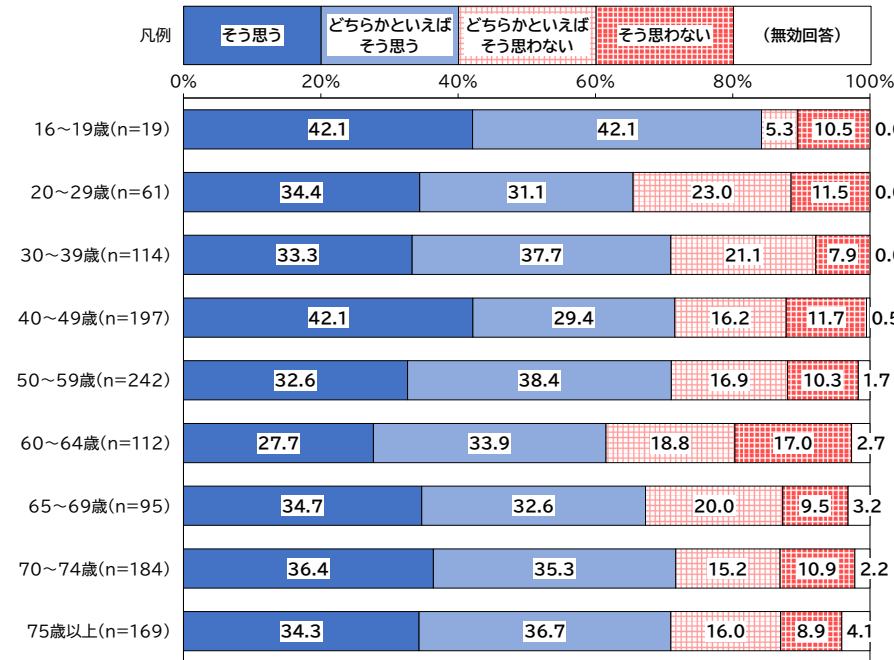
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和元年度以降、70%前後で推移していますが、令和6年度（70.2%）は令和5年度（72.5%）に比べ2.3ポイント減少しています。



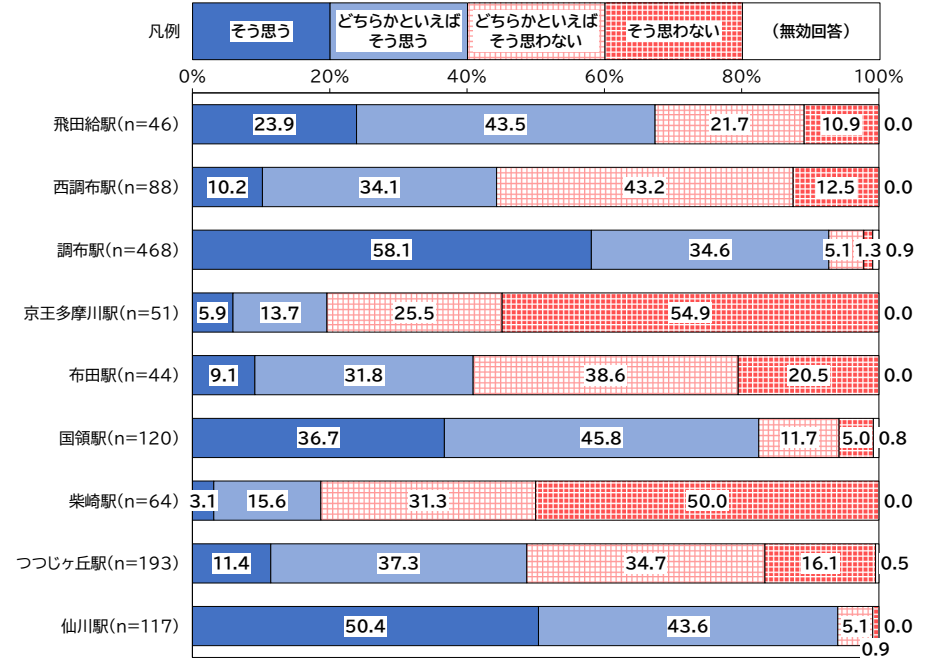
<年齢層別>

- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、全ての年齢層で 60%を超えています。
- 一方で、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は、20～29歳と60～64歳で30%を超えています。



<利用駅別>

- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、「調布駅」と「仙川駅」では90%を超え、「国領駅」では80%を超えています。
- 一方で、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は、「京王多摩川駅」と「柴崎駅」では80%を超えています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 普段利用する駅周辺のまちづくりについてのご意見・ご提案】(213 件)

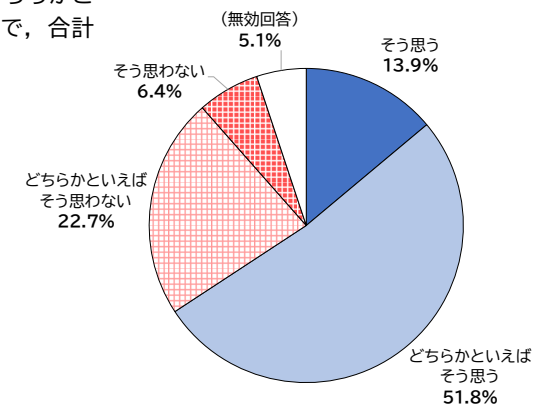
飛田給駅 (10 件)	・味スタでのイベント時は南口の警備を増やしてほしい。 ・駅周辺にもう少し商業施設が欲しい。 ・駅近くに住んでいて便利だが、夜中店舗の搬入やゴミ清掃車でうるさい。
西調布駅 (16 件)	・道路が狭い。 ・各駅の電車の本数がオンタイムに少ない。 ・お店が少ない(北口)。 ・無料の駐輪場(1 時間でも)が皆無で使いづらい。
調布駅 (53 件)	・子育ての環境とも言えるが、駅周辺に保育所の増設(駅施設の利用)、市の出張業務施設等の設置。 ・駅周辺に夏の猛暑対策にもっと木を植えて。照り返しがひどく暑すぎる。 ・工事を早急に完了させてほしい。駅周辺への車の侵入制限をお願いしたい。 ・調布駅前のトリエ A 館と B 館の間で完全に南北が分断されているのでそこを繋げると良いと思います。調布駅前のビルは全て地下で繋げたら(新宿のように)より便利になると思います。
京王多摩川駅 (28 件)	・エスカレーターがほしい。 ・商業施設がほとんどなく寂しい。 ・店が少なく、改札口も 1 つで不便だ。 ・生活の全てが調布駅だよりな場所。
布田駅 (6 件)	・店(私の利用するような)が少ないので調布や国領に行く。 ・飲食店が増えると良い。
国領駅 (16 件)	・急行が停車してもらいたい。 ・駅前がデカすぎて向かいの道を渡るのにロータリーを大回りするのが面倒臭い。
柴崎駅 (24 件)	・踏切の待ち時間がひどい時は 10 分位あるので、地下通路か歩道橋を作してほしい。 ・商店街が努力していない。仙川のように地主が努力し活性化すべき。 ・人身事故の回避。
つつじヶ丘駅 (42 件)	・商店街が発展してないのもっと活気ある街にしてほしい。 ・京王線の踏切が 10 分も 15 分も開かない。電車が通らなくても遮断機が上がらない。 ・駅前ロータリーは利便性が高いが、飲食店が少ない。増やすべき。
仙川駅 (18 件)	・急行が停車するようになることを願う。 ・通学時間帯は人があふれているので、駅の改札をもう少し広くしたら良いと思う。 ・キレイで買い物できる場所が充実している。

【道路・交通について】

問 47) あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。

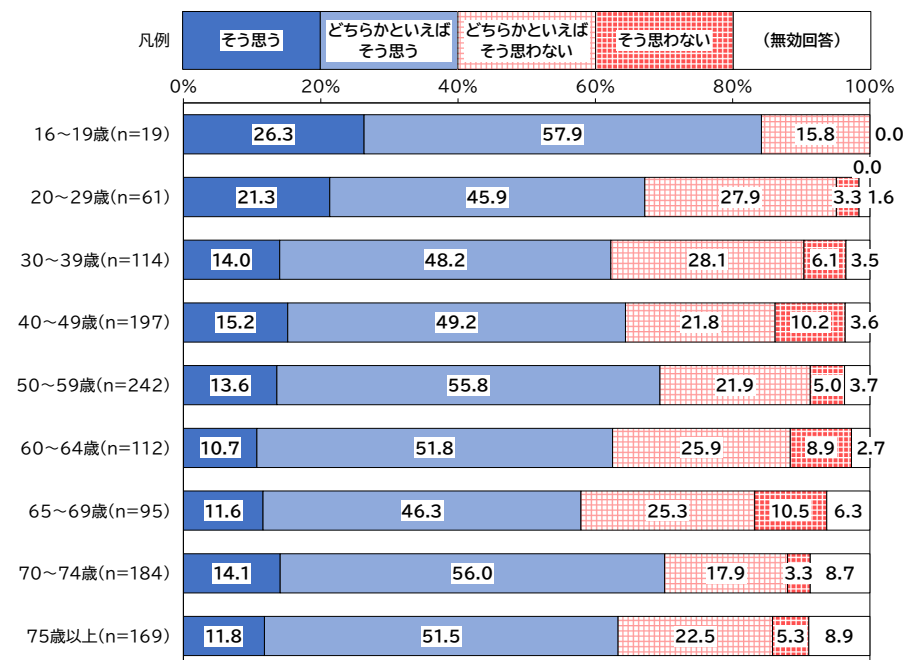
<全体 (n=1,210) >

○「そう思う」が 13.9%,「どちらかといえばそう思う」が 51.8%で、合計で 65.7%を占めています。



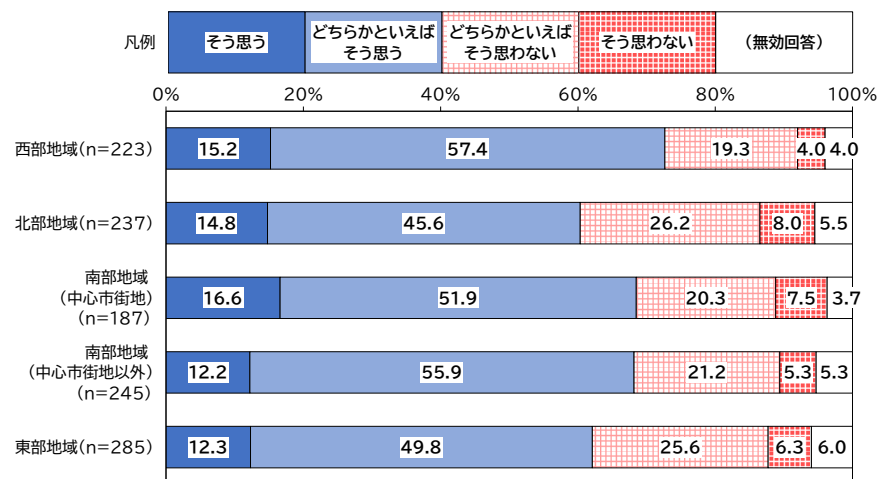
<年齢層別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、16～19 歳が 84.2%で最も高く、次いで 70～74 歳の 70.1%, 50～59 歳の 69.4%の順となっています。



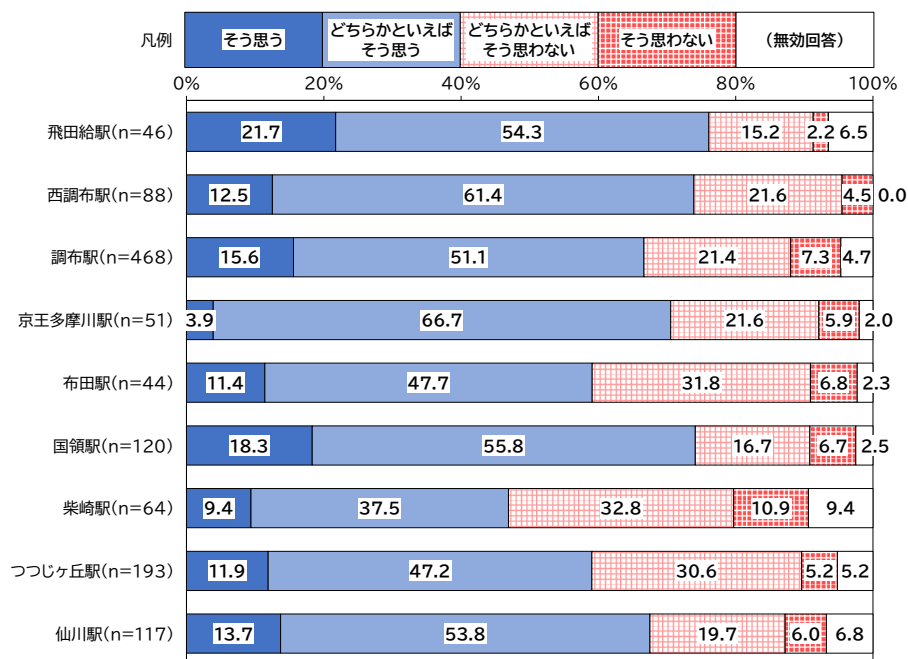
<地域別>

○「思う」と「どちらかといえば思う」の合計は、西部地域の 72.6%が最も高く、北部地域の 60.4%が最も低くなっています。



<利用駅別>

○「思う」と「どちらかといえば思う」の合計は、飛田給駅が 76.0%で最も高く、次いで国領駅の 74.1%，西調布駅の 73.9%の順となっていますが、柴崎駅（46.9%）は、他の利用駅に比べて低くなっています。



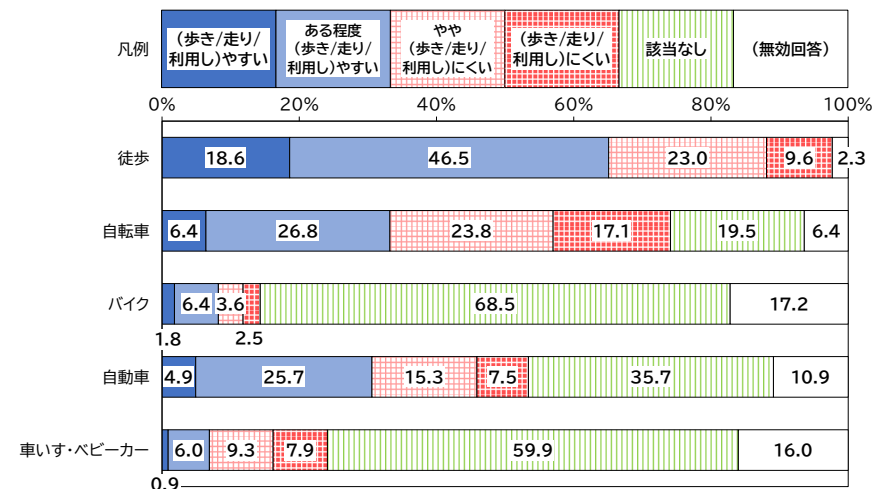
問 48) あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。

<全体 (n=1,210) >

○徒歩では、「歩きやすい」が 18.6%、「ある程度歩きやすい」が 46.5%で、合計で 65.1%を占めています。

○自転車では、「やや走りにくい」が 23.8%、「走りにくい」が 17.1%で、合計で 40.9%を占めています。

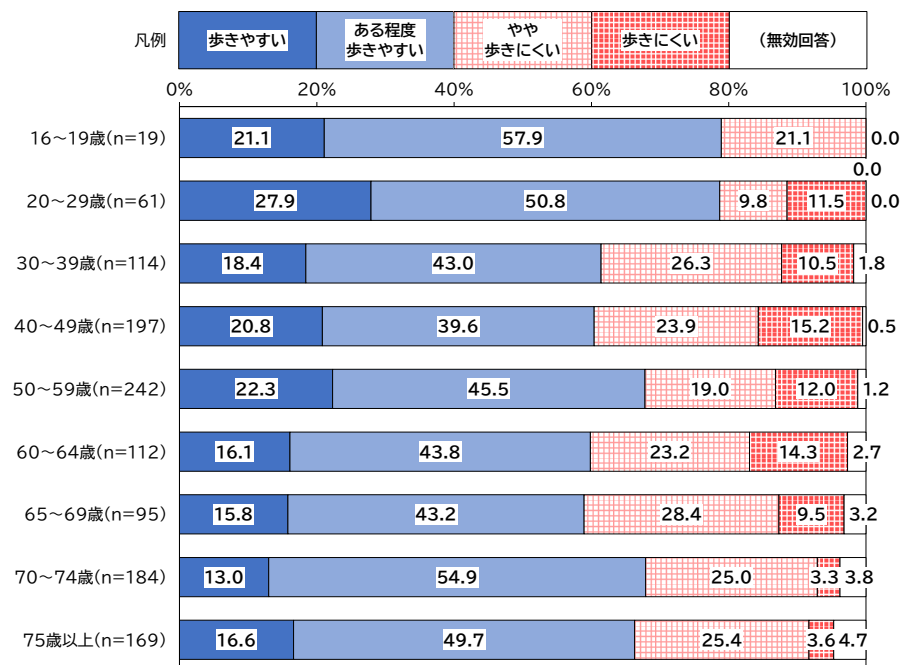
○車いす・ベビーカーは、「利用しやすい」と「ある程度利用しやすい」が合計で 6.9%となっており、「やや利用しにくい」と「利用しにくい」の合計 17.2%を大きく下回っています。



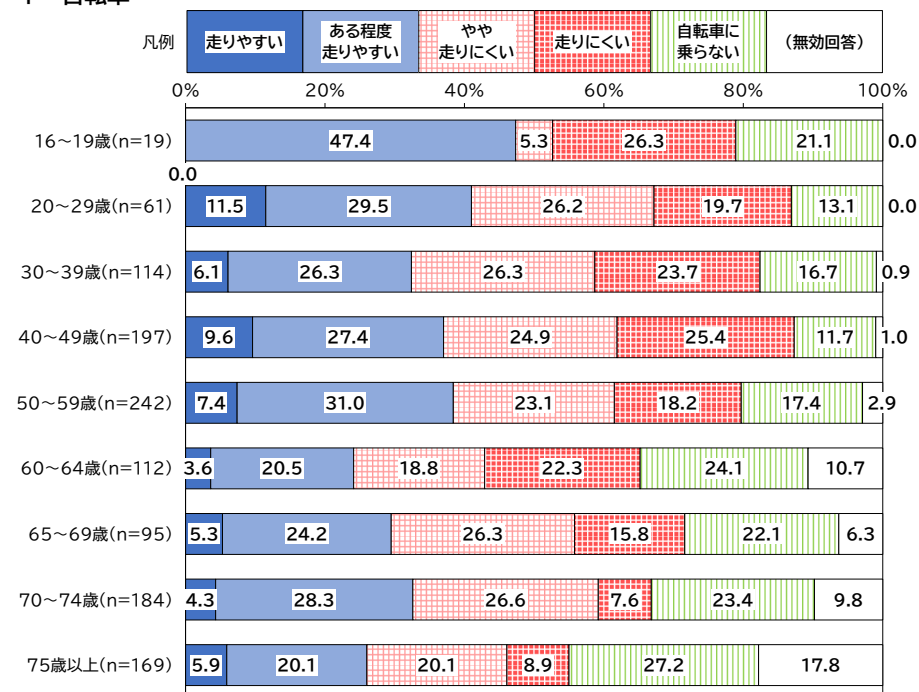
<年齢層別>

- 「ア 徒歩」では、29 歳以下で「歩きやすい」と「ある程度歩きやすい」の合計が 70% を超え、30 歳以上より高くなっています。
- 「イ 自転車」では、16～19 歳で「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計が「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計を上回っていますが、20 歳以上の年齢層は、「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計が「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計を上回っています。
- 「オ 車いす・ベビーカー」も「イ 自転車」と同様に、16～19 歳は「利用しやすい」と「ある程度利用しやすい」の合計の方が高く、20 歳以上は、「やや利用しにくい」と「利用しにくい」の合計の方が高くなっています。

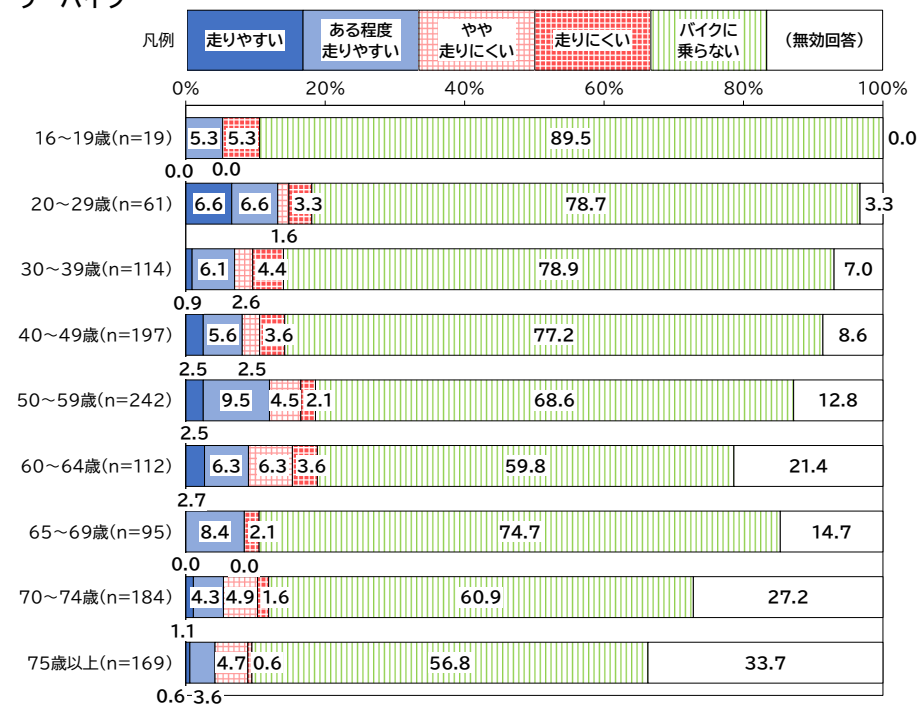
ア 徒歩



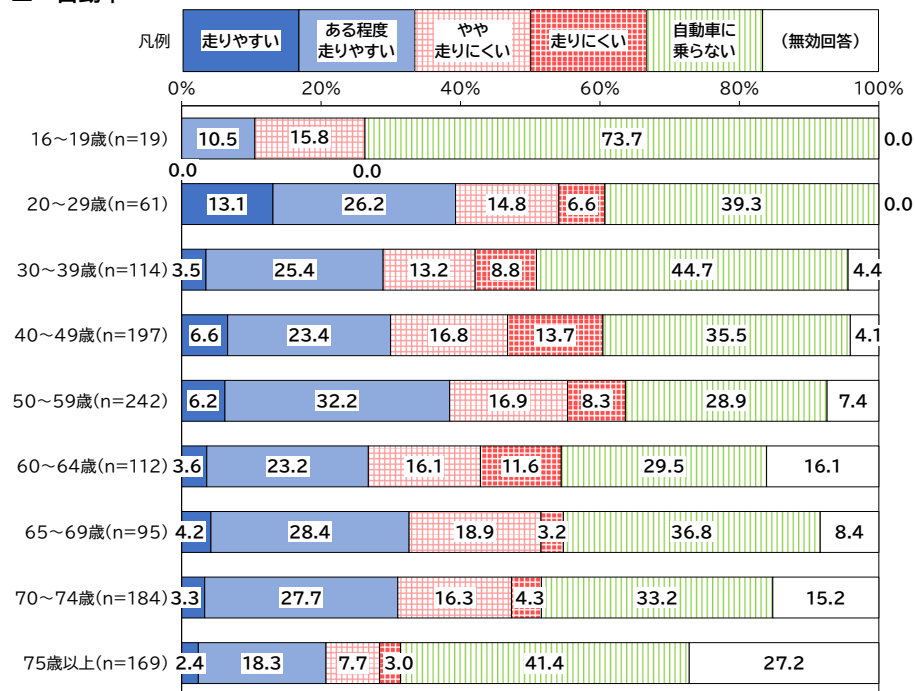
イ 自転車



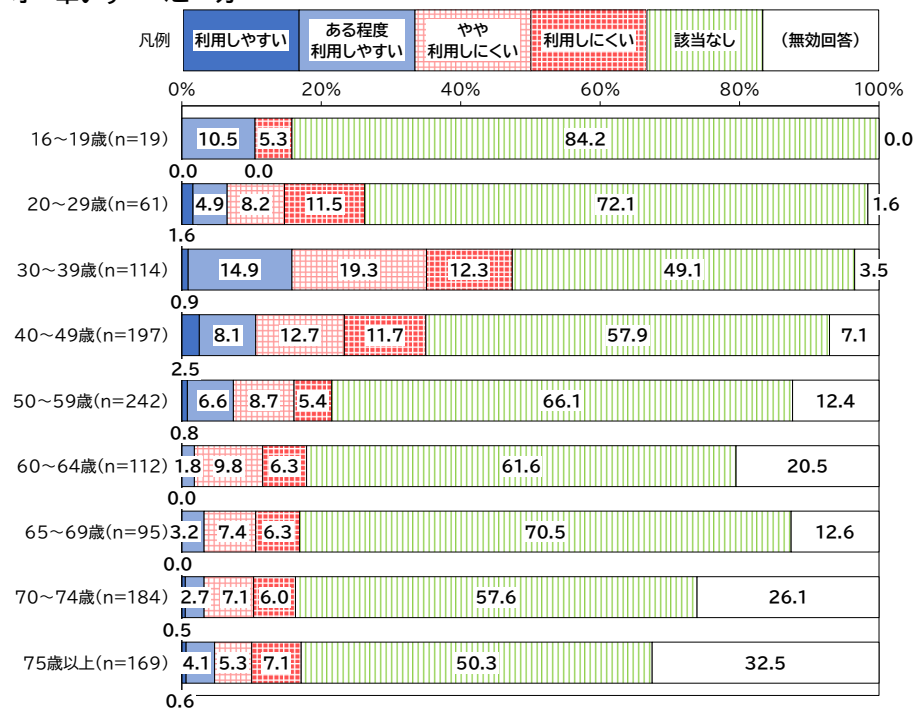
ウ バイク



エ 自動車



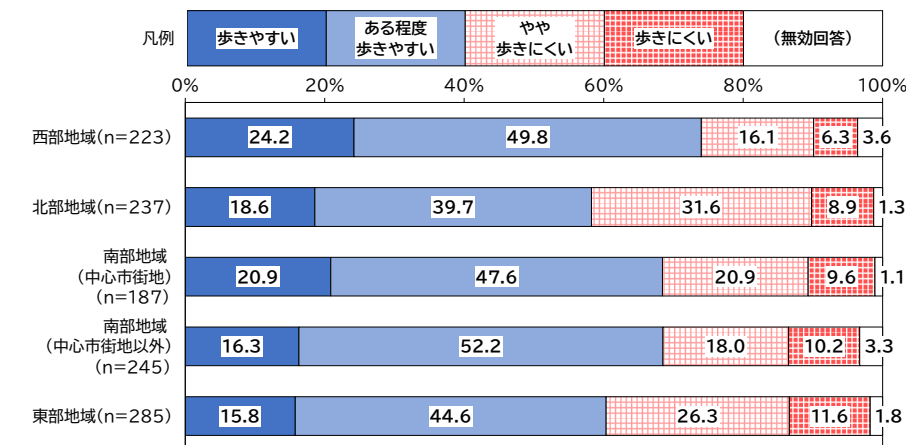
オ 車いす・ベビーカー



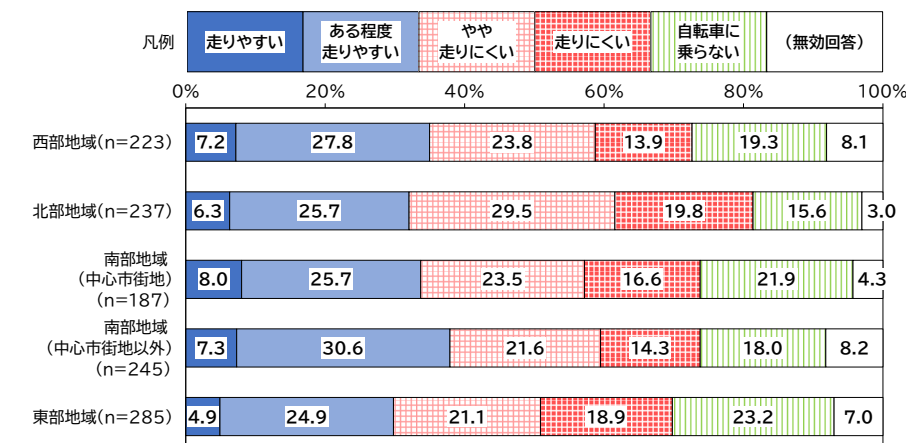
<地域別>

- 「ア 徒歩」では、「歩きやすい」と「ある程度歩きやすい」の合計が西部地域で 74.0%と最も高く、北部地域で 58.3%と最も低くなっています。
- 「イ 自転車」では、北部地域で「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計が、「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計を 17.3 ポイント上回っています。東部地域でも同様に 10.2 ポイント上回っており、他の地域と比較して高くなっています。
- 「オ 車いす・ベビーカー」は、全ての地域で「やや利用しにくい」と「利用しにくい」の合計が、「利用しやすい」と「ある程度利用しやすい」の合計を上回っていますが、南部地域（中心市街地）はその差が 2.7 ポイントと他の地域より少なくなっています。

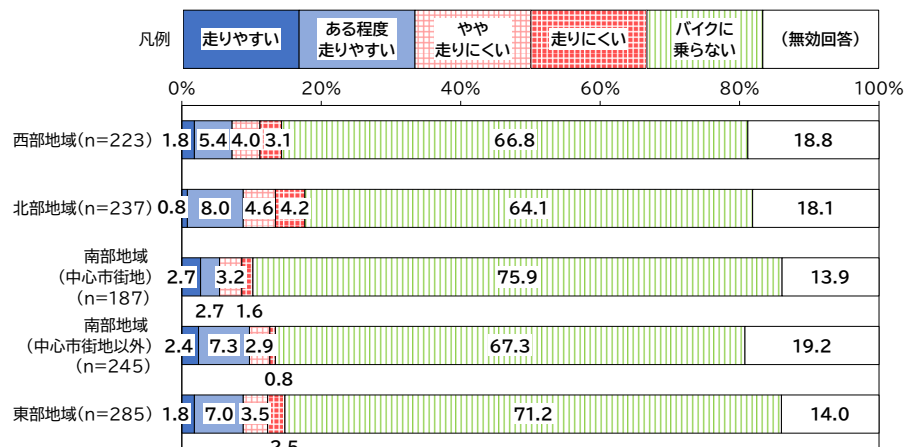
ア 徒歩



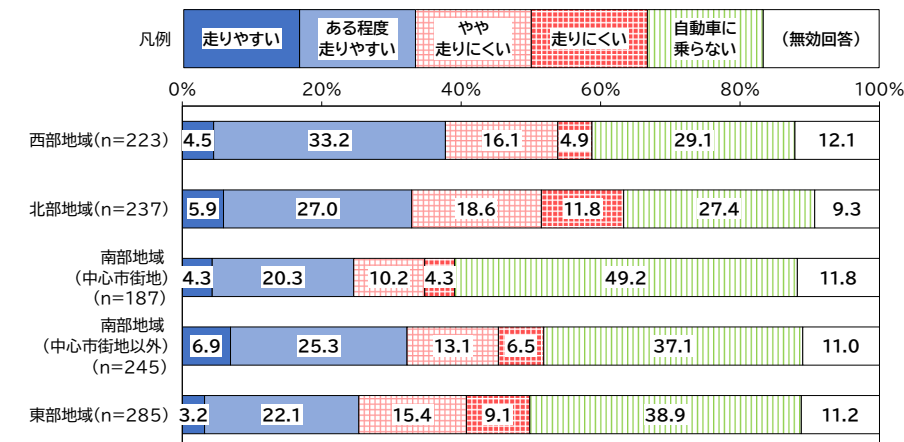
イ 自転車



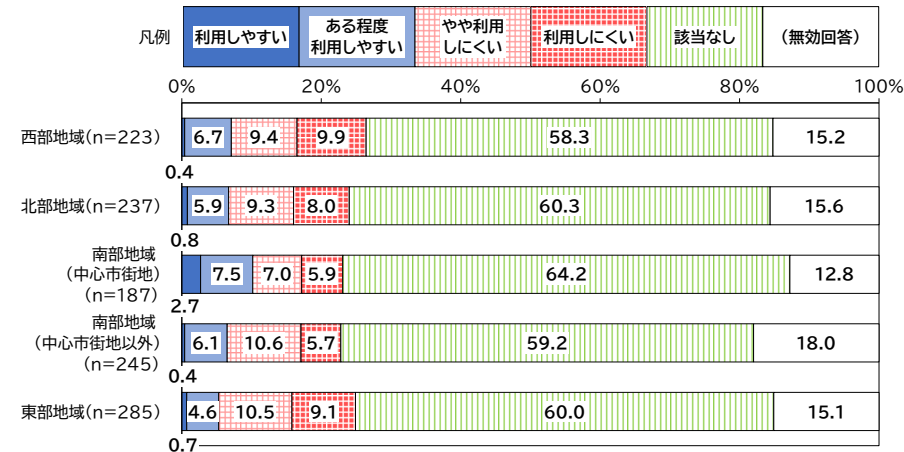
ウ バイク



エ 自動車



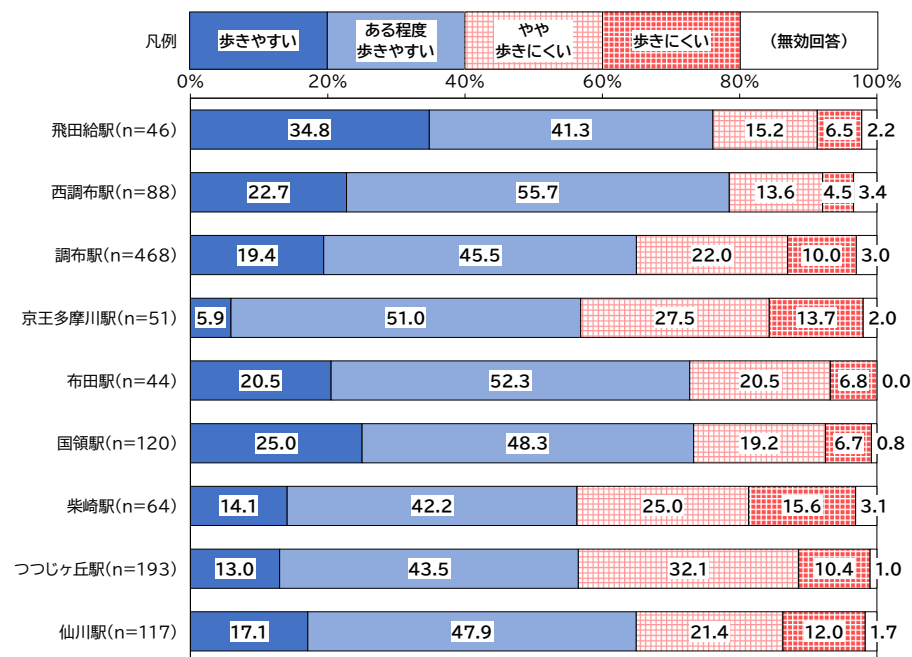
オ 車いす・ベビーカー



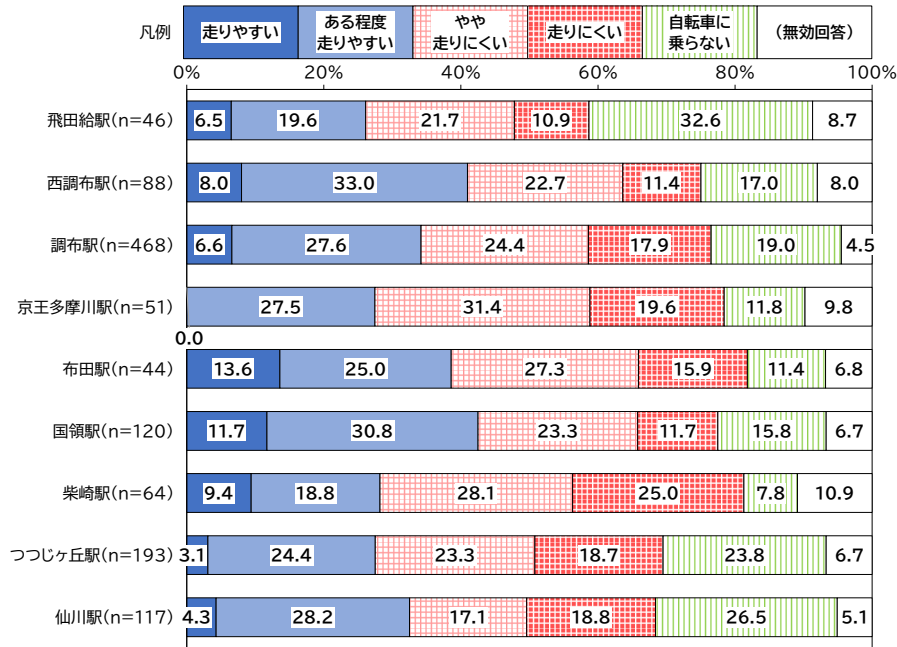
<利用駅別>

- 「ア 徒歩」について、「やや歩きにくい」と「歩きにくい」の合計は、京王多摩川駅、柴崎駅、つつじヶ丘駅で40%を超え、他の駅と比較して高くなっています。
- 「イ 自転車」については、京王多摩川駅、柴崎駅、つつじヶ丘駅で「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計が、「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計を10ポイント以上上回っています。
- 「オ 車いす・ベビーカー」は、飛田給駅と国領駅を除く全ての駅で「やや利用しにくい」と「利用しにくい」の合計が、「利用しやすい」と「ある程度利用しやすい」の合計を上回っています。

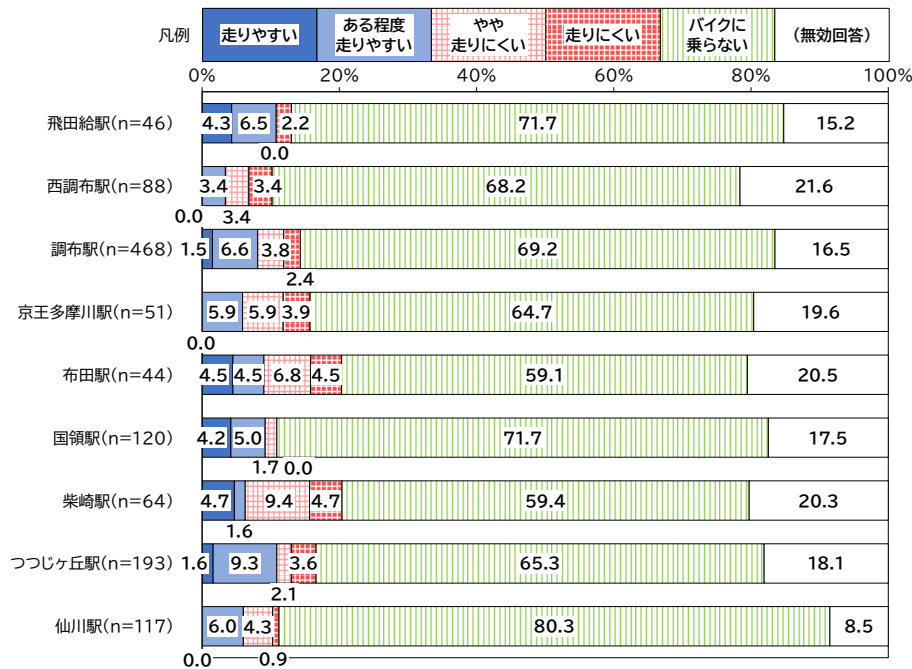
ア 徒歩



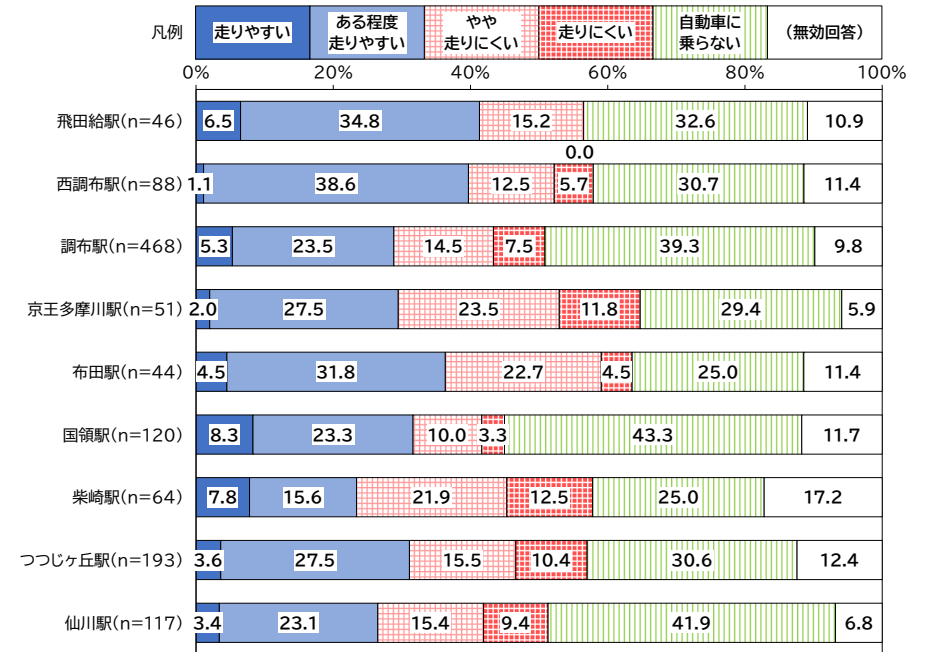
イ 自転車



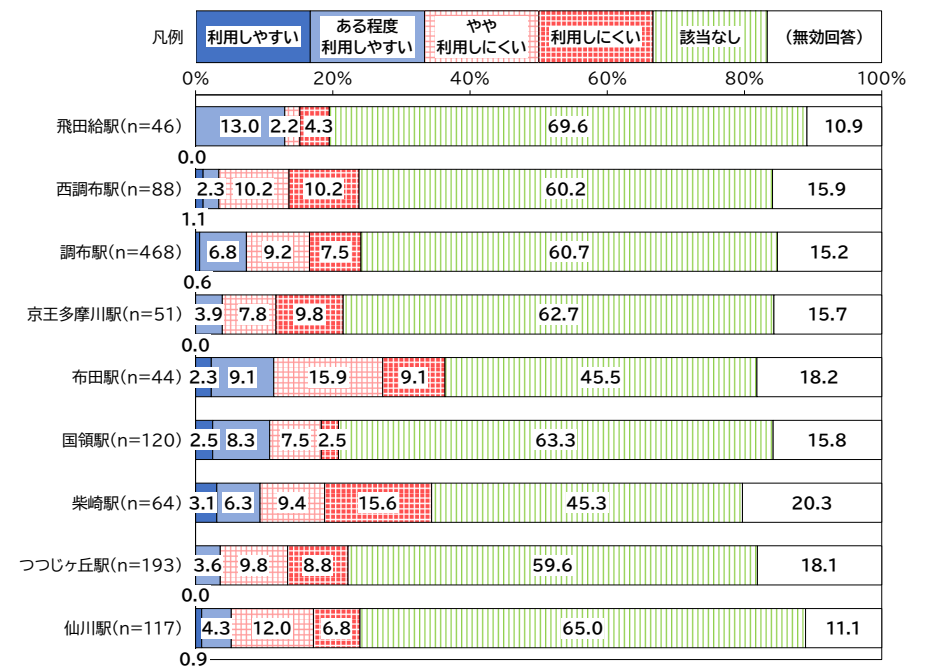
ウ バイク



エ 自動車



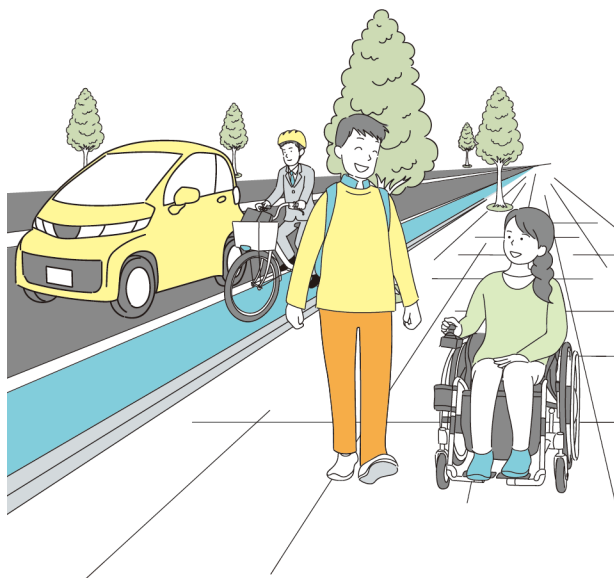
オ 車いす・ベビーカー



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 道路の新設整備や維持補修についてのご意見・ご提案】(230件)

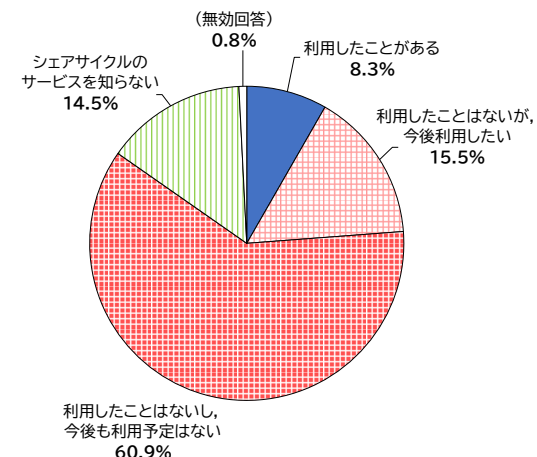
- ・甲州街道沿いの道等、狭くてベビーカーではすれ違えない道がある(相手は歩行者であっても)。道に凸凹がありベビーカーが走りにくかったり、道に傾斜があり車道側に流れそうになる所もある。
- ・仙川遊歩道のような歩行者専用道路や自転車専用車線を増やしてほしい。
- ・街灯を増やしてほしいです。道はあるのに夜は暗くて怖いので。
- ・電柱が多い。



問49) あなたは、市内でシェアサイクル※を利用したことはありますか。

<全体 (n=1,210)>

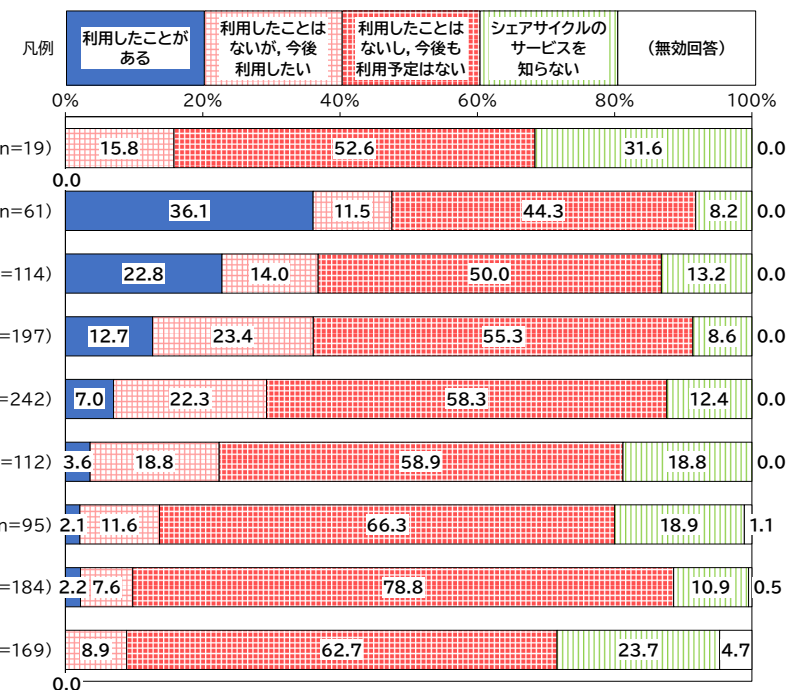
- 「利用したことがある」が 8.3%、「利用したことはないが、今後利用したい」が 15.5%で、合計で 23.8%となっており、「利用したことはないし、今後も利用予定はない」は 60.9%を占めています。



※「シェアサイクル」とは、ステーション(専用駐輪スペース)間で片道利用のできる自転車サービス。会員登録をすれば、(同じサービス会社の)全国どこかのステーションでも貸出・返却が可能。

<年齢層別>

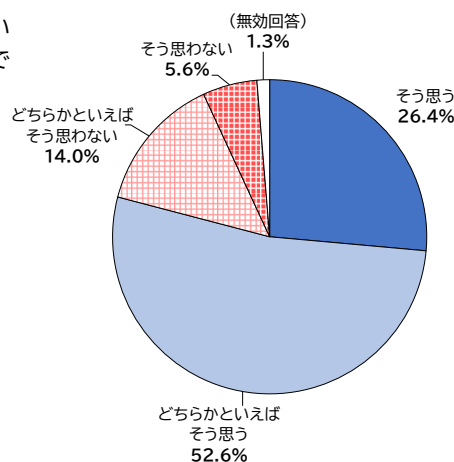
○20～49歳で、「利用したことがある」と「利用したことはないが、今後利用したい」の合計が 30%を超えています。65歳以上では、「利用したこともないし、今後も利用予定はない」が 60%を超えています。



問 50) あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いますか。

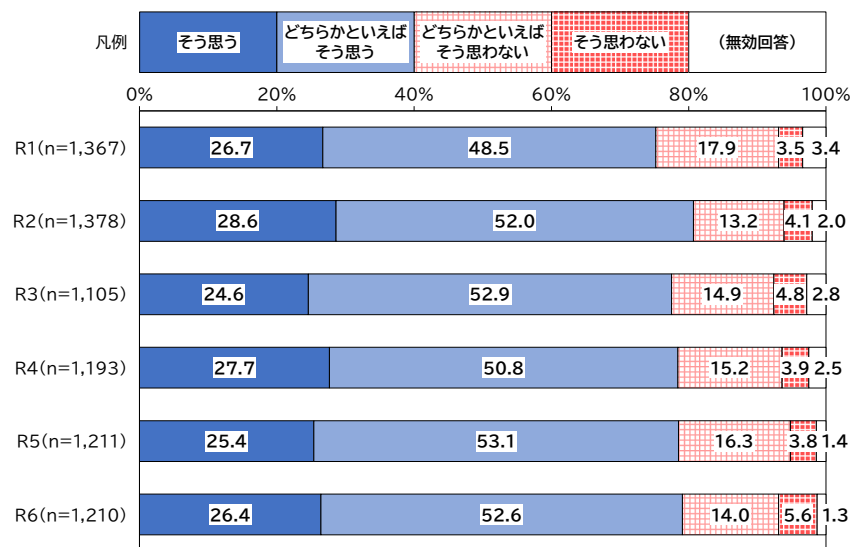
<全体 (n=1,210) >

○「そう思う」が 26.4%, 「どちらかといえばそう思う」が 52.6% で、合計で 79.0% を占めています。



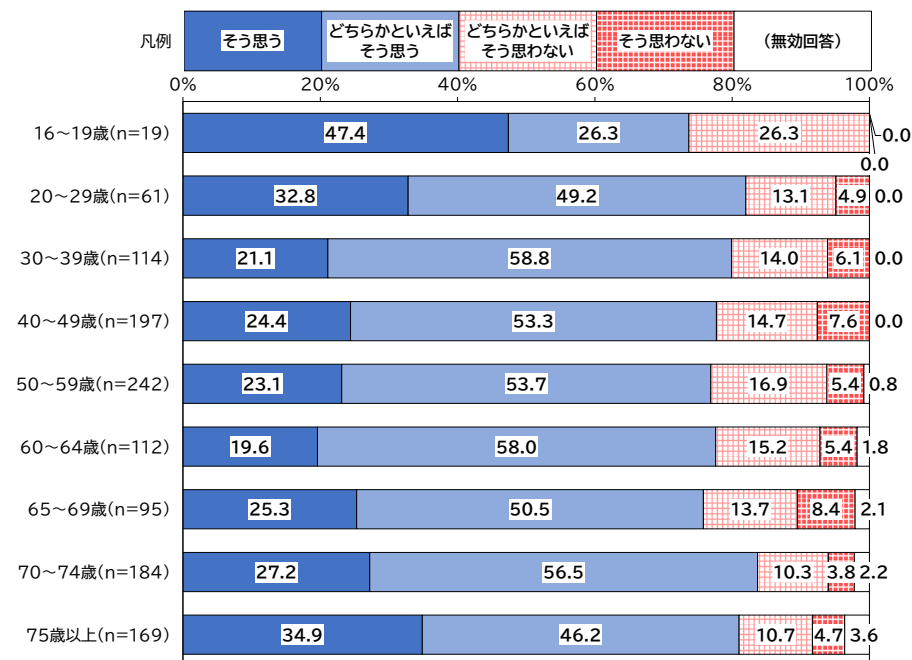
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和 3 年度以降横ばいで推移しており、令和 6 年度 (79.0%) は令和 5 年度 (78.5%) と比較して 0.5 ポイントの増加にとどまっています。



<年齢層別>

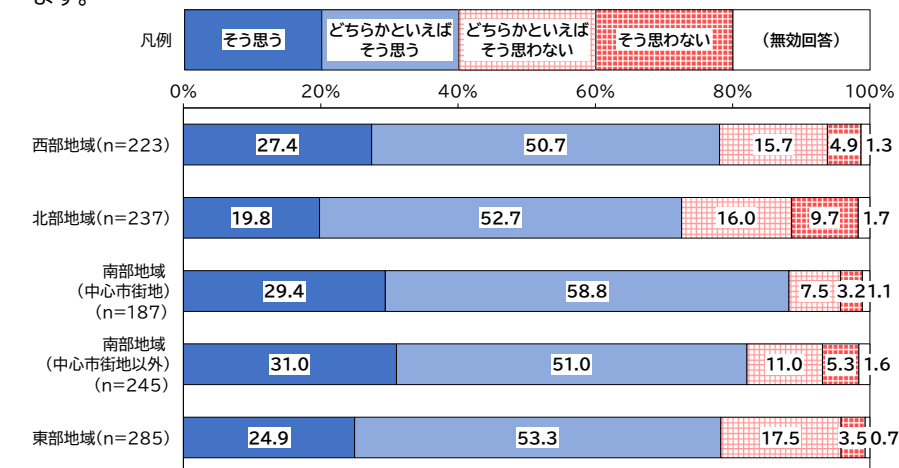
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、70~74 歳が 83.7% と最も高く、次いで 20~29 歳の 82.0%, 75 歳以上の 81.1% の順となっています。



<地域別>

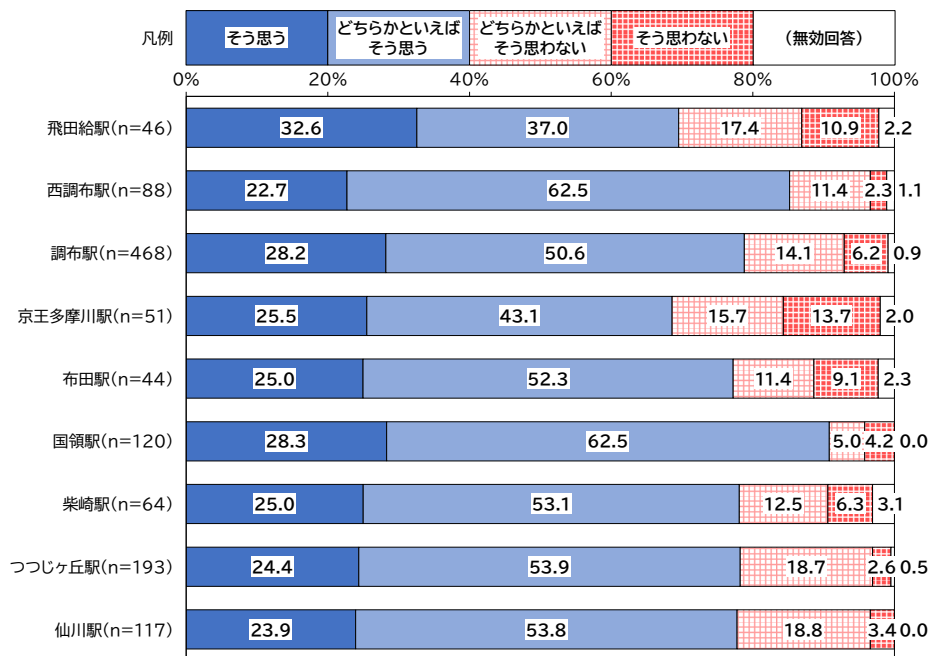
○いずれの地域でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が 70% を超えています。

○南部地域（中心市街地）及び南部地域（中心市街地以外）では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が 80% を超えており、他の地域と比べてやや高くなっています。



<利用駅別>

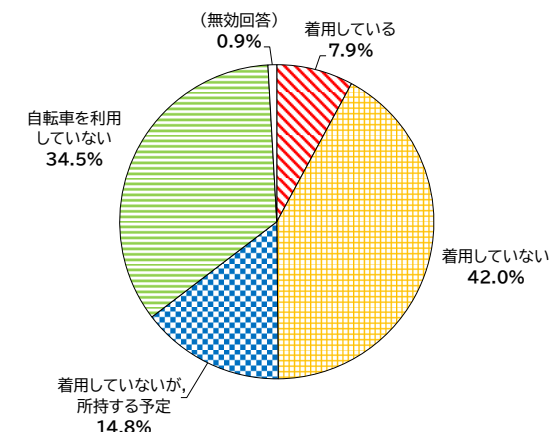
○「思う」と「どちらかといえば思う」の合計は、国領駅が 90.8%と最も高く、次いで、西調布駅の 85.2%，調布駅の 78.8%の順となっています。一方、飛田給駅（69.6%）と京王多摩川駅（68.6%）は 70%を下回り、他の駅と比べて低くなっています。



問 51) あなたは、自転車使用時にヘルメットを着用*していますか。

<全体 (n=1,210) >

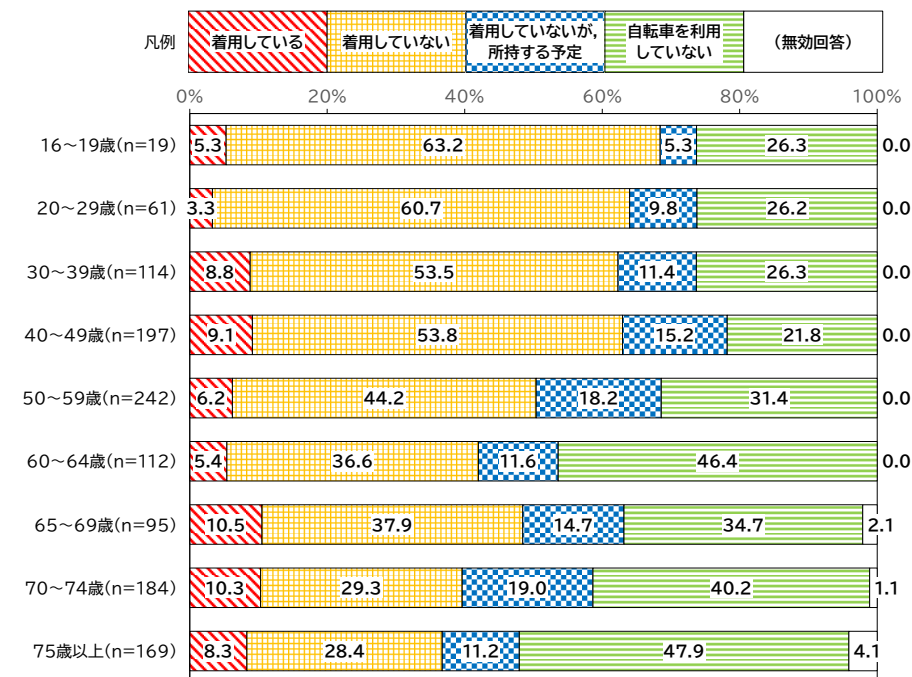
○「着用している」が 7.9%，「着用していない」が 42.0%，「着用していないが、所持する予定」が 14.8%となっています。



※令和5年4月から改正道路交通法が施行され、自転車利用者のヘルメット着用が全世代に対して努力義務となりました。

<年齢層別>

○「着用していない」は、29歳以下が 60%台と他の年齢層と比較して高くなっています。

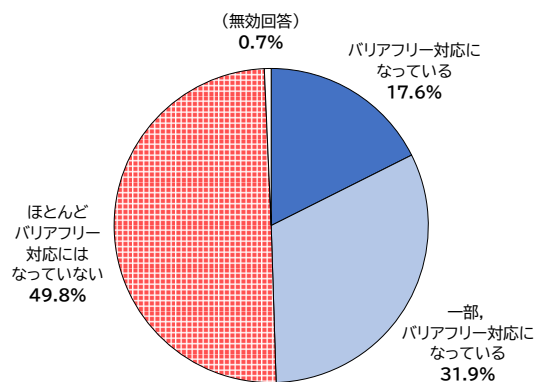


【住環境づくり・地球温暖化対策について】

問 52) あなたの住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。

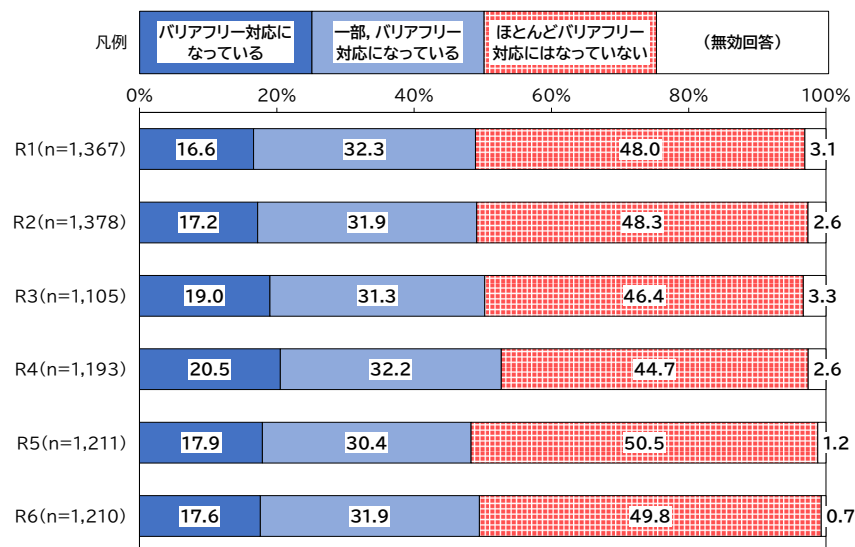
<全体 (n=1,210) >

○「バリアフリー対応になっている」が 17.6%, 「一部, バリアフリー対応になっている」が 31.9%で, 合計で 49.5%を占めています。



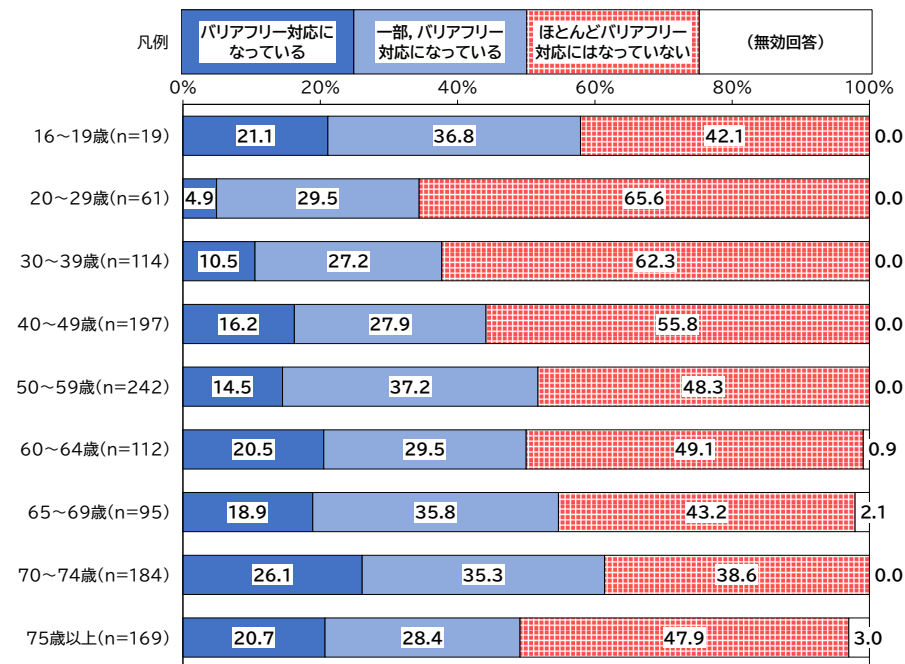
<経年比較>

○「バリアフリー対応になっている」と「一部, バリアフリー対応になっている」の合計は, おおむね 50%前後で推移しており, 令和 6 年度 (49.5%) は令和 5 年度 (48.3%) に比べ 1.2 ポイント増加しています。



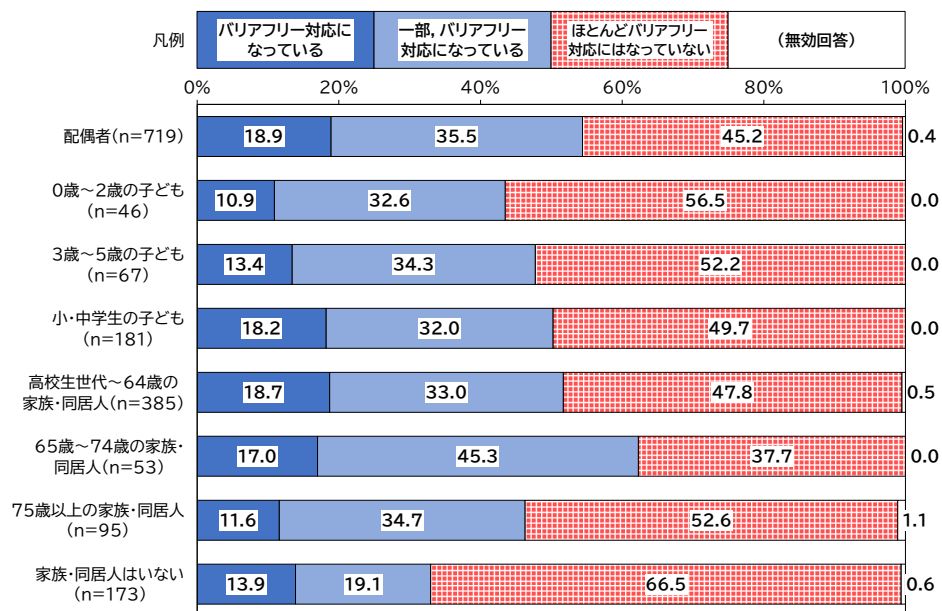
<年齢層別>

○「バリアフリー対応になっている」と「一部, バリアフリー対応になっている」の合計は, 16~19 歳と 50~69 歳で 50%台, 70~74 歳で 60%台と高くなっています。



<同居人別>

○65歳～74歳の家族・同居人がいる層では、「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計が60%を超え、他の層と比べて高くなっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 住環境づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】(41件)

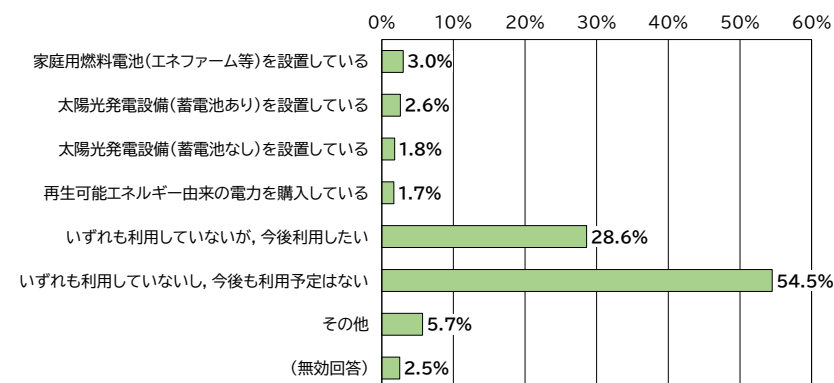
- ・高齢者ばかりが住んでいるのにエレベーターがないのは困る(公団, 都営)。
- ・バリアフリー対応のリフォームに関する費用や市内業者等の相談窓口を設けて頂きたい。
- ・バリアフリー対応設備への補助制度の拡充。

問 53) あなたの住居は、再生可能エネルギーを利用していますか。また、創エネルギー設備※を設置していますか。

<全体(n=1,210)>

○「家庭用燃料電池(エネファーム等)を設置している」が3.0%、「太陽光発電設備(蓄電池あり)を設置している」が2.6%、「太陽光発電設備(蓄電池なし)を設置している」が1.8%、「再生可能エネルギー由来の電力を購入している」が1.7%となっています。なお、「いずれも利用していないが、今後利用したい」は28.6%、「いずれも利用していないし、今後も利用予定はない」は54.5%となっています。

※「創エネルギー設備」とは、太陽光発電設備や家庭用燃料電池のように家庭で電力等のエネルギーを創ることのできる設備。



<年齢層別>

○再生可能エネルギーの利用または創エネルギー設備を設置している回答のうち、40～59歳で「家庭用燃料電池（エネファーム等）」を設置している」の割合が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家庭用燃料電池(エネファーム等)を設置している	36	0	1	2	11	11	2	1	4	3
	3.0%	0.0%	1.6%	1.8%	5.6%	4.5%	1.8%	1.1%	2.2%	1.8%
太陽光発電設備(蓄電池あり)を設置している	32	0	2	3	9	9	0	3	3	3
	2.6%	0.0%	3.3%	2.6%	4.6%	3.7%	0.0%	3.2%	1.6%	1.8%
太陽光発電設備(蓄電池なし)を設置している	22	1	0	1	3	5	2	3	5	2
	1.8%	5.3%	0.0%	0.9%	1.5%	2.1%	1.8%	3.2%	2.7%	1.2%
再生可能エネルギー由来の電力を購入している	20	0	1	2	2	0	4	2	4	4
	1.7%	0.0%	1.6%	1.8%	1.0%	0.0%	3.6%	2.1%	2.2%	2.4%
いずれも利用していないが、今後利用したい	346	5	9	33	65	75	33	29	48	43
	28.6%	26.3%	14.8%	28.9%	33.0%	31.0%	29.5%	30.5%	26.1%	25.4%
いずれも利用していないし、今後も利用予定はない	660	12	48	69	90	126	66	47	101	92
	54.5%	63.2%	78.7%	60.5%	45.7%	52.1%	58.9%	49.5%	54.9%	54.4%
その他	69	1	0	3	16	15	4	7	10	13
	5.7%	5.3%	0.0%	2.6%	8.1%	6.2%	3.6%	7.4%	5.4%	7.7%
(無効回答)	30	0	0	1	3	3	1	4	9	9
	2.5%	0.0%	0.0%	0.9%	1.5%	1.2%	0.9%	4.2%	4.9%	5.3%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

※網掛けは再生可能エネルギーの利用または創エネルギー設備を設置している回答のうちの割合の高いもの

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 地球温暖化対策・ゼロカーボンシティに関する施策についてのご意見・ご提案】(41件)

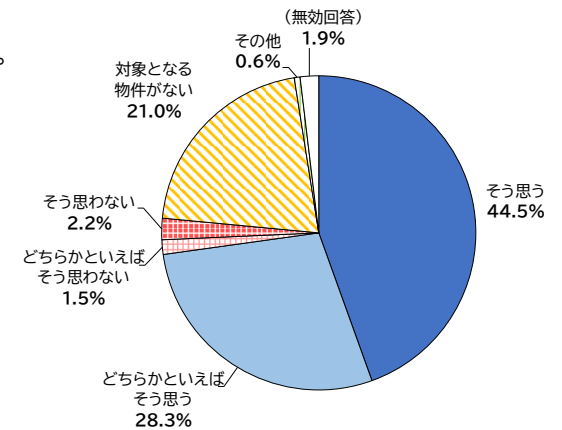
- ・再生エネルギーは太陽光を除くものを利用すべき。パネルが再利用できない現状を考えると、大量のゴミにしかならない。雨水や風力などを活用していくべきと考えます。
- ・蓄電池購入の補助金制度整備。
- ・個人レベルで出来ることを具体的に周知させて、ルール化していかないと、なかなか前に進まない。

問 54) あなたは、たとえばあなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家※とならないための対策が必要だと思いますか。

<全体 (n=1,210)>

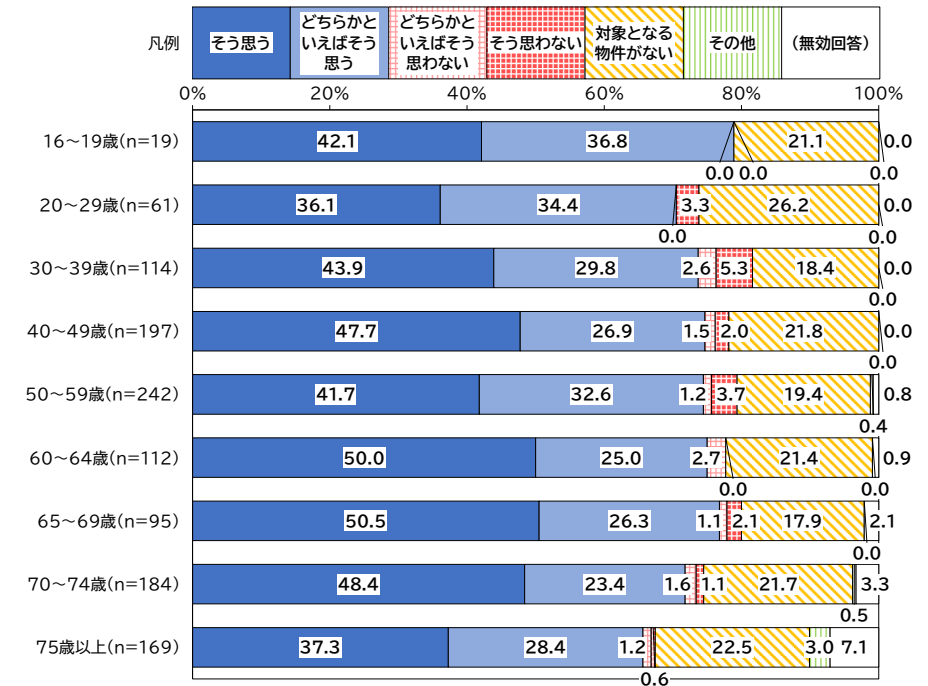
○「そう思う」が 44.5%, 「どちらかといえばそう思う」が 28.3% で、合計 72.8% を占めています。

※適切な管理が行われていない空き家は、地域住民の生活環境において、倒壊の危険性や防犯、衛生、景観等に関する深刻な影響を及ぼすなど、社会的な問題となっています。



<年齢層別>

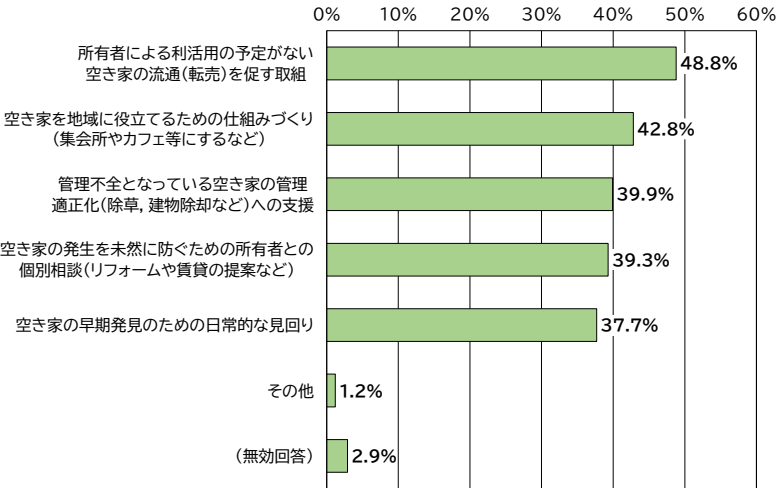
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、75歳以上の 65.7%を除く全ての年齢層で 70%を超えています。



問 54-1) あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思いますか。

<全体 (n=1,210) >

○「所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組」が 48.8%で最も高く、次いで「空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど）」の 42.8%、「管理不全となっている空き家の管理適正化（除草、建物除却など）への支援」の 39.9%の順となっています。



<年齢層別>

○20 歳以上では「所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組」が最も高くなっています。また、「空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど）」が高い傾向にあります。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
所有者による利活用の予定がない空き家の流通(転売)を促す取組	591	6	36	58	96	124	57	54	87	65
	48.8%	31.6%	59.0%	50.9%	48.7%	51.2%	50.9%	56.8%	47.3%	38.5%
空き家を地域に役立てるための仕組みづくり(集会所やカフェ等にするなど)	518	10	31	53	83	102	54	34	80	63
	42.8%	52.6%	50.8%	46.5%	42.1%	42.1%	48.2%	35.8%	43.5%	37.3%
管理不全となっている空き家の管理適正化(除草、建物除却など)への支援	483	6	25	50	68	98	50	44	80	55
	39.9%	31.6%	41.0%	43.9%	34.5%	40.5%	44.6%	46.3%	43.5%	32.5%
空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談(リフォームや賃貸の提案など)	476	4	24	46	92	103	40	38	62	62
	39.3%	21.1%	39.3%	40.4%	46.7%	42.6%	35.7%	40.0%	33.7%	36.7%
空き家の早期発見のための日常的な見回り	456	9	18	47	74	88	39	46	71	60
	37.7%	47.4%	29.5%	41.2%	37.6%	36.4%	34.8%	48.4%	38.6%	35.5%
その他	15	0	0	1	2	4	1	1	1	5
	1.2%	0.0%	0.0%	0.9%	1.0%	1.7%	0.9%	1.1%	0.5%	3.0%
(無効回答)	35	0	0	0	0	4	1	3	5	21
	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.9%	3.2%	2.7%	12.4%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [Bar] 回答割合が2番目に高い: [Bar]

<自由記述> 主な意見を抜粋

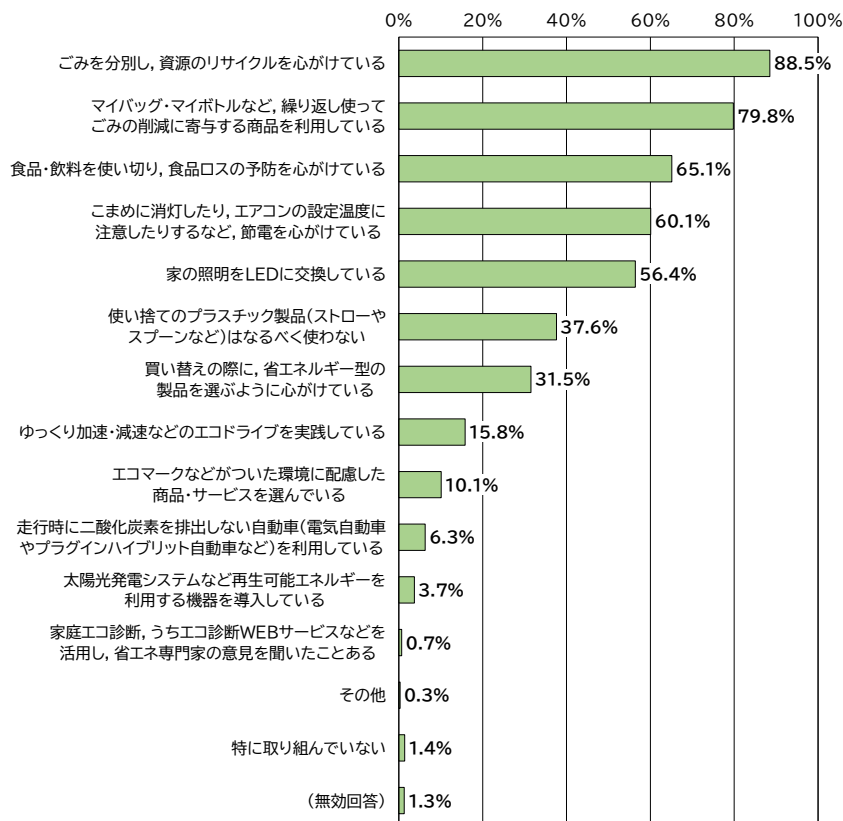
【図表 空き家対策についてのご意見・ご提案】(58 件)

- ・市でまず借りる。その後リフォームして安価で生活困難者を助ける。
- ・草が伸び放題の家など、泥棒対策としても先手を打って対策した方が良い。
- ・固定資産税率上乘せ、空き家の所有が不利益になる法整備を行い、最終的に没収もやむなし。
- ・土地を探している法人と、土地を持て余している市民をマッチングさせるサービスがあるとよい。
- ・ポイ捨て場になっていたりするのを見かけると汚らしく見えるので、所有者に厳しく指導してほしい（放火なども不安なので雑草なども）。

問 55) あなたは、地球温暖化などの環境問題に対し、環境を守るためにどのような取組を行っていますか。

<全体 (n=1,210) >

○「ごみを分別し、資源のリサイクルを心がけている」が88.5%、「マイバッグ・マイボトルなど、繰り返し使ってごみの削減に寄与する商品を利用している」が79.8%、「食品・飲料を使い切り、食品ロスの予防を心がけている」が65.1%となっています。なお、「特に取り組んでいない」は1.4%となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「ごみを分別し、資源のリサイクルを心がけている」と「マイバッグ・マイボトルなど、繰り返し使ってごみの削減に寄与する商品を利用している」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ごみを分別し、資源のリサイクルを心がけている	1,071	16	48	94	165	217	99	87	174	157
	88.5%	84.2%	78.7%	82.5%	83.8%	89.7%	88.4%	91.6%	94.6%	92.9%
マイバッグ・マイボトルなど、繰り返し使ってごみの削減に寄与する商品を利用している	965	12	45	89	158	194	85	84	148	136
	79.8%	63.2%	73.8%	78.1%	80.2%	80.2%	75.9%	88.4%	80.4%	80.5%
食品・飲料を使い切り、食品ロスの予防を心がけている	788	11	40	71	125	162	61	61	127	119
	65.1%	57.9%	65.6%	62.3%	63.5%	66.9%	54.5%	64.2%	69.0%	70.4%
こまめに消灯したり、エアコンの設定温度に注意したりするなど、節電を心がけている	727	11	25	61	97	144	67	61	128	123
	60.1%	57.9%	41.0%	53.5%	49.2%	59.5%	59.8%	64.2%	69.6%	72.8%
家の照明をLEDに交換している	683	11	20	54	109	129	61	63	129	97
	56.4%	57.9%	32.8%	47.4%	55.3%	53.3%	54.5%	66.3%	70.1%	57.4%
使い捨てのプラスチック製品(ストローやスプーンなど)はなるべく使わない	455	3	13	32	66	98	40	39	83	74
	37.6%	15.8%	21.3%	28.1%	33.5%	40.5%	35.7%	41.1%	45.1%	43.8%
買い替えの際に、省エネルギー型の製品を選ぶように心がけている	381	1	4	20	48	65	43	36	84	74
	31.5%	5.3%	6.6%	17.5%	24.4%	26.9%	38.4%	37.9%	45.7%	43.8%
ゆっくり加速・減速などのエコドライブを実践している	191	0	9	18	30	44	17	22	34	16
	15.8%	0.0%	14.8%	15.8%	15.2%	18.2%	15.2%	23.2%	18.5%	9.5%
エコマークなどがついた環境に配慮した商品・サービスを選んでいる	122	0	2	7	18	20	9	11	29	23
	10.1%	0.0%	3.3%	6.1%	9.1%	8.3%	8.0%	11.6%	15.8%	13.6%
走行時に二酸化炭素を排出しない自動車(電気自動車やプラグインハイブリッド自動車など)を利用している	76	1	2	4	9	18	6	13	15	8
	6.3%	5.3%	3.3%	3.5%	4.6%	7.4%	5.4%	13.7%	8.2%	4.7%
太陽光発電システムなど再生可能エネルギーを利用する機器を導入している	45	1	0	4	13	11	2	5	6	3
	3.7%	5.3%	0.0%	3.5%	6.6%	4.5%	1.8%	5.3%	3.3%	1.8%
家庭エコ診断、うちエコ診断WEBサービスなどを活用し、省エネ専門家の意見を聞いたことある	8	0	0	0	1	1	1	3	1	1
	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%	0.9%	3.2%	0.5%	0.6%
その他	4	0	0	1	0	2	0	0	0	1
	0.3%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
特に取り組んでいない	17	0	2	2	5	1	2	0	3	2
	1.4%	0.0%	3.3%	1.8%	2.5%	0.4%	1.8%	0.0%	1.6%	1.2%
(無効回答)	16	0	2	0	2	4	2	2	1	3
	1.3%	0.0%	3.3%	0.0%	1.0%	1.7%	1.8%	2.1%	0.5%	1.8%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

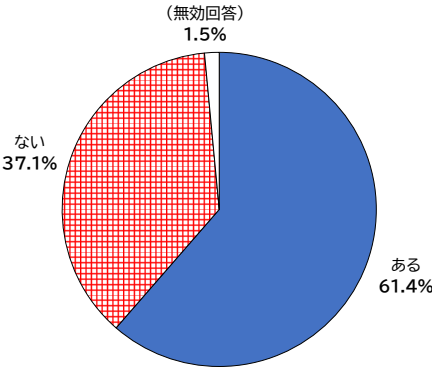
回答割合が2番目に高い:

【平和について】

問 56) あなたは、この1年間に、身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがありますか。

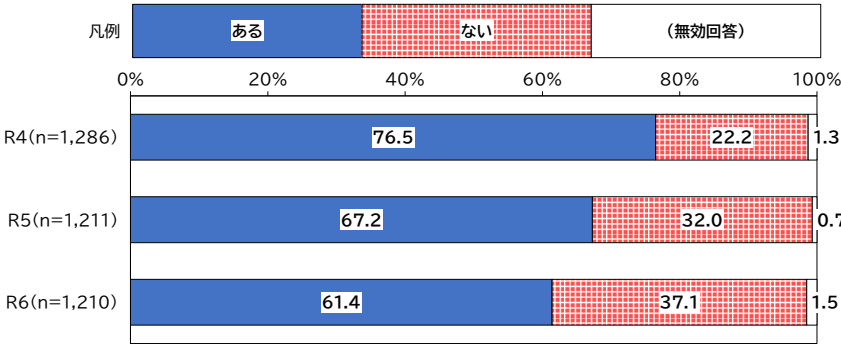
<全体 (n=1,210) >

○「ある」が61.4%、「ない」が37.1%となっています。



<経年比較>

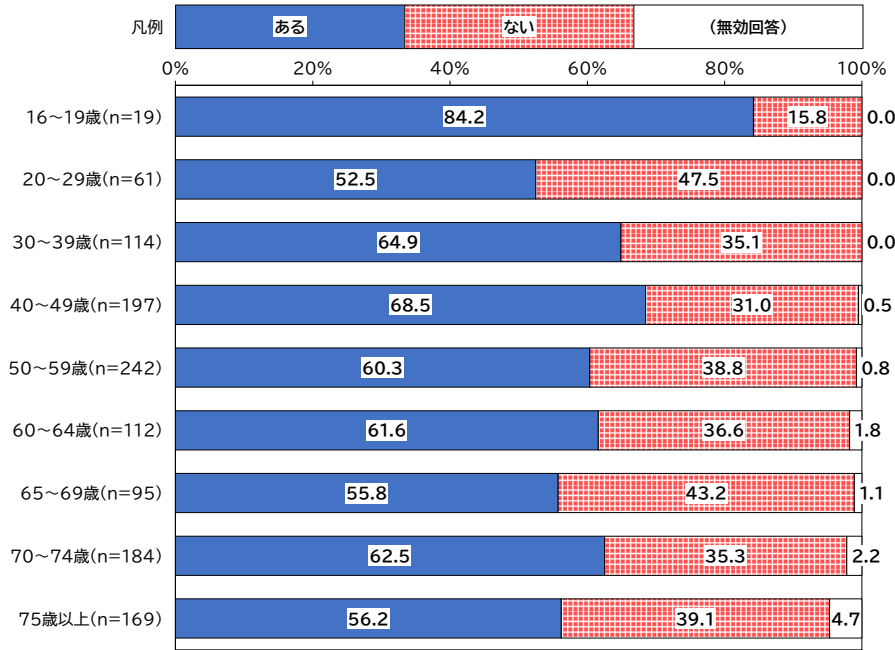
○「ある」は、令和5年度(67.2%)に比べて、5.8ポイント減少しています。



※「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査 (R4.12.12~12.28)」からの新設した調査項目です。

<年齢層別>

○「ある」は、16~19歳が84.2%で最も高く、20歳以上は50~60%台となっています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

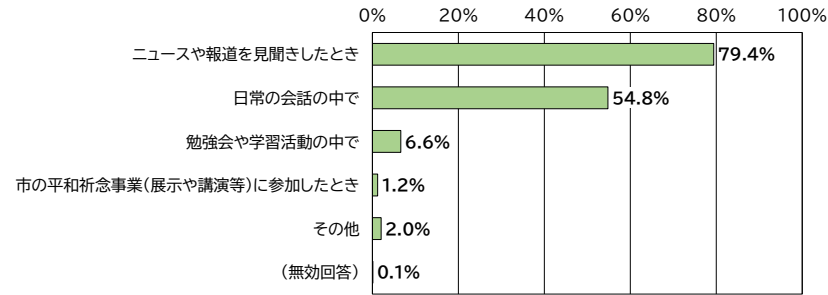
【図表 平和に関する施策についてのご意見・ご提案】(32件)

- ・ガザで何が起こっているのか、ガザに限らず私たちに何ができるか、市報やHPに載せるのはどうでしょうか。
- ・子どもに戦争の怖さを伝える機会、イベントがあれば参加したい。
- ・ゲゲゲ忌に、もう少し戦争関連の内容を、入れてみてはどうか。

問 56-1) 問 56 で「ある」と回答した方にうかがいます。それはどんな時ですか。

<全体 (n=743) >

○場面については、「ニュースや報道を見聞きしたとき」が 79.4%で最も高く、次いで「日常の会話の中で」の 54.8%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「ニュースや報道を見聞きしたとき」と「日常の会話の中で」が高くなっています。また、16～19 歳は「勉強会や学習活動の中で」も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	743	16	32	74	135	146	69	53	115	95
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ニュースや報道を見聞きしたとき	590	9	20	59	105	106	55	48	97	86
	79.4%	56.3%	62.5%	79.7%	77.8%	72.6%	79.7%	90.6%	84.3%	90.5%
日常の会話の中で	407	4	19	40	68	89	35	26	62	58
	54.8%	25.0%	59.4%	54.1%	50.4%	61.0%	50.7%	49.1%	53.9%	61.1%
勉強会や学習活動の中で	49	7	3	5	14	6	5	2	3	3
	6.6%	43.8%	9.4%	6.8%	10.4%	4.1%	7.2%	3.8%	2.6%	3.2%
市の平和祈念事業(展示や講演等)に参加したとき	9	0	1	0	1	2	0	0	3	2
	1.2%	0.0%	3.1%	0.0%	0.7%	1.4%	0.0%	0.0%	2.6%	2.1%
その他	15	1	0	3	4	2	0	0	4	1
	2.0%	6.3%	0.0%	4.1%	3.0%	1.4%	0.0%	0.0%	3.5%	1.1%
(無効回答)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

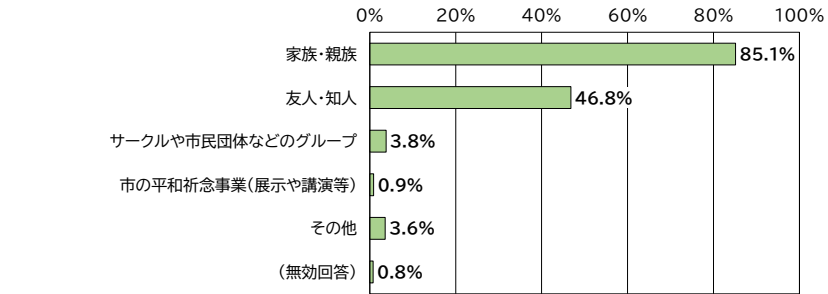
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

問 56-2) 問 56 で「ある」と回答した方にうかがいます。それは誰と話し合ったり、誰から聞いたりしましたか。

<全体 (n=743) >

○相手については、「家族・親族」が 85.1%で最も高く、次いで「友人・知人」の 46.8%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「家族・親族」と「友人・知人」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	743	16	32	74	135	146	69	53	115	95
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族・親族	632	10	21	67	120	126	55	47	98	83
	85.1%	62.5%	65.6%	90.5%	88.9%	86.3%	79.7%	88.7%	85.2%	87.4%
友人・知人	348	8	14	24	43	64	35	30	60	65
	46.8%	50.0%	43.8%	32.4%	31.9%	43.8%	50.7%	56.6%	52.2%	68.4%
サークルや市民団体などのグループ	28	0	0	0	1	2	4	3	7	9
	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	1.4%	5.8%	5.7%	6.1%	9.5%
市の平和祈念事業(展示や講演等)	7	0	0	2	0	0	1	0	2	1
	0.9%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.7%	1.1%
その他	27	3	3	5	4	5	3	0	2	2
	3.6%	18.8%	9.4%	6.8%	3.0%	3.4%	4.3%	0.0%	1.7%	2.1%
(無効回答)	6	0	1	0	1	1	0	1	1	1
	0.8%	0.0%	3.1%	0.0%	0.7%	0.7%	0.0%	1.9%	0.9%	1.1%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

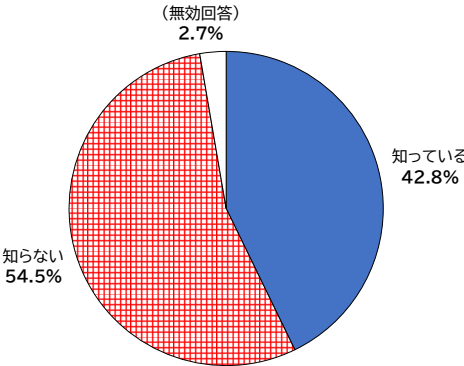
【児童虐待・人権・男女共同参画について】

問 57) あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する次の相談窓口を知っていますか。

<全体（n=1,210）>

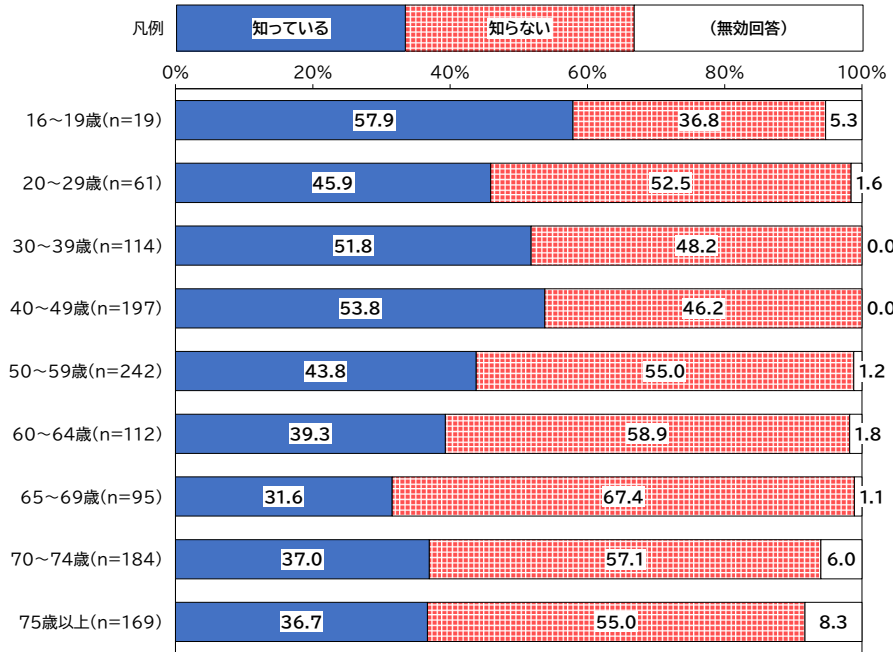
ア 児童虐待に関する相談窓口

○「知っている」は 42.8%, 「知らない」は 54.5%となっています。



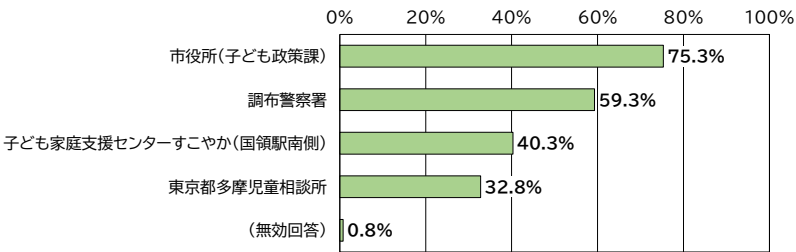
<年齢層別>

○「知っている」は、59歳以下が40%を超えている一方で、60歳以上では30%台にとどまっています。



<相談窓口（n=518）>

○「市役所（子ども政策課）」が 75.3%で最も高く、次いで「調布警察署」の 59.3%, 「子ども家庭支援センターすこやか（国領駅南側）」の 40.3%の順となっています。

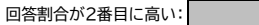


<年齢層別相談窓口>

○全ての年齢層で「市役所（子ども政策課）」は 60%を超え, 「調布警察署」は 50%を超えています。16～19歳と 40～49歳では, 「子ども家庭支援センターすこやか（国領駅南側）」も 50%を超えています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	518	11	28	59	106	106	44	30	68	62
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市役所(子ども政策課)	390	8	20	41	80	81	33	19	60	46
	75.3%	72.7%	71.4%	69.5%	75.5%	76.4%	75.0%	63.3%	88.2%	74.2%
調布警察署	307	7	19	33	56	61	23	22	47	37
	59.3%	63.6%	67.9%	55.9%	52.8%	57.5%	52.3%	73.3%	69.1%	59.7%
子ども家庭支援センターすこやか(国領駅南側)	209	6	9	26	57	39	20	10	20	20
	40.3%	54.5%	32.1%	44.1%	53.8%	36.8%	45.5%	33.3%	29.4%	32.3%
東京都多摩児童相談所	170	1	9	21	40	42	19	7	15	15
	32.8%	9.1%	32.1%	35.6%	37.7%	39.6%	43.2%	23.3%	22.1%	24.2%
(無効回答)	4	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

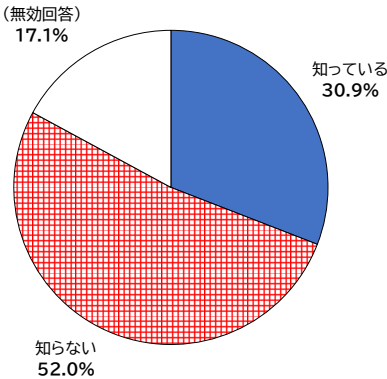
回答割合が最も高い:  回答割合が2番目に高い: 

<全体 (n=1,210) >

イ DV※（ドメスティックバイオレンス）に関する相談窓口

○「知っている」は 30.9%、「知らない」は 52.0%となっています。

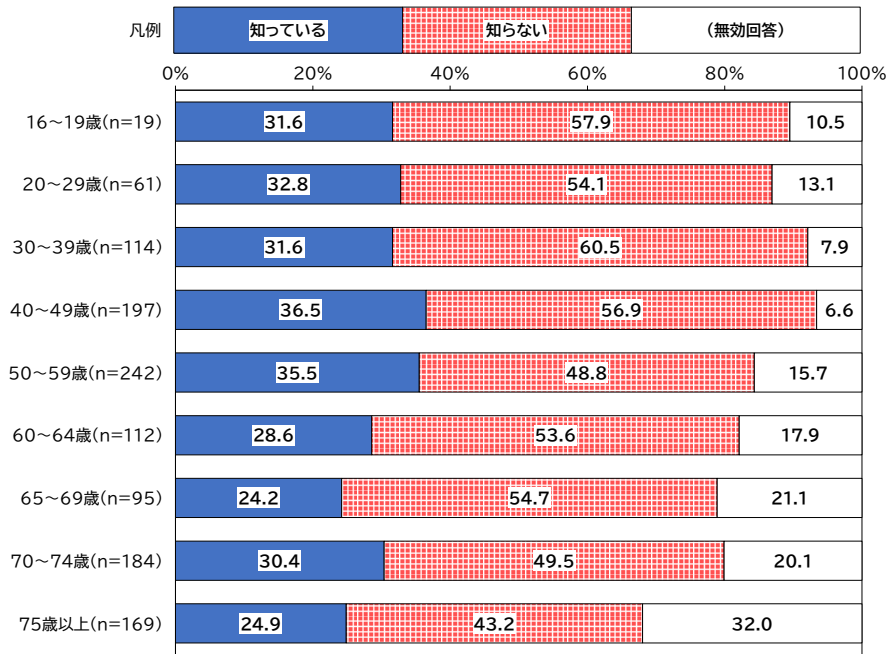
※「ドメスティックバイオレンス」とは、配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振られる暴力のこと。身体的な暴力のほか、言葉による暴力（大声で怒鳴る、屈辱的なことを言うなど）や、経済的な暴力（生活費を十分に渡さない、お金をせびるなど）も該当します。



<年齢層別>

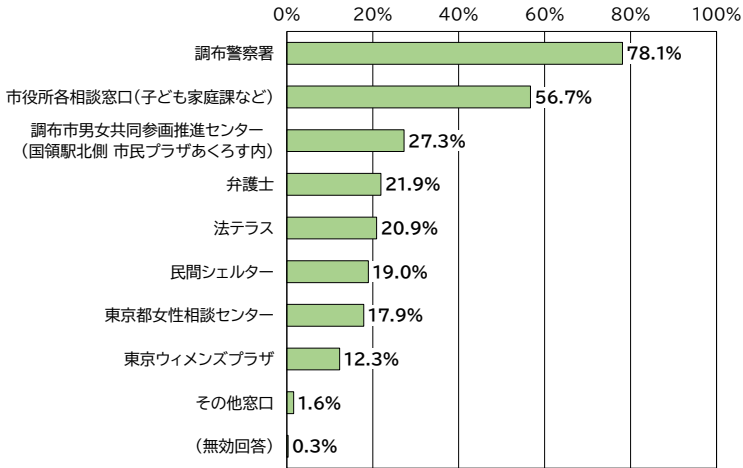
○「知っている」は、40～49 歳で 36.5%と最も高く、次いで 50～59 歳の 35.5%、20～29 歳の 32.8%の順となっています。

○いずれの年齢層も「知らない」が「知っている」を上回っています。



<相談窓口 (n=374) >

○「調布警察署」が 78.1%で最も高く、次いで「市役所各相談窓口（子ども家庭課など）」の 56.7%、「調布市男女共同参画推進センター（国領駅北側 市民プラザあくろす内）」の 27.3%の順となっています。



<年齢層別相談窓口>

○いずれの年齢層でも「調布警察署」が最も高く、「市役所各相談窓口（子ども家庭課など）」が2 番目に高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	374	6	20	36	72	86	32	23	56	42
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
調布警察署	292	5	17	29	58	65	23	19	45	30
	78.1%	83.3%	85.0%	80.6%	80.6%	75.6%	71.9%	82.6%	80.4%	71.4%
市役所各相談窓口(子ども家庭課など)	212	4	14	19	41	46	14	15	34	25
	56.7%	66.7%	70.0%	52.8%	56.9%	53.5%	43.8%	65.2%	60.7%	59.5%
調布市男女共同参画推進センター(国領駅北側 市民プラザあくろす内)	102	1	6	10	15	25	10	3	20	12
	27.3%	16.7%	30.0%	27.8%	20.8%	29.1%	31.3%	13.0%	35.7%	28.6%
弁護士	82	1	7	12	21	18	8	3	8	4
	21.9%	16.7%	35.0%	33.3%	29.2%	20.9%	25.0%	13.0%	14.3%	9.5%
法テラス	78	3	4	11	13	21	8	1	11	6
	20.9%	50.0%	20.0%	30.6%	18.1%	24.4%	25.0%	4.3%	19.6%	14.3%
民間シェルター	71	2	4	8	19	20	4	4	4	6
	19.0%	33.3%	20.0%	22.2%	26.4%	23.3%	12.5%	17.4%	7.1%	14.3%
東京都女性相談センター	67	0	4	6	13	16	9	1	7	11
	17.9%	0.0%	20.0%	16.7%	18.1%	18.6%	28.1%	4.3%	12.5%	26.2%
東京ウィメンズプラザ	46	0	2	5	9	14	7	1	2	6
	12.3%	0.0%	10.0%	13.9%	12.5%	16.3%	21.9%	4.3%	3.6%	14.3%
その他窓口	6	0	0	2	1	0	1	0	1	0
	1.6%	0.0%	0.0%	5.6%	1.4%	0.0%	3.1%	0.0%	1.8%	0.0%
(無効回答)	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

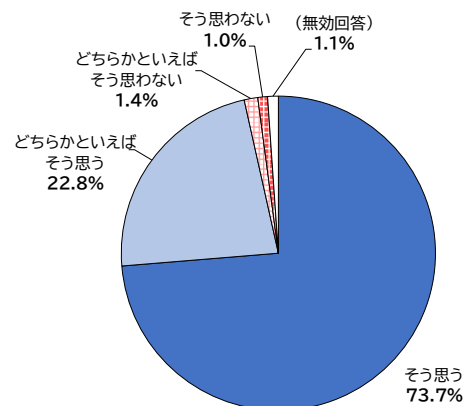
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [調布警察署] 回答割合が2番目に高い: [市役所各相談窓口]

問 58) あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。

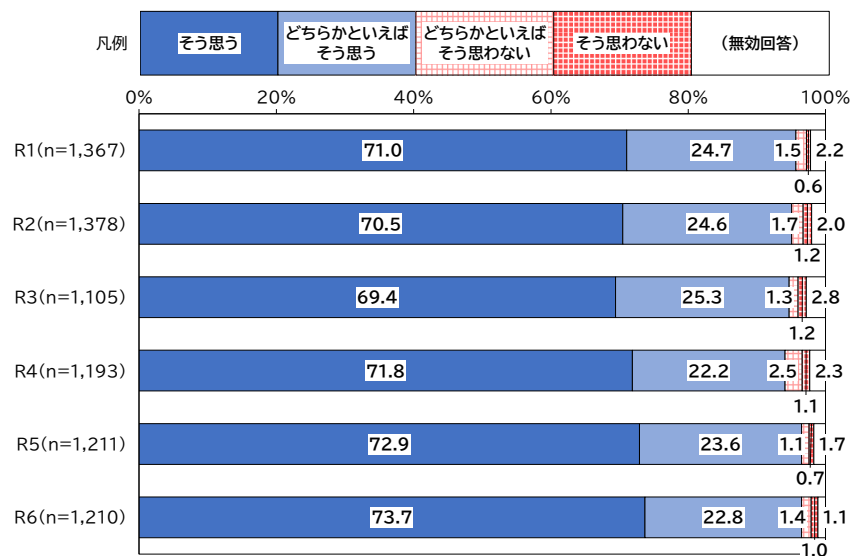
<全体 (n=1,210) >

○「そう思う」が 73.7%, 「どちらかといえばそう思う」が 22.8%で、合計 96.5%を占めています。



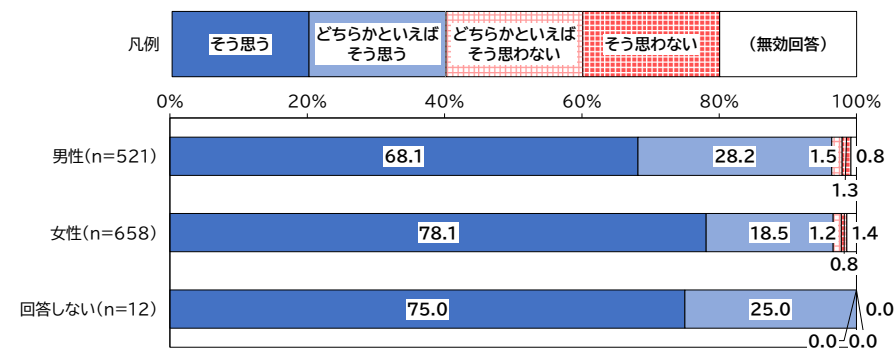
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和元年度以降、一貫して 95%前後で推移しています。



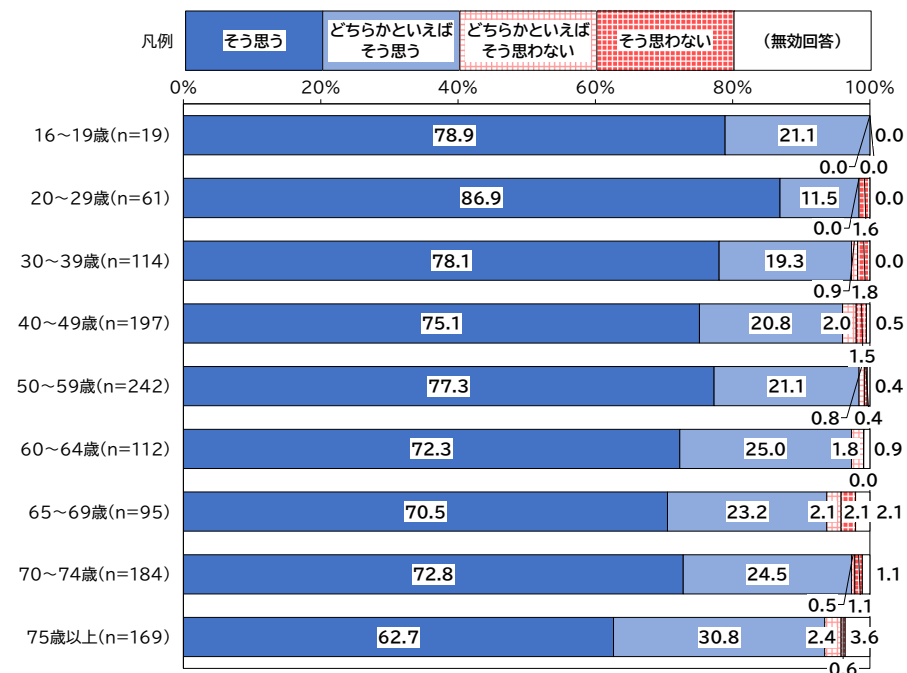
<性別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、男性が 96.3%, 女性が 96.6% となっています。



<年齢層別>

○全ての年齢層で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が 90%を超えています。また、「そう思う」は、おおむね年齢が下がるにつれて高くなる傾向にあります。



<自由記述> 主な意見を抜粋

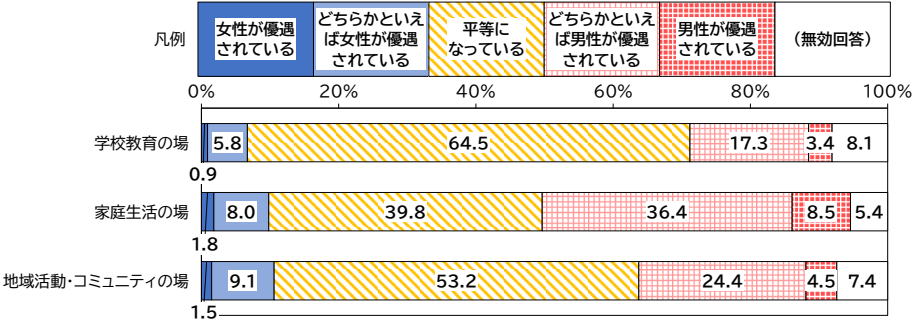
【図表 人権・男女共同参画に関する施策についてのご意見・ご提案】(44 件)

- ・ 幼児・子どもの教育の段階から、男女共に平等教育をすべき。
- ・ 以前より男性の参加、役割分担は増えていると思うが、まだまだ女性の負担が多い。社会全体の意識を変化させるために、夫婦、地域で話題にする機会を作って頂けたらと思う。
- ・ まったくの平等ではなく、男女の特性による区別（役割分担）も必要だと思う。
- ・ 特に高齢男性の意識を変えることも重要だと思う。
- ・ 育休の推進により女性の社会進出をもっと促すべき。

問 59) 次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。

<全体 (n=1,210) >

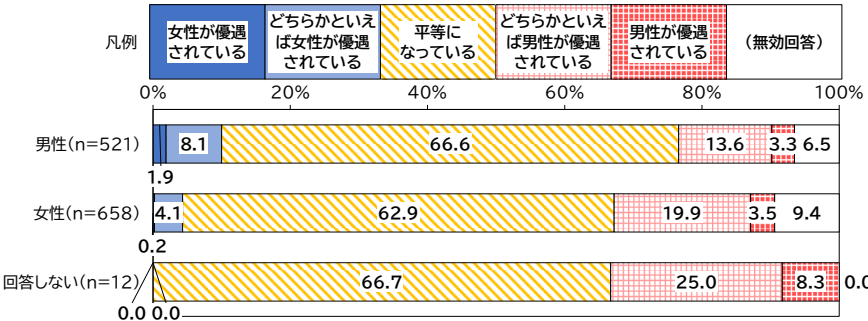
○「学校教育の場」及び「地域活動・コミュニティの場」では「平等になっている」が半数を超えています、「家庭生活の場」では、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計が 44.9% で高くなっています。



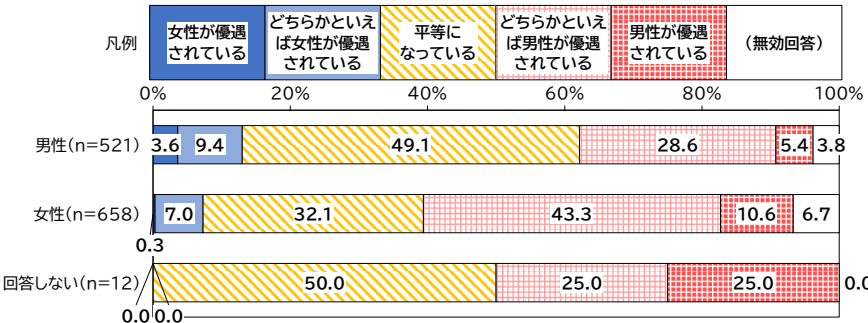
<性別>

○いずれの場面も、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計が、「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」の合計を上回っていますが、「学校教育の場」では、「平等になっている」が男性・女性とも 60% を超えています。

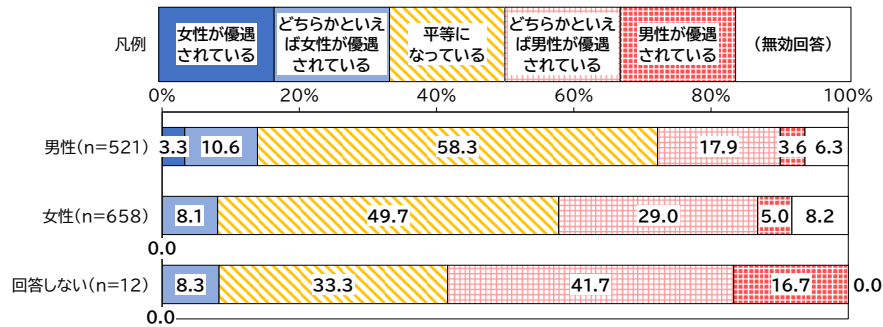
学校教育の場



家庭生活の場



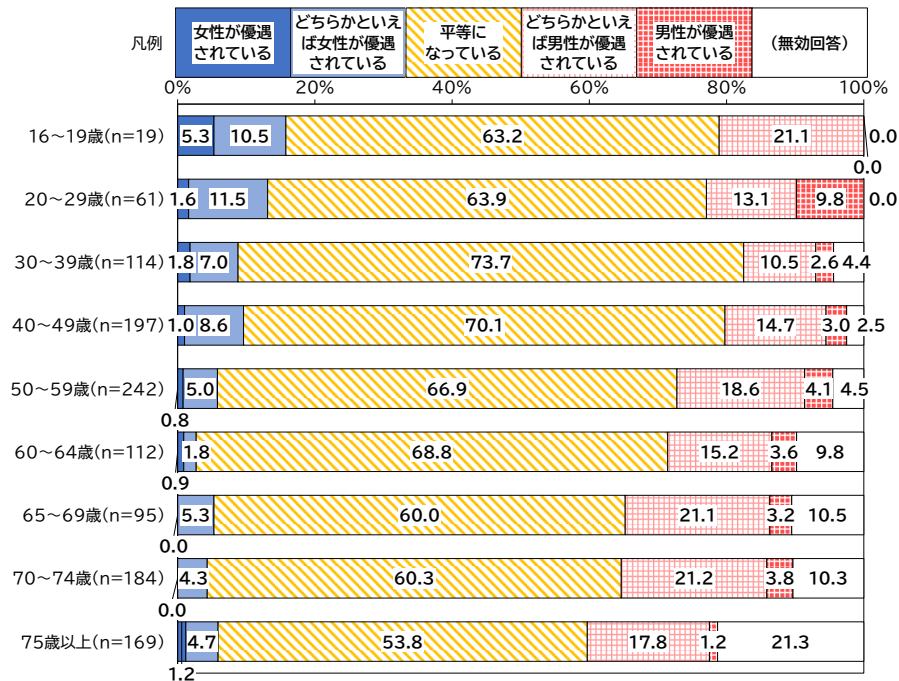
地域活動・コミュニティの場



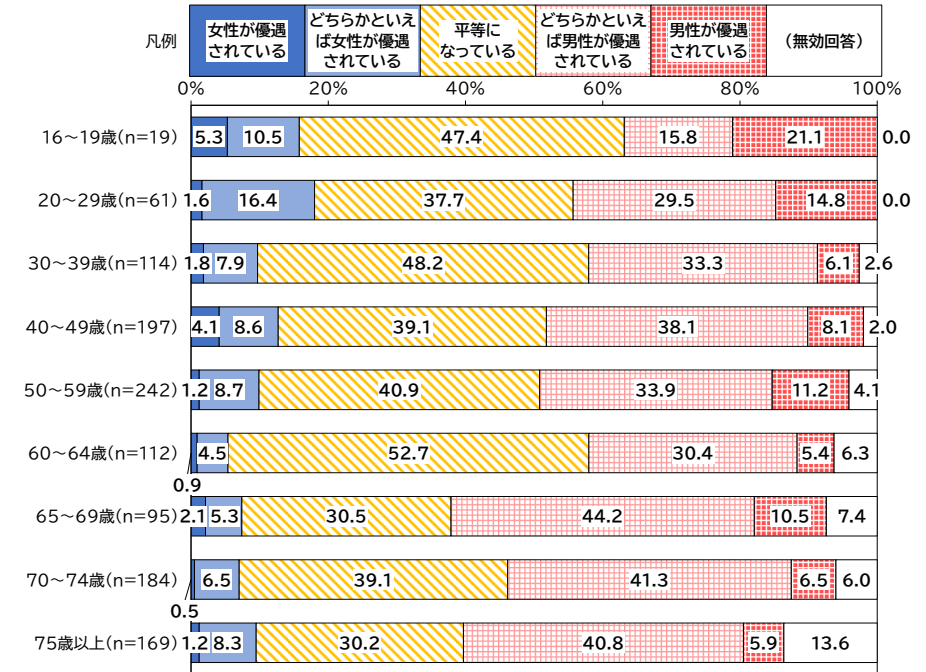
<年齢層別>

○いずれの場面、年齢層も、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計が、「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」の合計を上回っていますが、「学校教育の場」では、「平等になっている」がいずれの年齢層も 50%を超えています。

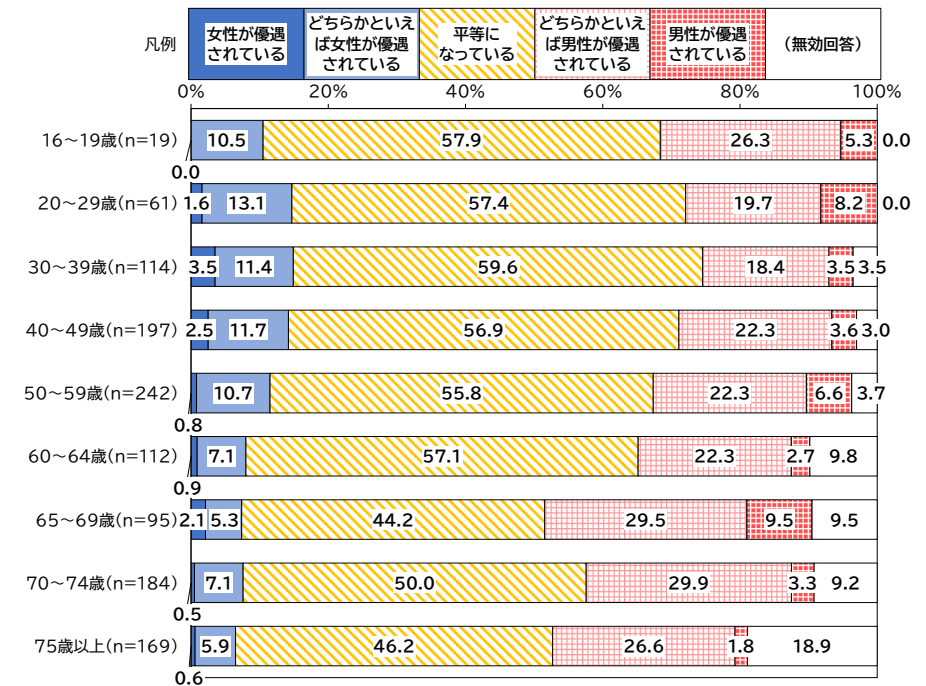
学校教育の場



家庭生活の場



地域活動・コミュニティの場

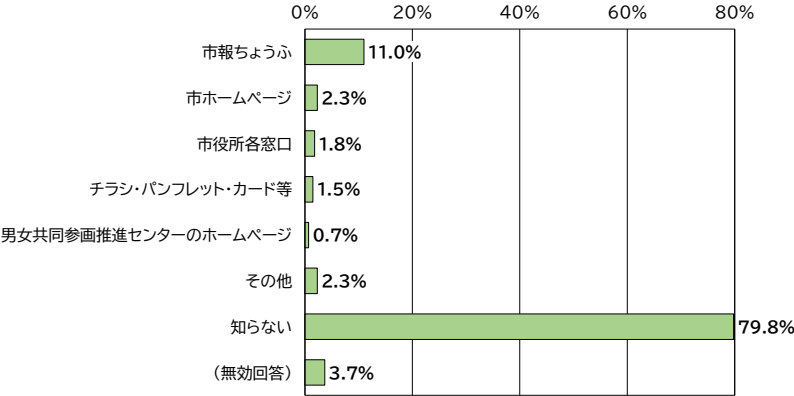


問 60) あなたは、多様な性に関する市の取組について知っていますか。知っている場合は、何によって知ったかあてはまるものを選んでください。

調布市パートナーシップ宣誓制度※

<全体 (n=1,210) >

○「市報ちょうふ」が 11.0%で最も高くなっています。なお、「知らない」は 79.8%となっています。



※「調布市パートナーシップ宣誓制度」とは、同性同士のカップル等について、結婚に相当するパートナー関係であることを公的に証明する制度で、都内では 23 市区（令和 6 年 9 月現在）が実施しています。ただし、法律婚とは異なり法的効力はありません。

<年齢層別>

○16～19 歳では、「チラシ・パンフレット・カード等」、20 歳以上では、「市報ちょうふ」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市報ちょうふ	133	0	3	11	22	26	13	5	25	26
	11.0%	0.0%	4.9%	9.6%	11.2%	10.7%	11.6%	5.3%	13.6%	15.4%
市ホームページ	28	1	1	4	6	7	2	1	2	4
	2.3%	5.3%	1.6%	3.5%	3.0%	2.9%	1.8%	1.1%	1.1%	2.4%
市役所各窓口	22	0	1	3	2	8	2	1	2	3
	1.8%	0.0%	1.6%	2.6%	1.0%	3.3%	1.8%	1.1%	1.1%	1.8%
チラシ・パンフレット・カード等	18	3	0	0	3	3	1	0	2	6
	1.5%	15.8%	0.0%	0.0%	1.5%	1.2%	0.9%	0.0%	1.1%	3.6%
男女共同参画推進センターのホームページ	8	0	1	0	0	4	1	0	0	2
	0.7%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	1.7%	0.9%	0.0%	0.0%	1.2%
その他	28	3	4	3	2	5	5	0	2	3
	2.3%	15.8%	6.6%	2.6%	1.0%	2.1%	4.5%	0.0%	1.1%	1.8%
知らない	965	13	53	94	164	192	88	82	146	120
	79.8%	68.4%	86.9%	82.5%	83.2%	79.3%	78.6%	86.3%	79.3%	71.0%
(無効回答)	45	0	0	2	2	6	2	6	9	17
	3.7%	0.0%	0.0%	1.8%	1.0%	2.5%	1.8%	6.3%	4.9%	10.1%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

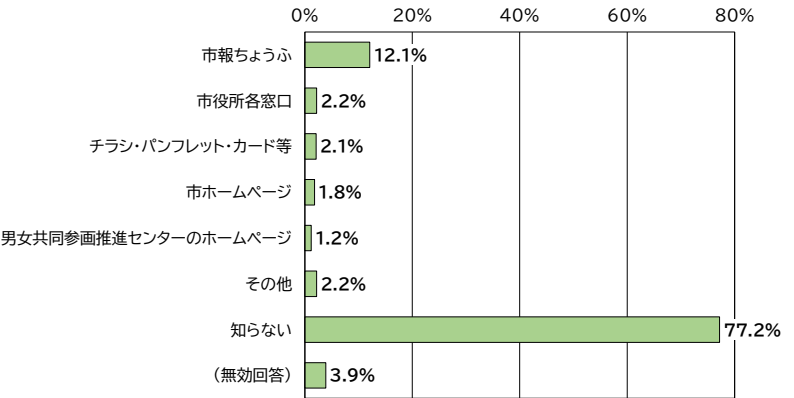
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

多様な性に関する相談

<全体 (n=1,210) >

○「市報ちょうふ」が 12.1%で最も高くなっています。なお、「知らない」は 77.2%となっています。



<年齢層別>

○20 歳以上では、「市報ちょうふ」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市報ちょうふ	147	0	5	7	24	32	11	10	28	28
	12.1%	0.0%	8.2%	6.1%	12.2%	13.2%	9.8%	10.5%	15.2%	16.6%
市役所各窓口	27	0	2	4	4	8	2	1	2	4
	2.2%	0.0%	3.3%	3.5%	2.0%	3.3%	1.8%	1.1%	1.1%	2.4%
チラシ・パンフレット・カード等	26	0	0	1	6	5	1	0	7	6
	2.1%	0.0%	0.0%	0.9%	3.0%	2.1%	0.9%	0.0%	3.8%	3.6%
市ホームページ	22	1	0	2	3	5	3	0	2	6
	1.8%	5.3%	0.0%	1.8%	1.5%	2.1%	2.7%	0.0%	1.1%	3.6%
男女共同参画推進センターのホームページ	15	0	1	2	2	4	1	0	3	2
	1.2%	0.0%	1.6%	1.8%	1.0%	1.7%	0.9%	0.0%	1.6%	1.2%
その他	27	3	4	3	3	4	4	0	2	2
	2.2%	15.8%	6.6%	2.6%	1.5%	1.7%	3.6%	0.0%	1.1%	1.2%
知らない	934	15	50	96	156	187	89	78	138	113
	77.2%	78.9%	82.0%	84.2%	79.2%	77.3%	79.5%	82.1%	75.0%	66.9%
(無効回答)	47	0	0	2	2	6	2	6	9	19
	3.9%	0.0%	0.0%	1.8%	1.0%	2.5%	1.8%	6.3%	4.9%	11.2%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

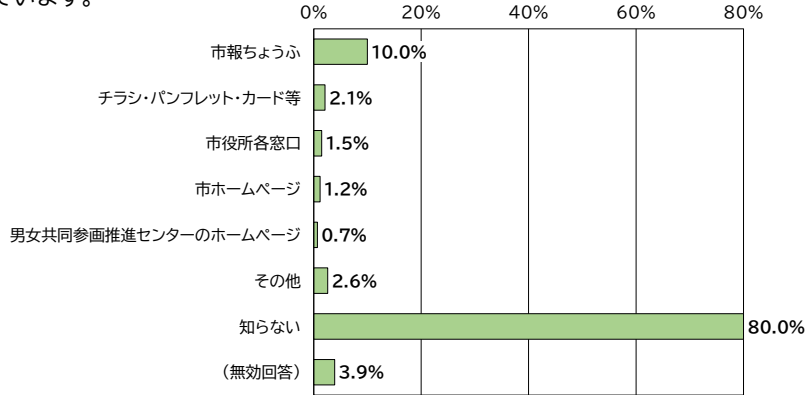
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

LGBT※1やSOGI※2に関する講座

<全体 (n=1,210) >

○「市報ちょうふ」が 10.0%で最も高くなっています。なお、「知らない」は 80.0%となっています。



※1「LGBT」とは、Lはレズビアン（女性の同性愛者）、Gはゲイ（男性の同性愛者）、Bはバイセクシャル（両性愛者）、Tはトランスジェンダー（性的違和感を持つ方）の頭文字を取った言葉で、性的マイノリティの総称のひとつとして使われています。さらに、自分の性のあり方について「わからない」「迷っている」「決めたくない」などの人を指すクエスチョニング（Questioning）や性的マイノリティを包括するクイア（Queer）の頭文字と、これ以外の様々な性のあり方を指す「+」からなる「LGBTQ+」という言葉もあります。性的マイノリティとは、性のあり方が多数派と異なる人のことをいい、「からだの性」と「自分が認識する性」が一致しない人（性同一性障害）、恋愛感情などの性的な意識が同性又は両性に向かう人（同性愛者、両性愛者）などを総称した言葉です。

※2「SOGI」とは、「Sexual Orientation and Gender Identity（性的指向と性自認）」の頭文字を取った言葉です。さらに、性表現（Gender Expression）の頭文字を加えた「SOGIE」という言葉もあります。近年、LGBTのほか、SOGIという言葉で表現されることもあります。

<年齢層別>

○20歳以上では、「市報ちょうふ」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市報ちょうふ	121	0	2	10	19	29	12	9	22	17
	10.0%	0.0%	3.3%	8.8%	9.6%	12.0%	10.7%	9.5%	12.0%	10.1%
チラシ・パンフレット・カード等	25	0	1	3	7	5	2	0	4	3
	2.1%	0.0%	1.6%	2.6%	3.6%	2.1%	1.8%	0.0%	2.2%	1.8%
市役所各窓口	18	0	2	2	3	6	1	1	1	2
	1.5%	0.0%	3.3%	1.8%	1.5%	2.5%	0.9%	1.1%	0.5%	1.2%
市ホームページ	15	1	0	3	3	5	2	0	1	0
	1.2%	5.3%	0.0%	2.6%	1.5%	2.1%	1.8%	0.0%	0.5%	0.0%
男女共同参画推進センターのホームページ	9	0	2	1	1	3	1	0	1	0
	0.7%	0.0%	3.3%	0.9%	0.5%	1.2%	0.9%	0.0%	0.5%	0.0%
その他	32	1	3	4	3	6	5	0	3	5
	2.6%	5.3%	4.9%	3.5%	1.5%	2.5%	4.5%	0.0%	1.6%	3.0%
知らない	968	17	52	93	163	189	88	79	148	126
	80.0%	89.5%	85.2%	81.6%	82.7%	78.1%	78.6%	83.2%	80.4%	74.6%
(無効回答)	47	0	0	2	2	6	2	6	9	19
	3.9%	0.0%	0.0%	1.8%	1.0%	2.5%	1.8%	6.3%	4.9%	11.2%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

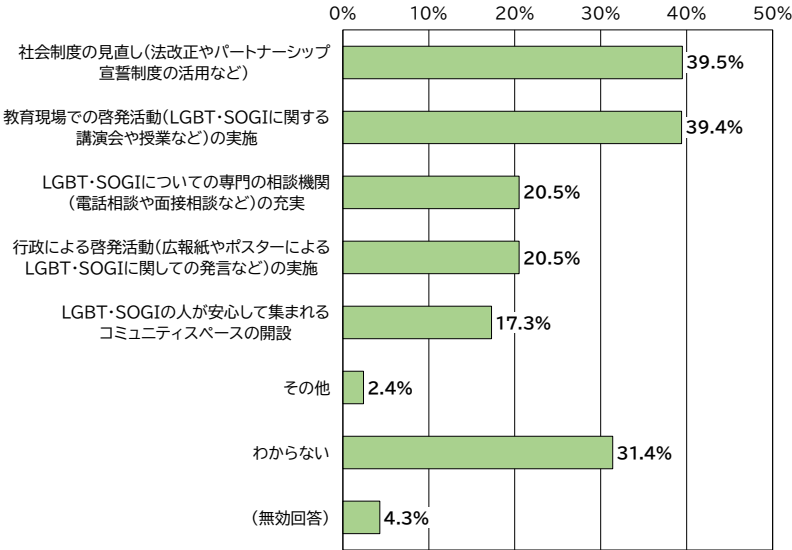
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

問 61) あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いますか。

<全体 (n=1,210) >

○「社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ宣誓制度の活用など）」(39.5%)と「教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）の実施」(39.4%)が高くなっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ宣誓制度の活用など）」、「教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）」の実施」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
社会制度の見直し(法改正やパートナーシップ宣誓制度の活用など)	478	9	31	45	78	103	44	43	66	54
	39.5%	47.4%	50.8%	39.5%	39.6%	42.6%	39.3%	45.3%	35.9%	32.0%
教育現場での啓発活動(LGBT・SOGIに関する講演会や授業など)の実施	477	8	17	40	78	108	43	42	73	60
	39.4%	42.1%	27.9%	35.1%	39.6%	44.6%	38.4%	44.2%	39.7%	35.5%
LGBT・SOGIについての専門の相談機関(電話相談や面接相談など)の充実	248	3	10	18	46	54	27	28	35	24
	20.5%	15.8%	16.4%	15.8%	23.4%	22.3%	24.1%	29.5%	19.0%	14.2%
行政による啓発活動(広報紙やポスターによるLGBT・SOGIに関しての発言など)の実施	248	0	9	21	30	52	20	21	50	42
	20.5%	0.0%	14.8%	18.4%	15.2%	21.5%	17.9%	22.1%	27.2%	24.9%
LGBT・SOGIの人が安心して集まれるコミュニティスペースの開設	209	7	11	21	36	50	17	12	28	25
	17.3%	36.8%	18.0%	18.4%	18.3%	20.7%	15.2%	12.6%	15.2%	14.8%
その他	29	0	3	5	10	4	4	2	0	1
	2.4%	0.0%	4.9%	4.4%	5.1%	1.7%	3.6%	2.1%	0.0%	0.6%
わからない	380	7	16	31	56	67	32	30	76	59
	31.4%	36.8%	26.2%	27.2%	28.4%	27.7%	28.6%	31.6%	41.3%	34.9%
(無効回答)	52	0	0	4	1	6	4	3	6	26
	4.3%	0.0%	0.0%	3.5%	0.5%	2.5%	3.6%	3.2%	3.3%	15.4%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 取組が必要だと思う理由】(111件)

- ・子供が物心ついたところから自然に受容できる環境づくりが必要。
- ・あまり過度な LGBT 啓発活動が必要だと思わない。ただ理解を深めるための普及活動は少しあると良い。何でも優遇すべきではないと思う。
- ・わからないことで誤解が生じてくると思うので、時に情報を出すことが必要かと思う。
- ・あまりにも意見が多過ぎてまとめきれないと思う。LGBT を盾に他人に加害する人もいるため慎重に取り組むべき問題だと感じている。
- ・どんな人でも心の安心は必要なので、話したり相談できる場所は重要。

【図表 多様な性に対する理解の促進についてのご意見・ご提案】(61件)

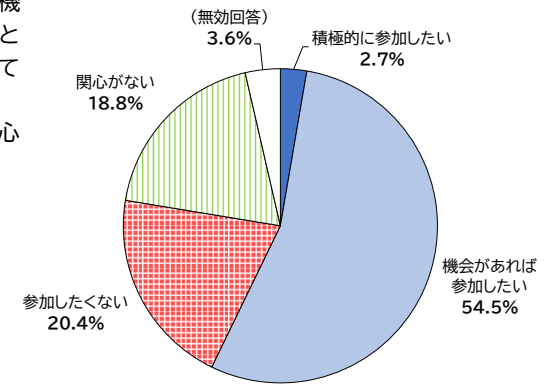
- ・中学校の制服を廃止するべきです。値段も高いし男女差別をする必要がない。今すぐ実行して下さい。
- ・性自認で公衆浴場の男女が選べる自由など、子を持つ親としては怖くて仕方ないです。そこらへんの線引きは常識的に検討してもらいたい。
- ・基本個人の問題だと思います。促進しなくて良い。

【市民参加について】

問 62) あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いますか。

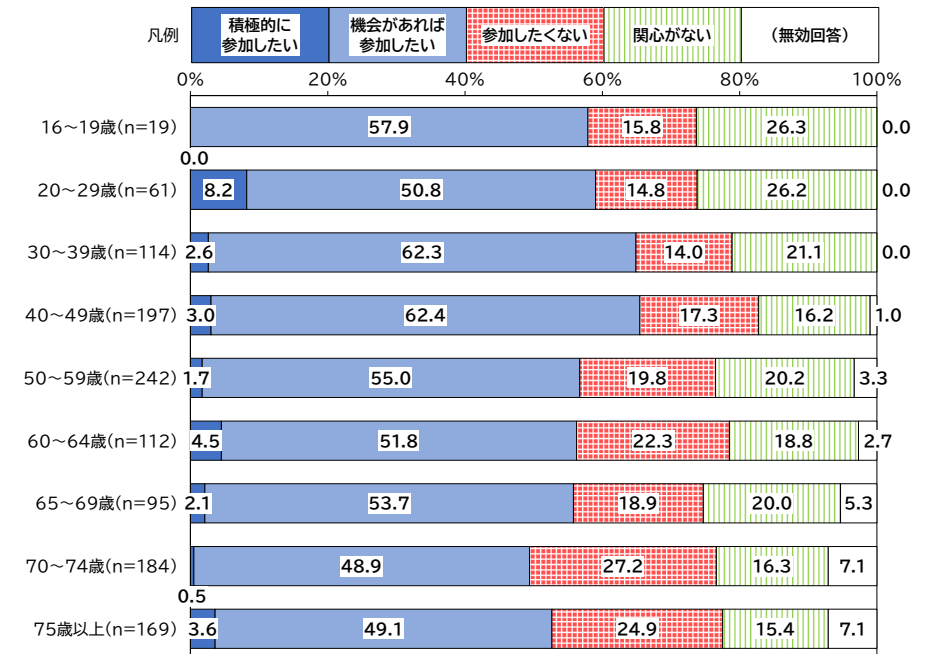
<全体 (n=1,210) >

- 「積極的に参加したい」は 2.7%、「機会があれば参加したい」は 54.5%となっており、合計で 57.2%となっています。
- 「参加したくない」は 20.4%、「関心がない」は 18.8%となっています。



<年齢層別>

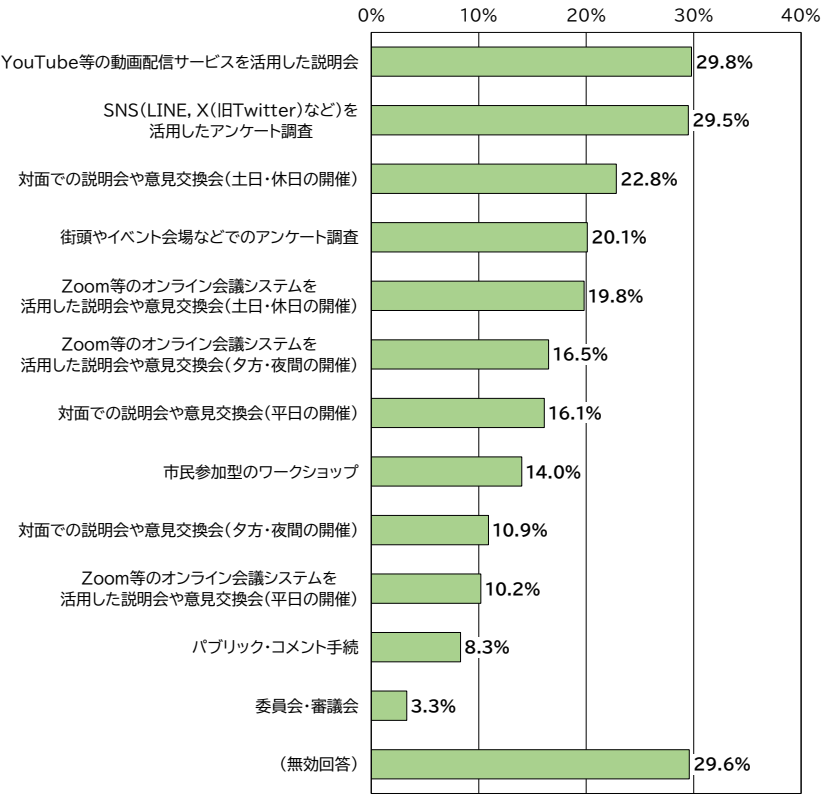
○「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計は、70～74 歳を除く全ての年齢層で半数を上回っています。



問 63) あなたは、市民参加の取組を行うとしたら、どのような手法なら参加できますか。

<全体 (n=1,210) >

○「YouTube等の動画配信サービスを活用した説明会」が29.8%で最も高く、次いで「SNS（LINE、X（旧 Twitter）など）を活用したアンケート調査」の29.5%、「対面での説明会や意見交換会（土日・休日の開催）」の22.8%の順となっています。



<年齢層別>

○「YouTube等の動画配信サービスを活用した説明会」は69歳以下で高く、「SNS（LINE、X（旧 Twitter）など）を活用したアンケート調査」は59歳以下で高くなっています。「対面での説明会や意見交換会（土日・休日の開催）」は60～69歳で、「対面での説明会や意見交換会（平日の開催）」は65歳以上で高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
YouTube等の動画配信サービスを活用した説明会	360	9	30	54	74	88	37	27	24	13
	29.8%	47.4%	49.2%	47.4%	37.6%	36.4%	33.0%	28.4%	13.0%	7.7%
SNS(LINE, X(旧Twitter)など)を活用したアンケート調査	357	14	42	66	75	81	29	11	24	12
	29.5%	73.7%	68.9%	57.9%	38.1%	33.5%	25.9%	11.6%	13.0%	7.1%
対面での説明会や意見交換会(土日・休日の開催)	276	7	19	29	58	58	37	20	22	21
	22.8%	36.8%	31.1%	25.4%	29.4%	24.0%	33.0%	21.1%	12.0%	12.4%
街頭やイベント会場などでのアンケート調査	243	4	18	29	41	52	26	8	33	29
	20.1%	21.1%	29.5%	25.4%	20.8%	21.5%	23.2%	8.4%	17.9%	17.2%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会(土日・休日の開催)	239	6	17	36	61	63	27	9	9	9
	19.8%	31.6%	27.9%	31.6%	31.0%	26.0%	24.1%	9.5%	4.9%	5.3%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会(夕方・夜間の開催)	200	3	18	34	49	53	17	11	7	5
	16.5%	15.8%	29.5%	29.8%	24.9%	21.9%	15.2%	11.6%	3.8%	3.0%
対面での説明会や意見交換会(平日の開催)	195	0	5	9	16	24	17	20	54	47
	16.1%	0.0%	8.2%	7.9%	8.1%	9.9%	15.2%	21.1%	29.3%	27.8%
市民参加型のワークショップ	170	0	4	18	33	35	13	8	26	27
	14.0%	0.0%	6.6%	15.8%	16.8%	14.5%	11.6%	8.4%	14.1%	16.0%
対面での説明会や意見交換会(夕方・夜間の開催)	132	1	14	21	30	29	11	9	8	7
	10.9%	5.3%	23.0%	18.4%	15.2%	12.0%	9.8%	9.5%	4.3%	4.1%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会(平日の開催)	123	1	6	11	23	22	13	9	19	18
	10.2%	5.3%	9.8%	9.6%	11.7%	9.1%	11.6%	9.5%	10.3%	10.7%
パブリック・コメント手続	101	3	8	11	16	21	10	3	13	15
	8.3%	15.8%	13.1%	9.6%	8.1%	8.7%	8.9%	3.2%	7.1%	8.9%
委員会・審議会	40	0	1	1	6	8	4	3	5	10
	3.3%	0.0%	1.6%	0.9%	3.0%	3.3%	3.6%	3.2%	2.7%	5.9%
(無効回答)	358	2	6	21	42	63	24	42	72	81
	29.6%	10.5%	9.8%	18.4%	21.3%	26.0%	21.4%	44.2%	39.1%	47.9%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

<自由記述>主な意見を抜粋

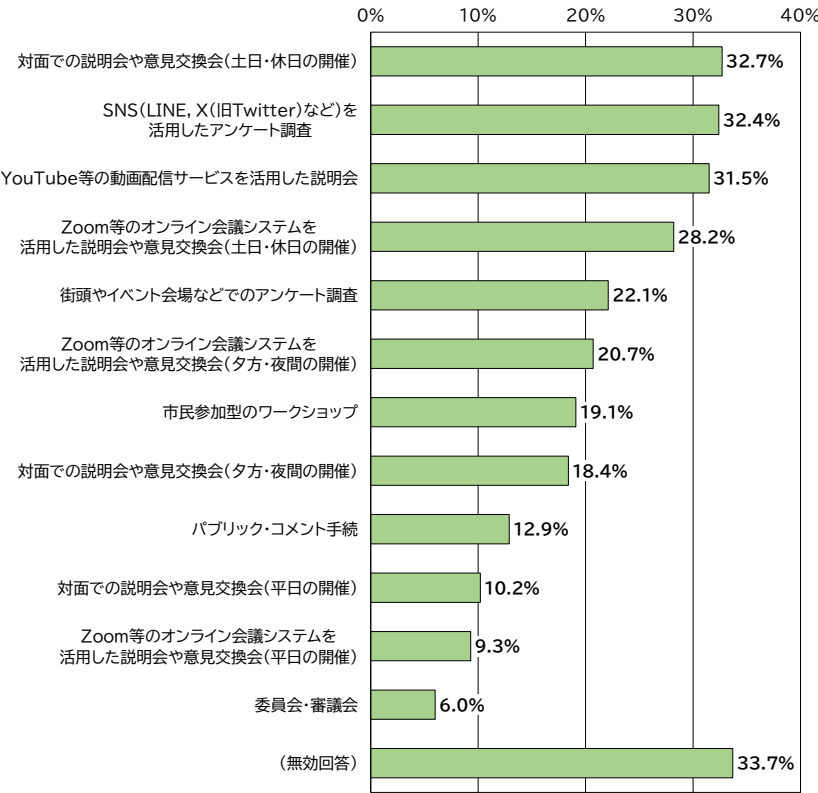
【図表 参加できる／意見が届きやすいと思う理由】(84件)

- ・足を運ぶより、動画配信や zoom の時代だと思う。
- ・共働きの場合は土休日希望ですが、土休日仕事の方向けに平日も必要と思います。オンライン型は概要説明に有効かと思います。
- ・広く浅く意見を集める必要がある。一定の強い思想の人だけの参加は良くない。
- ・SNS参加は便利であるが無責任な発言も容易にできてしまうので対面での取り組みがいいと思う。

問 63) (続き) あなたは、より多くの市民の意見が行政に届くには、どのような参加手法をとればよいと思いますか。

<全体 (n=1,210) >

- 「対面での説明会や意見交換会（土日・休日の開催）」が 32.7%で最も高く、次いで「SNS（LINE, X（旧 Twitter）など）を活用したアンケート調査」の 32.4%、「YouTube 等の動画配信サービスを活用した説明会」の 31.5%の順となっています。



<年齢層別>

○60～64 歳と 70 歳以上では、「対面での説明会や意見交換会（土日・休日の開催）」、49 歳以下では、「SNS（LINE, X（旧 Twitter）など）を活用したアンケート調査」、50～59 歳と 65～69 歳は「YouTube 等の動画配信サービスを活用した説明会」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳 以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
対面での説明会や意見交換会(土日・休日の開催)	396	8	32	46	72	87	46	19	52	28
	32.7%	42.1%	52.5%	40.4%	36.5%	36.0%	41.1%	20.0%	28.3%	16.6%
SNS(LINE, X(旧Twitter)など)を活用したアンケート調査	392	13	36	63	87	83	34	21	37	13
	32.4%	68.4%	59.0%	55.3%	44.2%	34.3%	30.4%	22.1%	20.1%	7.7%
YouTube等の動画配信サービスを活用した説明会	381	8	25	44	71	93	45	29	39	19
	31.5%	42.1%	41.0%	38.6%	36.0%	38.4%	40.2%	30.5%	21.2%	11.2%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会(土日・休日の開催)	341	6	26	50	70	80	37	20	30	18
	28.2%	31.6%	42.6%	43.9%	35.5%	33.1%	33.0%	21.1%	16.3%	10.7%
街頭やイベント会場などでのアンケート調査	268	6	19	34	49	59	23	16	33	24
	22.1%	31.6%	31.1%	29.8%	24.9%	24.4%	20.5%	16.8%	17.9%	14.2%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会(夕方・夜間の開催)	251	3	21	34	62	61	24	15	16	11
	20.7%	15.8%	34.4%	29.8%	31.5%	25.2%	21.4%	15.8%	8.7%	6.5%
市民参加型のワークショップ	231	8	13	23	46	53	21	18	24	21
	19.1%	42.1%	21.3%	20.2%	23.4%	21.9%	18.8%	18.9%	13.0%	12.4%
対面での説明会や意見交換会(夕方・夜間の開催)	223	6	22	22	48	55	22	12	23	9
	18.4%	31.6%	36.1%	19.3%	24.4%	22.7%	19.6%	12.6%	12.5%	5.3%
パブリック・コメント手続	156	2	10	18	29	35	12	8	25	14
	12.9%	10.5%	16.4%	15.8%	14.7%	14.5%	10.7%	8.4%	13.6%	8.3%
対面での説明会や意見交換会(平日の開催)	123	4	9	13	30	24	8	9	15	10
	10.2%	21.1%	14.8%	11.4%	15.2%	9.9%	7.1%	9.5%	8.2%	5.9%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会(平日の開催)	113	1	12	10	31	29	8	10	4	8
	9.3%	5.3%	19.7%	8.8%	15.7%	12.0%	7.1%	10.5%	2.2%	4.7%
委員会・審議会	72	4	5	7	16	15	4	6	7	7
	6.0%	21.1%	8.2%	6.1%	8.1%	6.2%	3.6%	6.3%	3.8%	4.1%
(無効回答)	408	0	9	19	40	68	29	43	83	111
	33.7%	0.0%	14.8%	16.7%	20.3%	28.1%	25.9%	45.3%	45.1%	65.7%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 回答割合が2番目に高い:

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 市民参加の取組についてのご意見・ご提案】(37 件)

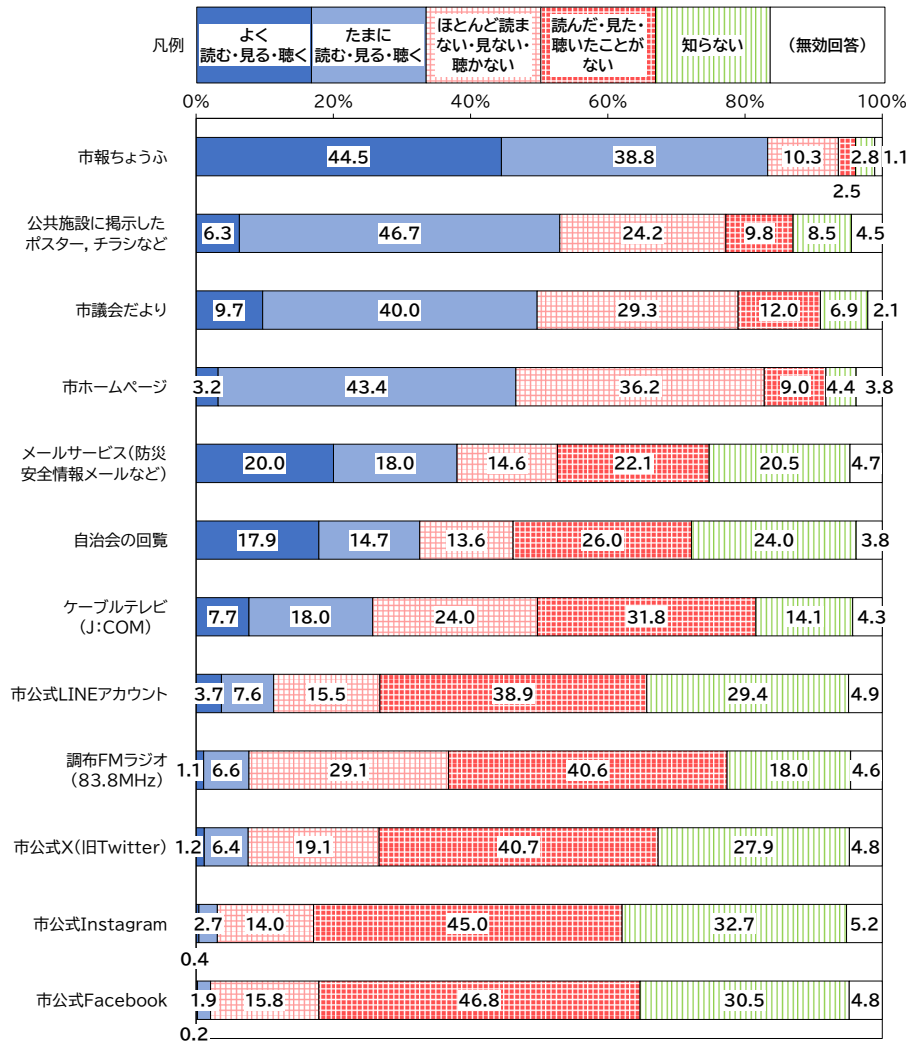
- ・中学生以上の市民全員に往復はがきで「こうなると良いなと思う事を記入してください」と送ってみる（スマホ用 QR コードもつけて）。アンケート集計にはボランティアを集めてトリエの食事券などをお礼にする。
- ・意見が偏るのは良くないが、やはり興味・関心が高い人で意見交換する方が効果的である。
- ・様々なイベントの開催と市民からのヒアリングを併用。
- ・現状の課題，グランドデザインとロードマップを定期的に発信すると，市民の意見も具体的に出るのではないでしょう。

【市政等の情報について】

問 64) あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法をうかがいます。

<全体 (n=1,210) >

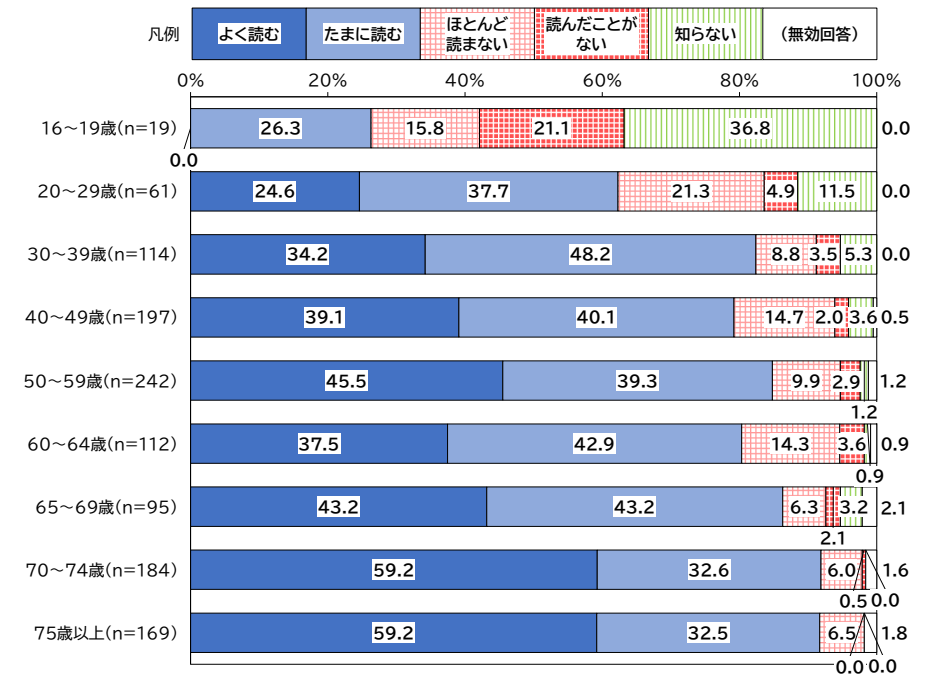
- 「よく読む・見る・聴く」と「たまに読む・見る・聴く」の合計は、「市報ちょうふ」が 83.3%で最も高く、次いで「公共施設に掲示したポスター、チラシなど」の 53.0%、「市議会だより」の 49.7%の順となっています。
- 一方、「読んだ・見た・聴いたことがない」と「ほとんど読まない・見ない・聴かない」の合計は、「調布 FM ラジオ (83.8MHz)」が 69.7%で最も高く、次いで「市公式 Facebook」の 62.6%の順となっています。



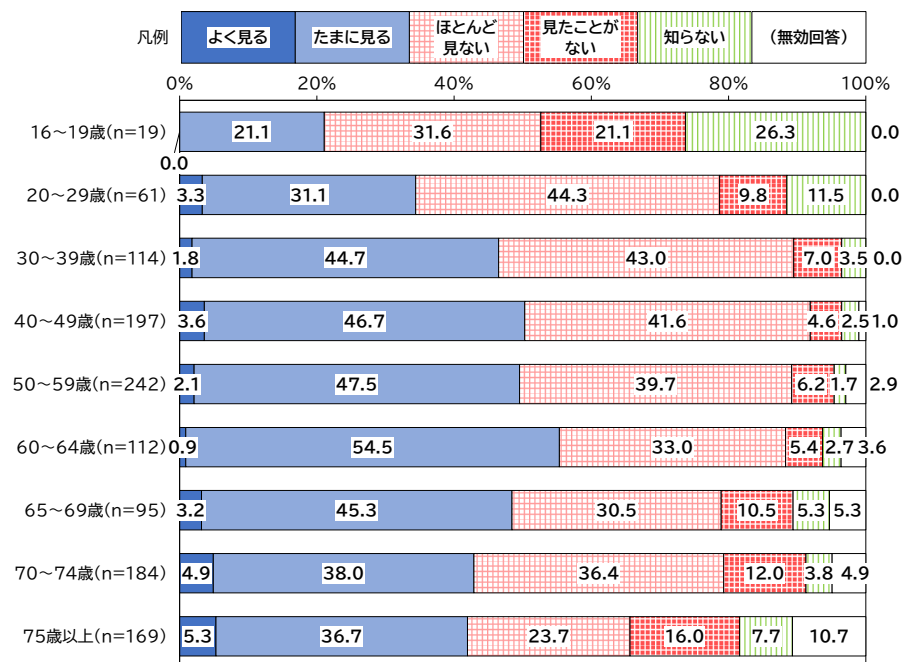
<年齢層別>

- 「市報ちょうふ」は、20 歳以上で「よく読む」と「たまに読む」の合計が 60%を超えています。
- 「市ホームページ」は、40～69 歳で「よく見る」と「たまに見る」合計が、「ほとんど見ない」、「見たことがない」、「知らない」の合計を上回っています。
- 市公式 X (旧 Twitter) と市公式 Instagram は 30～39 歳で、市公式 Facebook と市公式 LINE アカウントは 40～49 歳で「よく見る」と「たまに見る」合計が最も高くなっています。
- 「メールサービス」は、40～59 歳で「よく見る」と「たまに見る」の合計が 50%以上となっており、他の年齢層に比べて高くなっています。
- 「公共施設に掲示したポスター、チラシなど」は、16～19 歳と 60～64 歳を除く年齢層で、「よく見る」と「たまに見る」の合計が、「ほとんど見ない」、「見たことがない」、「知らない」の合計を上回っています。
- 「自治会の回覧」は、70 歳以上で「よく見る」と「たまに見る」の合計が 50%を超えていて、他の年齢層に比べて高くなっています。
- 「市議会だより」は、50 歳以上で、「よく読む」と「たまに読む」合計が、「ほとんど読まない」、「読んだことがない」、「知らない」の合計を上回っており、特に 70 歳以上は「よく読む」と「たまに読む」の合計が 60%を超えています。

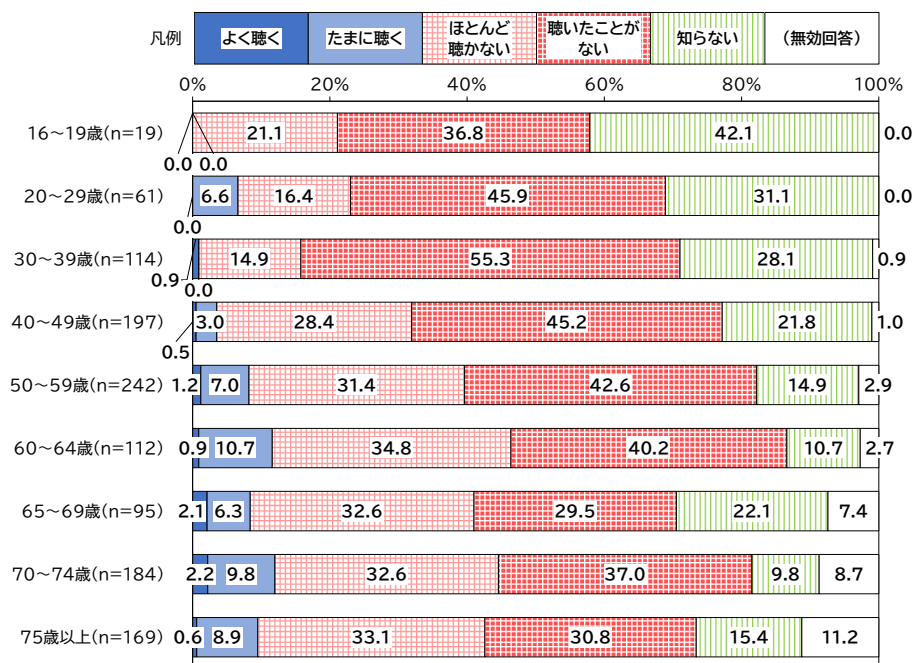
ア 市報ちょうふ



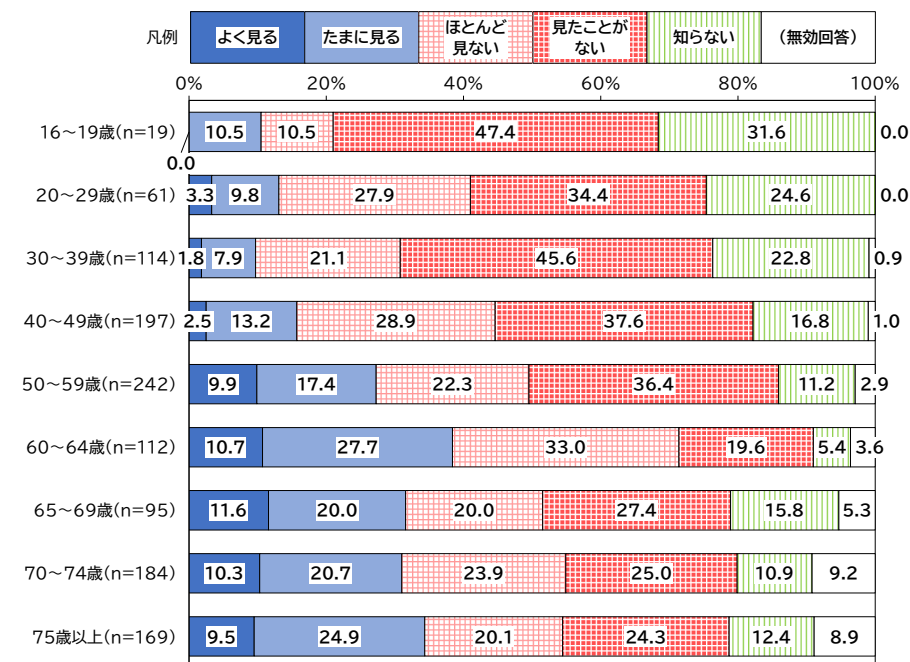
イ 市ホームページ



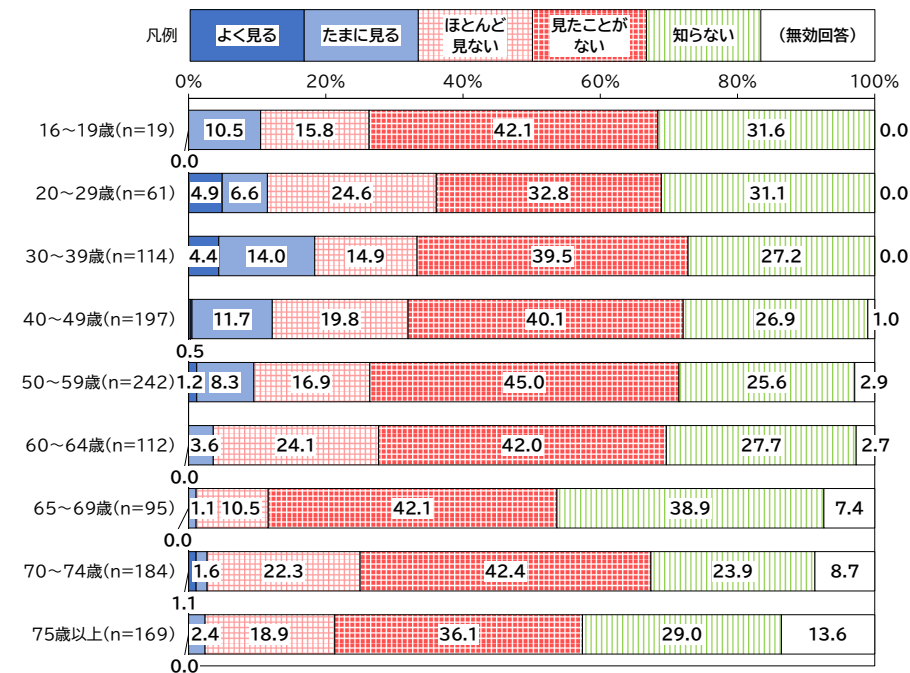
ウ 調布 FM ラジオ (83.8MHz)



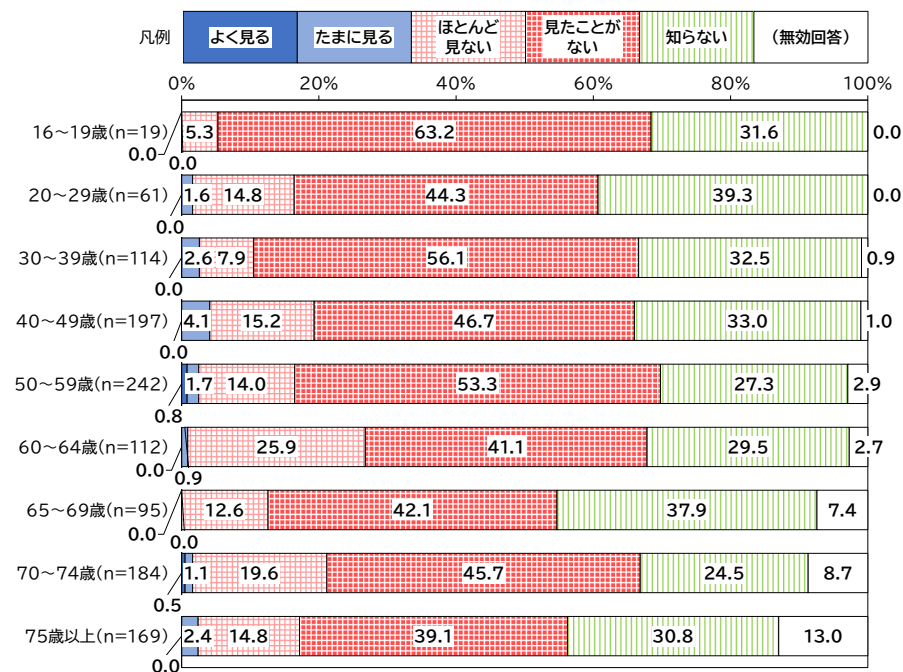
エ ケーブルテレビ (J:COM)



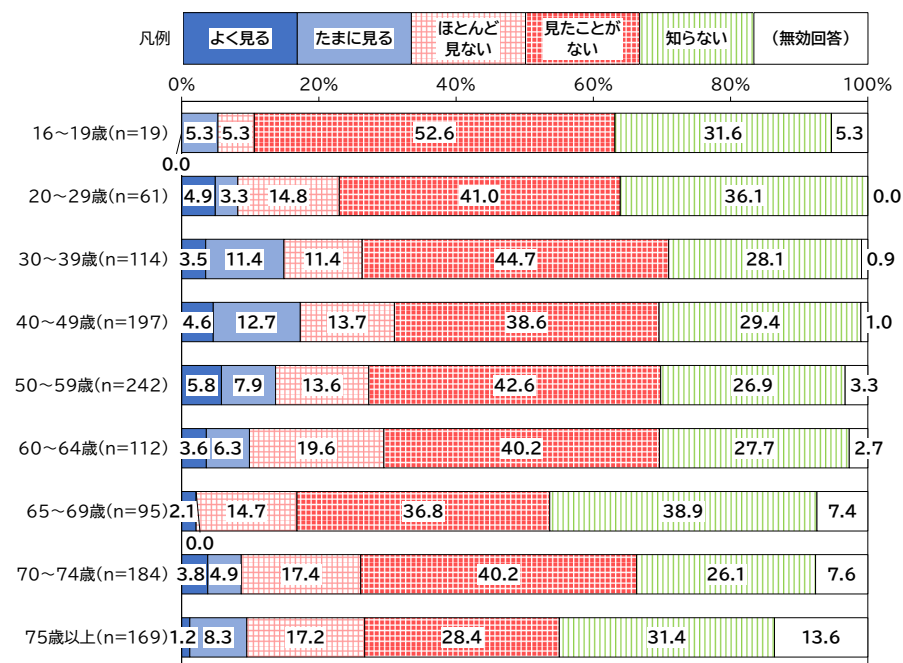
オ 市公式 X (旧 Twitter)



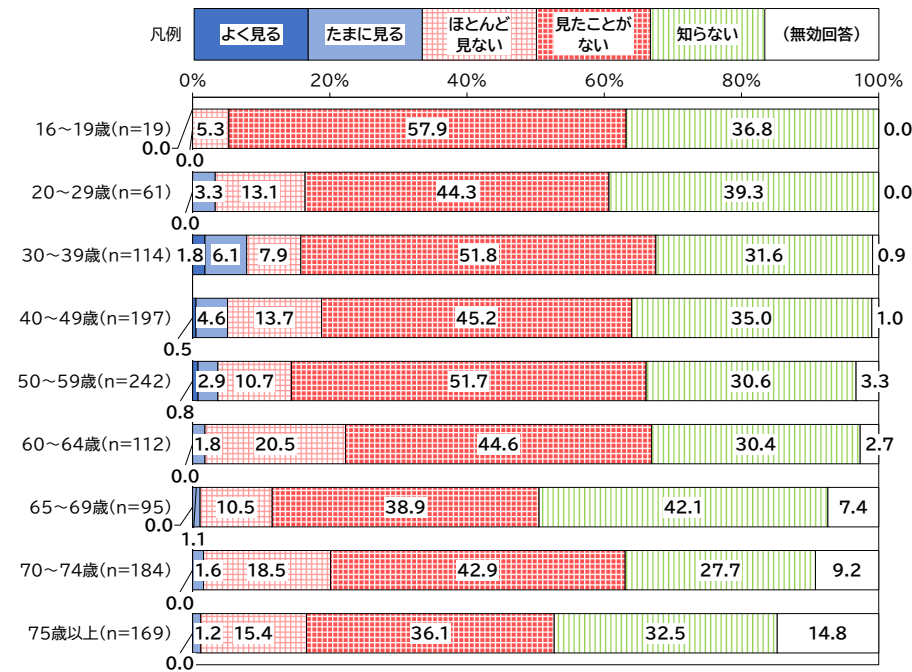
カ 市公式 Facebook



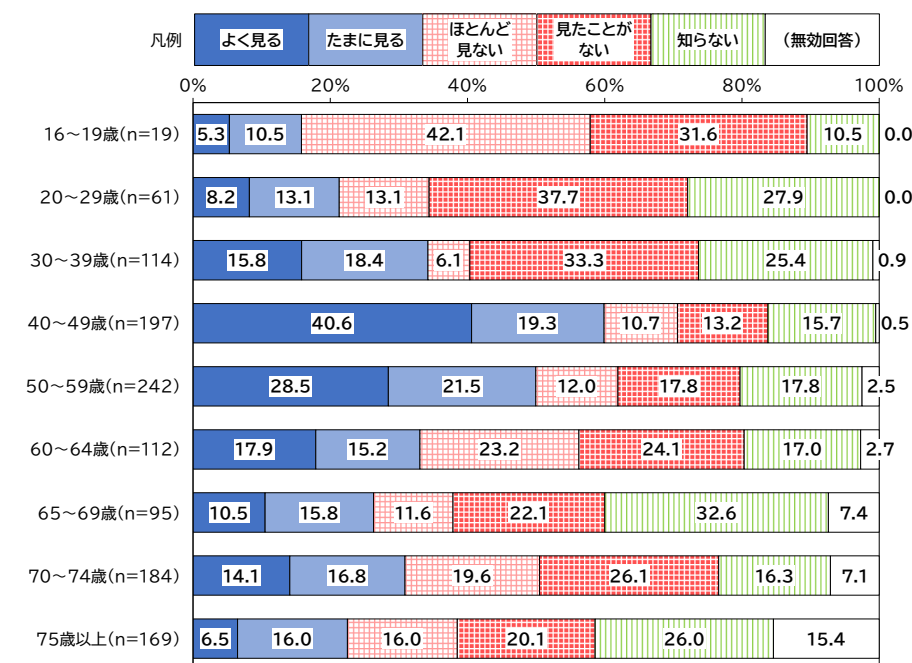
キ 市公式 LINE アカウント



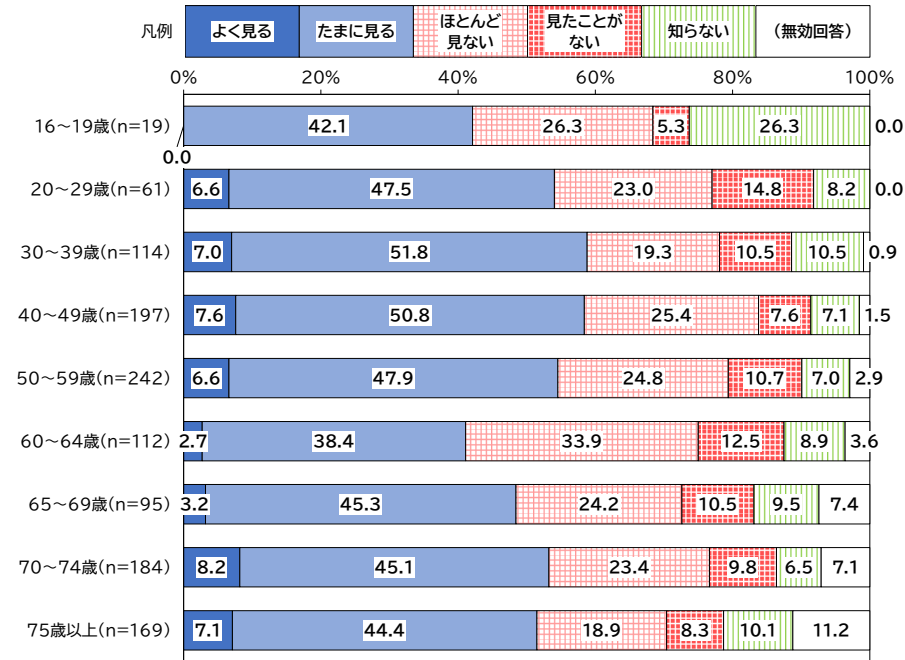
ク 市公式 Instagram



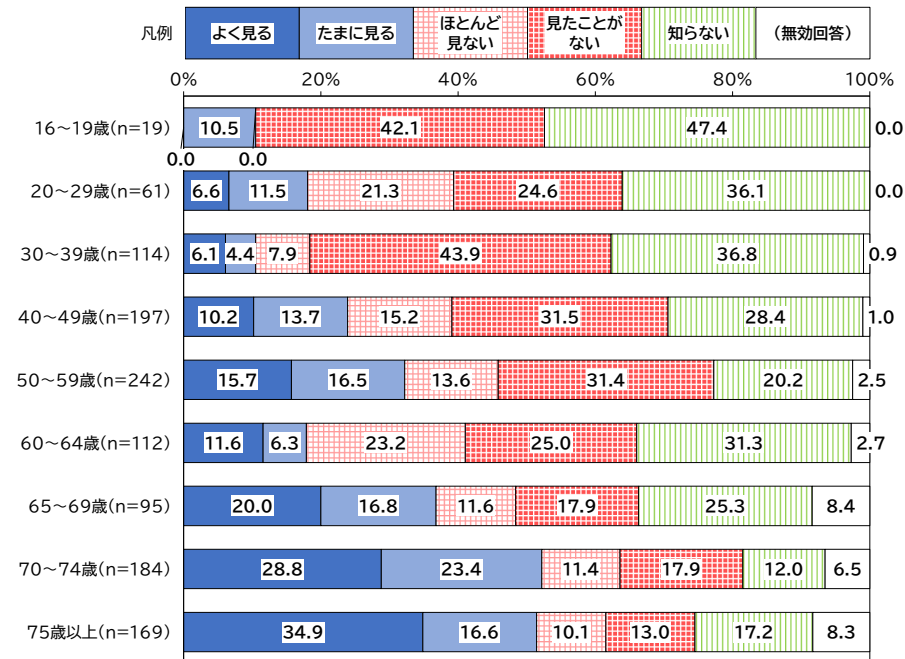
ケ メールサービス（防災安全情報メールなど）



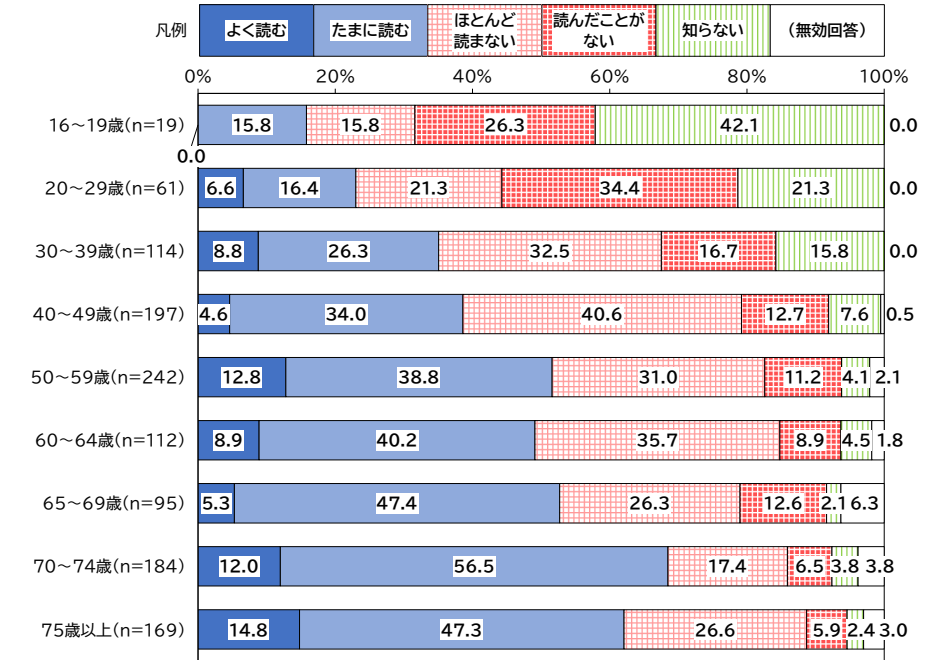
コ 公共施設に掲示したポスター、チラシなど



サ 自治会の回覧



シ 市議会だより



<自由記述>主な意見を抜粋

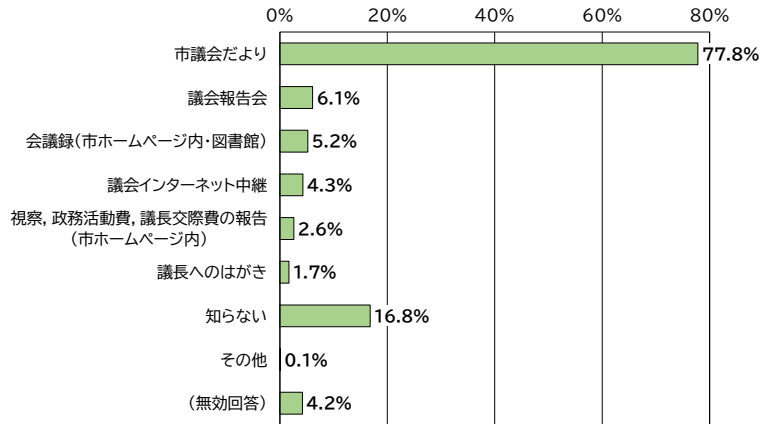
【図表 市政の情報発信についてのご意見・ご提案】(40件)

- ・この地域は防災放送は聞き取れません。何回か市役所に電話しました。洪水が発生した時は逃げ遅れてしまいます。車でお知らせが今夏1回ありました。
- ・HPが見つづらい。欲しい情報にたどり着けない。
- ・SNSの宣伝が足りないと思う。市報を読まない若い人の目にとまるように。
- ・スマホやネット環境のない市民にも平等に情報を与えてほしいです。

問 65) 市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。

<全体 (n=1,210) >

○「市議会だより」が 77.8%で最も高く、次いで「議会報告会」の 6.1%、「会議録（市ホームページ内・図書館）」の 5.2%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「市議会だより」が最も高くなっており、40 歳以上では 70%を超えています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市議会だより	941	6	26	74	152	211	87	78	158	137
	77.8%	31.6%	42.6%	64.9%	77.2%	87.2%	77.7%	82.1%	85.9%	81.1%
議会報告会	74	1	2	1	8	11	3	6	15	22
	6.1%	5.3%	3.3%	0.9%	4.1%	4.5%	2.7%	6.3%	8.2%	13.0%
会議録(市ホームページ内・図書館)	63	0	1	5	13	16	1	6	8	13
	5.2%	0.0%	1.6%	4.4%	6.6%	6.6%	0.9%	6.3%	4.3%	7.7%
議会インターネット中継	52	1	2	6	10	16	4	4	8	1
	4.3%	5.3%	3.3%	5.3%	5.1%	6.6%	3.6%	4.2%	4.3%	0.6%
視察、政務活動費、議長交際費の報告(市ホームページ内)	31	0	2	2	7	7	3	1	3	6
	2.6%	0.0%	3.3%	1.8%	3.6%	2.9%	2.7%	1.1%	1.6%	3.6%
議長へのはがき	21	0	3	1	3	6	3	2	0	3
	1.7%	0.0%	4.9%	0.9%	1.5%	2.5%	2.7%	2.1%	0.0%	1.8%
知らない	203	13	30	35	37	21	19	9	17	18
	16.8%	68.4%	49.2%	30.7%	18.8%	8.7%	17.0%	9.5%	9.2%	10.7%
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
(無効回答)	51	0	4	4	4	8	5	6	6	13
	4.2%	0.0%	6.6%	3.5%	2.0%	3.3%	4.5%	6.3%	3.3%	7.7%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

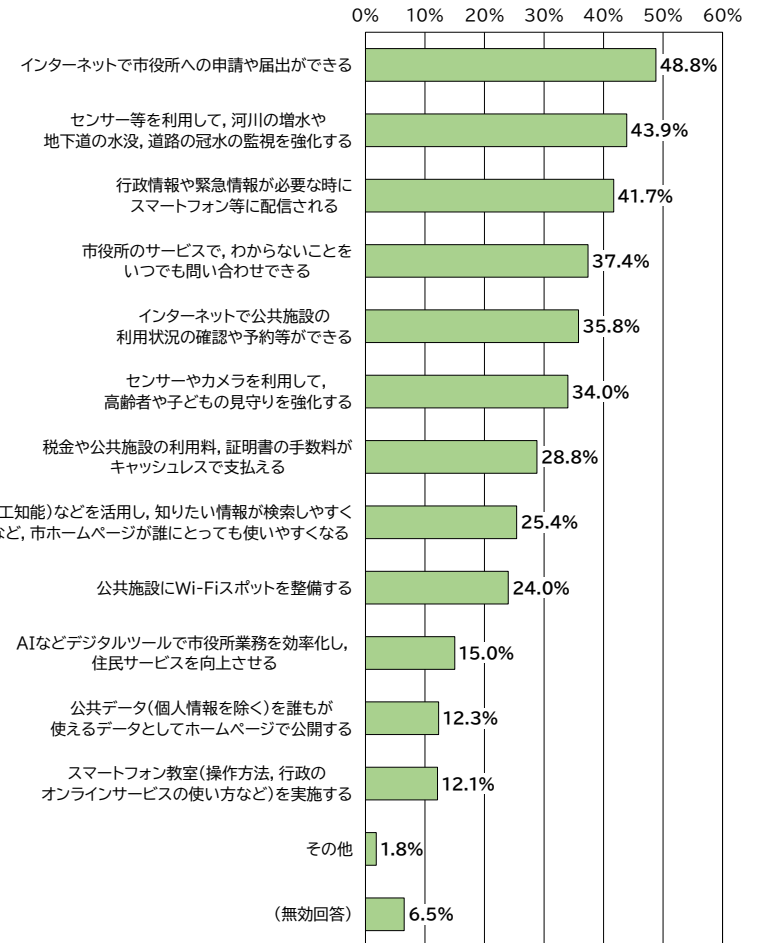
回答割合が2番目に高い:

【行政のデジタル化・スマートシティについて】

問 66) あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。

<全体 (n=1,210) >

○「インターネットで市役所への申請や届出ができる」が 48.8%で最も高く、次いで「センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する」の 43.9%、「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」の 41.7%の順となっています。



<年齢層別>

○「インターネットで市役所への申請や届出ができる」は 64 歳以下で 50%を超え、「センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する」は 75 歳以上を除く全ての年齢層で 40%を超えています。「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」は 49 歳以下と 60～69 歳で 40%を超え、「市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる」は 65 歳以上で 40%を超えています。

選択肢	合計	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳 以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
インターネットで市役所への申請や届出ができる	590	11	40	86	128	133	61	34	53	36
	48.8%	57.9%	65.6%	75.4%	65.0%	55.0%	54.5%	35.8%	28.8%	21.3%
センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する	531	9	26	55	88	110	48	39	83	66
	43.9%	47.4%	42.6%	48.2%	44.7%	45.5%	42.9%	41.1%	45.1%	39.1%
行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される	504	14	25	60	100	94	47	40	69	49
	41.7%	73.7%	41.0%	52.6%	50.8%	38.8%	42.0%	42.1%	37.5%	29.0%
市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる	452	3	23	38	65	84	37	40	82	77
	37.4%	15.8%	37.7%	33.3%	33.0%	34.7%	33.0%	42.1%	44.6%	45.6%
インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる	433	10	34	47	91	102	39	26	48	29
	35.8%	52.6%	55.7%	41.2%	46.2%	42.1%	34.8%	27.4%	26.1%	17.2%
センサーやカメラを利用して、高齢者や子どもの見守りを強化する	412	2	16	46	74	78	40	24	66	59
	34.0%	10.5%	26.2%	40.4%	37.6%	32.2%	35.7%	25.3%	35.9%	34.9%
税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払える	348	8	30	61	81	74	37	19	22	9
	28.8%	42.1%	49.2%	53.5%	41.1%	30.6%	33.0%	20.0%	12.0%	5.3%
AI(人工知能)などを活用し、知りたい情報が検索しやすくなるなど、市ホームページが誰にとっても使いやすくなる	307	6	14	39	63	57	31	27	37	30
	25.4%	31.6%	23.0%	34.2%	32.0%	23.6%	27.7%	28.4%	20.1%	17.8%
公共施設にWi-Fiスポットを整備する	290	11	17	35	55	78	25	14	37	17
	24.0%	57.9%	27.9%	30.7%	27.9%	32.2%	22.3%	14.7%	20.1%	10.1%
AIなどデジタルツールで市役所業務を効率化し、住民サービスを向上させる	181	2	10	23	39	35	20	13	17	19
	15.0%	10.5%	16.4%	20.2%	19.8%	14.5%	17.9%	13.7%	9.2%	11.2%
公共データ(個人情報を除く)を誰もが使えるデータとしてホームページで公開する	149	4	15	16	24	29	20	12	16	11
	12.3%	21.1%	24.6%	14.0%	12.2%	12.0%	17.9%	12.6%	8.7%	6.5%
スマートフォン教室(操作方法、行政のオンラインサービスの使い方など)を実施する	146	3	4	8	13	16	12	17	37	33
	12.1%	15.8%	6.6%	7.0%	6.6%	6.6%	10.7%	17.9%	20.1%	19.5%
その他	22	1	2	1	4	5	0	1	5	3
	1.8%	5.3%	3.3%	0.9%	2.0%	2.1%	0.0%	1.1%	2.7%	1.8%
(無効回答)	79	0	1	3	2	11	4	8	12	35
	6.5%	0.0%	1.6%	2.6%	1.0%	4.5%	3.6%	8.4%	6.5%	20.7%

<自由記述>主な意見を抜粋

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

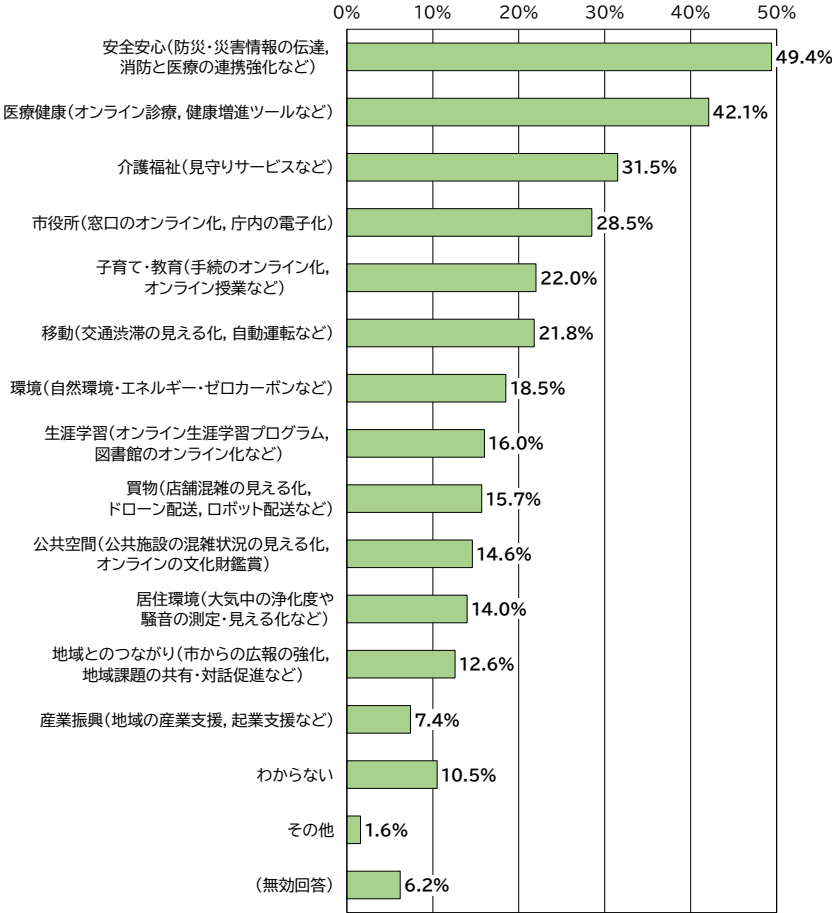
【図表 行政のデジタル化の推進についてのご意見・ご提案】(61 件)

- ・データ流出対策。何らかの原因で ICT や AI が利用できなくなった時の速やかな人による対応。
- ・デジタル弱者(高齢者)に対する施策がない。
- ・とにかくホームページが見づらい。知りたい情報に辿りつかない事の方が多い。
- ・閉庁日である土日でも申請受付ができる仕組みが欲しい。
- ・一度登録した個人情報(アカウント)を元に様々なサービス(申請)に直結できるようになればと思う。その都度名前/住所入力等は手間。

問 67) 調布市がスマートシティ※を目指すに当たって、ICT(情報通信技術)を活用してほしい分野や、日々の生活で不便さを感じている分野を教えてください。

<全体 (n=1,210) >

○「安全安心(防災・災害情報の伝達、消防と医療の連携強化など)」が 49.4%で最も高く、次いで「医療健康(オンライン診療、健康増進ツールなど)」の 42.1%、「介護福祉(見守りサービスなど)」の 31.5%の順となっています。



※「スマートシティ」とは、ICTを活用して、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、人々が安心・安全に暮らせる街(出典:総務省)

<年齢層別>

○16～19 歳と 40 歳以上で「安全安心（防災・災害情報の伝達，消防と医療の連携強化など）」，20～29 歳で「医療健康（オンライン診療，健康増進ツールなど）」，30～39 歳で「子育て・教育（手続きのオンライン化，オンライン授業など）」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳 以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
安全安心(防災・災害情報の伝達，消防と医療の連携強化など)	598	13	24	56	98	121	60	47	94	76
	49.4%	68.4%	39.3%	49.1%	49.7%	50.0%	53.6%	49.5%	51.1%	45.0%
医療健康(オンライン診療，健康増進ツールなど)	509	7	28	62	94	111	48	43	61	46
	42.1%	36.8%	45.9%	54.4%	47.7%	45.9%	42.9%	45.3%	33.2%	27.2%
介護福祉(見守りサービスなど)	381	3	10	26	48	93	37	41	64	55
	31.5%	15.8%	16.4%	22.8%	24.4%	38.4%	33.0%	43.2%	34.8%	32.5%
市役所(窓口のオンライン化，庁内の電子化)	345	7	24	55	67	82	41	22	21	20
	28.5%	36.8%	39.3%	48.2%	34.0%	33.9%	36.6%	23.2%	11.4%	11.8%
子育て・教育(手続きのオンライン化，オンライン授業など)	266	7	15	67	90	46	10	6	12	9
	22.0%	36.8%	24.6%	58.8%	45.7%	19.0%	8.9%	6.3%	6.5%	5.3%
移動(交通渋滞の見える化，自動運転など)	264	10	21	36	58	55	30	12	24	15
	21.8%	52.6%	34.4%	31.6%	29.4%	22.7%	26.8%	12.6%	13.0%	8.9%
環境(自然環境・エネルギー・ゼロカーボンなど)	224	5	11	17	36	48	23	17	34	27
	18.5%	26.3%	18.0%	14.9%	18.3%	19.8%	20.5%	17.9%	18.5%	16.0%
生涯学習(オンライン生涯学習プログラム，図書館のオンライン化など)	193	4	7	27	28	50	20	11	24	21
	16.0%	21.1%	11.5%	23.7%	14.2%	20.7%	17.9%	11.6%	13.0%	12.4%
買物(店舗混雑の見える化，ドローン配送，ロボット配送など)	190	6	18	28	48	34	14	8	15	16
	15.7%	31.6%	29.5%	24.6%	24.4%	14.0%	12.5%	8.4%	8.2%	9.5%
公共空間(公共施設の混雑状況の見える化，オンラインの文化財鑑賞)	177	7	14	24	37	46	11	10	11	13
	14.6%	36.8%	23.0%	21.1%	18.8%	19.0%	9.8%	10.5%	6.0%	7.7%
居住環境(大気中の浄化度や騒音の測定・見える化など)	170	3	6	23	26	34	12	14	27	23
	14.0%	15.8%	9.8%	20.2%	13.2%	14.0%	10.7%	14.7%	14.7%	13.6%
地域とのつながり(市からの広報の強化，地域課題の共有・対話促進など)	153	3	5	9	23	33	10	9	24	36
	12.6%	15.8%	8.2%	7.9%	11.7%	13.6%	8.9%	9.5%	13.0%	21.3%
産業振興(地域の産業支援，起業支援など)	89	3	6	12	16	18	9	6	11	7
	7.4%	15.8%	9.8%	10.5%	8.1%	7.4%	8.0%	6.3%	6.0%	4.1%
わからない	127	0	3	4	17	19	8	7	31	37
	10.5%	0.0%	4.9%	3.5%	8.6%	7.9%	7.1%	7.4%	16.8%	21.9%
その他	19	0	2	0	4	6	1	2	4	0
	1.6%	0.0%	3.3%	0.0%	2.0%	2.5%	0.9%	2.1%	2.2%	0.0%
(無効回答)	75	0	1	3	6	4	6	9	16	27
	6.2%	0.0%	1.6%	2.6%	3.0%	1.7%	5.4%	9.5%	8.7%	16.0%

(上段:実数(人)，下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 上記のように思う理由】(40 件)

- ・ オンライン診療を行っている医療機関が少ない，わかりにくい。用紙も複写式が多く古いイメージ。
- ・ 様々な病院で玄関の外まで並ぶ待ち行列をよく見かけます。とっかかりとして，まず全病院に待ち行列解消のためのシステムを導入すべきと思います。
- ・ 子育ては特に，手続きのオンライン化が必要。共働きで片方が手続きで休むと家庭にも企業にもマイナスになる。
- ・ いちいち対面での手続きでたら回しで何時間か無駄。

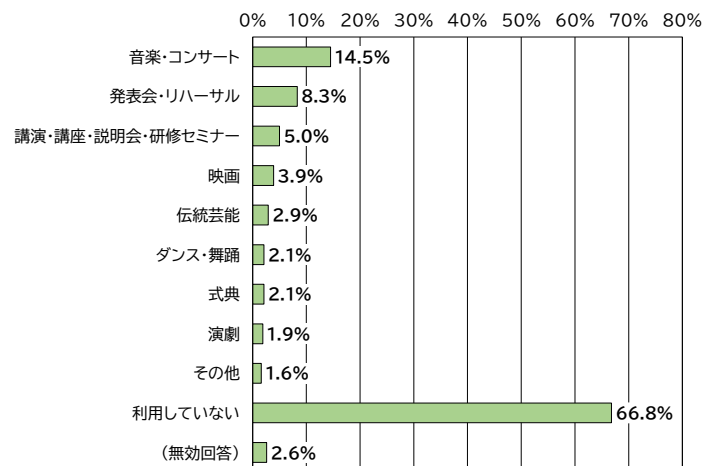


(4) 公共施設

問 68) あなたは、この1年間に、どのような目的でグリーンホールを利用しましたか。

<全体 (n=1,210) >

○「音楽・コンサート」が 14.5%で最も高く、次いで「発表会・リハーサル」の 8.3%、「講演・講座・説明会・研修セミナー」の 5.0%の順となっています。なお、「利用していない」は 66.8%となっています。



<年齢層別>

○20～39 歳と 50 歳以上の年齢層では、「音楽・コンサート」、16～19 歳と 40～49 歳では、「発表会・リハーサル」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
音楽・コンサート	176	3	6	14	31	28	13	15	30	34
	14.5%	15.8%	9.8%	12.3%	15.7%	11.6%	11.6%	15.8%	16.3%	20.1%
発表会・リハーサル	101	4	1	7	36	20	2	5	13	10
	8.3%	21.1%	1.6%	6.1%	18.3%	8.3%	1.8%	5.3%	7.1%	5.9%
講演・講座・説明会・研修セミナー	60	1	0	2	7	7	7	4	13	16
	5.0%	5.3%	0.0%	1.8%	3.6%	2.9%	6.3%	4.2%	7.1%	9.5%
映画	47	0	0	4	6	6	2	5	11	12
	3.9%	0.0%	0.0%	3.5%	3.0%	2.5%	1.8%	5.3%	6.0%	7.1%
伝統芸能	35	1	0	2	7	7	1	1	9	6
	2.9%	5.3%	0.0%	1.8%	3.6%	2.9%	0.9%	1.1%	4.9%	3.6%
ダンス・舞踊	26	0	0	2	7	5	4	0	2	6
	2.1%	0.0%	0.0%	1.8%	3.6%	2.1%	3.6%	0.0%	1.1%	3.6%
式典	25	1	4	0	3	4	1	3	4	5
	2.1%	5.3%	6.6%	0.0%	1.5%	1.7%	0.9%	3.2%	2.2%	3.0%
演劇	23	0	2	0	6	1	3	1	2	7
	1.9%	0.0%	3.3%	0.0%	3.0%	0.4%	2.7%	1.1%	1.1%	4.1%
その他	19	1	1	2	3	5	2	1	3	1
	1.6%	5.3%	1.6%	1.8%	1.5%	2.1%	1.8%	1.1%	1.6%	0.6%
利用していない	808	12	48	86	114	173	84	69	108	105
	66.8%	63.2%	78.7%	75.4%	57.9%	71.5%	75.0%	72.6%	58.7%	62.1%
(無効回答)	31	0	0	0	1	5	4	2	10	9
	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	2.1%	3.6%	2.1%	5.4%	5.3%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

<同居人別>

○「3 歳～5 歳の子ども」と「小・中学生の子ども」では「発表会・リハーサル」、その他では「音楽・コンサート」が最も高くなっています。

選択肢	合計	配偶者	0歳～2歳の子ども	3歳～5歳の子ども	小・中学生の子ども	高校生世代～64歳の家族・同居人	65歳～74歳の家族・同居人	75歳以上の家族・同居人	家族・同居人はいない
全体	1,210	719	46	67	181	385	53	95	173
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
音楽・コンサート	176	119	5	7	39	58	13	9	11
	14.5%	16.6%	10.9%	10.4%	21.5%	15.1%	24.5%	9.5%	6.4%
発表会・リハーサル	101	69	2	8	56	35	5	3	3
	8.3%	9.6%	4.3%	11.9%	30.9%	9.1%	9.4%	3.2%	1.7%
講演・講座・説明会・研修セミナー	60	35	0	5	9	16	3	7	9
	5.0%	4.9%	0.0%	7.5%	5.0%	4.2%	5.7%	7.4%	5.2%
映画	47	29	0	3	8	11	3	2	7
	3.9%	4.0%	0.0%	4.5%	4.4%	2.9%	5.7%	2.1%	4.0%
伝統芸能	35	18	0	4	5	11	5	1	4
	2.9%	2.5%	0.0%	6.0%	2.8%	2.9%	9.4%	1.1%	2.3%
ダンス・舞踊	26	19	2	2	9	5	1	2	1
	2.1%	2.6%	4.3%	3.0%	5.0%	1.3%	1.9%	2.1%	0.6%
式典	25	15	0	1	4	19	0	0	1
	2.1%	2.1%	0.0%	1.5%	2.2%	4.9%	0.0%	0.0%	0.6%
演劇	23	13	0	1	4	8	1	0	2
	1.9%	1.8%	0.0%	1.5%	2.2%	2.1%	1.9%	0.0%	1.2%
その他	19	12	1	2	3	8	0	1	2
	1.6%	1.7%	2.2%	3.0%	1.7%	2.1%	0.0%	1.1%	1.2%
利用していない	808	460	37	43	76	255	34	73	138
	66.8%	64.0%	80.4%	64.2%	42.0%	66.2%	64.2%	76.8%	79.8%
(無効回答)	31	13	0	0	1	10	0	3	6
	2.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.6%	2.6%	0.0%	3.2%	3.5%

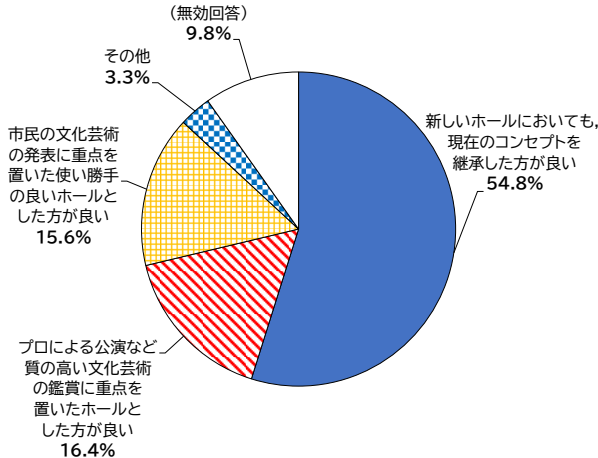
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

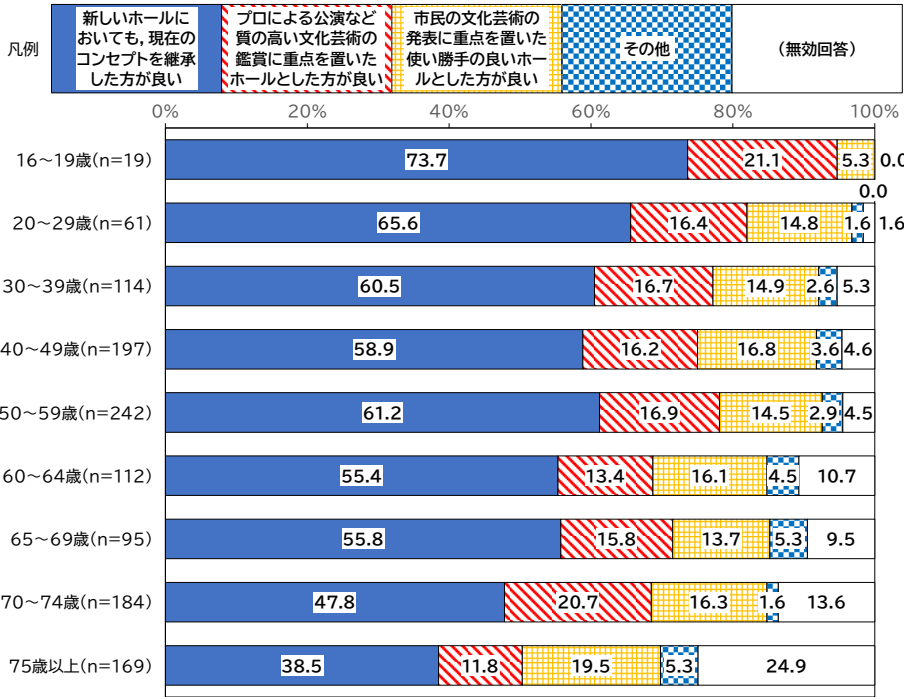
回答割合が2番目に高い:

問 69) 現在のグリーンホールの「質の高い文化芸術の鑑賞の場」であり、「市民の文化芸術の発表の場」である」というコンセプトについて、どう思いますか。

<全体 (n=1,210) >
○「新しいホールにおいても、現在のコンセプトを継承した方が良い」が 54.8%で最も高く、次いで「プロによる公演など質の高い文化芸術の鑑賞に重点を置いたホールとした方が良い」の 16.4%の順となっています。

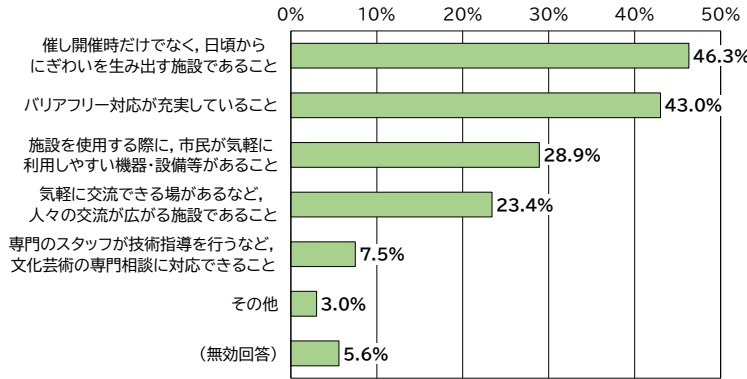


<年齢層別>
○69 歳以下で「新しいホールにおいても、現在のコンセプトを継承した方が良い」が 50%を超えています。



問 70) 現在、市は新たなグリーンホールの整備を検討していますが、その整備に当たり、特に重要だと思う項目は何ですか。

<全体 (n=1,210) >
○「催し開催時だけでなく、日頃からにぎわいを生み出す施設であること」が 46.3%で最も高く、次いで「バリアフリー対応が充実していること」の 43.0%、「施設を使用する際に、市民が気軽に利用しやすい機器・設備等があること」の 28.9%の順となっています。



<年齢層別>
○49 歳以下と 60～69 歳では「催し開催時だけでなく、日頃からにぎわいを生み出す施設であること」、50～59 歳と 70 歳以上では「バリアフリー対応が充実していること」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,210	19	61	114	197	242	112	95	184	169
催し開催時だけでなく、日頃からにぎわいを生み出す施設であること	560	9	33	65	103	107	54	51	74	58
バリアフリー対応が充実していること	520	8	22	46	71	117	49	40	84	78
施設を使用する際に、市民が気軽に利用しやすい機器・設備等があること	350	7	21	36	61	62	31	27	50	50
気軽に交流できる場があるなど、人々の交流が広がる施設であること	283	4	9	21	46	46	22	24	50	56
専門のスタッフが技術指導を行うなど、文化芸術の専門相談に対応できること	91	1	7	9	20	22	4	7	13	8
その他	36	0	3	2	4	11	5	4	2	4
(無効回答)	68	0	0	1	6	6	7	5	17	23

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

(上段:実数(人), 下段:構成比)

【参考】 調査票

調布市民意識調査

－みなさんの声を今後のまちづくりに生かします－

平素より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

市は、令和5年度からの第6次調布市総合計画（基本構想・基本計画）に基づき、計画的なまちづくりを進めています。

この調査は、市民のみなさんの意識や行動についてうかがい、基本計画の推進をはじめとする今後の市政経営に生かすことを目的として行うものです。調査の実施に当たりましては、調布市に住民登録をしている満16歳以上の方から、約3000人を無作為に抽出させていただきました。

ご多忙のところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年11月
調布市長 長友 貴樹

＜記入に際しての注意事項など＞

- 本調査は無記名です。回答結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用しません。
- あて名のご本人がお答えください。なお、ご本人が回答困難な場合は、可能であればご家族や周りの方が介助いただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入をお願いします。
- 回答内容は、直接この調査票に、濃い鉛筆又は黒ボールペンで記入してください。
- 回答所要時間の目安は60分程度です。
- 回答いただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数はそれぞれの設問の指定に従ってください。
- 「その他」に○印をつけた場合は、（ ）内に具体的な回答を記入してください。
- □ の場合は、回答内容等を記入してください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和6年12月5日(木)まで に郵便ポストへ投函してください。

※ 返信用封筒に記載してある番号「511」は、郵便局の受付のための番号です（今回の市民意識調査で使う全ての返信用封筒に統一して「511」と付番しています）。返信者が特定されることはありません。

＜本調査に関する問い合わせ先＞ 調布市 行政経営部 企画経営課
TEL：042-481-7368 FAX：042-485-0741
E-mail：kikaku@city.chofu.lg.jp

本調査は、スマートフォンからでもご回答いただけます。
右のQRコードから、Web 回答フォームにアクセスしてご回答ください。
(<https://logoform.jp/form/tbbj/783113>)

※Web 回答フォームで回答する際は、一時保存が可能です。

※Web で回答いただいた場合は、本調査票の郵送は不要です。



“調布市総合計画”とは？

市が市政・まちづくりを計画的に進めるための、市の最上位の計画です。
「調布市総合計画」の具体的な内容については、
調布市ホームページ（<http://www.city.chofu.lg.jp>）をご覧ください。

詳細はこちら ▶



「あなたご自身のこと」について

1 あなたの性別について、あてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

2 あなたの年齢（令和6年10月1日現在）について、あてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

1 16～19歳	6 40～44歳	11 65～69歳
2 20～24歳	7 45～49歳	12 70～74歳
3 25～29歳	8 50～54歳	13 75歳以上
4 30～34歳	9 55～59歳	
5 35～39歳	10 60～64歳	

3 あなたの世帯の家族構成について、あてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

1 単身世帯	4 ひとり親と子どもの世帯
2 夫婦のみの世帯	5 3世代世帯（親・子・孫）
3 夫婦と子どもの世帯	6 その他（ ）

4 あなたのお宅に同居している方について、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 配偶者	5 高校生世代～64歳の家族・同居人
2 0歳～2歳の子ども	6 65歳～74歳の家族・同居人
3 3歳～5歳の子ども	7 75歳以上の家族・同居人
4 小・中学生の子ども	8 家族・同居人はいない

5 あなたの職業について、あてはまるものに○をつけてください。なお、兼業の方は主な職業を1つ選んでください。（○は1つ）

1 自営業	8 家事専業
2 農業	9 無職
3 建設業・鉱工業・製造業系の会社員	10 その他（ ）
4 「3」以外の商業・サービス業系などの会社員	
5 公務員・団体職員など	
6 派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト	
7 学生	

5で「1～7」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

5-1 あなたの通勤（就業）・通学先について、あてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

1 自宅	6 世田谷区
2 市内（自宅以外）	7 東京23区内（世田谷区以外）
3 府中市	8 神奈川県
4 三鷹市	9 関東近県（神奈川県以外）
5 多摩地域（府中市・三鷹市・島しょ以外）	10 その他（ ）

6 あなたが、普段閲覧・活用している SNS*等に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 Facebook (フェイスブック)	6 TikTok (ティックトック)
2 X (エックス (旧Twitter (ツイッター)))	7 閲覧・活用していない
3 LINE (ライン)	8 その他のSNS ()
4 Instagram (インスタグラム)	9 閲覧できる機器 (スマートフォン等) を持っていない
5 YouTube (ユーチューブ)	

※Social Networking Service (ソーシャル ネットワーキング サービス) の略で、参加するユーザーが互いに自分の趣味、好み、社会生活などのことを公開しあったりしながら、幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型の Web サービスのこと。

7 あなたの現在のお住まいについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1 一戸建て (持ち家)	5 公営住宅 (公団、公社、都営、市営)
2 一戸建て (借家)	6 社宅・官舎
3 集合住宅 (分譲)	7 シェアハウス
4 集合住宅 (賃貸)	8 その他 ()

8 あなたがお住まいの「町名」と「丁目」それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

「町名」			
《西部地域》	《北部地域》	《南部地域》	《東部地域》
1 飛田給	7 佐須町	13 小島町	20 菊野台
2 上石原	8 柴崎	14 布田	21 東つつじヶ丘
3 富士見町	9 深大寺元町	15 国領町	22 西つつじヶ丘
4 下石原	10 深大寺北町	16 調布ヶ丘	23 入間町
5 西町	11 深大寺東町	17 八雲台	24 仙川町
6 野水	12 深大寺南町	18 多摩川	25 緑ヶ丘
		19 染地	26 若葉町
「丁目」			
1 1丁目	3 3丁目	5 5丁目	7 7丁目
2 2丁目	4 4丁目	6 6丁目	8 8丁目

9 あなたは、調布市にお住まいになって、通算で何年になりますか。(○は1つ)

1 3年未満	4 10年以上20年未満
2 3年以上5年未満	5 20年以上30年未満
3 5年以上10年未満	6 30年以上

10 あなたは、調布市に住む前に、どこにお住まいでしたか。(○は1つ)

1 府中市	6 神奈川県
2 三鷹市	7 関東近県 (神奈川県以外)
3 多摩地域 (府中市・三鷹市・島しょ以外)	8 調布市以外に住んだことがない
4 世田谷区	9 その他 ()
5 東京23区内 (世田谷区以外)	

10で「1～7」または「9」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

10-1 あなたが、調布市にお住まいになったきっかけ、理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 家族構成や家族の状況が変わったから	5 日常の買い物便利だから	12 公共施設が充実しているから
2 家賃や地価が妥当または安いから	6 近くに知人や親せきがいるから	13 防災の面で安心だから
3 仕事の都合	7 教育環境がよいから	14 治安の面で安心だから
4 通勤・通学などの交通が便利だから	8 子育て環境がよいから	15 特に理由はない
	9 高齢者福祉がよいから	16 その他 ()
	10 自然環境がよいから	
	11 道路などの都市基盤が整っているから	

10-1で「1」を選んだ方にうかがいます。

10-2 家族構成や家族の状況が変わった理由は何ですか。(○は1つ)

1 配偶者・パートナーとの同居	4 子どもの小学校入学
2 1人目の子どもの誕生	5 子どもの中学校以上の進学
3 2人目以降の子どもの誕生	6 その他 ()

「まちの魅力と今後の定住意向」について

11 あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。 (○は1つ)

1 感じている	2 感じていない	3 どちらともいえない
---------	----------	-------------

12 あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。 (○は1つ)

1 住み続けるつもりでいる	3 事情が許せば転出したい
2 事情が許せば住み続けたい	4 転出するつもりでいる

12で「1・2」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

12-1 あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思えますか。あてはまるものに○をつけてください。 (○はいくつでも)

- 1 歴史や伝統を感じられる
- 2 豊かな自然がある
- 3 調布駅周辺のにぎわい
- 4 都心への交通の便がよい
- 5 市内の交通の便が良い
- 6 地震などの災害への備えの面で安心・安全
- 7 浸水被害への備えの面で安心・安全
- 8 土砂災害への備えの面で安心・安全
- 9 治安の面で安全・安心
- 10 地域のふれあいがある
- 11 祭りやイベントが充実
- 12 スポーツ活動が活発
- 13 日常の買い物便利
- 14 好きな店や商店街がある
- 15 深大寺地域の歴史・観光資源
- 16 神代植物公園、野川公園などの公園
- 17 教育環境が良い
- 18 子育て環境が良い
- 19 農地や里山の風景がある
- 20 文化芸術活動が充実
- 21 図書館が充実
- 22 「映画のまち調布」の取組
- 23 「水木マンガの生まれた街 調布」の取組
- 24 サッカー・リーグのチームのホームタウン
- 25 ラグビーリーグワンのチームのホストエリア
- 26 プロ野球球団と連携している
- 27 特に理由はない
- 28 その他 ()

12で「3・4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

12-2 そう思う理由について、あてはまるものに○をつけてください。 (○はいくつでも)

- 1 家族構成や家族の状況が変わったから
- 2 家賃や地価が高いから
- 3 仕事の都合で
- 4 通勤・通学など交通が不便だから
- 5 市内の交通が不便だから
- 6 地震などの災害への備えに不安があるから
- 7 浸水被害への備えに不安があるから
- 8 土砂災害への備えに不安があるから
- 9 治安の面で不安があるから
- 10 近くに知人や親せきがない、少ないから
- 11 高齢者福祉がよいから
- 12 自然環境がよいから
- 13 日常の買い物不便だから
- 14 公共施設が不足しているから
- 15 道路などの都市基盤が整っていないから
- 16 教育環境がよいから
- 17 子育て環境がよいから
- 18 特に理由はない
- 19 その他 ()

「市政全般（くらし）」について

【市政全般（くらし）に対する満足度・優先度について】

13 次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。日ごろの印象を含め、あなたご自身のお考えに最も近いものに○をつけてください。 (○はそれぞれ1つ)

①満足度：普段のくらしの中で、それぞれの取組に対し、どのくらい満足しているか
②優先度：今後、調布市がどのくらい優先的に力を入れて解決、改善、向上に向け取り組むべきか

No.	取組項目	高 ← ①満足度 → 低				高 ← ②優先度 → 低			
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	取り組むべきである	最優先かつ重点的に取り組むべきである	優先して取り組むべきである	現状の取組を維持すればよい
	【記入例】 満足度、優先度それぞれの該当する番号を○で囲んでください。	①	2	3	4	1	2	③	4

基本目標1 安全に安心して住み続けられるために

1	地震への災害対策	1	2	3	4	1	2	3	4
2	風水害などへの災害対策	1	2	3	4	1	2	3	4
3	火災などへの消防対策	1	2	3	4	1	2	3	4
4	防犯対策	1	2	3	4	1	2	3	4

基本目標2 安心して子どもを産み育てられ、将来を担う子ども・若者が力を発揮できるために

5	子育て支援サービス	1	2	3	4	1	2	3	4
6	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	1	2	3	4	1	2	3	4
7	小・中学校の教育	1	2	3	4	1	2	3	4
8	青少年の非行防止や健全育成対策	1	2	3	4	1	2	3	4
9	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者※1への支援	1	2	3	4	1	2	3	4

※1 ひきこもりや無業、生活上の悩みなどの困難を抱える乳幼児期から40歳未満の者。

基本目標3 みんなで支え合い、いつまでも心穏やかに暮らすために

10	高齢者の福祉	1	2	3	4	1	2	3	4
11	障害者の福祉	1	2	3	4	1	2	3	4
12	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	1	2	3	4	1	2	3	4
13	健康診断などの保健サービス	1	2	3	4	1	2	3	4
14	医療体制の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
15	共生社会の充実・パラハートちょうふの取組※2	1	2	3	4	1	2	3	4

※2 東京2020大会を契機として市が展開している、共生社会の重要性をこれまで以上に発信していくためのさまざまな分野にわたる取組。

パラハートちょうふ
つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

		高 ← ①満足度 → 低				高 ← ②優先度 → 低			
No.	取組項目	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	最優先かつ重点的に取り組むべきである	優先して取り組むべきである	現状の取組を維持すればよい	他の取組を優先すべきである
基本目標 4 学びやスポーツを通じ、誰もが充実した毎日を過ごすために									
16	図書館	1	2	3	4	1	2	3	4
17	たづくりを中心とした生涯学習	1	2	3	4	1	2	3	4
18	スポーツ振興	1	2	3	4	1	2	3	4
19	公民館	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標 5 多様性を認め合い、安心して自分らしく暮らせるために									
20	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	1	2	3	4	1	2	3	4
21	人権に関する啓発・相談	1	2	3	4	1	2	3	4
22	女性の社会参加・参画	1	2	3	4	1	2	3	4
23	多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
24	平和・国際交流の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標 6 調布ならではの魅力にあふれ、活気に満ちたまちにするために									
25	日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	1	2	3	4
26	市内工業・商業などの活力	1	2	3	4	1	2	3	4
27	市内中小企業に対する支援	1	2	3	4	1	2	3	4
28	深大寺などの地域資源を生かした観光振興	1	2	3	4	1	2	3	4
29	調布花火	1	2	3	4	1	2	3	4
30	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	1	2	3	4	1	2	3	4
31	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動	1	2	3	4	1	2	3	4
32	歴史・文化財の保存や継承	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標 7 地域の特徴を生かした快適で利便性に富むまちをつくるために									
33	街並み・景観	1	2	3	4	1	2	3	4
34	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	1	2	3	4	1	2	3	4
35	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）	1	2	3	4	1	2	3	4

No.	取組項目	高 ← ①満足度 → 低				高 ← ②優先度 → 低			
		満足している	満足している どちらかといえば 不満である	どちらかといえば 不満である	不満である	最優先かつ重点的に 取り組むべきである	優先して 取り組むべきである	現状の取組を 維持すればよい	他の取組を 優先すべきである
36	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	1	2	3	4	1	2	3	4
37	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標 8 豊かな自然と人が共生する、持続可能なまちをつくるために									
38	緑の保全・創出や自然環境の保護	1	2	3	4	1	2	3	4
39	2050 年ゼロカーボンシティ ^{※1} の実現に向けた取組	1	2	3	4	1	2	3	4
40	公園や遊び場	1	2	3	4	1	2	3	4
41	ごみ処理やリサイクル	1	2	3	4	1	2	3	4
42	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	1	2	3	4	1	2	3	4
※1 脱炭素社会の構築に向けて「2050 年に二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指す自治体。「実質ゼロ」とは、二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林などの吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。									
行革プラン2023 第1の柱 市民が主役のまちづくり									
43	市民参加と協働の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
44	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4
45	ホームページの見やすさ	1	2	3	4	1	2	3	4
行革プラン2023 第2の柱 市民のための市役所づくり									
46	民間活力の活用などの推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	1	2	3	4	1	2	3	4
47	窓口・電話における職員の対応	1	2	3	4	1	2	3	4
48	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
49	行政サービスのデジタル化 ^{※2} の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
行革プラン2023 第3の柱 計画的な行政の推進									
50	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組 ^{※3}	1	2	3	4	1	2	3	4
51	行政評価 ^{※4} の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
52	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	1	2	3	4	1	2	3	4
※2 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）を活用することで、時間・場所・方法等の制約を緩和し、紙や対面での手続の電子化や、子育て、介護、引越、相続等のライフイベントに関する行政手続のオンライン化など、様々な手続を効率化し利便性を高める取組。									
※3 公共施設の適正な配置・総量の抑制と併せて、適切な維持保全や長寿命化、民間活力の活用など、インフラを含めた公共施設全体の総合的かつ計画的な管理に取り組むこと。									
※4 行政の仕事の有効性・効率性などの視点から点検・評価し、成果の向上や業務の改善につなげるとともに、次年度の予算にも反映させる取組。									

13-1 あなたは、13のNo.1～No.52の取組項目の中で、今後、市がもっと力を入れるべきだと思う取組はどれですか。番号を5つまで選んでください。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

「日ごろの意識や行動」について

【防災について】

14 あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。(○はそれぞれ1つ)

	取組内容	十分に 取り組んでいる	少し 取り組んでいる	まだ 取り組んでいないが、 今後取り組む予定	まだ 取り組んでいないし、 取り組む予定もない
	【記入例】 以下の防災対策について、それぞれ1つずつ○をつけてください。	1	2	3	4
1	市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している	1	2	3	4
2	家族の安否確認や連絡の方法をあらかじめ決めている	1	2	3	4
3	スマートフォン等で防災アプリを活用している	1	2	3	4
4	調布市防災・安全情報メールに登録している	1	2	3	4
5	災害時に自宅から避難する場所（避難所、自宅の上層階、親族や友人・知人宅）をあらかじめ決めている	1	2	3	4
6	家具が倒れたり、移動したりしないよう固定している	1	2	3	4
7	家屋やブロック塀などの耐震点検や倒壊防止対策に取り組んでいる	1	2	3	4
8	地域で日常的なつき合いの中で、災害時の協力体制を話し合っている	1	2	3	4
9	大雨等に備え、家庭でできる浸水防止方法の確認をしている	1	2	3	4
10	マイ・タイムライン※1を作成している	1	2	3	4
11	ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している	1	2	3	4
12	災害時を意識して、水や食料品などを3日以上備蓄している	1	2	3	4
13	備蓄に当たり、ローリングストック※2を実践している	1	2	3	4
14	簡易トイレの備蓄など、非常時のトイレ対策をしている	1	2	3	4
【防災対策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】		14-1へ ↓			

※1 台風や大雨の被害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画のこと。
※2 普段から使っているものを常に少し多めに備えておき、消費したらその分を補充して、常に一定量の食品・日用品を備蓄すること。



14の11・12・14で、「4」を1つでも選んだ方にうかがいます。

14-1 「取り組んでいないし、取り組む予定もない」の主な理由をお聞かせください。(○は1つ)

1 何を準備すればよいかわからないから	6 費用がかかるから
2 保管する場所がないから	7 面倒だから
3 急いで準備する必要がないと思うから	8 特になし
4 災害時も購入できると思うから	9 その他 ()
5 行政が準備していると思うから	

15 あなたは、台風や地震等の災害時にどのように情報を得ていますか。よく使用する手段を3つまで選んで○をつけてください。(○は3つまで)

1 調布市防災・安全情報メール	6 調布市公式LINE
2 調布市防災マップ・調布市洪水ハザードマップ 調布市土砂災害ハザードマップ	7 防災行政無線
3 調布市防災河川情報ポータルサイト	8 テレビ
4 調布市ホームページ	9 調布エフエム（ラジオ）
5 調布市公式X（旧Twitter）	10 東京都防災アプリ
	11 その他 ()
	12 特段、情報の取得はしない

【防犯対策について】

16 あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせる場所だと感じていますか。(○は1つ)

1 安心している	3 どちらかといえば不安である
2 どちらかといえば安心している	4 不安である
【自分の住んでいる地域が安心、または不安と感じる理由があればご記入ください】	

17 あなたは（ご家族を含む）、特殊詐欺※1被害等防止のためにどのような対策をしていますか。（○はいいくつでも）

1 在宅時でも留守番電話に設定している
2 知らない番号からの電話には出ず、留守番電話を聞いてから折り返すようにしている
3 自動通話録音機※2を設置している
4 非通知電話拒否の設定をしている
5 不審な電話を受けたら必ず家族、警察などに相談している
6 A T Mを利用するときは、携帯電話を使用しない
7 家族間で合言葉を決めるなど、詐欺対策について話し合っている
8 情報ツール（調布市防災・安全情報メールやデジボリス等）から情報を入手している
9 その他（ ）
10 対策はしていない

【防犯対策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

※1 親族や公共機関の職員等を名乗り、現金をだまし取ったり、還付金が受け取れるなどと言って、犯人の口座に振り込ませる犯罪。
※2 市は、振り込み詐欺などの防止対策として、市内の65歳以上が居住する世帯を対象に「自動通話録音機」を無料で貸し出しています。設置電話機の呼出音が鳴る前に自動で警告メッセージを流し、犯人へ警告を与えます。
詳しくは、総合防災安全課生活安全係（電話 042-481-7547）へお問い合わせください。

18 あなたは、消費者トラブルに関する相談を、市役所3階の消費生活センターで受け付けていることを知っていますか。（○は1つ）

1 知っている	2 知らない
---------	--------

18で「2」を選んだ方にうかがいます



18-1 消費者トラブルにあった場合にはどこに相談していますか。（○はいいくつでも）

1 調布市消費生活センター以外の市役所窓口	3 警察機関	7 誰にも相談しなかった
2 東京都消費生活総合センター・消費者ホットライン「188」	4 親族・知人	8 その他（ ）
	5 弁護士	
	6 地域包括支援センター・民生委員等	

【地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉について】

19 あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。（○はそれぞれ1つ）

地域包括支援センター※1	1 知っている	2 知らない
地域福祉コーディネーター※2	1 知っている	2 知らない
地域支え合い推進員※3	1 知っている	2 知らない

【地域福祉、高齢者・障害者福祉に関することについて、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

※1 地域包括支援センターは、市内8箇所・サブセンター2箇所が高齢者に関する様々な相談のほか、介護予防ケアマネジメント業務、成年後見制度の利用手続や高齢者虐待に関する相談などの権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務などを行っています。
※2 地域福祉コーディネーターは、市内を8つに分けた福祉圏域にそれぞれ1人を配置し、既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方、制度の狭間で困っている方などに対し、地域の生活課題の解決に向けた相談・支援を行っています。
※3 地域支え合い推進員は、市全域を活動エリアとする推進員に加え、市内を8つに分けた福祉圏域に段階的に配置を進めています。介護予防や交流を目的とした活動に関する相談等に応じるなど、高齢者等が地域の中で安全・安心に暮らしているよう、生活支援・介護予防サービスの充実や強化に取り組んでいます。

20 あなたは、地域における交流の場（「ひだまりサロン」※など）についてどのように感じますか。（○は1つ）

1 参加・利用してみたい	4 このような場づくりに自分も参加・協力したい
2 機会があれば参加・利用してみたい	5 自分はまだ参加・利用しないが、このような場は重要である
3 参加・利用したくない	

※ 市民が主体となり、自宅や公共施設等のスペースを活用して、ご近所同士など市民が気軽に集い、お茶やお食事をしながら、おしゃべりや趣味活動などを行う場。市内にはひだまりサロン（令和6年3月31日現在89箇所）をはじめとした様々な交流活動の場があります。

21 あなたは、「パラハート月間※」を知っていますか。（○は1つ）

1 内容を含めて知っている	2 知っている	3 知らない
---------------	---------	--------

※ 障害者基本法により、毎年12月3日から12月9日までが障害者週間とされていることに合わせ、調布市において、この期間を含む12月の1箇月間を「パラハート」月間と位置付け、障害理解を推進するための普及啓発活動などを行っているもの。



【生活支援について】

22 あなたは、近年の物価高騰により、経済的に困った経験がありますか。（○は1つ）

1 現在困っている	2 現在は困っていないが、困ったことがある	3 困ったことはない
-----------	-----------------------	------------

【物価高騰に対する生活支援に関することについて、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

【健康づくりについて】

23 あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。(○は1つ)

1 感じている	3 どちらかといえば感じていない
2 どちらかといえば感じている	4 感じていない
【健康づくりに関することについて、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

24 あなたは定期的に以下の検診を受けていますか。(○はそれぞれ1つ)

歯科検診	1 受けている	2 受けていない
がん検診	1 受けている	2 受けていない

25 あなたは普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ、葉巻）を吸いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)
(ここでは、受動喫煙（他の方の喫煙によりたばこの煙を吸ってしまうこと）を含みません。)

1 吸っている	4 元々、吸っていない
2 吸っているが、もうすぐやめる予定	5 年齢が20歳未満である
3 吸っていたが、やめた	

26 あなたは、調布市受動喫煙防止条例^{※1}（平成31年3月公布、令和元年7月施行）を知っていますか。(○は1つ)

1 条例の内容を含めて（喫煙禁止区域 ^{※1} について）知っている	3 条例があることは知っている
2 条例の内容を含めて（過料 ^{※2} が規定されていることも）知っている	4 知らない

※1 市は、受動喫煙による健康への悪影響から市民等を守るとともに受動喫煙及び喫煙による身体への悪影響等に関する啓発及び教育を行うことにより、次代を担う子どもたちをはじめ誰もが健康に暮らせるまち調布の実現に寄与することを目的として「調布市受動喫煙防止条例」を施行しています。

条例では、次の場所を喫煙禁止区域として指定しています。

市の施設や公園、緑地・緑道等、市内の鉄道駅を中心とした半径200m程度の路上や駅前広場、市内の公私立の学校・幼稚園・保育園・児童館等の敷地に隣接する路上

※2 喫煙禁止区域において喫煙し、中止の指示に従わなかった場合に2000円の過料を科することを定めています。



【生涯学習について】

27 あなたは、この1年間に、生涯学習[※]に取り組みましたか。(○は1つ)

1 月1回以上取り組んだ	3 年1回取り組んだ
2 年に数回程度取り組んだ	4 取り組まなかった
【生涯学習に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

※ 人々が自発的意思に基づいて生涯を通じて行う学習のこと。学校や社会教育施設のほか、家庭・職場・地域などで行われる学習や、文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア・趣味など生活のあらゆる場面で行われる学習が含まれます。

28 あなたは、生涯学習に関する情報を何から入手していますか。(○はいくつでも)

1 市報ちょうふ	6 友人・知人の紹介
2 市ホームページ	7 市生涯学習情報コーナー（まちづくり推進員）
3 市公式 SNS（LINE、X（旧 Twitter）等）	8 その他（ ）
4 調布市立図書館公式ホームページ	9 得る手段が分からない
5 調布市立図書館公式 X（旧 Twitter）	

29 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくり、地域活動など自分以外のために生かしていますか。(○は1つ)

1 生かしている	3 どちらかといえば生かしていない
2 どちらかといえば生かしている	4 生かしていない
	5 生涯学習に取り組んだことはない

【スポーツ振興について】

30 あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。次のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	運動頻度				
	週2回以上 している	週1回程度 している	月1～2回 程度 している	ほとんど していない	全く していない
【記入例】 それぞれに1つずつ○をつけてください。	1	2	3	4	5
スポーツをしている（スポーツジムやプールに通う、ランニングをする、仲間とスポーツをするなど）	1	2	3	4	5
日頃から多く歩くようにしている（電車やバス等の最寄りの駅で降車せず、1駅分多く歩いているなど）	1	2	3	4	5
家事やテレビを見ながらストレッチするなど、「ながら体操」をしている	1	2	3	4	5
テレビやYouTubeなどでエクササイズ番組や動画を見て身体を動かしている	1	2	3	4	5
その他、時間を見つけて身体を動かしている	1	2	3	4	5

【地域コミュニティについて】

31 あなたは、地域のコミュニティ活動が行われていると実感する機会※がありますか。(○は1つ)

1 よくある 2 ある	3 あまりない 4 ない
【地域コミュニティ施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

※ 趣味のサークルや環境美化などのボランティア活動、また、自治会や地区協議会等が行う防災訓練など、住民同士のつながりによる地域活動を目にする機会。

32 あなたは、「地区協議会※」を知っていますか。(○は1つ)

1 よく知っている	2 聞いたことがある	3 知らない
-----------	------------	--------

※ 自治会をはじめ地域で活動する多様な団体や個人を結ぶ地域主体のネットワーク組織で、地域の情報共有や防災訓練等のまちづくり活動における連携・協力などを行っています。市内に20ある小学校区を単位として、現在18地区で設立されています。

33 あなたは、この1年間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。(○は1つ)

1 ほぼ毎日参加している	3 月1回程度参加している	5 ほとんど参加していない
2 週1回程度参加している	4 年に数回程度参加している	

33で「1～4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

33-1 参加した団体、活動、場所について、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

(団体)	1 自治会・町内会 2 地区協議会 3 PTA・保護者会 4 健全育成地区委員会 5 学校開放運営委員会	6 防災市民組織 7 老人クラブ 8 NPO法人 9 その他の任意のグループ・サークル
(活動)	1 消防・防災・防犯 2 地域美化・ごみ回収 3 子ども・子育て支援 4 子どもの見守りや青少年健全育成	5 高齢者・障害者の見守り 6 環境保全 7 健康づくり 8 その他()
(場所)	1 地域福祉センター 2 ふれあいの家 3 ふじみ交流プラザ 4 小・中学校 5 保育園・幼稚園 6 児童館・青少年ステーション	7 文化会館たづくり・グリーンホール 8 公民館 9 市民活動支援センター(市民プラザあくろす) 10 オンライン 11 その他()

【地域における子育て支援や教育、青少年健全育成に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

【産業・農業・観光について】

34 あなたはこの1年間に、次のイベントや施設・場所に行ったことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

場所・イベント	何度か 行った	初めて 行った	まだ行った ことはない が、今後行 く予定	行ったこと はないし、 今後行く予 定もない	知らない
【記入例】 それぞれ1つずつ○をつけてください。	1	2	3	4	5
調布駅前広場や市役所前庭で開催されたイベント	1	2	3	4	5
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場での文化・芸術イベント、展示	1	2	3	4	5
深大寺周辺で開催されたイベント・行事	1	2	3	4	5
ゲゲゲ忌	1	2	3	4	5
映画のまち調布 シネマフェスティバル	1	2	3	4	5
武者小路実篤記念館・実篤公園	1	2	3	4	5
トリエ京王調布	1	2	3	4	5
イオンシネマ シアタス調布(映画館)	1	2	3	4	5
味の素スタジアム(東京スタジアム)	1	2	3	4	5
武蔵野の森総合スポーツプラザ	1	2	3	4	5
深大寺白鳳仏(国宝)	1	2	3	4	5
都立神代植物公園	1	2	3	4	5
深大寺城跡(国指定史跡)	1	2	3	4	5
下布田遺跡(国指定史跡)	1	2	3	4	5
調布市郷土博物館	1	2	3	4	5
鬼太郎ひろば	1	2	3	4	5
布多天神社	1	2	3	4	5
西光寺・近藤勇座像	1	2	3	4	5
東京オーヴァル京王閣(京王閣競輪場)	1	2	3	4	5
調布市観光案内所「ぬくもりステーション」	1	2	3	4	5
深大寺観光案内所	1	2	3	4	5

35 あなたは、調布市が、名誉市民・水木しげる氏が50年以上暮らし、「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」など、数々の作品を生み出した「水木マンガの生まれた街」であることを知っていますか。

(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

36 買い物や食事など、お店選びで重視していることは何ですか。重視している順に3つ選んでください。

1 番目に重視している	2 番目に重視している	3 番目に重視している
1 家や職場からの近さ 2 価格の安さ 3 品揃えの良さ 4 入りやすい雰囲気 5 商品の質の高さ	6 インターネットやデリバリ 一対応の可否 7 インターネット上の評判 8 感染症対策の実施状況 9 割引・キャンペーンの実施	10 キャッシュレス決済の導入 11 禁煙・分煙の徹底 12 1箇所で購入物が済む 13 駐輪・駐車場が十分にある 14 その他 ()
【産業振興に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】		

37 あなたは、普段の買い物で商店街を利用していますか。(○は1つ)

1 利用している 2 利用していない	3 わからない
-----------------------	---------

38 あなたは、友人や知人に対して買い物・遊び、または観光を目的に訪れるまちとして、調布市をお薦めしたいと思いますか。(○は1つ)

1 お薦めしたいと思う 2 どちらともいえない	3 お薦めしたいと思わない 4 わからない
----------------------------	--------------------------

39 あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。(○は1つ)

1 進んで利用している 2 時々利用している	3 ほとんど利用していない 4 直売所を知らない
---------------------------	-----------------------------

40 あなたは、市内に農地が必要だと思いますか。
必要だと思う場合はその理由について、1～7の選択肢から○をつけてください。(○はいくつでも)
不要だと思う場合は、8に○をつけてください。

1 地場産農産物が手に入る（直売所など） 2 防災の面で有効である 3 良好な景観が保全される 4 緑が保全・創出され、自然環境が保護される	5 農体験や交流の場となる（市民農園など） 6 農や食を通じた教育に役立つ（食育） 7 その他 () 8 市内に農地が必要だと思わない
【農業に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

【芸術・歴史文化について】

41 あなたは、この1年間に、市内・市外を問わず、文化芸術（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら文化芸術活動を行いましたか。(○は1つ)

1 文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った 2 文化芸術を鑑賞した 3 自ら文化芸術活動を行った	4 いずれも行っていない
---	--------------

41で「1～3」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

41-1 文化芸術を鑑賞した、または文化芸術活動を行った場所について、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場	
2 「1」以外の市内公共施設（施設名：_____）	
3 市内民間施設（施設名：_____）	
4 市外の公共・民間施設（施設名：_____）	

【良好な市街地について】

42 あなたは、調布市を住みよいまちだと思いますか。(○は1つ)

1 住みよい 2 どちらかといえば住みよい	3 どちらかといえば住みにくい 4 住みにくい
【あなたが上記のように思う理由があればご記入ください】	

43 あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いますか。(○は1つ)

1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
【緑豊かなまちづくりや良好な景観づくりに関する施策について、ご意見やご提案があればご記入ください】	

43で「1・2」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

43-1 優れた景観だと思う場所について、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 国分寺崖線などの緑地景観 2 多摩川や野川などの水辺景観 3 駅周辺の街並み景観 4 甲州街道や武蔵境通りなどの沿道景観 5 神社仏閣などの歴史文化景観 6 深大寺・佐須地域や染地などの農の景観	7 集合住宅や戸建住宅などの落ちつきのある住宅地の景観 8 イベントやお祭りなどの生活文化景観 9 ライトアップなどで映し出される夜間景観 10 その他 ()
--	---

44 あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

45 あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的なまちであると思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない
【あなたが上記のように思う理由があればご記入ください】	
【中心市街地のまちづくりに関する施策について、ご意見やご提案があればご記入ください】	

46 あなたは、次のうち、普段どの駅を最も利用しますか。(○は1つ)

1 飛田給駅	4 京王多摩川駅	7 柴崎駅
2 西調布駅	5 布田駅	8 つつじヶ丘駅
3 調布駅	6 国領駅	9 仙川駅

46-1 あなたは、その駅（普段最も利用する駅）の周辺は利便性が高いと思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない
【あなたが普段最も利用する駅周辺のまちづくりについて、ご意見やご提案があればご記入ください】	

【道路・交通について】

47 あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

48 あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。実際に利用している交通手段について、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

徒歩	1 歩きやすい 2 ある程度歩きやすい 3 やや歩きにくい 4 歩きにくい
自転車	1 走りやすい 2 ある程度走りやすい 3 やや走りにくい 4 走りにくい 5 自転車に乗らない
バイク	1 走りやすい 2 ある程度走りやすい 3 やや走りにくい 4 走りにくい 5 バイクに乗らない
自動車	1 走りやすい 2 ある程度走りやすい 3 やや走りにくい 4 走りにくい 5 自動車に乗らない
車いすベビーカー	1 利用しやすい 2 ある程度利用しやすい 3 やや利用しにくい 4 利用しにくい 5 該当なし
【道路の新設整備や維持補修について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

49 あなたは、市内でシェアサイクル※を利用したことはありますか。(○は1つ)

1 利用したことがある	3 利用したことはないし、今後も利用予定はない
2 利用したことはないが、今後利用したい	4 シェアサイクルのサービスを知らない

※ ステーション(専用駐輪スペース)間で片道利用のできる自転車サービス。会員登録をすれば、(同じサービス会社の)全国どここのステーションでも貸出・返却が可能。

50 あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

51 あなたは、自転車使用時にヘルメットを着用※していますか。(○は1つ)

1 着用している	3 着用していないが、所持する予定
2 着用していない	4 自転車を利用していない。

※ 令和5年4月から改正道路交通法が施行され、自転車利用者のヘルメット着用が全世代に対して努力義務となりました。

【住環境づくり・地球温暖化対策について】

52 あなたの住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。（○は1つ）

1 バリアフリー対応になっている 2 一部、バリアフリー対応になっている 3 ほとんどバリアフリー対応にはなっていない
【住環境づくりに関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

53 あなたの住居は、再生可能エネルギーを利用していますか。また、創エネルギー設備※を設置していますか。（○はいくつでも）

1 再生可能エネルギー由来の電力を購入している 2 太陽光発電設備（蓄電池あり）を設置している 3 太陽光発電設備（蓄電池なし）を設置している 4 家庭用燃料電池（エネファーム等）を設置している 5 いずれも利用していないが、今後利用したい 6 いずれも利用していないし、今後も利用予定はない 7 その他（ ）
【地球温暖化対策・ゼロカーボンシティに関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

※ 太陽光発電設備や家庭用燃料電池のように家庭で電力等のエネルギーを創ることのできる設備。

54 あなたは、たとえばあなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家※とならないための対策が必要だと思いませんか。（○は1つ）

1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない 5 対象となる物件がない 6 その他（ ）
---	---

※ 適切な管理が行われていない空き家は、地域住民の生活環境において、倒壊の危険性や防犯、衛生、景観等に関する深刻な影響を及ぼすなど、社会的な問題となっています。

54-1 あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。（○はいくつでも）

1 空き家の早期発見のための日常的な見回り 2 空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談（リフォームや賃貸の提案など） 3 空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど） 4 所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組 5 管理不全となっている空き家の管理適正化（除草、建物除却など）への支援 6 その他（ ）
【空き家対策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

55 あなたは、地球温暖化などの環境問題に対し、環境を守るためにどのような取組を行っていますか。（○はいくつでも）

1 マイバッグ・マイボトルなど、繰り返し使ってごみの削減に寄与する商品を利用している 2 エコマークなどがついた環境に配慮した商品・サービスを選んでいる 3 使い捨てのプラスチック製品（ストローやスプーンなど）はなるべく使わない 4 ごみを分別し、資源のリサイクルを心がけている 5 食品・飲料を使い切り、食品ロスの予防を心がけている 6 ゆっくり加速・減速などのエコドライブを実践している 7 走行時に二酸化炭素を排出しない自動車（電気自動車やプラグインハイブリット自動車など）を利用している 8 こまめに消灯したり、エアコンの設定温度に注意したりするなど、節電を心がけている 9 家の照明を LED に交換している 10 太陽光発電システムなど再生可能エネルギーを利用する機器を導入している 11 買い替えの際に、省エネルギー型の製品を選ぶように心がけている 12 家庭エコ診断、うちエコ診断 WEB サービスなどを活用し、省エネ専門家の意見を聞いたことある 13 その他（ ） 14 特に取り組んでいない

【平和について】

56 あなたは、この1年間に、身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ない
【平和に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

↓ 56で「1」を選んだ方にうかがいます。

56-1 それはどんな時ですか。（○はいくつでも）

1 日常の会話の中で 2 ニュースや報道を見聞きしたとき 3 勉強会や学習活動の中で	4 市の平和祈念事業（展示や講演等）に参加したとき 5 その他（ ）
---	--

56-2 それは誰と話し合ったり、誰から聞いたりしましたか。（○はいくつでも）

1 家族・親族 2 友人・知人 3 市の平和祈念事業（展示や講演等）	4 サークルや市民団体などのグループ 5 その他（ ）
---	---

【児童虐待・人権・男女共同参画について】

57 あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）※1に関する次の相談窓口を知っていますか。
(○は1つ)

ア 児童虐待に関する相談窓口		
1 知っている	2 知らない	
↓ 【相談窓口（知っている窓口すべてに○をつけてください）】		
1 市役所（子ども政策課）	3 東京都多摩児童相談所	
2 子ども家庭支援センターすこやか（国領駅南側）	4 調布警察署	
イ DV（ドメスティックバイオレンス）に関する相談窓口		
1 知っている	2 知らない	
↓ 【相談窓口（知っている窓口すべてに○をつけてください）】		
1 調布市男女共同参画推進センター （国領駅北側 市民プラザあくろす内）	4 東京都女性相談センター	8 法テラス※3
2 市役所各相談窓口（子ども家庭課など）	5 東京ウィメンズプラザ	9 その他窓口 ()
3 調布警察署	7 民間シェルター※2	

※1 配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。身体的な暴力のほか、言葉による暴力（大声で怒鳴る、屈辱的なことを言うなど）や、経済的な暴力（生活費を十分に渡さない、お金をせびるなど）も該当します。

※2 民間団体によって運営されている暴力を受けた被害者が緊急一時的に避難できる施設。被害者の一時保護だけに止まらず、相談への対応、被害者の自立へ向けたサポートなど、被害者に対する様々な援助を行っています。

※3 総合法律支援法（平成16年6月2日公布）に基づき、国によって設立された法的トラブル解決のための「総合案内所」のこと。

58 あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。（○は1つ）

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない
【人権・男女共同参画に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

59 次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。（○はそれぞれ1つ）

取組内容	女性が優遇されている	優遇されている どちらかといえば女性が	平等になっている	男性が優遇されている どちらかといえば	男性が優遇されている
【記入例】 以下の場面について、それぞれ1つずつ○をつけてください。	1	2	3	4	5
学校教育の場	1	2	3	4	5
家庭生活の場	1	2	3	4	5
地域活動・コミュニティの場	1	2	3	4	5

ジェンダー平等

社会全体で、女性よりも男性が優遇されているという固定的な性別役割分担意識が依然として続いています。男女がお互いの人権を尊重し、あらゆる分野で個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現には、性別、年齢、障害の有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、だれもが個性と能力を十分に発揮できる、公正で多様性を認め合う社会を目指すことが重要です。持続可能な開発目標（SDGs）においても、達成すべき目標の1つに「ジェンダー平等」が位置付けられています。

「ジェンダー平等」とは、一人ひとりが性別にかかわらず、平等に責任や権利、機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めることができることを意味しています。

60 あなたは、多様な性に関する市の取組について知っていますか。
知っている場合は何によって知ったかあてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）
知らない場合は、知らないに○をつけてください。

取組内容	何によって知りましたか（○はいくつでも）						知らない
	市役所各窓口	市ホームページ	市報 ちょうふ	男女共同参画推進センターのホームページ	チラシ・パンフレット・カード等	その他	
1 調布市パートナーシップ宣誓制度※1	1	2	3	4	5	6	7
2 多様な性に関する相談	1	2	3	4	5	6	7
3 LGBT※2やSOGI※3に関する講座	1	2	3	4	5	6	7

※1 同性同士のカップル等について、結婚に相当するパートナー関係であることを公的に証明する制度で、都内では23市区（令和6年9月現在）が実施しています。ただし、法律婚とは異なり法的効力はありません。

※2 Lはレスビアン（女性の同性愛者）、Gはゲイ（男性の同性愛者）、Bはバイセクシャル（両性愛者）、Tはトランスジェンダー（性的違和感を持つ方）の頭文字を取った言葉で、性的マイノリティの総称のひとつとして使われています。さらに、自分の性のあり方について「わからない」「迷っている」「決めたくない」などの人を指すクエスチョニング（Questioning）や性的マイノリティを包括するクイア（Queer）の頭文字と、これ以外の様々な性のあり方を指す「+」からなる「LGBTQ+」という言葉もあります。性的マイノリティとは、性のあり方が多数派と異なる人のことをいい、「からだの性」と「自分が認識する性」が一致しない人（性同一性障害）、恋愛感情などの性的な意識が同性又は両性に向かう人（同性愛者、両性愛者）などを総称した言葉です。

※3 「Sexual Orientation and Gender Identity（性的指向と性自認）」の頭文字を取った言葉です。さらに、性表現（Gender Expression）の頭文字を加えた「SOGIE」という言葉もあります。近年、LGBTのほか、SOGIという言葉で表現されることもあります。

61 あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1 社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ宣誓制度の活用など） 2 教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）の実施 3 LGBT・SOGIについての専門の相談機関（電話相談や面接相談など）の充実 4 LGBT・SOGIの人が安心して集まれるコミュニティスペースの開設 5 行政による啓発活動（広報紙やポスターによるLGBT・SOGIに関しての発言など）の実施 6 その他（ ） 7 わからない
【あなたが上記のように思う理由があればご記入ください】
【多様な性に対する理解の促進について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

【市民参加について】

62 あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いますか。(○は1つ)

1 積極的に参加したい 2 機会があれば参加したい	3 参加したくない 4 関心がない
------------------------------	----------------------

63 あなたは、市民参加の取組を行うとしたら、どのような手法なら参加できますか。
また、より多くの市民の意見が行政に届くには、どのような参加手法をとればよいと思いますか。
(○はいくつでも)

内容		あなたが参加できる と思うものに○	より多くの市民意見 が届きやすいと思う ものに○
1 対面での説明会や意見交換会	(平日の開催)		
	(夕方・夜間の開催)		
	(土日・休日の開催)		
2 Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会	(平日の開催)		
	(夕方・夜間の開催)		
	(土日・休日の開催)		
3 YouTube等の動画配信サービスを活用した説明会			
4 街頭やイベント会場などでのアンケート調査			
5 パブリック・コメント手続※1			
6 委員会・審議会			
7 SNS（LINE, X（旧 Twitter）など）を活用したアンケート調査			
8 市民参加型のワークショップ※2			
【あなたが、上記のように思う理由があればご記入ください】			
【市民参加の取組について、ご意見やご提案があればご記入ください】			

※1 市が定めようとする条例や各種の計画等の政策形成過程において、市民から意見を募集し、提出された意見を十分に考慮して意思決定を行うとともに、提出された意見や市の考え方などを公表する一連の手続のこと。
 ※2 参加者が主体的に参加・意見交換できる、体験型講座のこと。

【市政等の情報について】

- 64 あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法をうかがいます。次のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。
(○はそれぞれ1つ)

市報ちょうふ	1 よく読む 2 たまに読む	3 ほとんど読まない 4 読んだことがない	5 知らない
市ホームページ	1 よく見る 2 たまに見る	3 ほとんど見ない 4 見たことがない	5 知らない
調布FMラジオ (83.8MHz)	1 よく聴く 2 たまに聴く	3 ほとんど聴かない 4 聴いたことがない	5 知らない
ケーブルテレビ (J:COM)	1 よく見る 2 たまに見る	3 ほとんど見ない 4 見たことがない	5 知らない
市公式X (旧Twitter)	1 よく見る 2 たまに見る	3 ほとんど見ない 4 見たことがない	5 知らない
市公式Facebook	1 よく見る 2 たまに見る	3 ほとんど見ない 4 見たことがない	5 知らない
市公式LINEアカウント	1 よく見る 2 たまに見る	3 ほとんど見ない 4 見たことがない	5 知らない
市公式Instagram	1 よく見る 2 たまに見る	3 ほとんど見ない 4 見たことがない	5 知らない
メールサービス (防災安全情報メールなど)	1 よく見る 2 たまに見る	3 ほとんど見ない 4 見たことがない	5 知らない
公共施設に掲示したポ スター、チラシなど	1 よく見る 2 たまに見る	3 ほとんど見ない 4 見たことがない	5 知らない
自治会の回覧	1 よく見る 2 たまに見る	3 ほとんど見ない 4 見たことがない	5 知らない
市議会だより	1 よく読む 2 たまに読む	3 ほとんど読まない 4 読んだことがない	5 知らない
【市政の情報発信について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】			

- 65 市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものについてあてはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

1 市議会だより	5 議会報告会
2 議会インターネット中継	6 議長へのはがき
3 会議録（市ホームページ内・図書館）	7 知らない
4 視察、政務活動費、議長交際費の報告 （市ホームページ内）	8 その他（ ）

【行政のデジタル化・スマートシティについて】

- 66 あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。
(○はいくつでも)

1 A I（人工知能）などを活用し、知りたい情報が検索しやすくなるなど、市ホームページが誰にとっても使いやすくなる 2 行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される 3 公共データ（個人情報を除く）を誰もが使えるデータとしてホームページで公開する 4 インターネットで市役所への申請や届出ができる 5 税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払える 6 インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる	7 市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる 8 A Iなどデジタルツールで市役所業務を効率化し、住民サービスを向上させる 9 公共施設にWi-Fiスポットを整備する 10 スマートフォン教室（操作方法、行政のオンラインサービスの使い方など）を実施する 11 センサーやカメラを利用して、高齢者や子どもの見守りを強化する 12 センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する 13 その他（ ）
【行政のデジタル化の推進について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

調布市のデジタル化の取組について

調布市デジタル行政推進課では、市のデジタル化推進に関する取組について、note（ノート）による情報発信を試行運用しています。右のQRコード（https://note.com/chofu_city）からデジタル行政推進課が運用するアカウントをご覧ください。
※アカウントをお持ちでない方でも投稿記事の閲覧ができます。

詳細はこちら ▶



67 調布市がスマートシティ※を目指すに当たって、ＩＣＴ（情報通信技術）を活用してほしい分野や、日々の生活で不便さを感じている分野を教えてください。（○はいくつでも）

1 環境（自然環境・エネルギー・ゼロカーボンなど）	9 公共空間（公共施設の混雑状況の見える化、オンラインの文化財鑑賞）
2 医療健康（オンライン診療、健康増進ツールなど）	10 安全安心（防災・災害情報の伝達、消防と医療の連携強化など）
3 介護福祉（見守りサービスなど）	11 地域とのつながり（市からの広報の強化、地域課題の共有・対話促進など）
4 買物（店舗混雑の見える化、ドローン配送、ロボット配送など）	12 産業振興（地域の産業支援、起業支援など）
5 居住環境（大気中の浄化度や騒音の測定・見える化など）	13 市役所（窓口のオンライン化、庁内の電子化）
6 移動（交通渋滞の見える化、自動運転など）	14 わからない
7 子育て・教育（手続のオンライン化、オンライン授業など）	15 その他（ ）
8 生涯学習（オンライン生涯学習プログラム、図書館のオンライン化など）	

【あなたが、上記のように思う理由があればご記入ください】

※ ＩＣＴを活用して、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、人々が安心・安全に暮らせる街（出典：総務省）

調布市のスマートシティの実現に向けた取組 ～調布スマートシティ協議会～

産学官民の連携の下、デジタル技術を活用して、調布市民の生活の豊かさや、地域の持続的成長に繋がる新しいサービス・事業の創出等により、調布市が抱える社会的課題を解決するため、令和3年6月24日、市と連携関係のある企業・大学等と共同で、「調布スマートシティ協議会」を設立し、現在、取組を進めています。

【協議会加盟団体（R5.10.1 現在 加入順）】

- ・調布市
- ・国立大学法人 電気通信大学
- ・特定非営利活動法人 調布市地域情報化コンソーシアム（ＣＬＩＣ）
- ・アフラック生命保険株式会社
- ・京王電鉄株式会社
- ・日本郵便株式会社
- ・東日本電信電話株式会社
- ・鹿島建設株式会社
- ・多摩信用金庫
- ・株式会社東京スタジアム



公共施設について

68 あなたは、この1年間に、どのような目的でグリーンホールを利用しましたか。（○はいくつでも）

1 演劇	6 講演・講座・説明会・研修セミナー
2 音楽・コンサート	7 式典
3 映画	8 発表会・リハーサル
4 伝統芸能	9 その他（ ）
5 ダンス・舞踊	10 利用していない

69 現在のグリーンホールの「質の高い文化芸術の鑑賞の場」であり、「市民の文化芸術の発表の場」である」というコンセプトについて、どう思いますか。（○は1つ）

1 新しいホールにおいても、現在のコンセプトを継承した方が良い
2 プロによる公演など質の高い文化芸術の鑑賞に重点を置いたホールとした方が良い
3 市民の文化芸術の発表に重点を置いた使い勝手の良いホールとした方が良い
4 その他（ ）

70 現在、市は新たなグリーンホールの整備を検討していますが、その整備に当たり、特に重要だと思う項目は何ですか。（○は2つまで）

1 バリアフリー対応が充実していること
2 催し開催時だけでなく、日頃からにぎわいを生み出す施設であること
3 施設を使用する際に、市民が気軽に利用しやすい機器・設備等があること
4 気軽に交流できる場があるなど、人々の交流が広がる施設であること
5 専門のスタッフが技術指導を行うなど、文化芸術の専門相談に対応できること
6 その他（ ）

質問は以上で終わります。

最後までご協力いただき、誠にありがとうございました。

返送期限

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和6年12月5日(木)までに郵便ポストへ投函してください。

なお、調査票や返信用封筒にお名前・ご住所などの記入は必要ありません。

調査結果の公表について

ご協力いただいた調査の結果については、『調布市民意識調査報告書 令和6年度版』（令和7年発行予定）により公表します。

公表する報告書については、行政経営部（市役所5階）、公文書資料室（市役所4階）、各図書館、各地域福祉センター及び市のホームページ等でご覧になれます。

登録番号
(刊行物番号)

2024-198

調布市民意識調査報告書 令和6年度版

発行日 令和7年3月

発行 調布市

編集 行政経営部企画経営課

〒182-8511 調布市小島町 2-35-1

電話 042-481-7368・7369（直通）

FAX 042-485-0741